
「一宮市こども総合計画」の策定にかかる

各種アンケート調査

【結果報告書】

令和6年3月

一宮市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	2
4. 教育・保育提供区域について	4
5. 所得区分について	4
II. ニーズ調査結果	5
1. 宛名のお子さんご家族の状況について	6
2. 宛名のお子さんの育ちを取り巻く環境について	11
3. 保護者の就労状況について	14
4. 平日の保育園や幼稚園などの利用状況について	32
5. 病児・病後児保育について	49
6. 宛名のお子さんの一時預かりについて	53
7. 土曜・休日の保育園や幼稚園などの利用について	59
8. 宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについて	62
9. 地域の子育て支援サービスについて	63
10. 放課後等の過ごし方について	70
11. 子育てと仕事の両立について	76
12. 子育てと地域社会について	85
13. 児童虐待について	90
14. 子育て全般について	92
自由回答（とりまとめ）	100
III. こども・若者の意識調査結果	102
[1] 子どもの生活状況調査【子ども票】	102
1. あなた自身のことについて	102
2. 普段の学習などについて	103
3. 将来の希望について	106
4. 学校以外での過ごし方などについて	107
自由回答（とりまとめ）	113
[2] 子どもの生活状況調査【保護者票】	114
1. お子さんや保護者のことについて	114
2. お子さんの母親と父親について	117
3. お子さんの教育等について	121
4. 保護者の家庭での生活について	134
自由回答（とりまとめ）	153
[3] こども・若者の意識と生活に関するアンケート調査	154
1. あなた自身のことについて	154
2. あなたの日頃の意識と生活について	161
自由回答（とりまとめ）	200

I. 調査の概要

1. 調査の目的

令和7年度を初年度とする「一宮市こども総合計画（※「第3期一宮市子ども・子育て支援事業計画」を含む）」の策定に向けた基礎資料を得ることを目的に、アンケート調査を実施しました。

市内在住の就学前児童および小学生児童の保護者を対象にした「子ども・子育て支援に関するアンケート調査（以下「ニーズ調査」という。）」では、保育ニーズや一宮市の子育て支援サービスの利用状況・利用意向、子育て世帯の生活実態、今後の要望・意見などを把握することを目的としました。

市内在住の小学5年生および中学2年生の児童・生徒ならびに、その保護者を対象にした「子どもの生活状況調査」では、子どもと保護者をめぐる生活の状況や支援ニーズについての実態等を把握することを目的としました。

市内在住の15歳から39歳の方を対象にした「こども・若者の意識と生活に関するアンケート調査」では、こども・若者の生活実態等を把握することを目的としました（「子どもの生活状況調査」と「こども・若者の意識と生活に関するアンケート調査」については、あわせて以下「こども・若者の意識調査」という。）。

2. 調査概要

(1) ニーズ調査

- 調査地域：一宮市全域
- 調査対象：一宮市内在住の就学前児童の保護者
一宮市内在住の小学生児童の保護者
- 抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童（0～5歳児）2,000人、
小学生（1～6年生）2,000人の合計4,000人を無作為抽出
- 調査期間：令和5年10月13日（金）～10月31日（火）
- 調査方法：郵送による配布・回収または電子回答

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	2,000	1,109	55.5%
小学生児童	2,000	1,198	59.9%

(2) こども・若者の意識調査

- 調査地域：一宮市全域
- 調査対象：一宮市内在住の小学5年生および中学2年生の児童・生徒
一宮市内在住の小学5年生および中学2年生の児童・生徒の保護者
一宮市内在住の高校生・大学生・若者（15～39歳）
- 抽出方法：住民基本台帳より、児童・生徒およびその保護者、そして高校生・大学生・若者をそれぞれ無作為抽出
- 調査期間：令和5年10月2日（月）～11月6日（月）
- 調査方法：児童・生徒については電子解答、他の調査対象は郵送による配布・回収または電子回答

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
児童・生徒	3,282	2,728	83.1%
児童・生徒の保護者	3,282	2,122	64.7%
こども・若者	3,000	943	31.4%

3. 報告書の見方

【本文・グラフ（図表）に共通する見方】

- 本報告書の本文中では、ニーズ調査（就学前児童）の保護者の回答結果を「就学前」、ニーズ調査（小学生児童）の保護者の回答結果を「小学生」、こども・若者の意識調査の児童・生徒の回答結果を「子ども」、こども・若者の意識調査の児童・生徒の保護者の回答結果を「保護者」、こども・若者の意識調査のこども・若者の回答結果を「こども・若者」と表記しています。
- 就学前児童と就学児童（小学生）で共通の設問は、並べて比較できるように構成しています。設問文の末尾に就学前は「前：問 No.」、小学生は「小：問 No.」、子どもは「子：問 No.」、保護者は「保：問 No.」、こども・若者は「若：問 No.」のように、調査票の設問番号を表示しています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

【グラフの見方】

- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- 年齢等を数値で回答する設問（数量回答）では、区分分けをして集計しています。

【アンケート調査の標本誤差】

アンケート調査を行う場合、その手間や費用を考慮して全母集団から適切な数を抽出し調査するため、アンケートの回答結果に誤差を生じます。それを標本誤差といい、次の計算式によって算出できます。

$$\text{(標本誤差)} = k \sqrt{\frac{(M-n)}{(M-1)} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

M: 母集団
k: 信頼率による定数(※)
※一般的に信頼率95%とすることが多く、その場合、k=1.96となる。

n: 有効回答数
p: 回答比率

ニーズ調査においては、就学前児童と小学生児童の保護者（約 17,000 人と約 20,000 人）から、それぞれ無作為に 2,000 人を選んで実施し、n：有効回答数がそれぞれ 1,109 件、1,198 件となっています。ある設問について「はい」と回答した割合が80.0%であった場合、上記の式に当てはめて計算すると、標本誤差は就学前で約 2.28%、小学生で約 2.20%となります。

それぞれ約±2.28%、約±2.20%の誤差を生じることとなりますので、その回答は、就学前で(95%の確率で)77.7%~82.3%(80.0%±2.27%)、小学生で(95%の確率で)77.8%~82.2%(80.0%±2.28%)の範囲内となります。

なお、こども・若者の意識調査における標本誤差は、児童・生徒で約 1.17%、児童・生徒の保護者で約 1.42%、こども・若者で約 2.54%となります。

4. 教育・保育提供区域について

教育・保育提供区域とは、地域の実情に応じて保護者や子どもが居宅より容易に移動することが可能な区域であり、地理的条件、人口、交通事情等の社会的条件や教育・保育の整備の状況等を総合的に勘案して設定するものです。

本報告書では、一部の設問に教育・保育提供区域（「区域」と表記しています。）ごとにクロス集計をかけており、下表の連区で区域を区分しています。

区域	含まれる連区	【参考】登録人口 R5.10.1 現在
東区域	西成、千秋、丹陽	79,588 人
西区域	大和、萩原、朝日、大徳、起、三条、開明、小信中島	118,007 人
北区域	奥、木曾川町、北方、葉栗、浅井	92,613 人
中区域	今伊勢、宮西、貴船、富士、向山、大志、神山	88,578 人
	計	378,786 人

5. 所得区分について

「子どもの生活状況調査」における保護者調査の分析にあたっては、国の「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」を参考にしました。ここでは年間収入に関する回答の中央値（50～100万円⇒75万円、1,000万円以上⇒1,050万円）をその世帯の収入とし、同居家族の人数で調整した値を「等価世帯収入」と定義しています。

本調査においても、この定義に基づき、回答者全体の等価世帯収入の、中央値以上、中央値の2分の1以上で中央値未満、中央値の2分の1未満の3つに区分して、所得区分Ⅰ（中央値以上）／所得区分Ⅱ（中央値の2分の1以上で中央値未満）／所得区分Ⅲ（中央値の2分の1未満）で比較分析を行いました。

なお、本調査においては中央値が325万円、中央値の2分の1が162.5万円となりました。この数値に基づいて所得区分を区分した結果は下表のようになります。

	件数	所得区分Ⅰ (中央値以上)	所得区分Ⅱ (中央値の2分の1以上で中央値未満)	所得区分Ⅲ (中央値の2分の1未満)	判定不能
	%				
全体	件数	1,033	702	175	212
	%	48.7	33.1	8.2	10.0

※中央値は325万円、中央値の2分の1は162.5万円。

Ⅱ. ニーズ調査結果

◇ 調査対象家庭の類型について

本調査は、保護者の就労状況にもとづき家庭類型をおこない、それぞれの類型のニーズ量の把握を行うことが目的のひとつです。ここではその基礎となる家庭類型別比率を掲載します。

類 型	就学前				小学生			
	計	0歳	1・2歳	3歳以上	計	低学年	高学年	
ひとり親	5.5%	0.0%	3.4%	6.9%	10.5%	11.2%	10.3%	
両親	フルタイム×フルタイム	37.5%	68.8%	41.8%	32.2%	22.3%	22.7%	22.4%
	フルタイム×パートタイム	32.2%	7.8%	25.4%	37.5%	48.7%	42.8%	53.7%
	専業主婦（夫）	24.4%	23.4%	28.8%	23.0%	18.3%	22.7%	13.6%
	パートタイム×パートタイム	0.4%	0.0%	0.6%	0.4%	0.2%	0.5%	0.0%
	無職×無職	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

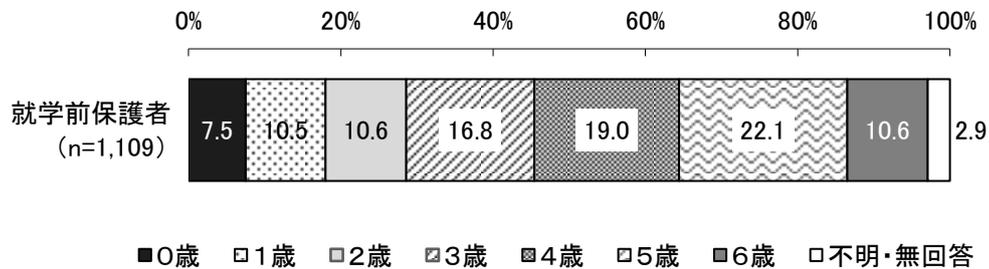
【参考：前回（平成31年3月）調査時の調査対象家庭の類型】

類 型	就学前				小学生			
	計	0歳	1・2歳	3歳以上	計	低学年	高学年	
ひとり親	6.4%	8.1%	5.4%	7.0%	11.6%	10.4%	12.2%	
両親	フルタイム×フルタイム	23.8%	28.4%	29.1%	21.1%	18.3%	18.6%	18.1%
	フルタイム×パートタイム	32.3%	12.2%	13.9%	41.4%	47.7%	42.2%	51.4%
	専業主婦（夫）	37.3%	50.0%	51.6%	30.4%	22.1%	28.5%	17.9%
	パートタイム×パートタイム	0.2%	1.4%	0.0%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%
	無職×無職	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1. 宛名のお子さんご家族の状況について

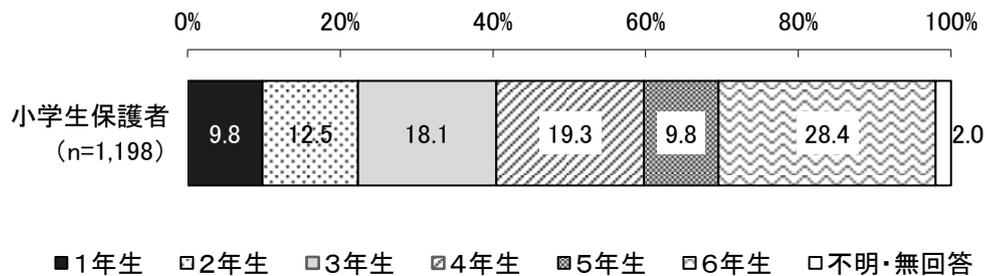
就学前

◆お子さんの生年月[前：問1①] <数量回答>



小学生

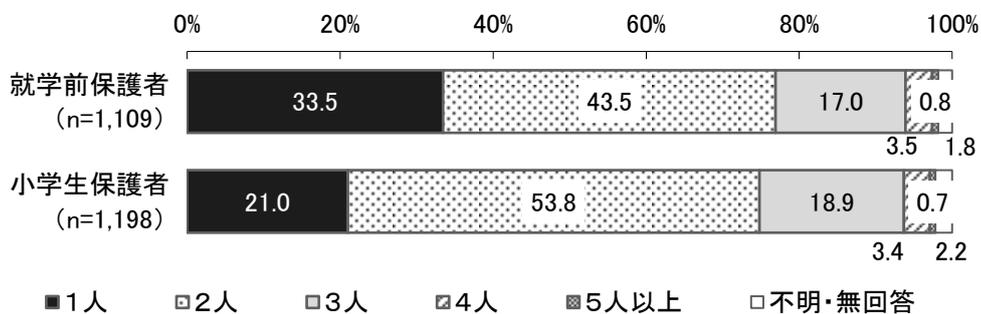
◆封筒の宛名のお子さんは何年生ですか[小：問1] <単数回答>



就学前 小学生

◆宛名のお子さんを含めたお子さんの数[前：問1②、小：問2①] <数量回答>

就学前、小学生ともに「2人」が最も多く、それぞれ43.5%、53.8%となっています。また次いで、就学前、小学生いずれも「1人」がそれぞれ33.5%、21.0%、「3人」が17.0%、18.9%となっています。



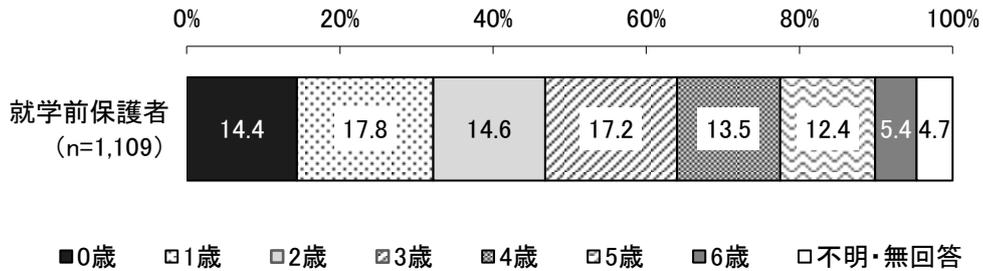
就学前 **小学生**

◆末子の満年齢[前：問1③、小：問2②] <数量回答>

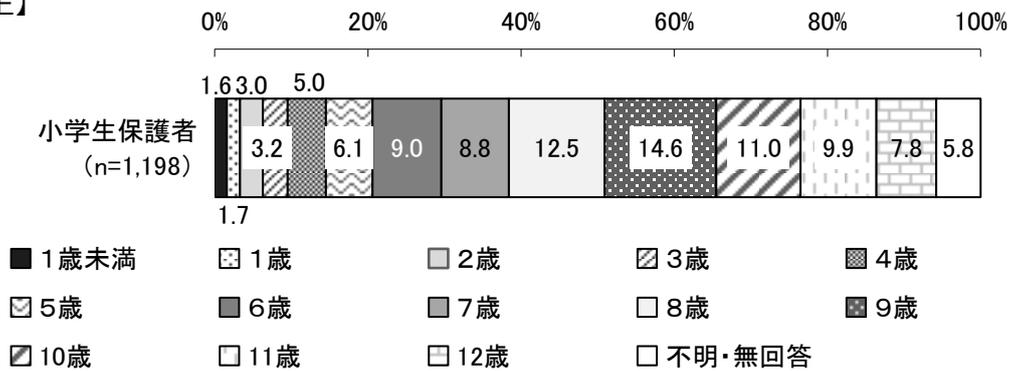
就学前では、「1歳」が17.8%と最も多く、次いで「3歳」が17.2%、「2歳」が14.6%となっています。

小学生では、「9歳」が14.6%と最も多く、次いで「8歳」が12.5%、「10歳」が11.0%となっています。

【就学前】



【小学生】

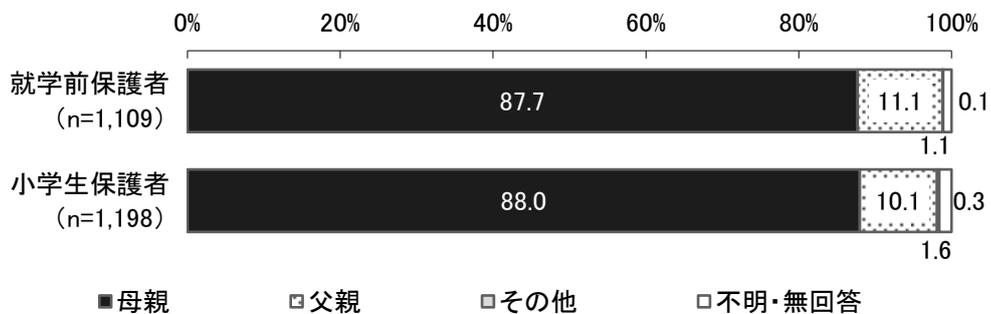


就学前 **小学生**

◆回答されている方は、宛名のお子さんからみてどなたですか[前：問2、小：問3] <単数回答>

就学前では、「母親」が87.7%と最も多く、次いで「父親」が11.1%となっています。

小学生では、「母親」が88.0%と最も多く、次いで「父親」が10.1%となっています。

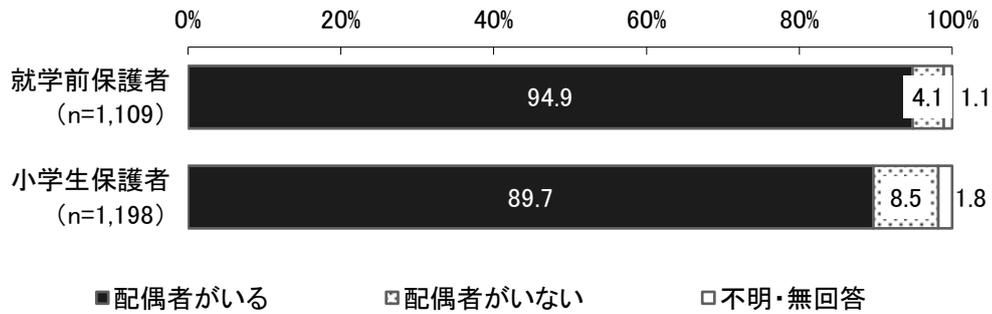


就学前 **小学生**

◆あなたには配偶者（夫または妻）がいますか〔前：問3、小：問4〕〈単数回答〉

就学前では、「配偶者がいる」が94.9%と最も多く、次いで「配偶者がいない」が4.1%となっています。

小学生では、「配偶者がいる」が89.7%と最も多く、次いで「配偶者がいない」が8.5%となっています。

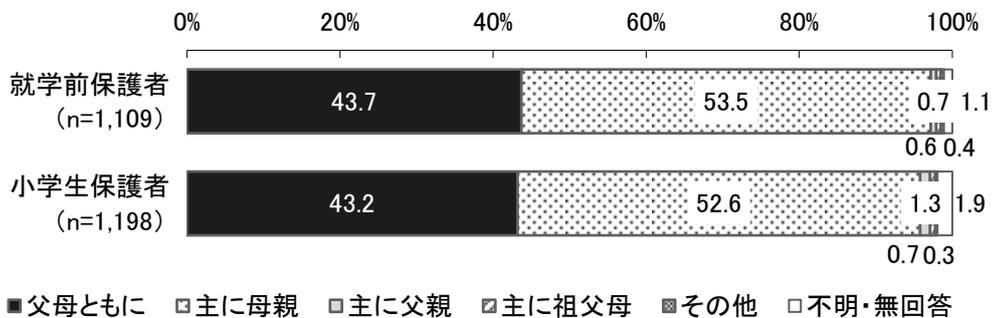


就学前 **小学生**

◆お子さんの子育てを主にしているのは、お子さんからみてどなたですか〔前：問4、小：問5〕〈単数回答〉

就学前では、「主に母親」が53.5%と最も多く、次いで「父母ともに」が43.7%となっています。

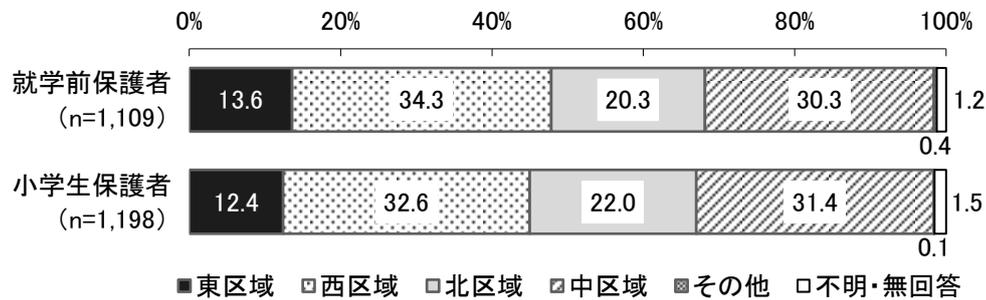
小学生では、「主に母親」が52.6%と最も多く、次いで「父母ともに」が43.2%となっています。



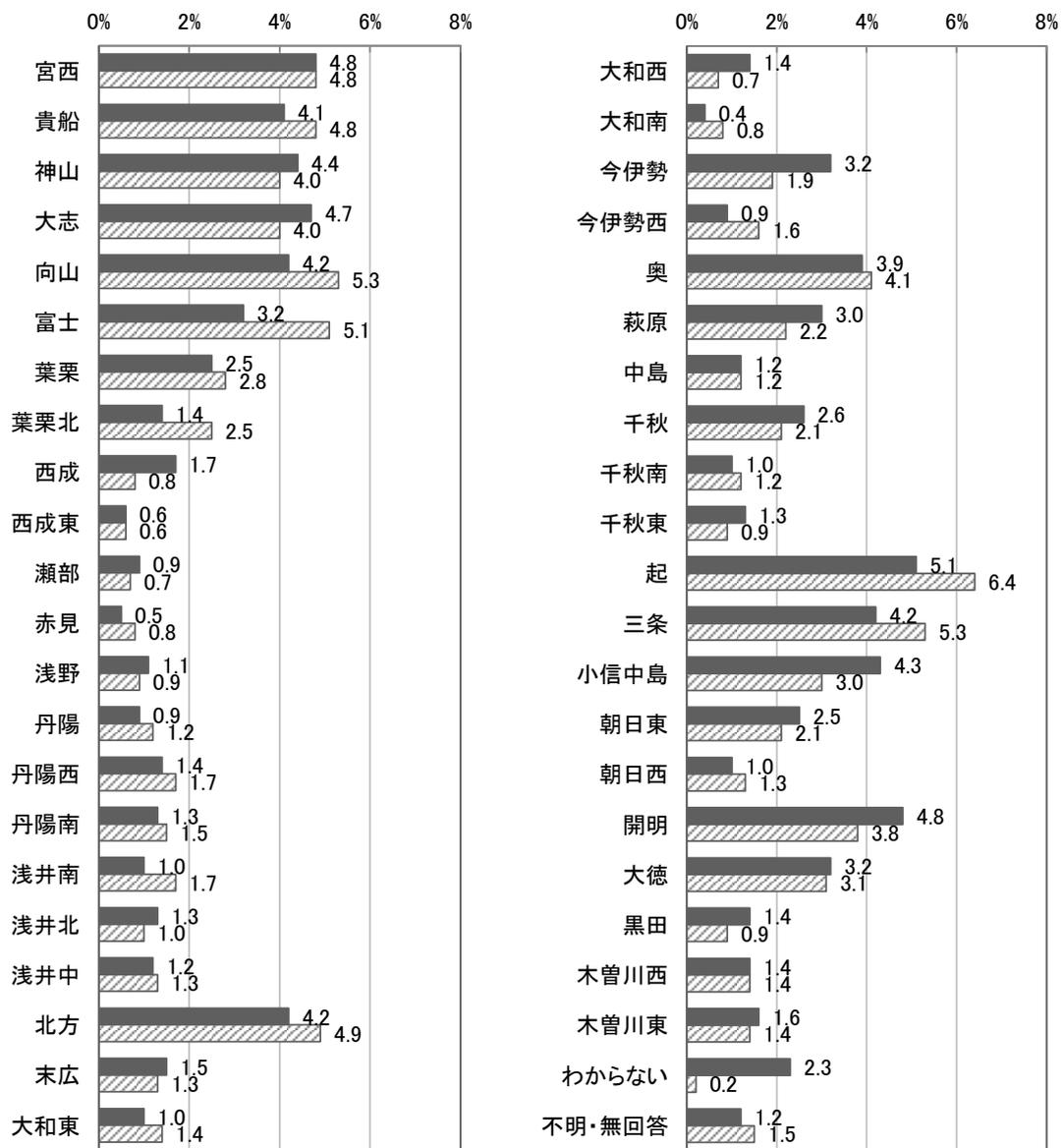
就学前 小学生

◆お住まいの小学校区をお答えください[前：問5、小：問6] <単数回答>

【教育・保育提供区域】



【小学校区】

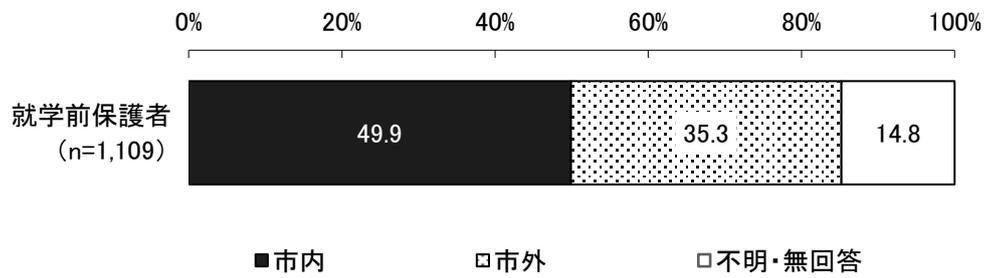


■就学前保護者 (n=1,109) □小学生保護者 (n=1,198)

就学前

◆あなたの通勤先をお答えください[前：問6]〈単数回答〉

「市内」が49.9%、「市外」が35.3%となっています。



2. 宛名のお子さんの育ちを取り巻く環境について

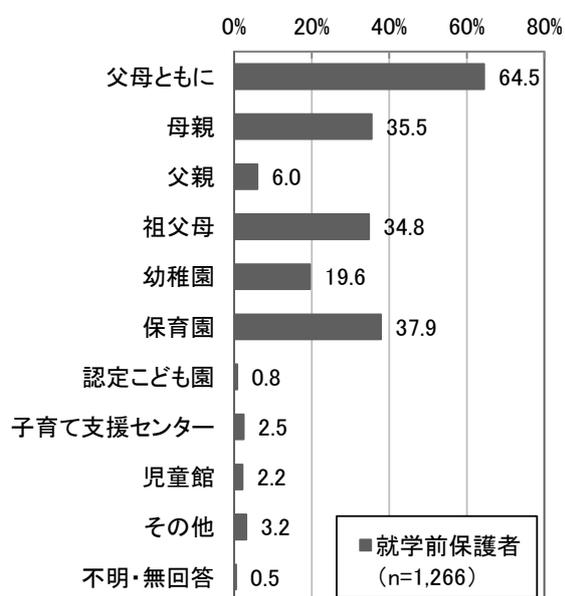
就学前 小学生

◆お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、お子さんからみてどなたですか
 [前：問7、小：問7]〈複数回答〉

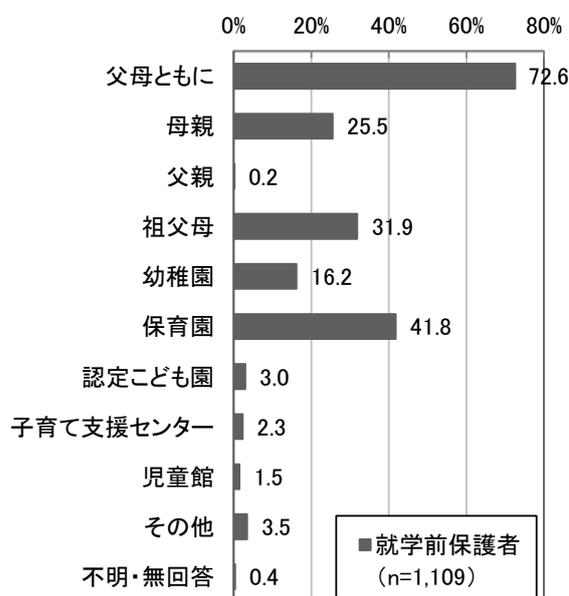
就学前では、「父母ともに」が72.6%と最も多く、次いで「保育園」が41.8%、「祖父母」が31.9%となっています。小学生では、「父母ともに」が57.8%と最も多く、次いで「母親」が38.1%、「祖父母」が24.7%となっています。

前回調査の結果と比較すると、「父母ともに」が就学前、小学生ともに増加しており、それぞれ8.1ポイント、5.6ポイントとなっています。また、「母親」は就学前、小学生ともに減少しており、それぞれ10.0ポイント、8.8ポイントとなっています。この5年間で、父母そろって子育てに取り組むようになった変化がうかがえます。

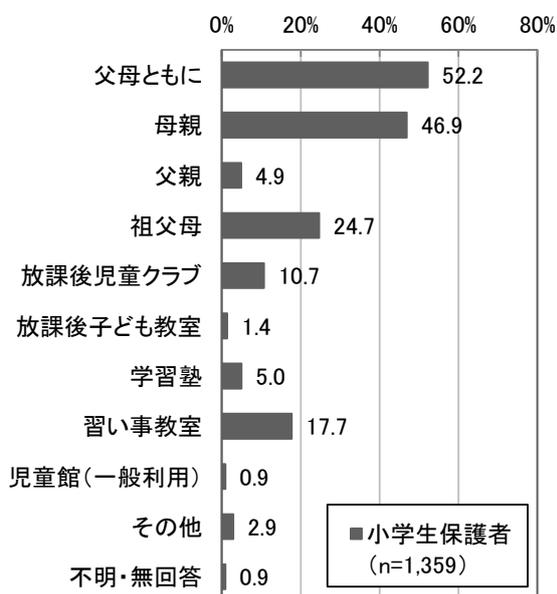
【前回調査結果：就学前】



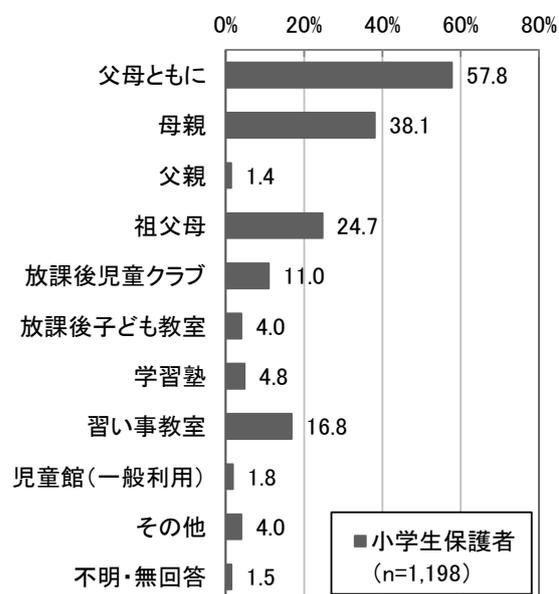
【今回調査結果：就学前】



【前回調査結果：小学生】



【今回調査結果：小学生】

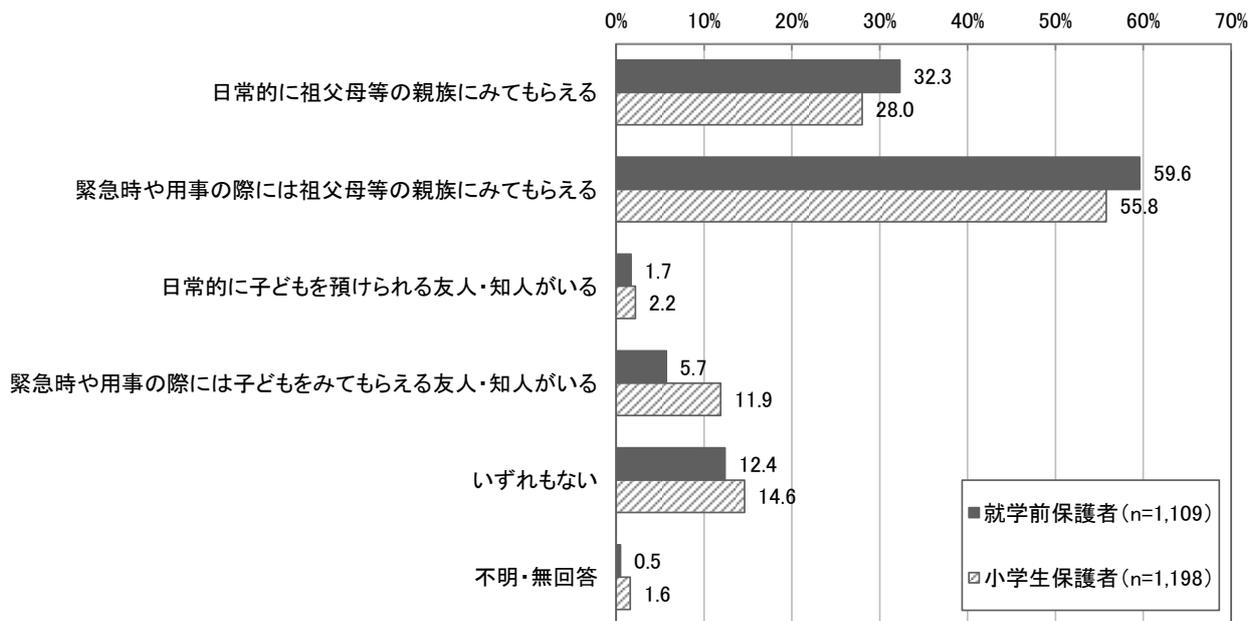


就学前 **小学生**

◆日頃、お子さんを見てもらえる人はいますか[前：問8、小：問8]〈複数回答〉

就学前では、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.6%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が32.3%、「いずれもない」が12.4%となっています。

小学生では、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.0%、「いずれもない」が14.6%となっています。



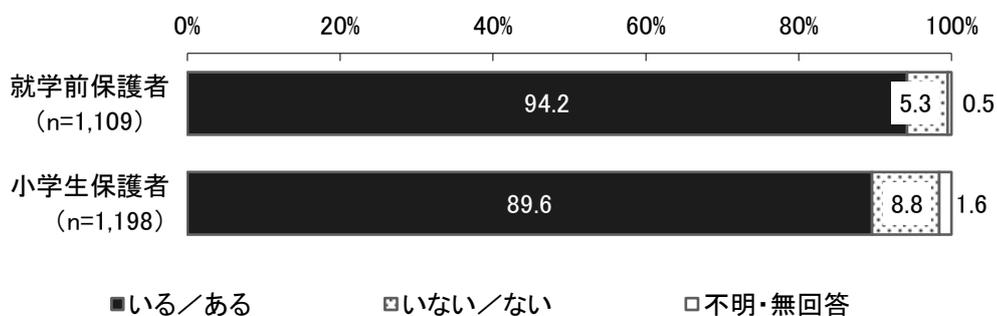
就学前 **小学生**

◆あなたは、子育てについて気軽に相談できる人（または機関）がありますか

[前：問9、小：問9]〈単数回答〉

就学前では、「いる／ある」が94.2%、「いない／ない」が5.3%となっています。

小学生では、「いる／ある」が89.6%、「いない／ない」が8.8%となっています。



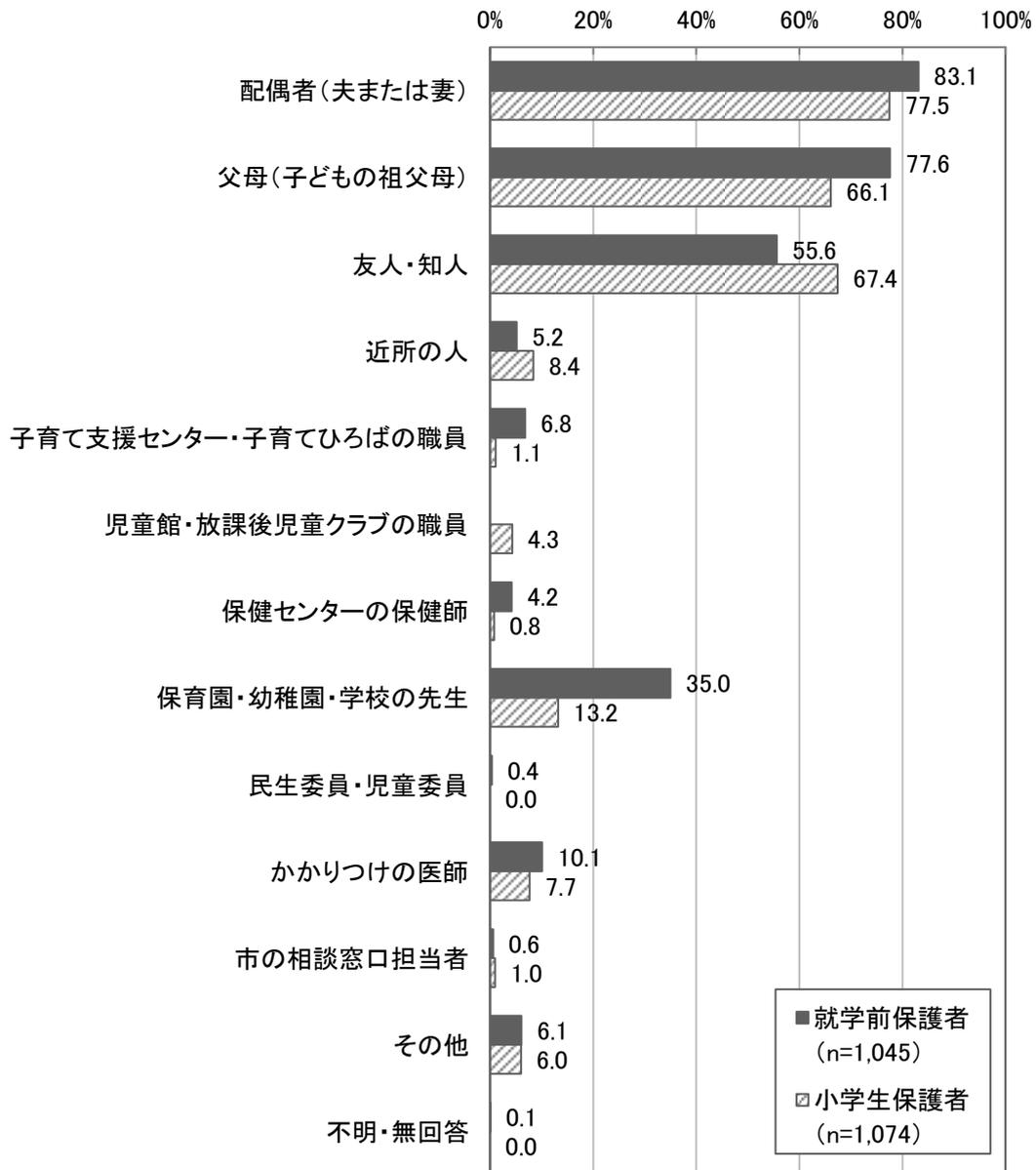
就学前 小学生

◆ (気軽に相談できる人(または機関)が「いる/ある」と回答した方)

気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか[前:問9-1、小:問9-1] <複数回答>

就学前では、「配偶者(夫または妻)」が83.1%と最も多く、次いで「父母(子どもの祖父母)」が77.6%、「友人・知人」が55.6%となっています。

小学生では、「配偶者(夫または妻)」が77.5%と最も多く、次いで「友人・知人」が67.4%、「父母(子どもの祖父母)」が66.1%となっています。



※「児童館・放課後児童クラブの職員」は、小学生のみの選択項目になります。

3. 保護者の就労状況について

【1】母親の就労状況

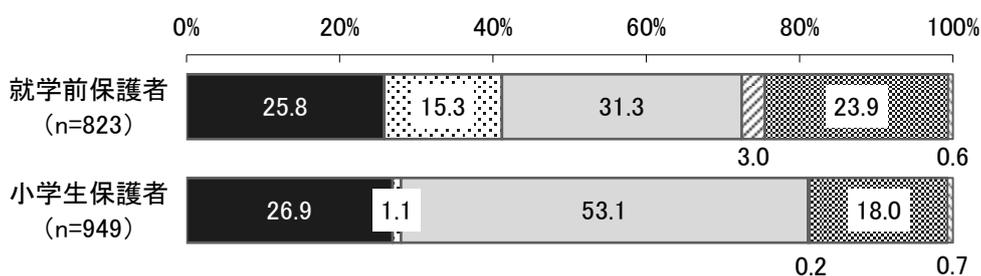
就学前 小学生

◆お子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください

[前：問10（1）、小：問10（1）] <単数回答>

就学前では、「パート・アルバイト等で働いている」が31.3%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が25.8%、「現在は仕事をしていない」が23.9%となっています。

小学生では、「パート・アルバイト等で働いている」が53.1%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が26.9%、「現在は仕事をしていない」が18.0%となっています。



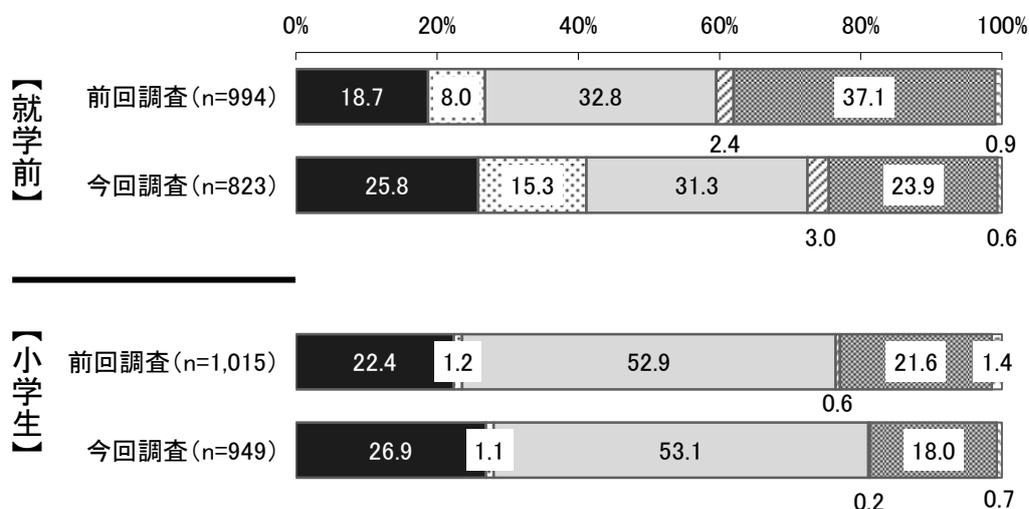
- フルタイムで働いている
- パート・アルバイト等で働いている
- ▨フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中
- ▨パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中
- ▨現在は仕事をしていない
- ▨これまでに就労したことがない

※「不明・無回答」を除いた結果を掲載しています。

【前回調査との比較】お子さんの保護者の就労状況[前：問10（1）、小：問10（1）]

『就労している状態』（「フルタイムで働いている」から「パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中」までの合計）について前回調査の結果と比較すると、就学前では75.4%、小学生では81.3%と、それぞれ13.5ポイント、4.2ポイント高くなっています。

就労状況の変化は就学前において著しく、産休・育休などの制度面の進展およびその制度利用の意識変容、また、働きながら子育てできる社会環境の変化などが背景にあるものと考えられます。



- フルタイムで働いている
- パート・アルバイト等で働いている
- ▨フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中
- ▨パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中
- ▨現在は仕事をしていない
- ▨これまでに就労したことがない

【クロス集計】母親の就労状況[前：問10(1)、小：問10(1)]×年齢（学年）別、提供区域別

就学前の年齢別にみると、0歳では「フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中」が57.6%と、全体より42.3ポイント高くなっています。また、「パート・アルバイト等で働いている」母親の割合は、年齢とともに高くなっています。

また、小学生の高学年になると、「現在は仕事をしていない」母親の割合は、低学年に比べて9.4ポイント低くなっています。

【就学前】

上段:件数 下段:%		【母親】問10(1)就労状況について					
		フルタイムで働いている	フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中	パート・アルバイト等で働いている	パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中	現在は仕事をしていない	これまでに就労したことがない
全体(n=823)		212 25.8	126 15.3	258 31.3	25 3.0	197 23.9	5 0.6
★年齢区分	0歳 (n=118)	8 6.8	68 57.6	4 3.4	9 7.6	28 23.7	1 0.8
	1・2歳 (n=190)	46 24.2	30 15.8	55 28.9	5 2.6	53 27.9	1 0.5
	3歳以上 (n=495)	151 30.5	24 4.8	194 39.2	10 2.0	113 22.8	3 0.6
★提供区域	東区域 (n=117)	30 25.6	25 21.4	33 28.2	4 3.4	25 21.4	- -
	西区域 (n=274)	66 24.1	41 15.0	94 34.3	8 2.9	64 23.4	1 0.4
	北区域 (n=172)	42 24.4	26 15.1	58 33.7	2 1.2	44 25.6	- -
	中区域 (n=253)	72 28.5	32 12.6	71 28.1	11 4.3	63 24.9	4 1.6

【小学生】

上段:件数 下段:%		【母親】問10(1)就労状況について					
		フルタイムで働いている	フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中	パート・アルバイト等で働いている	パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中	現在は仕事をしていない	これまでに就労したことがない
全体(n=949)		255 26.9	10 1.1	504 53.1	2 0.2	171 18.0	7 0.7
★学年区分	低学年 (n=386)	104 26.9	7 1.8	181 46.9	- -	91 23.6	3 0.8
	高学年 (n=555)	149 26.8	3 0.5	318 57.3	2 0.4	79 14.2	4 0.7
★提供区域	東区域 (n=123)	34 27.6	- -	69 56.1	- -	19 15.4	1 0.8
	西区域 (n=322)	99 30.7	3 0.9	166 51.6	1 0.3	51 15.8	2 0.6
	北区域 (n=198)	51 25.8	1 0.5	109 55.1	- -	37 18.7	- -
	中区域 (n=299)	70 23.4	6 2.0	156 52.2	1 0.3	62 20.7	4 1.3

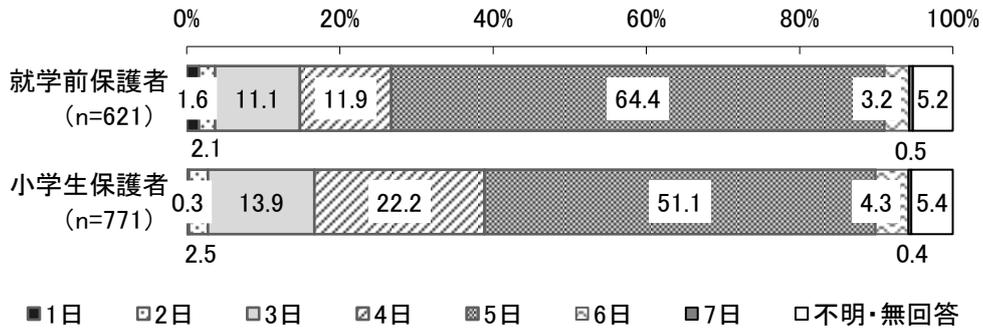
就学前 **小学生**

◆ (フルタイムもしくはパートタイムで就業している方)

就労日数 (週あたり) [前: 問10(1)①、小: 問10(1)①] <数量回答>

就学前では、「5日」が64.4%と最も多く、次いで「4日」が11.9%、「3日」が11.1%となっています。

小学生では、「5日」が51.1%と最も多く、次いで「4日」が22.2%、「3日」が13.9%となっています。



就学前 **小学生**

◆ (フルタイムもしくはパートタイムで就業している方)

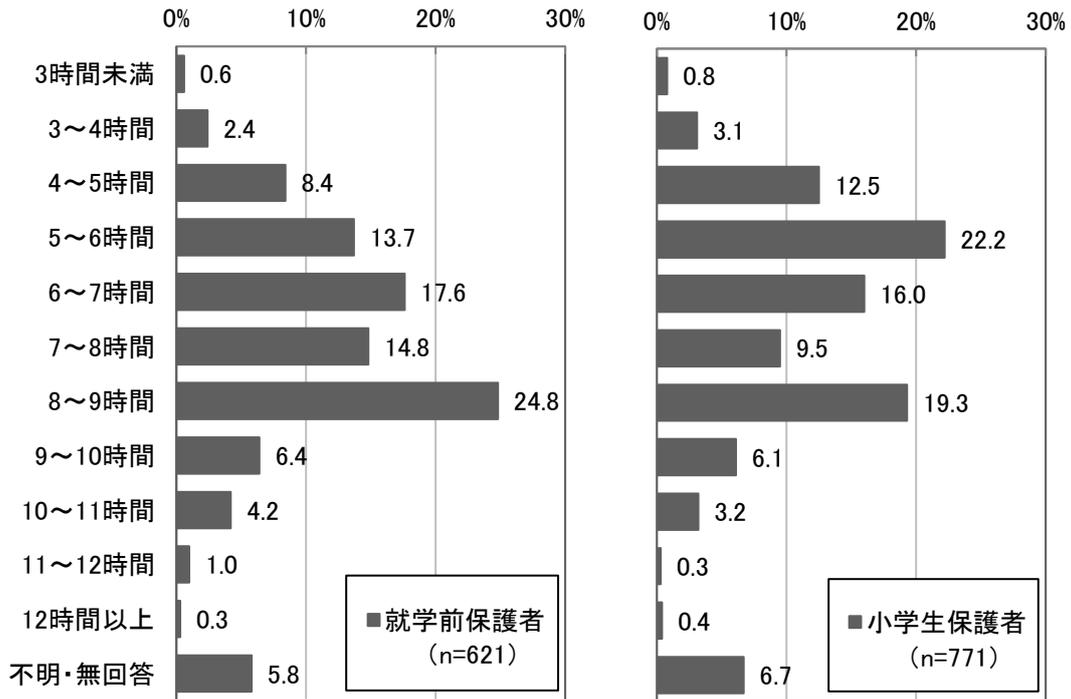
平均就労時間 (1日あたり) [前:問10(1)②、小:問10(1)②] <数量回答>

就学前では、「8～9時間」が24.8%と最も多く、次いで「6～7時間」が17.6%、「7～8時間」が14.8%となっています。

小学生では、「5～6時間」が22.2%と最も多く、次いで「8～9時間」が19.3%、「6～7時間」が16.0%となっています。

【就学前】

【小学生】



就学前 小学生

◆ (フルタイムもしくはパートタイムで就業している方)

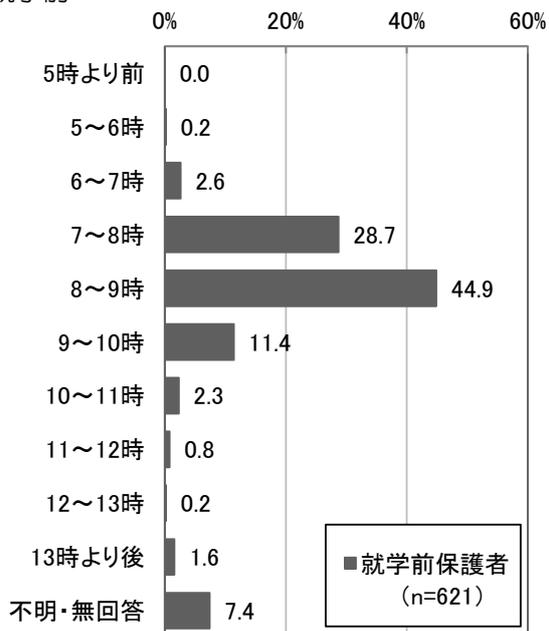
平均的な家を出る時刻[前：問10(1)③、小：問10(1)③] <数量回答>

平日において、就学前では、「8～9時」が44.9%と最も多く、次いで「7～8時」が28.7%、「9～10時」が11.4%となっています。小学生では、「8～9時」が51.1%と最も多く、次いで「7～8時」が21.9%、「9～10時」が14.4%となっています。

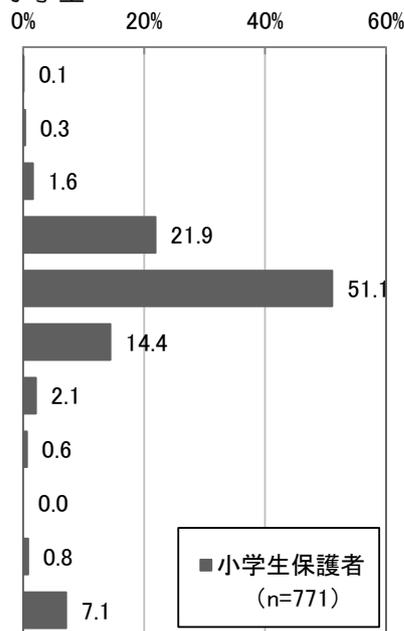
土日祝日において、就学前では、「8～9時」が44.2%、「7～8時」が31.9%となっています。小学生では、「8～9時」が45.1%、「7～8時」が30.5%となっています。

【平日】

●就学前

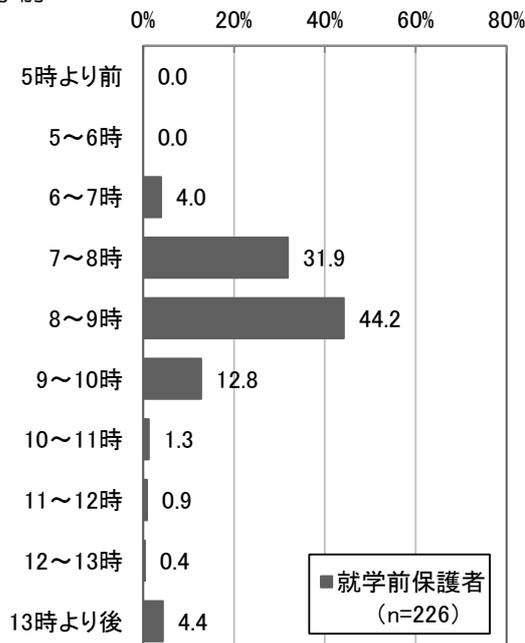


●小学生

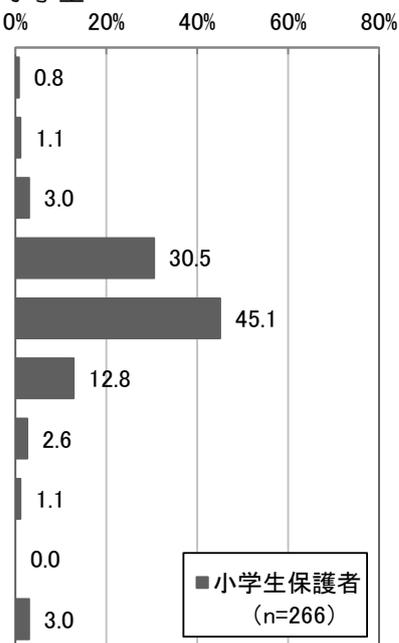


【土日祝日】

●就学前



●小学生



※【土日祝日】については、「不明・無回答」を除いた結果を掲載しています。

就学前 小学生

◆ (フルタイムもしくはパートタイムで就業している方)

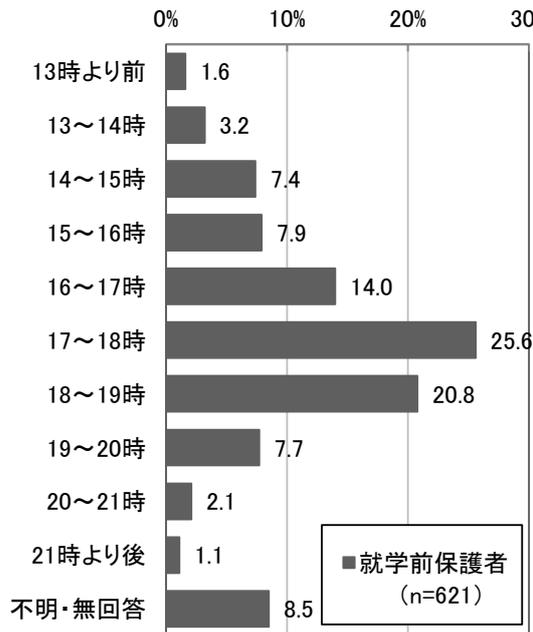
平均的な帰宅時刻[前：問10(1)④、小：問10(1)④] <数量回答>

平日において、就学前では、「17～18時」が25.6%と最も多く、次いで「18～19時」が20.8%、「16～17時」が14.0%となっています。小学生では、「15～16時」が18.9%と最も多く、次いで「18～19時」が18.2%、「17～18時」が13.6%となっています。

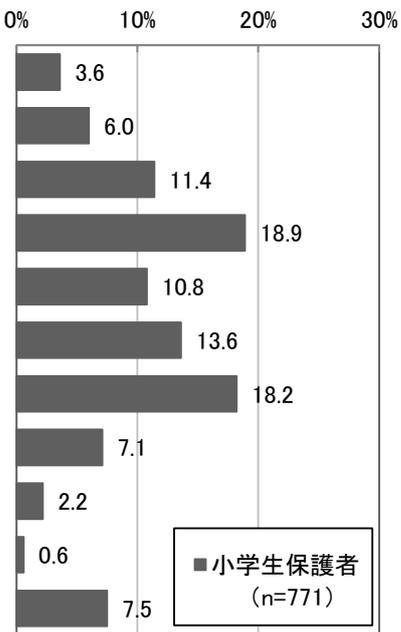
土日祝日において、就学前では、「17～18時」が28.7%、「18～19時」が25.6%となっています。小学生では、「18～19時」が21.5%、「17～18時」が19.2%となっています。

【平日】

●就学前

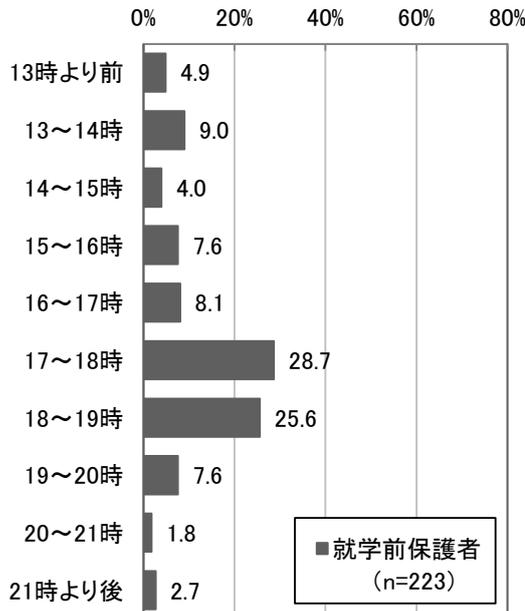


●小学生

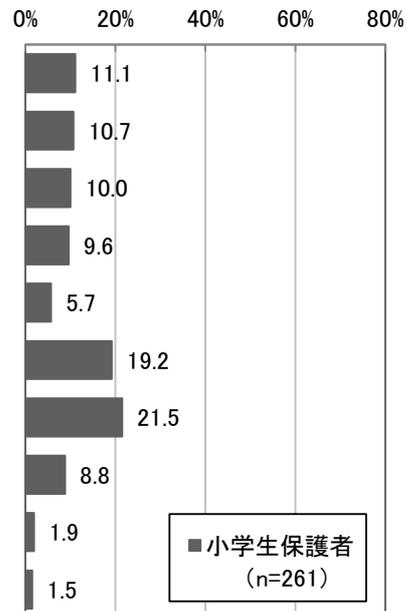


【土日祝日】

●就学前



●小学生



※【土日祝日】については、「不明・無回答」を除いた結果を掲載しています。

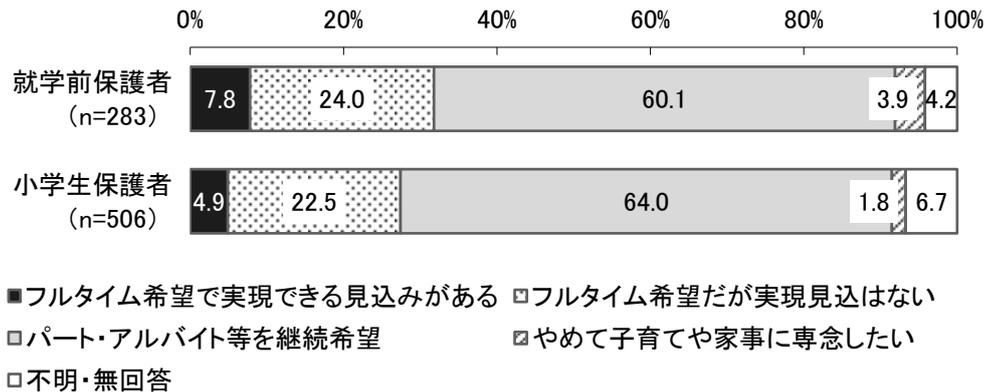
就学前 小学生

◆ (パートタイムで就業している方)

フルタイムへの転換希望[前：問10(1)⑤、小：問10(1)⑤] <単数回答>

就学前では、「パート・アルバイト等を継続希望」が60.1%と最も高く、次いで「フルタイム希望だが実現見込はない」が24.0%、「フルタイム希望で実現できる見込みがある」が7.8%となっています。

小学生では、「パート・アルバイト等を継続希望」が64.0%と最も高く、次いで「フルタイム希望だが実現見込はない」が22.5%、「フルタイム希望で実現できる見込みがある」が4.9%となっています。

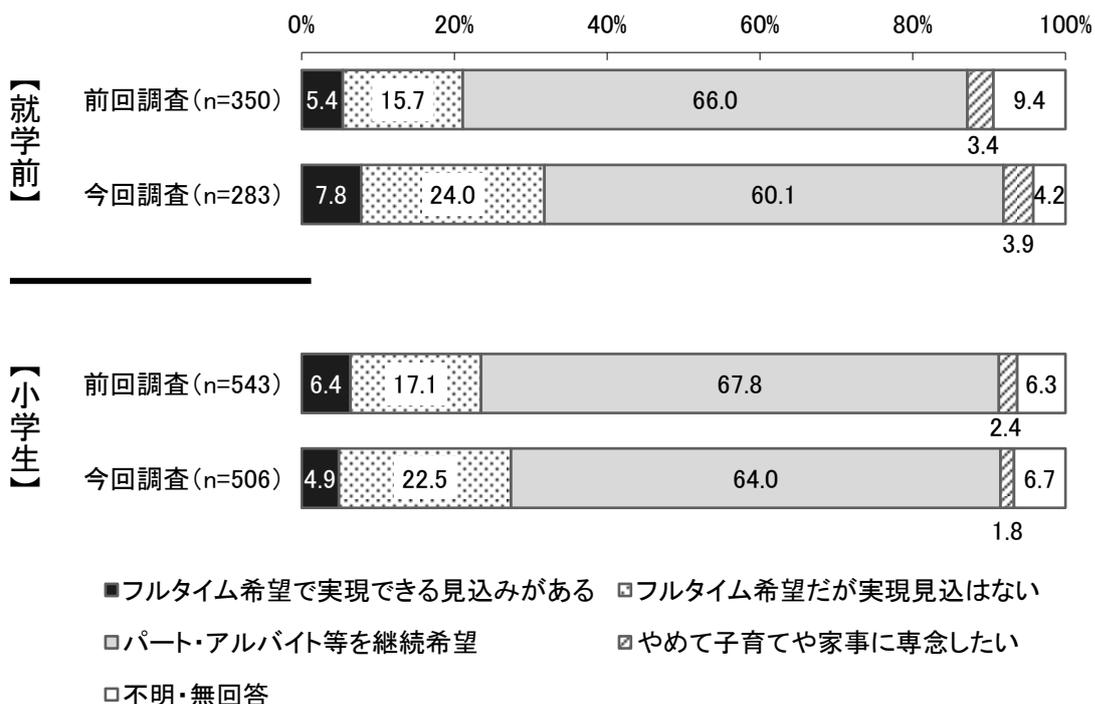


【前回調査との比較】フルタイムへの転換希望[前：問10(1)⑤、小：問10(1)⑤]

前回調査の結果と比較すると、就学前では、「フルタイム希望だが実現見込はない」が8.3ポイント高く、「パート・アルバイト等を継続希望」が5.9ポイント低くなっています。

小学生では、「フルタイム希望だが実現見込はない」が5.4ポイント高くなっています。

フルタイムへの転換希望に対して、希望と現状のギャップがうかがえます。



【クロス集計】フルタイムへの転換希望[前：問10(1)⑤、小：問10(1)⑤]×

年齢（学年）別、提供区域別

就学前の年齢別にみると、子ども年齢が低いほど「パート・アルバイト等を継続希望」する母親の割合が高くなっています。一方、小学生高学年になると、改めて「パート・アルバイト等を継続希望」する母親の割合が高くなっています。

【就学前】

上段:件数 下段:%		【母親】問10(1)⑤フルタイムへの転換希望				
		フルタイム 希望で実現 できる見込 みがある	フルタイム 希望だが実 現見込はな い	パート・アル バイト等を 継続希望	やめて子育 てや家事に 専念したい	不明・無回 答
全体 (n=283)		22 7.8	68 24.0	170 60.1	11 3.9	12 4.2
★年齢区分	0歳 (n=13)	- -	2 15.4	9 69.2	2 15.4	- -
	1・2歳 (n=60)	8 13.3	11 18.3	39 65.0	2 3.3	- -
	3歳以上 (n=204)	14 6.9	52 25.5	121 59.3	5 2.5	12 5.9
★提供区域	東区域 (n=37)	5 13.5	10 27.0	20 54.1	2 5.4	- -
	西区域 (n=102)	6 5.9	25 24.5	63 61.8	3 2.9	5 4.9
	北区域 (n=60)	4 6.7	9 15.0	42 70.0	1 1.7	4 6.7
	中区域 (n=82)	7 8.5	23 28.0	44 53.7	5 6.1	3 3.7

【小学生】

上段:件数 下段:%		【母親】問10(1)⑤フルタイムへの転換希望				
		フルタイム 希望で実現 できる見込 みがある	フルタイム 希望だが実 現見込はな い	パート・アル バイト等を 継続希望	やめて子育 てや家事に 専念したい	不明・無回 答
全体 (n=506)		25 4.9	114 22.5	324 64.0	9 1.8	34 6.7
★学年区分	低学年 (n=181)	8 4.4	45 24.9	111 61.3	3 1.7	14 7.7
	高学年 (n=320)	17 5.3	67 20.9	211 65.9	6 1.9	19 5.9
★提供区域	東区域 (n=69)	4 5.8	14 20.3	46 66.7	- -	5 7.2
	西区域 (n=167)	6 3.6	35 21.0	111 66.5	2 1.2	13 7.8
	北区域 (n=109)	4 3.7	23 21.1	73 67.0	4 3.7	5 4.6
	中区域 (n=157)	11 7.0	40 25.5	93 59.2	3 1.9	10 6.4

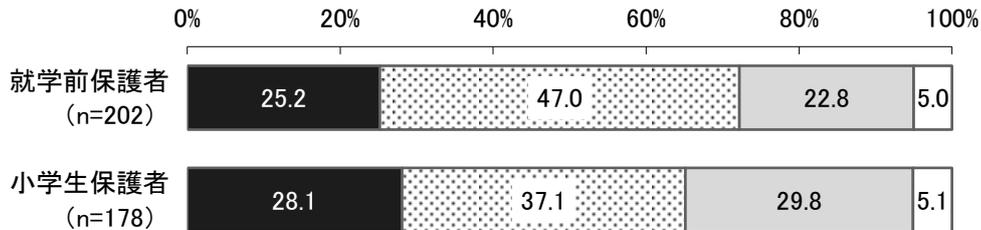
就学前 小学生

◆（現在は就労をしていない、これまでに就労したことがない方）

今後の就労意向[前：問10（1）⑥、小：問10（1）⑥]〈単数回答〉

就学前では、「1年より先で、一番下の子が〇歳になったところに就労したい」が47.0%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい」が25.2%となっています。

小学生では、「1年より先、一番下の子が〇歳になったところに就労したい」が37.1%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が29.8%となっています。



- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先で、一番下の子が〇歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 不明・無回答

【クロス集計】今後の就労意向[前：問10(1)⑥、小：問10(1)⑥]×

年齢（学年）別、提供区域別

「1年より先で、一番下の子が□歳になったところに就労したい」については、就学前において年齢が上がるにつれて減少していく一方、子どもの年齢が上がるにしたがって、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の回答割合がおおむね高くなり、子育てにひと段落ついたタイミングで就労を希望する傾向がうかがえます。

【就学前】

上段:件数 下段:%		【母親】問10(1)⑥今後の就労意向			
		子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1年より先で、一番下の子が□歳になったところに就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	不明・無回答
全体(n=202)		51 25.2	95 47.0	46 22.8	10 5.0
★年齢区分	0歳 (n=29)	7 24.1	17 58.6	4 13.8	1 3.4
	1・2歳 (n=54)	11 20.4	26 48.1	15 27.8	2 3.7
	3歳以上 (n=116)	32 27.6	50 43.1	27 23.3	7 6.0
★提供区域	東区域 (n=25)	3 12.0	14 56.0	7 28.0	1 4.0
	西区域 (n=65)	17 26.2	34 52.3	12 18.5	2 3.1
	北区域 (n=44)	14 31.8	18 40.9	10 22.7	2 4.5
	中区域 (n=67)	17 25.4	28 41.8	17 25.4	5 7.5

【小学生】

上段:件数 下段:%		【母親】問10(1)⑥今後の就労意向			
		子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1年より先で、一番下の子が□歳になったところに就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	不明・無回答
全体(n=178)		50 28.1	66 37.1	53 29.8	9 5.1
★学年区分	低学年 (n=94)	22 23.4	43 45.7	24 25.5	5 5.3
	高学年 (n=83)	28 33.7	22 26.5	29 34.9	4 4.8
★提供区域	東区域 (n=20)	6 30.0	10 50.0	4 20.0	- -
	西区域 (n=53)	17 32.1	17 32.1	18 34.0	1 1.9
	北区域 (n=37)	10 27.0	14 37.8	12 32.4	1 2.7
	中区域 (n=66)	16 24.2	24 36.4	19 28.8	7 10.6

就学前 小学生

◆ (今後、「1年より先で、一番下の子が□歳になったところに就労したい」と回答した方)

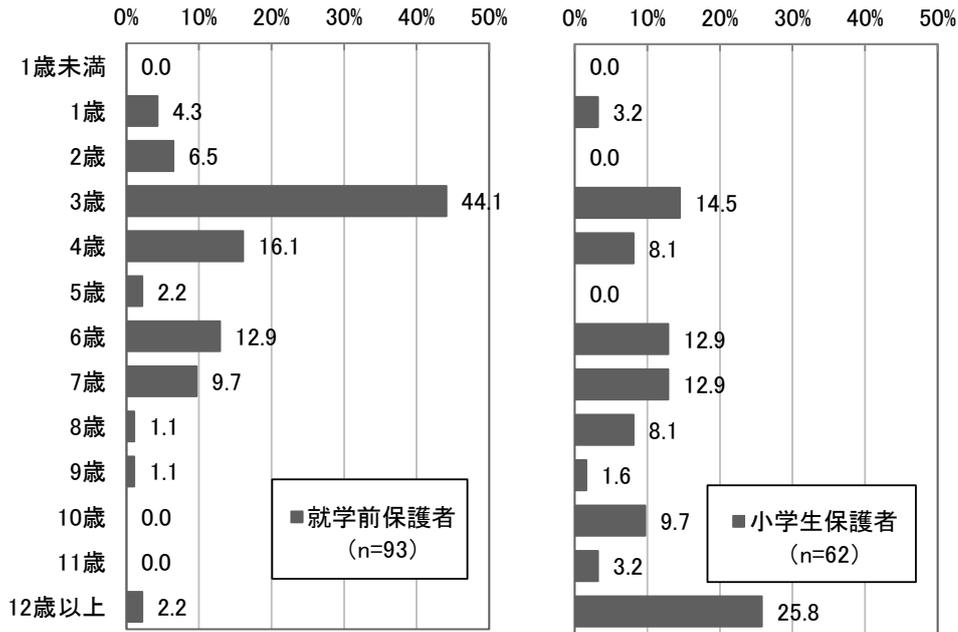
子どもが何歳になったところに就労したいか[前：問10(1)⑥、小：問10(1)⑥] <数量回答>

就学前では、「3歳」が44.1%と最も多く、次いで「4歳」が16.1%、「6歳」が12.9%となっています。

小学生では、「12歳以上」が25.8%と最も多く、次いで「3歳」が14.5%、「6歳」と「7歳」が12.9%となっています。

【就学前】

【小学生】



※「不明・無回答」を除いた結果を掲載しています。

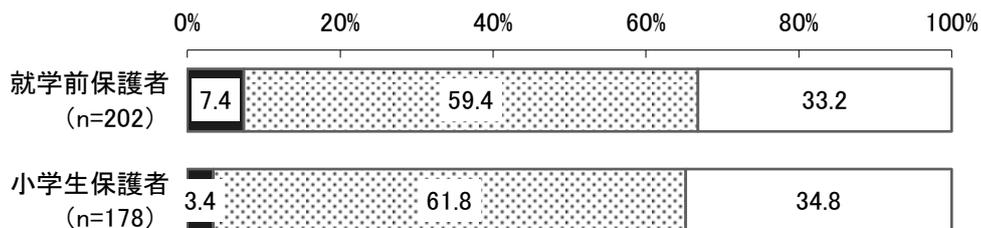
就学前 小学生

◆ (現在は就労をしていない、これまでに就労したことがない方)

希望する就労形態[前：問10(1)⑦、小：問10(1)⑦] <単数回答>

就学前では、「パート・アルバイト」が59.4%と最も多く、次いで「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)」が7.4%となっています。

小学生では、「パート・アルバイト」が61.8%と最も多く、次いで「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)」が3.4%となっています。



■フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労) □パート・アルバイト等 □不明・無回答

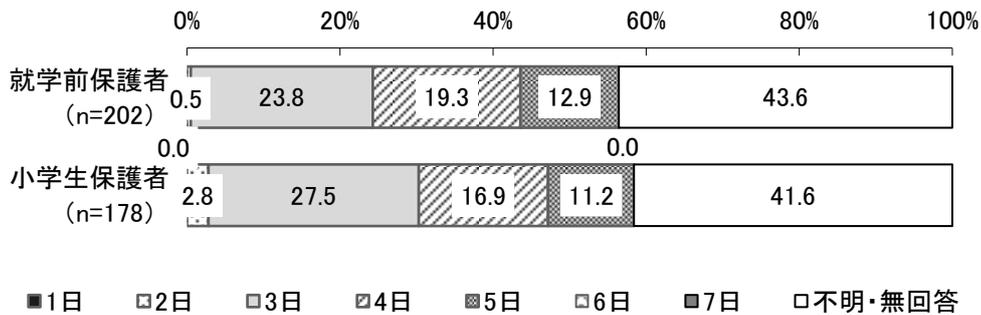
就学前 小学生

◆（希望の就労形態を「パート・アルバイト等」と回答した方）

パート、アルバイト等の希望就労形態 週当たり勤務日数[前：問10（1）⑦、小：問10（1）⑦]〈数量回答〉

就学前では、「3日」が23.8%と最も多く、次いで「4日」が19.3%、「5日」が12.9%となっています。

小学生では、「3日」が27.5%と最も多く、次いで「4日」が16.9%、「5日」が11.2%となっています。



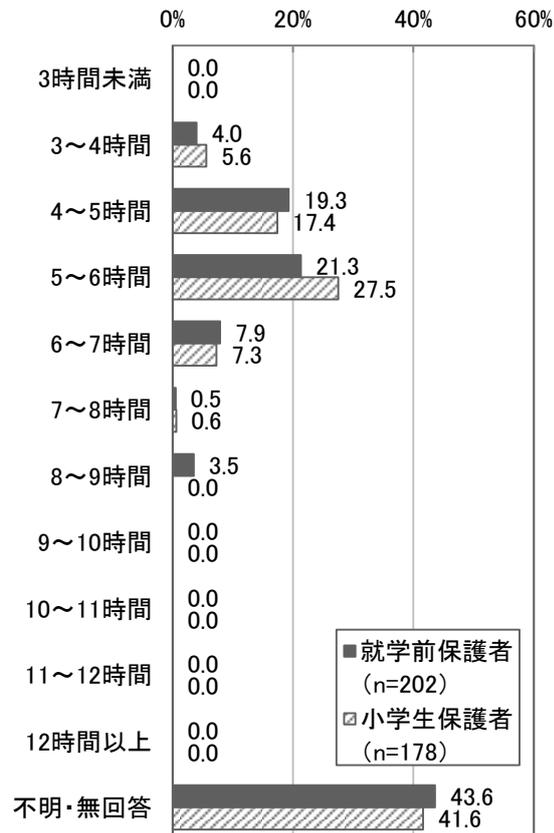
就学前 小学生

◆（希望の就労形態を「パート・アルバイト等」と回答した方）

パート、アルバイト等の希望就労形態 1日当たり勤務時間[前：問10（1）⑦、小：問10（1）⑦]〈数量回答〉

就学前では、「5～6時間」が21.3%と最も多く、次いで「4～5時間」が19.3%、「6～7時間」が7.9%となっています。

小学生では、「5～6時間」が27.5%と最も多く、次いで「4～5時間」が17.4%、「6～7時間」が7.3%となっています。



【2】父親の就労状況

就学前 小学生

◆お子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください

[前：問10（2）、小：問10（2）] <単数回答>

「フルタイムで働いている」がともに最も多く、就学前では67.3%、小学生では70.5%となっています。

	上段:件数 下段:%						
	フルタイムで働いている	中産休・育休・介護休業 フルタイムだが、現在	パート・アルバイト等で働いている	パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中	現在は仕事をしていない	これまでに就労したことがない	不明・無回答
就学前保護者 (n=1,109)	746件 67.3%	5件 0.5%	6件 0.5%	1件 0.1%	3件 0.3%	1件 0.1%	347件 31.3%
小学生保護者 (n=1,198)	845件 70.5%	1件 0.1%	5件 0.4%	0件 0.0%	7件 0.6%	0件 0.0%	340件 28.4%

※特定の選択肢の回答件数および割合が極端に低いため、件数と割合を併記するために表を用いています。

就学前 小学生

◆（フルタイムもしくはパートタイムで就業している方）

就労日数（週あたり）[前：問10（2）①、小：問10（2）①] <数量回答>

「5日」がともに最も多く、就学前では75.3%、小学生では73.9%となっています。

	上段:件数 下段:%							
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
就学前保護者 (n=758)	1件 0.1%	0件 0.0%	9件 1.2%	5件 0.7%	571件 75.3%	150件 19.8%	13件 1.7%	9件 1.2%
小学生保護者 (n=851)	1件 0.1%	1件 0.1%	1件 0.1%	2件 0.2%	629件 73.9%	187件 22.0%	16件 1.9%	14件 1.6%

※特定の選択肢の回答件数および割合が極端に低いため、件数と割合を併記するために表を用いています。

就学前 小学生

◆ (フルタイムもしくはパートタイムで就業している方)

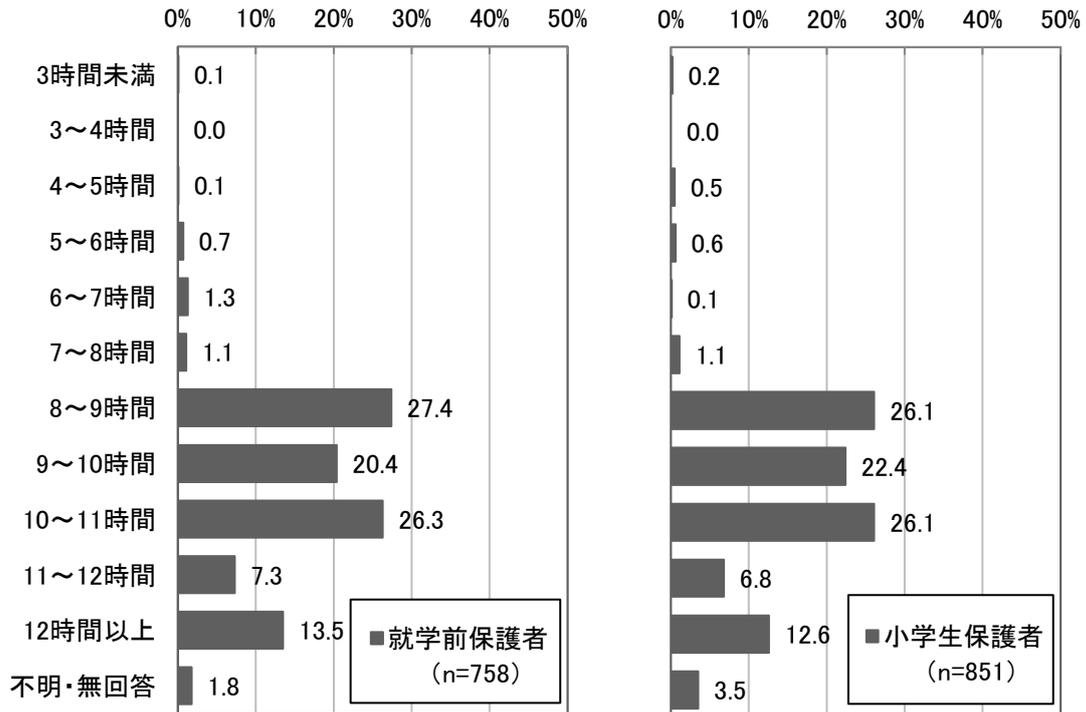
平均就労時間 (1日あたり) [前:問10(2)②、小:問10(2)②] <数量回答>

就学前では、「8～9時間」が27.4%と最も多く、次いで「10～11時間」が26.3%、「9～10時間」が20.4%となっています。

小学生では、「8～9時間」と「10～11時間」が26.1%と最も多く、次いで「9～10時間」が22.4%となっています。

【就学前】

【小学生】



就学前 小学生

◆ (フルタイムもしくはパートタイムで就業している方)

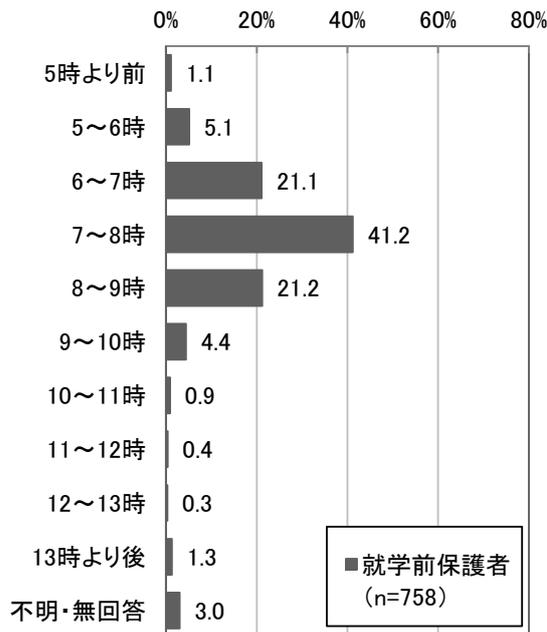
平均的な家を出る時刻[前：問10(2)③、小：問10(2)③] <数量回答>

平日において、就学前では、「7～8時」が41.2%と最も多く、次いで「8～9時」が21.2%、「6～7時」が21.1%となっています。小学生では、「7～8時」が40.4%と最も多く、次いで「6～7時」が26.1%、「8～9時」が15.4%となっています。

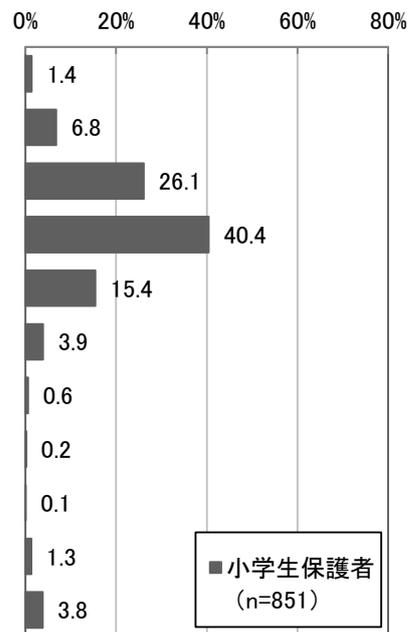
土日祝日において、就学前では、「7～8時」が34.9%、「8～9時」が25.8%となっています。小学生では、「7～8時」が40.0%、「6～7時」が24.3%となっています。

【平日】

●就学前

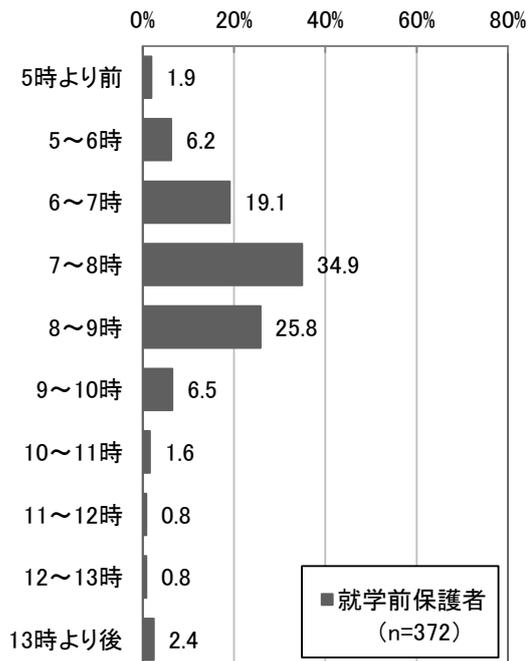


●小学生

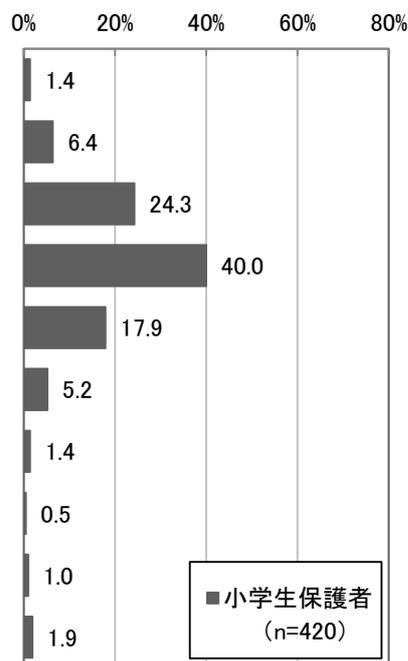


【土日祝日】

●就学前



●小学生



※【土日祝日】については、「不明・無回答」を除いた結果を掲載しています。

就学前 小学生

◆ (フルタイムもしくはパートタイムで就業している方)

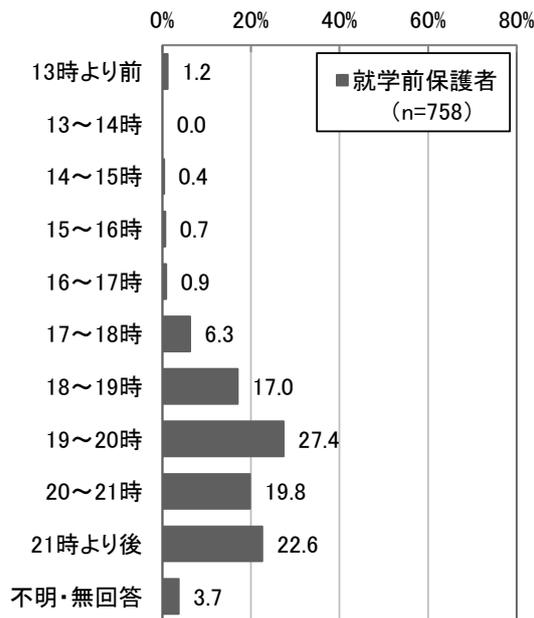
平均的な帰宅時刻[前：問10(2)④、小：問10(2)④] <数量回答>

平日において、就学前では、「19～20時」が27.4%と最も多く、次いで「21時より後」が22.6%、「20～21時」が19.8%となっています。小学生では、「21時より後」が24.9%と最も多く、次いで「19～20時」が22.4%、「20～21時」が22.0%となっています。

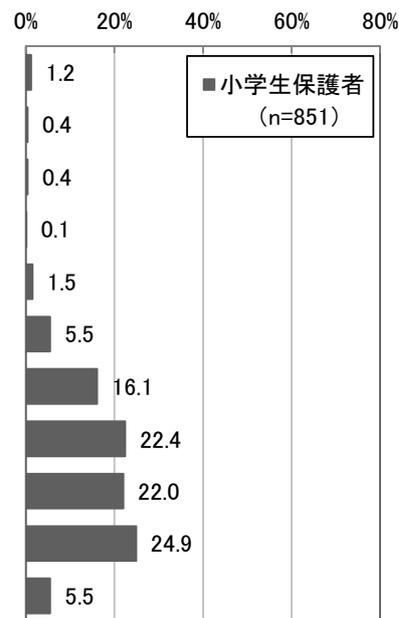
土日祝日において、就学前では、「18～19時」が22.1%、「19～20時」が21.5%となっています。小学生では、「18～19時」が25.5%、「19～20時」が21.2%となっています。

【平日】

●就学前

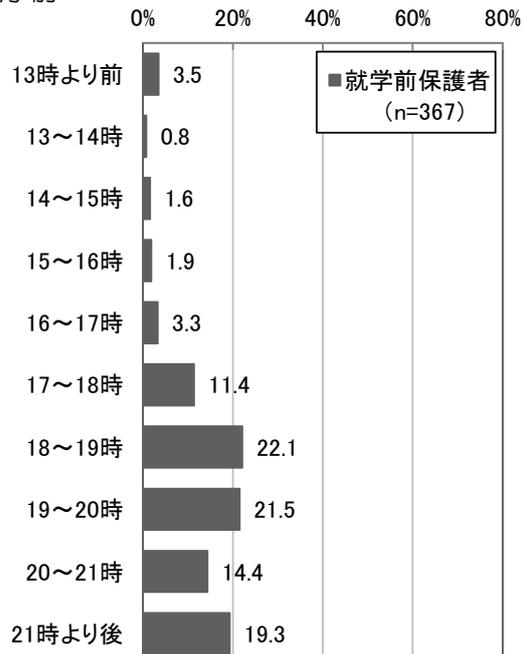


●小学生

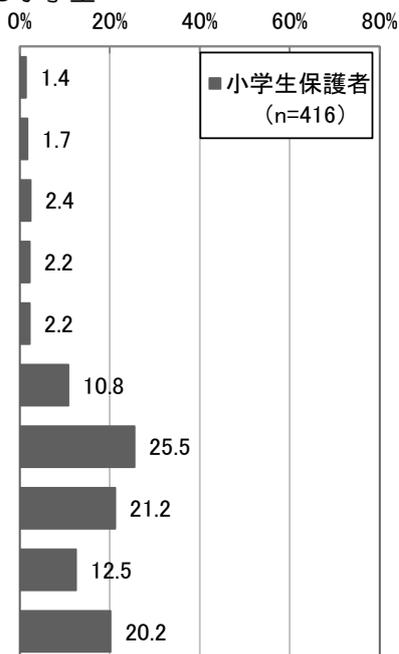


【土日祝日】

●就学前



●小学生



※【土日祝日】については、「不明・無回答」を除いた結果を掲載しています。

就学前 小学生

◆ (パートタイムで就業している方)

フルタイムへの転換希望[前：問10(2)⑤、小：問10(2)⑤] <単数回答>

就学前では、「フルタイム希望で実現できる見込みがある」と「パート・アルバイト等を継続希望」がそれぞれ28.6%(2件)となっています。

小学生では、「フルタイム希望だが実現見込はない」が60.0%(3件)と最も多く、「フルタイム希望で実現できる見込みがある」と「パート・アルバイト等を継続希望」がそれぞれ20.0%(1件)となっています。

上段:件数 下段:%

	見込みがある フルタイム 希望で実現 できる見込 みがある	フルタイム 希望だが実 現見込はな い	パート・ア ルバイト等 を継続希望	子育てや家 事に専念し たい	不明・無回 答
就学前保護者 (n=7)	2件 28.6%	1件 14.3%	2件 28.6%	0件 0.0%	2件 28.6%
小学生保護者 (n=5)	1件 20.0%	3件 60.0%	1件 20.0%	0件 0.0%	0件 0.0%

※特定の選択肢の回答件数および割合が極端に低いため、件数と割合を併記するために表を用いています。

就学前 小学生

◆ (現在は就労をしていない、これまでに就労したことがない方)

今後の就労意向[前：問10(2)⑥、小：問10(2)⑥] <単数回答>

就学前では、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の75.0%(3件)が最も多くなっています。

小学生では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の28.6%(2件)が最も多くなっています。

上段:件数 下段:%

	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1年より先、一番下の子が〇〇歳になったところに就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	不明・無回答
就学前保護者 (n=4)	3件 75.0%	0件 0.0%	0件 0.0%	1件 25.0%
小学生保護者 (n=7)	0件 0.0%	1件(3歳) 14.3%	2件 28.6%	4件 57.1%

※特定の選択肢の回答件数および割合が極端に低いため、件数と割合を併記するために表を用いています。

就学前 小学生

◆ (現在は就労をしていない、これまでに就労したことがない方)

希望する就労形態[前：問10(2)⑦、小：問10(2)⑦] <単数回答>

就学前、小学生ともに「フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)」が最も多く、それぞれ25.0%(1件)、28.6%(2件)となっています。

上段:件数 下段:%

	フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)	パート・アルバイト等	不明・無回答
就学前保護者 (n=4)	1件 25.0%	0件 0.0%	3件 75.0%
小学生保護者 (n=7)	2件 28.6%	0件 0.0%	4件 71.4%

※特定の選択肢の回答件数および割合が極端に低いため、件数と割合を併記するために表を用いています。

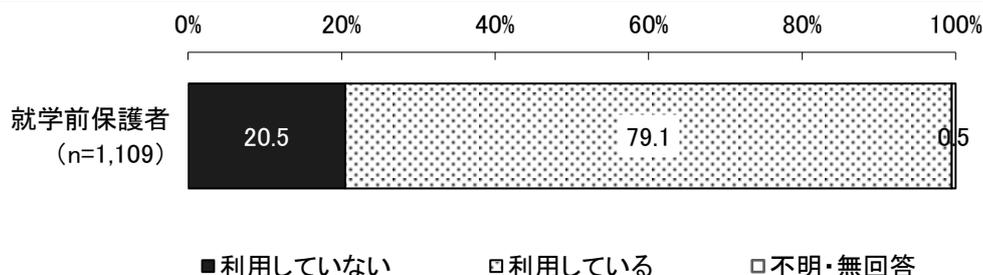
4. 平日の保育園や幼稚園などの利用状況について

※就学前のみ

就学前

◆お子さんは、現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を、年間を通じて定期的に利用していますか[前：問11] <単数回答>

「利用している」が79.1%、「利用していない」が20.5%となっています。



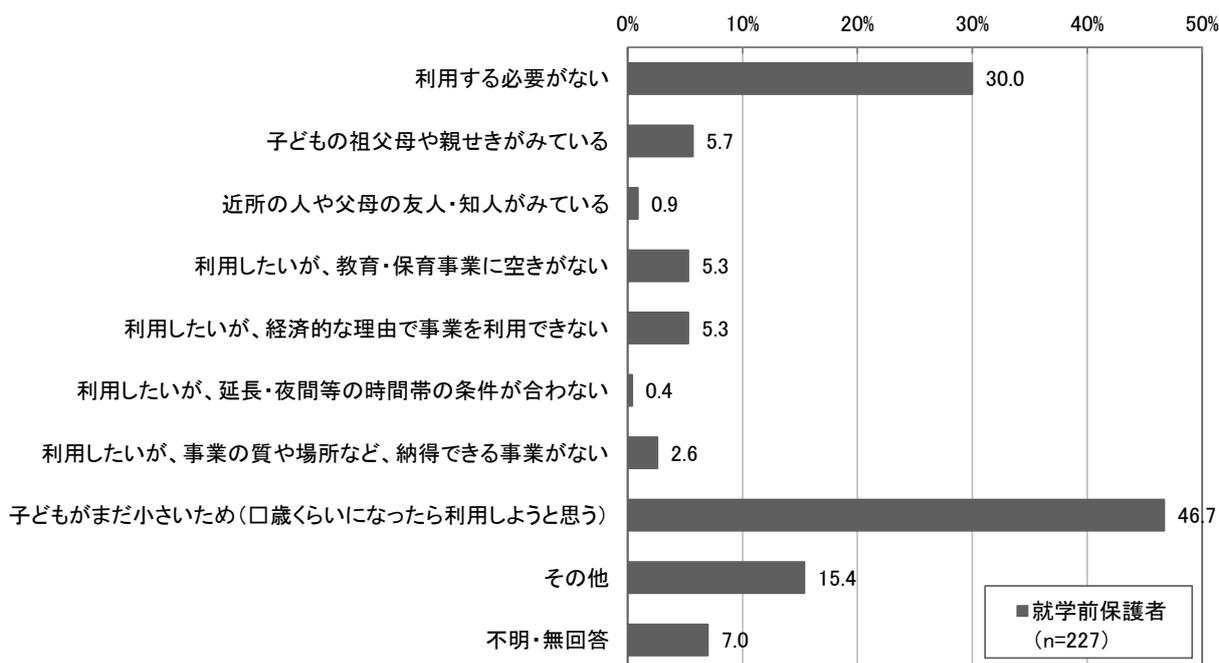
就学前

◆ (定期的な教育・保育事業を「利用していない」と回答した方)

利用していない主な理由は何ですか[前：問12] <複数回答>

「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと思う)」が46.7%と最も高く、次いで「利用する必要がない」が30.0%、「その他」が15.4%となっています。

また、『利用したいが利用できていない』(「利用したいが、教育・保育事業に空きがない」「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」「利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」「利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」の合計) 回答者は計13.6%となっています。



【クロス集計】利用していない主な理由[前：問12]×年齢別、提供区域別

「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと思う）」についてみると、子どもの年齢が上がるにつれて、その割合が減少しています。

一方、「利用する必要がない」は、3歳以上において著しく低くなっています。

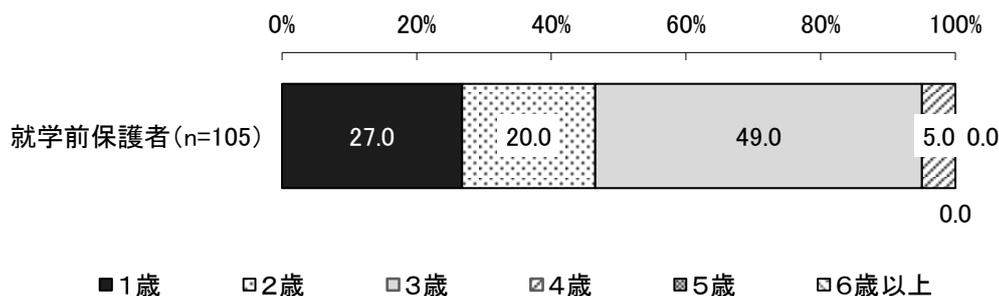
上段:件数 下段:%		問12 利用していない主な理由は何ですか。									
		利用する必要がない	子どもの祖父母や親せきがみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、教育・保育事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと思う）	その他	不明・無回答
全体 (n=227)		68 30.0	13 5.7	2 0.9	12 5.3	12 5.3	1 0.4	6 2.6	106 46.7	35 15.4	16 7.0
★年齢区分	0歳 (n=116)	32 27.6	4 3.4	-	10 8.6	7 6.0	1 0.9	5 4.3	63 54.3	15 12.9	3 2.6
	1・2歳 (n=88)	34 38.6	7 8.0	-	2 2.3	5 5.7	-	1 1.1	39 44.3	17 19.3	1 1.1
	3歳以上 (n=16)	1 6.3	-	1 6.3	-	-	-	-	1 6.3	1 6.3	12 75.0
★提供区域	東区域 (n=36)	13 36.1	1 2.8	-	2 5.6	2 5.6	-	-	10 27.8	11 30.6	2 5.6
	西区域 (n=73)	26 35.6	7 9.6	-	2 2.7	3 4.1	-	3 4.1	32 43.8	8 11.0	7 9.6
	北区域 (n=40)	8 20.0	2 5.0	-	2 5.0	2 5.0	-	-	24 60.0	6 15.0	4 10.0
	中区域 (n=74)	20 27.0	3 4.1	1 1.4	6 8.1	5 6.8	1 1.4	3 4.1	39 52.7	9 12.2	3 4.1

就学前

◆ 「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと思う）」と回答した方

利用を開始したい子どもの年齢[前：問12]〈数量回答〉

「3歳」が49.0%と最も多く、次いで「1歳」が27.0%、「2歳」が20.0%となっています。



前：問 13 から問 16-3 までは、前：問 11 で「2. 利用している」と回答した方

就学前

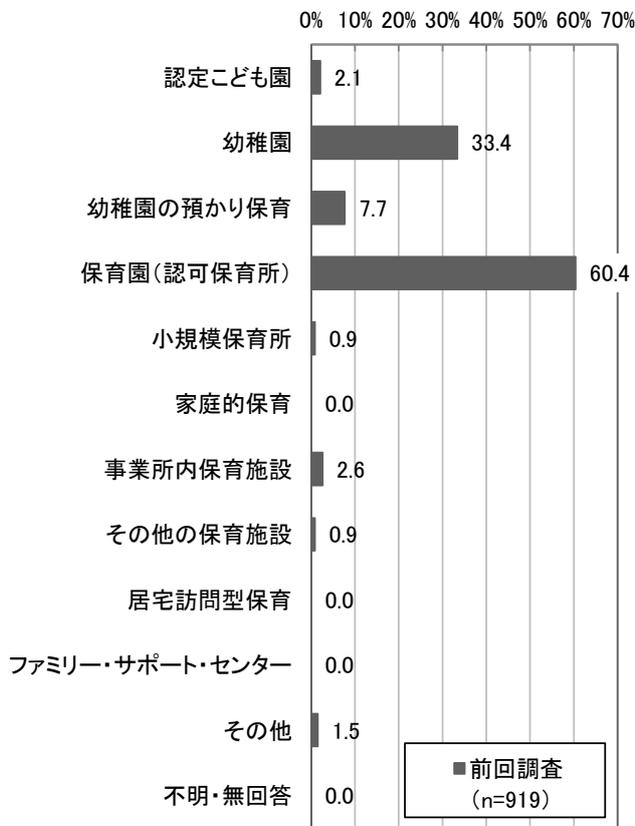
◆お子さんは、年間を通じて平日にどのような教育・保育事業を、定期的にご利用していますか

[前：問 13] <複数回答>

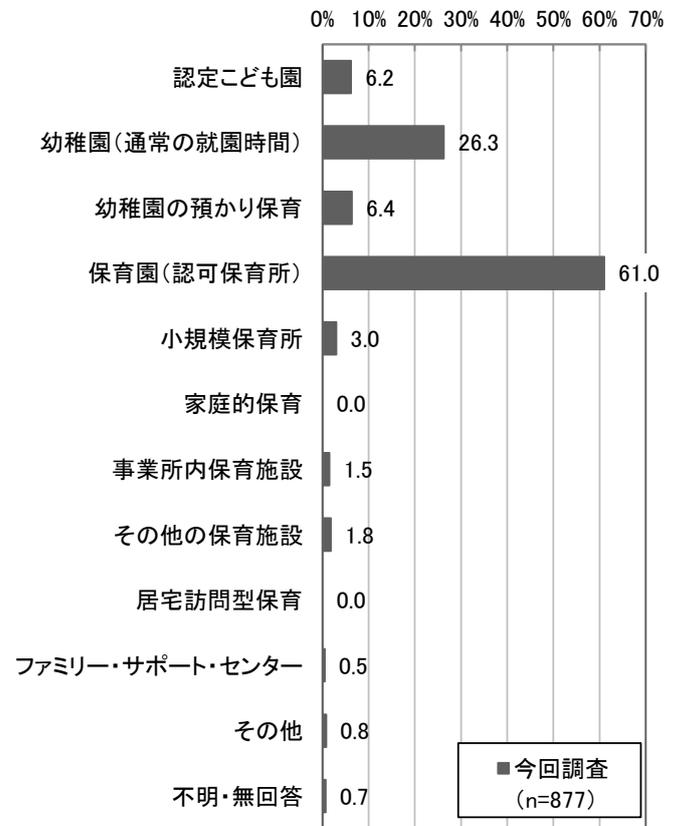
「保育所（認可保育所）」が 61.0%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」が 26.3%、「幼稚園の預かり保育」が 6.4%となっています。

前回調査の結果と比較すると、「幼稚園（通常の就園時間）」が 7.1 ポイント減少し、「認定こども園」が 4.1 ポイント増加しています。

【前回調査結果】



【今回調査結果】



【クロス集計】教育・保育の定期的な利用[前：問13]×

年齢別、提供区域別、保護者の通勤先別

年齢別にみると、「保育園（認可保育所）」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる一方、「幼稚園」については割合が高くなっています。

また、保護者の通勤先が市外の場合、「保育園（認可保育所）」が高くなる一方で「幼稚園」が低くなっています。

さらに、「保育園（認可保育所）」については、前回調査の結果と比較して、0歳においては6.7ポイント高い一方で、1・2歳においては12.4ポイント低くなっています。

上段:件数 下段:%		問13 お子さんは、年間を通じて平日にどのような教育・保育事業を、定期的に利用していますか。											
		認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	(認可保育所)	小規模保育所	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	不明・無回答
全体(n=877)		54 6.2	231 26.3	56 6.4	535 61.0	26 3.0	-	13 1.5	16 1.8	-	4 0.5	7 0.8	6 0.7
★年齢区分	0歳 (n=27)	2 7.4	1 3.7	-	18 66.7	3 11.1	-	-	-	-	-	-	3 11.1
	1・2歳 (n=180)	8 4.4	22 12.2	2 1.1	113 62.8	20 11.1	-	8 4.4	10 5.6	-	3 1.7	2 1.1	1 0.6
	3歳以上 (n=645)	43 6.7	201 31.2	52 8.1	391 60.6	1 0.2	-	4 0.6	5 0.8	-	1 0.2	5 0.8	2 0.3
★提供区域	東区域 (n=114)	2 1.8	35 30.7	7 6.1	74 64.9	3 2.6	-	1 0.9	1 0.9	-	1 0.9	2 1.8	-
	西区域 (n=306)	5 1.6	83 27.1	13 4.2	199 65.0	6 2.0	-	4 1.3	7 2.3	-	1 0.3	4 1.3	4 1.3
	北区域 (n=184)	36 19.6	43 23.4	13 7.1	97 52.7	3 1.6	-	3 1.6	3 1.6	-	-	1 0.5	-
	中区域 (n=260)	10 3.8	67 25.8	22 8.5	158 60.8	13 5.0	-	4 1.5	5 1.9	-	2 0.8	-	2 0.8
★保護者の通勤先	市内 (n=469)	23 4.9	115 24.5	29 6.2	298 63.5	14 3.0	-	10 2.1	9 1.9	-	2 0.4	7 1.5	2 0.4
	市外 (n=306)	18 5.9	46 15.0	19 6.2	220 71.9	10 3.3	-	3 1.0	6 2.0	-	2 0.7	-	4 1.3

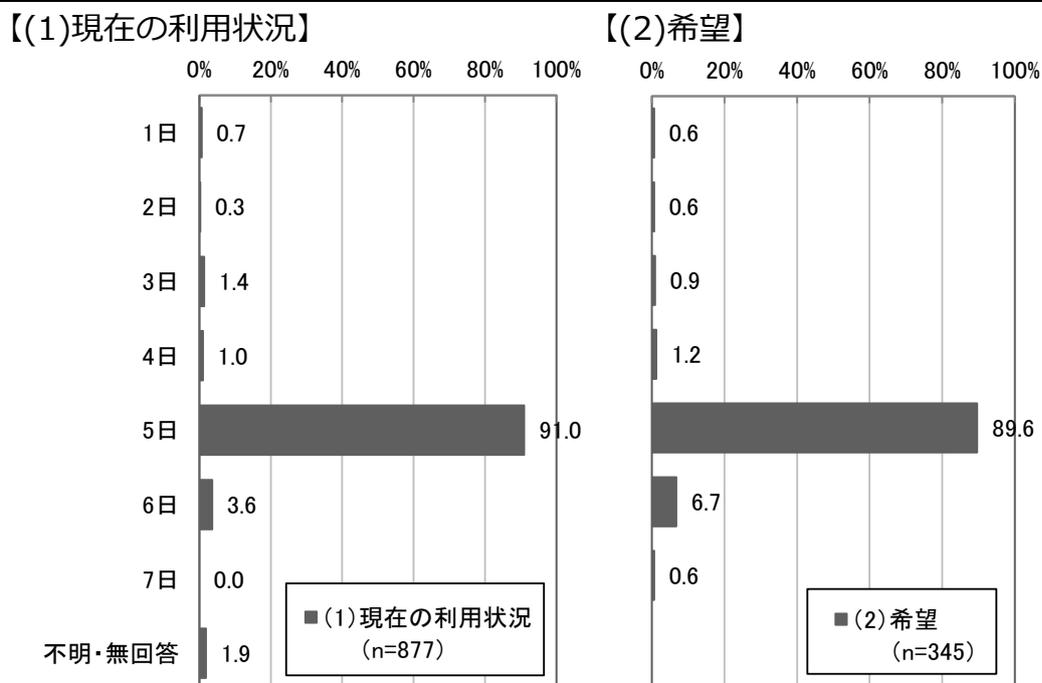
【前回調査との比較】

上段:件数 下段:%		教育・保育の定期的な利用												
		認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	(認可保育所)	小規模保育所	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	不明・無回答	
★年齢区分	0歳	前回(n=5)	20.0	-	-	60.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-
		今回(n=27)	7.4	3.7	-	66.7	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1
	1・2歳	前回(n=121)	3.3	5.0	-	75.2	5.0	-	11.6	2.5	-	-	0.8	-
		今回(n=180)	4.4	12.2	1.1	62.8	11.1	-	4.4	5.6	-	1.7	1.1	0.6
	3歳以上	前回(n=754)	1.7	37.8	8.8	58.4	0.1	-	1.2	0.7	-	-	1.6	-
		今回(n=645)	6.7	31.2	8.1	60.6	0.2	-	0.6	0.8	-	0.2	0.8	0.3

◆主に利用している事業（1つ）の週当たりの利用日数

(1)現在の利用状況と(2)希望[前：問14(1)、(2)]〈数量回答〉

現在の利用状況では、「5日」が91.0%と最も多く、希望でも89.6%と「5日」が最も多くなっています。



※【(2)希望】では、不明・無回答を除いて割合を算出しています。

就学前

◆主に利用している事業の1日当たりの利用時間

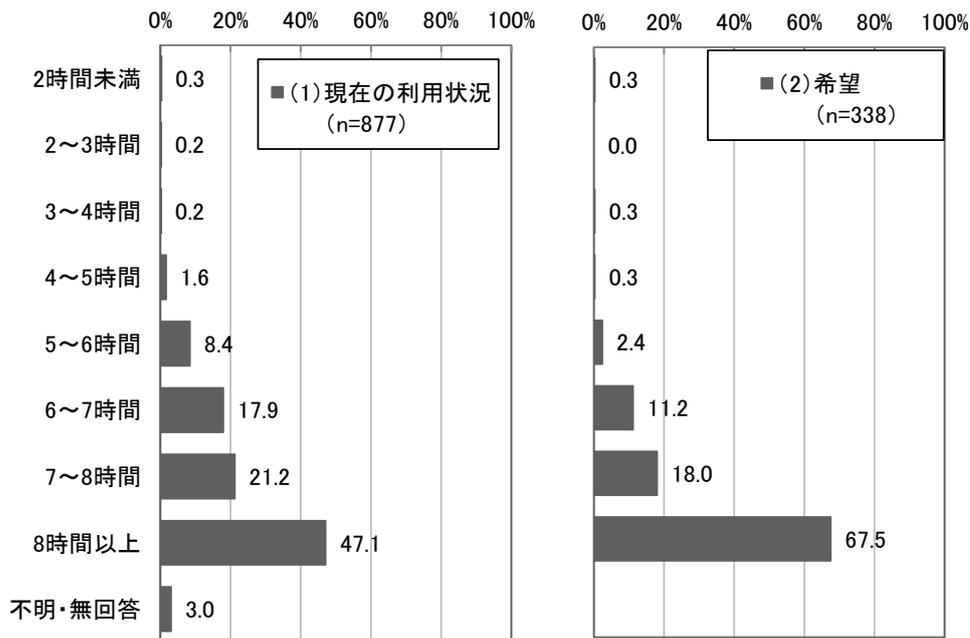
(1)現在の利用状況と(2)希望[前：問14 (1)、(2)] <数量回答>

(1) 現在の利用状況では、「8時間以上」が47.1%と最も多く、次いで「7～8時間」が21.2%、「6～7時間」が17.9%となっています。

(2) 希望では、「8時間以上」が67.5%と最も多く、次いで「7～8時間」が18.0%、「6～7時間」が11.2%となっています。

【(1)現在の利用状況】

【(2)希望】



※【(2)希望】では、不明・無回答を除いて割合を算出しています。

就学前

◆主に利用している事業の開始時刻（24 時間制）

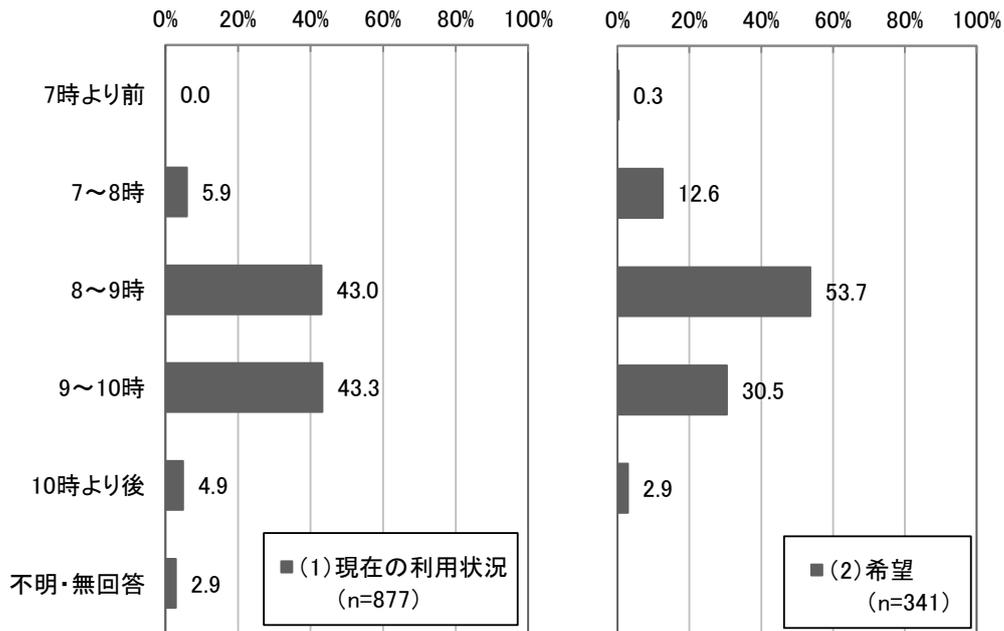
(1)現在の利用状況と(2)希望[前：問 14 (1)、(2)] <数量回答>

(1) 現在の利用状況では、「9～10時」が43.3%と最も多く、次いで「8～9時」が43.0%、「7～8時」が5.9%となっています。

(2) 希望では、「8～9時」が53.7%と最も多く、次いで「9～10時」が30.5%、「7～8時」が12.6%となっています。

【(1)現在の利用状況】

【(2)希望】



※【(2)希望】では、不明・無回答を除いて割合を算出しています。

就学前

◆主に利用している事業の終了時刻（24 時間制）

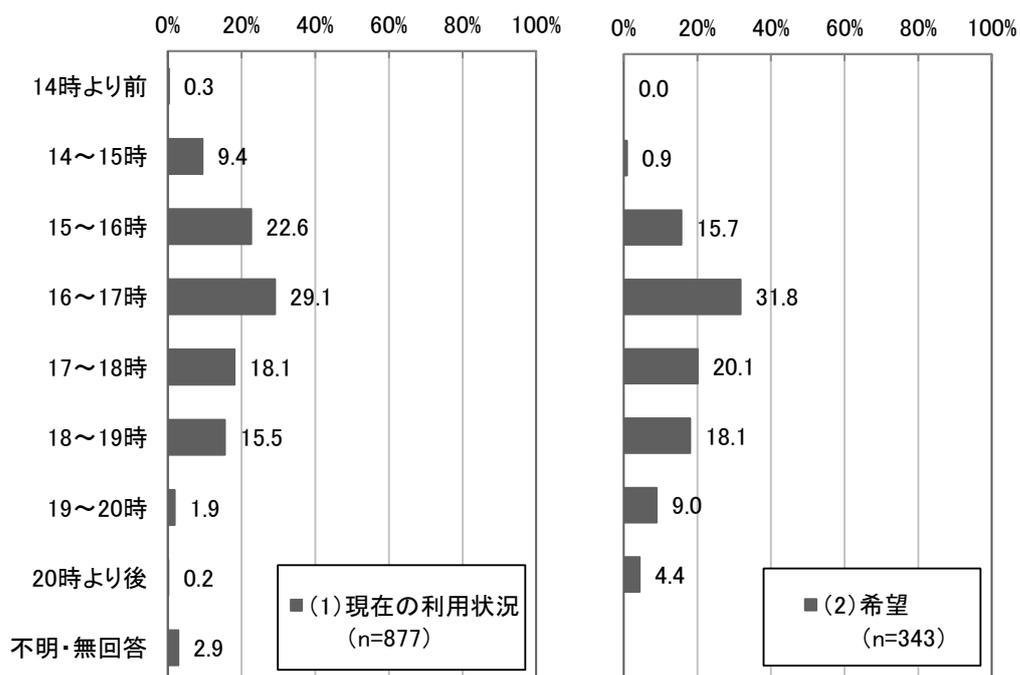
(1)現在の利用状況と(2)希望[前：問14 (1)、(2)] <数量回答>

(1) 現在の利用状況では、「16～17 時」が 29.1%と最も多く、次いで「15～16 時」が 22.6%、「17～18 時」が 18.1%となっています。

(2) 希望では、「16～17 時」が 31.8%と最も多く、次いで「17～18 時」が 20.1%、「18～19 時」が 18.1%となっています。

【(1)現在の利用状況】

【(2)希望】



※【(2) 希望】では、不明・無回答を除いて割合を算出しています。

就学前

◆主な利用事業の実施場所をお答えください[前：問15] <単数回答>

「一宮市内」が 96.4%、「一宮市外」が 1.1%となっています。



就学前

◆現在、利用している・していないにかかわらず、(1)定期的に利用したいと思う事業と、(2)もし利用料が無償化されたら、定期的に利用したい事業についてお聞きます。

(1)と(2)の場合で、それぞれお子さんの年齢ごとに希望する事業をご記入ください

[前：問17] <複数回答>

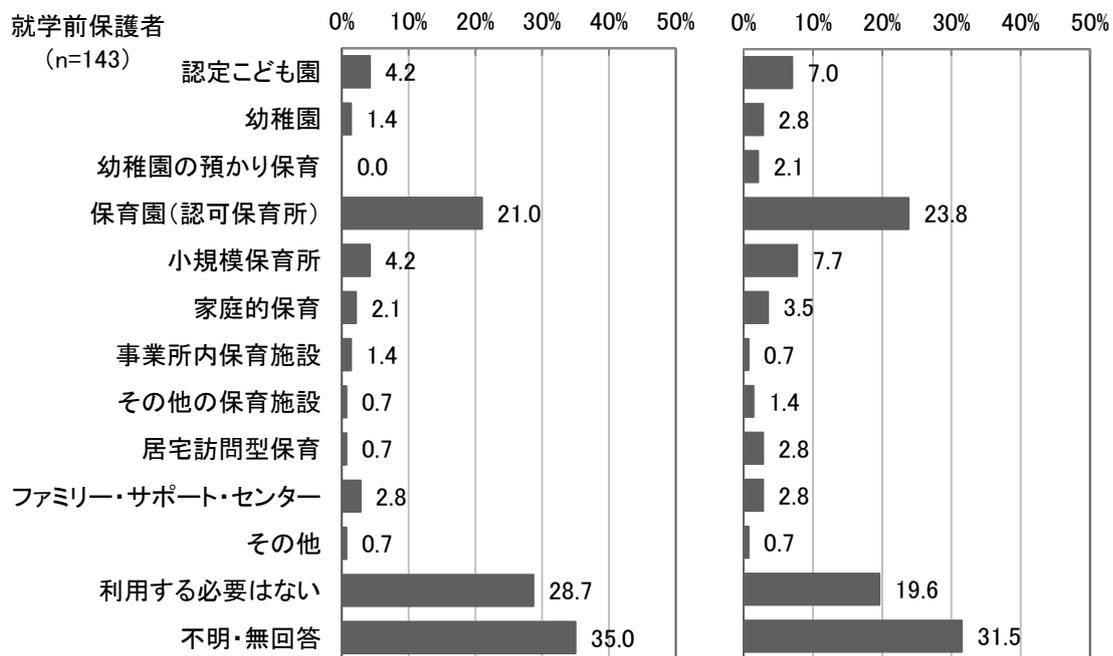
(1)定期的に利用したい事業では、「利用する必要はない」が28.7%と最も多く、次いで「保育園(認可保育所)」が21.0%、「認定こども園」と「小規模保育所」が4.2%となっています。

(2)利用料が無償化されたら利用したい事業では、「保育園(認可保育所)」が23.8%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が19.6%、「小規模保育所」が7.7%となっています。

【0歳の時(0歳児の保護者のみ回答)】

(1)定期的に利用したいと思う事業

(2)利用料が無償化されたら利用したい事業



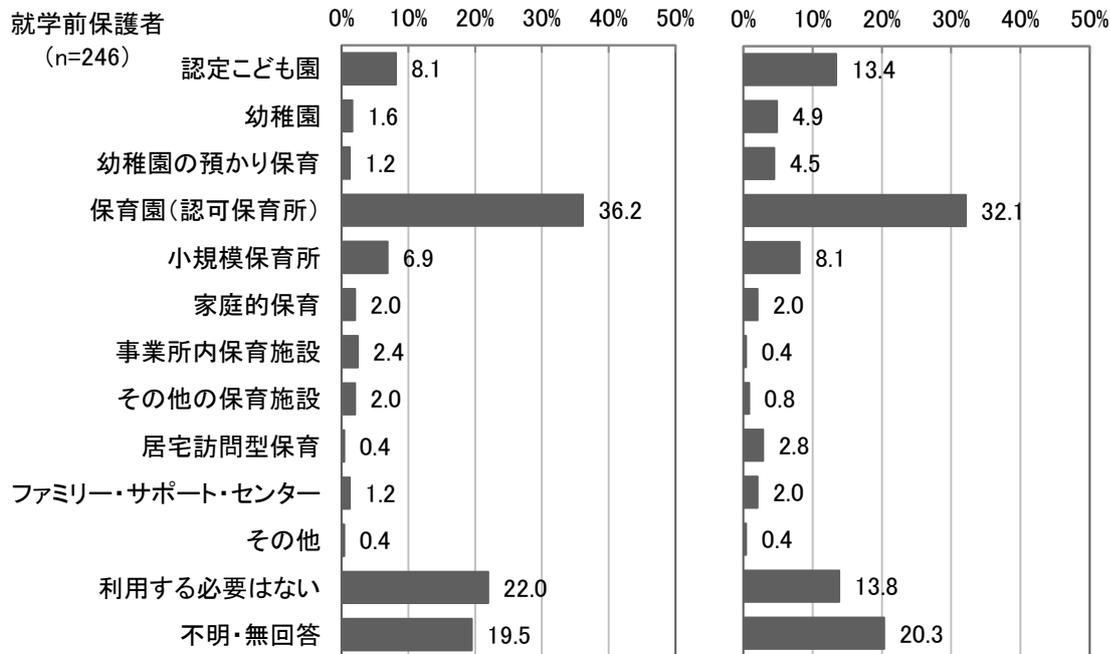
(1) 定期的に利用したい事業では、「保育園（認可保育所）」が36.2%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が22.0%、「認定こども園」が8.1%となっています。

(2) 利用料が無償化されたら利用したい事業では、「保育園（認可保育所）」が32.1%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が13.8%、「認定こども園」が13.4%となっています。

【1歳の時（0～1歳児の保護者のみ回答）】

(1) 定期的に利用したいと思う事業

(2) 利用料が無償化されたら利用したい事業



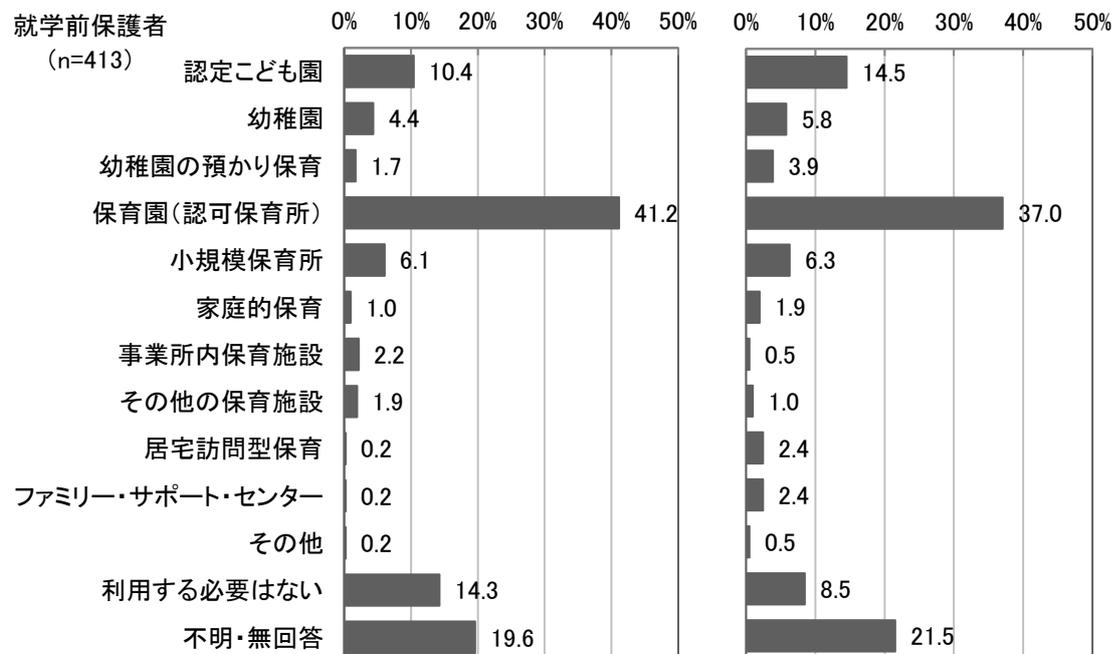
(1) 定期的に利用したい事業では、「保育園（認可保育所）」が41.2%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が14.3%、「認定こども園」が10.4%となっています。

(2) 利用料が無償化されたら利用したい事業では、「保育園（認可保育所）」が37.0%と最も多く、次いで「認定こども園」が14.5%、「利用する必要はない」が8.5%となっています。

【2歳の時（0～2歳児の保護者のみ回答）】

(1) 定期的に利用したいと思う事業

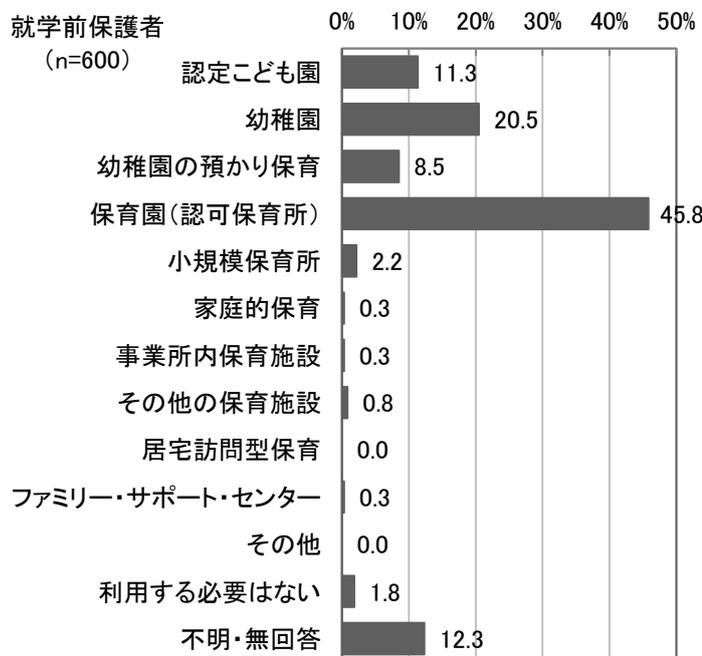
(2) 利用料が無償化されたら利用したい事業



(1) 定期的に利用したい事業では、「保育園（認可保育所）」が45.8%と最も多く、次いで「幼稚園」が20.5%、「認定こども園」が11.3%となっています。

【3歳の時（0～3歳児の保護者のみ回答）】

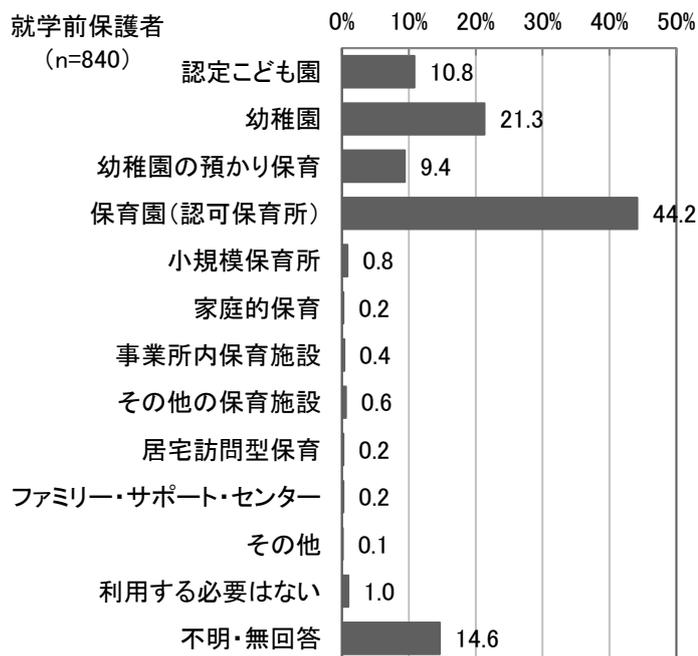
(1) 定期的に利用したいと思う事業



(1) 定期的に利用したい事業では、「保育園（認可保育所）」が44.2%と最も多く、次いで「幼稚園」が21.3%、「認定こども園」が10.8%となっています。

【4歳の時（0～4歳児以上の保護者のみ回答）】

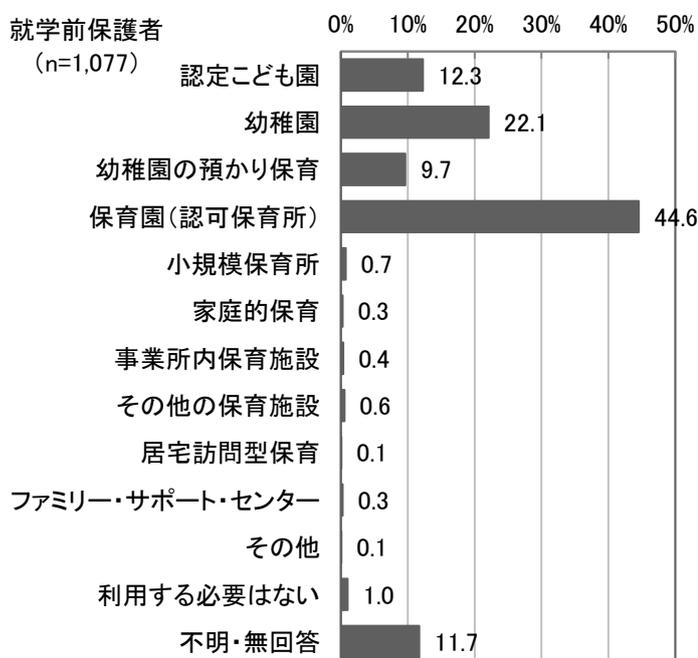
(1) 定期的に利用したいと思う事業



(1) 定期的に利用したい事業では、「保育園（認可保育所）」が44.6%と最も多く、次いで「幼稚園」が22.1%、「認定こども園」が12.3%となっています。

【5歳の時（0～5歳児の保護者が回答）】

(1) 定期的に利用したいと思う事業



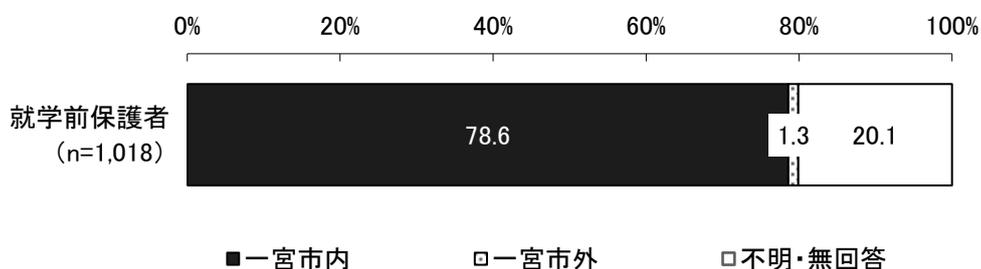
就学前

◆（今後、「1. 認定こども園」から「11.その他」のいずれかを利用したいと回答した方）

主に利用したい教育・保育事業1つについて、実施場所をお答えください

[前：問17-1] <単数回答>

「一宮市内」が78.6%、「一宮市外」が1.3%となっています。



就学前

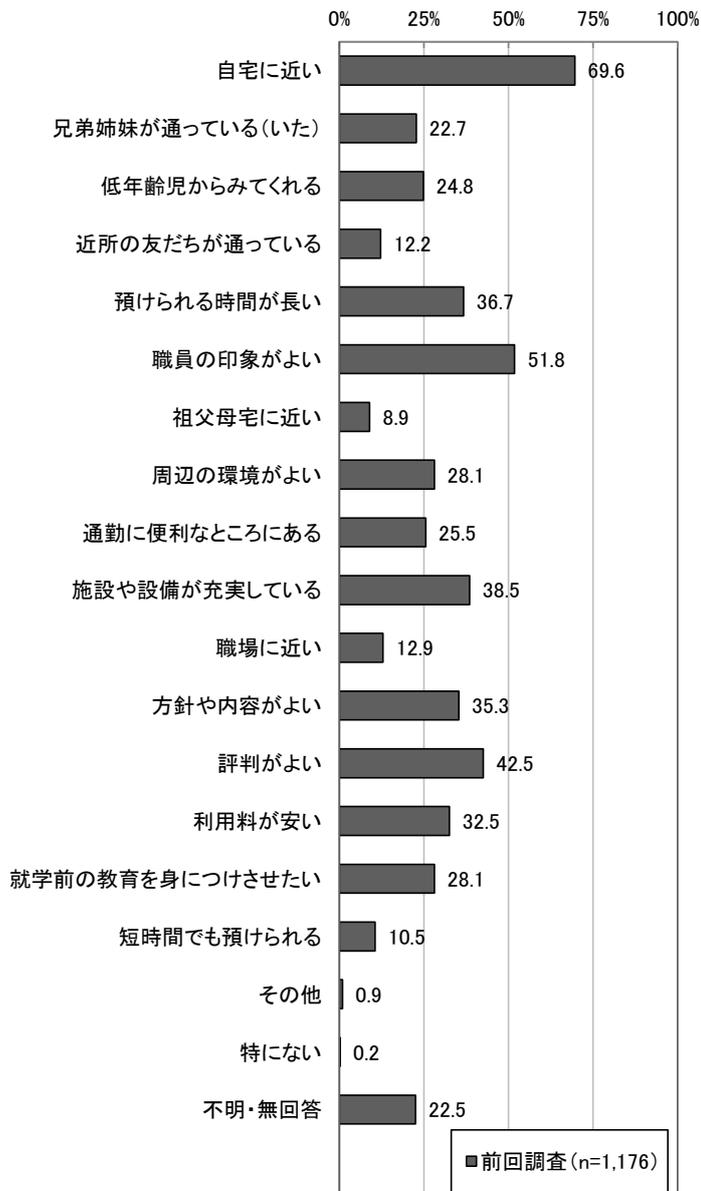
◆ (今後、「1. 認定こども園」から「11.その他」のいずれかを利用したいと回答した方)

施設・サービスを選ぶとき、どのような点を重視しますか[前：問 17-2] <複数回答>

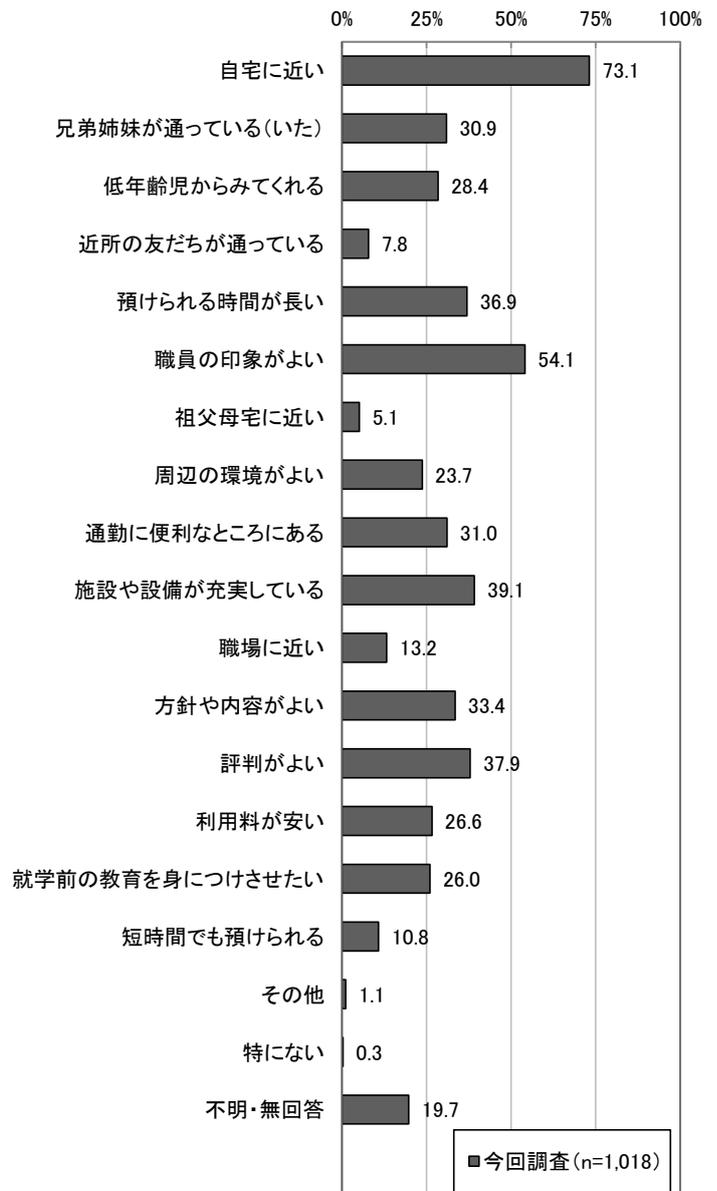
「自宅に近い」が 73.1%と最も多く、次いで「職員の印象がよい」が 54.1%、「施設や設備が充実している」が 39.1%となっています。

前回調査の結果と比較すると、「兄弟姉妹が通っている(いた)」と「通勤に便利なところにある」がそれぞれ 8.2 ポイント、5.5 ポイント高くなっています。就労希望の高まりを背景に、施設・サービスを選ぶときに重視される点に変化していることがうかがえます。

【前回調査結果】



【今回調査結果】



【クロス集計】施設・サービスを選ぶとき、重視する…[前：問17-2]×年齢別、提供区域別

年齢にかかわらず、「自宅に近い」点を最も重視し、次に「職員の印象がよい」点を重視しています。また、年齢別にみると、0歳では「通勤に便利などところにある」「施設や設備が充実している」が全体より10ポイント以上高くなっています。

上段:件数 下段:%		問17-2 施設・サービスを選ぶとき、どのような点を重視しますか。									
		自宅に近い	兄弟姉妹が通っている(いた)	低年齢児がらみてくれる	近所の友だちが通っている	預けられる時間が長い	職員の印象がよい	祖父母宅に近い	周辺環境がよい	通勤に便利などところにある	施設や設備が充実している
全体	(n=1,018)	744 73.1	315 30.9	289 28.4	79 7.8	376 36.9	551 54.1	52 5.1	241 23.7	316 31.0	398 39.1
★年齢区分	0歳 (n=130)	96 73.8	22 16.9	44 33.8	8 6.2	53 40.8	80 61.5	10 7.7	38 29.2	59 45.4	65 50.0
	1・2歳 (n=246)	187 76.0	56 22.8	75 30.5	18 7.3	101 41.1	143 58.1	12 4.9	69 28.0	89 36.2	115 46.7
	3歳以上 (n=615)	444 72.2	230 37.4	163 26.5	53 8.6	211 34.3	314 51.1	30 4.9	125 20.3	158 25.7	210 34.1
★提供区域	東区域 (n=140)	101 72.1	51 36.4	37 26.4	12 8.6	50 35.7	78 55.7	7 5.0	23 16.4	39 27.9	53 37.9
	西区域 (n=348)	248 71.3	96 27.6	104 29.9	26 7.5	117 33.6	173 49.7	17 4.9	89 25.6	105 30.2	127 36.5
	北区域 (n=215)	163 75.8	75 34.9	72 33.5	21 9.8	87 40.5	117 54.4	19 8.8	49 22.8	64 29.8	87 40.5
	中区域 (n=301)	224 74.4	92 30.6	76 25.2	19 6.3	117 38.9	177 58.8	9 3.0	76 25.2	103 34.2	128 42.5

上段:件数 下段:%		問17-2 施設・サービスを選ぶとき、どのような点を重視しますか。								
		職場に近い	方針や内容がよい	評判がよい	利用料が安い	就学前の教育を身につけさせたい	短時間でも預けられる	その他	特になし	不明・無回答
全体	(n=1,018)	134 13.2	340 33.4	386 37.9	271 26.6	265 26.0	110 10.8	11 1.1	3 0.3	201 19.7
★年齢区分	0歳 (n=130)	30 23.1	53 40.8	59 45.4	42 32.3	32 24.6	15 11.5	1 0.8	-	23 17.7
	1・2歳 (n=246)	31 12.6	102 41.5	108 43.9	70 28.5	70 28.5	18 7.3	5 2.0	-	40 16.3
	3歳以上 (n=615)	69 11.2	180 29.3	211 34.3	154 25.0	158 25.7	74 12.0	5 0.8	3 0.5	131 21.3
★提供区域	東区域 (n=140)	17 12.1	44 31.4	54 38.6	41 29.3	26 18.6	10 7.1	1 0.7	1 0.7	26 18.6
	西区域 (n=348)	43 12.4	104 29.9	122 35.1	95 27.3	75 21.6	36 10.3	4 1.1	2 0.6	79 22.7
	北区域 (n=215)	30 14.0	70 32.6	80 37.2	52 24.2	73 34.0	28 13.0	1 0.5	-	35 16.3
	中区域 (n=301)	42 14.0	119 39.5	127 42.2	80 26.6	90 29.9	36 12.0	5 1.7	-	56 18.6

就学前

- ◆（今後、「2. 幼稚園（通常の就園時間）」か「3. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かるサービス）」のいずれかを利用したいと回答し、かつ、それ以外の事業も併せて利用したいと回答した方）

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか[前：問18] <単数回答>

「はい」（利用を強く希望する）が80.3%、「いいえ」（強い利用希望はない）が19.7%となっています。

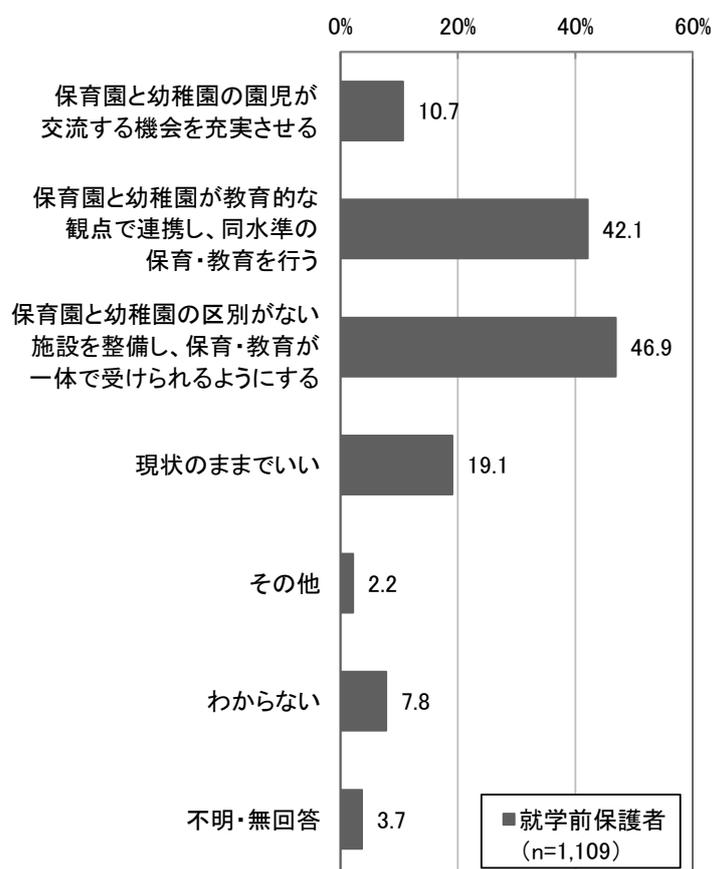


就学前

- ◆あなたは、保育園と幼稚園が今後どのような関係になることが望ましいと思いますか

[前：問19] <複数回答>

「保育園と幼稚園の区別がない施設を整備し、保育・教育が一体で受けられるようにする」が46.9%と最も多く、次いで「保育園と幼稚園が教育的な観点で連携し、同水準の保育・教育を行う」が42.1%、「現状のままでいい」が19.1%となっています。



【クロス集計】保育園と幼稚園の望ましい関係[前：問19]×年齢別、提供区域別

「保育園と幼稚園が教育的な観点で連携し、同水準の保育・教育を行う」については、子どもの年齢が0歳の保護者において比較的高くなっており、年齢が上がるにしたがって、その割合は低くなっています。

上段:件数 下段:%		問19 あなたは、保育園と幼稚園が今後どのような関係になることが望ましいと思いますか。						
		保育園と幼稚園の園児が交流する機会を充実させる	保育園と幼稚園が教育的な観点で連携し、同水準の保育・教育を行う	保育園と幼稚園の区別がない施設を整備し、保育・教育が一体で受けられるようにする	現状のままがいい	その他	わからない	不明・無回答
全体(n=1,109)		119 10.7	467 42.1	520 46.9	212 19.1	24 2.2	86 7.8	41 3.7
★年齢区分	0歳 (n=143)	14 9.8	68 47.6	65 45.5	19 13.3	2 1.4	11 7.7	9 6.3
	1・2歳 (n=270)	24 8.9	117 43.3	140 51.9	42 15.6	8 3.0	22 8.1	12 4.4
	3歳以上 (n=664)	78 11.7	268 40.4	301 45.3	144 21.7	14 2.1	51 7.7	17 2.6
★提供区域	東区域 (n=151)	16 10.6	64 42.4	78 51.7	33 21.9	2 1.3	8 5.3	4 2.6
	西区域 (n=380)	50 13.2	167 43.9	180 47.4	71 18.7	7 1.8	34 8.9	10 2.6
	北区域 (n=225)	22 9.8	89 39.6	95 42.2	47 20.9	4 1.8	18 8.0	7 3.1
	中区域 (n=336)	28 8.3	138 41.1	158 47.0	59 17.6	11 3.3	26 7.7	18 5.4

5. 病児・病後児保育について

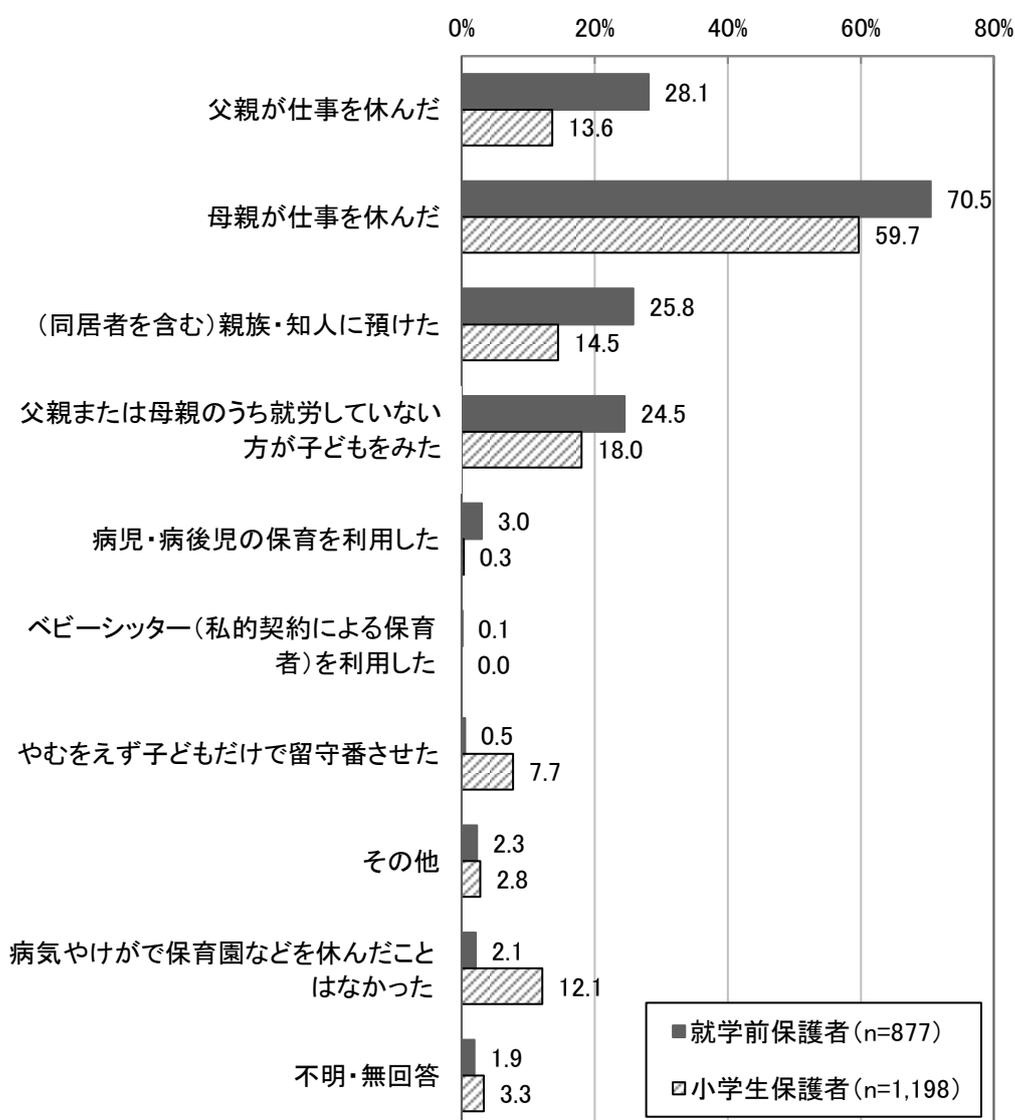
※就学前は、定期的な教育・保育事業を「2. 利用している」と回答した方のみ

就学前 小学生

◆この1年間に、お子さんが病気で保育園や学校などを休んだことがありましたか。そのときの対処法などをお答えください[前：問16、小：問14]〈複数回答〉

就学前では、「母親が仕事を休んだ」が70.5%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が28.1%、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が25.8%となっています。

小学生では、「母親が仕事を休んだ」が59.7%と最も多く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が18.0%、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が14.5%となっています。



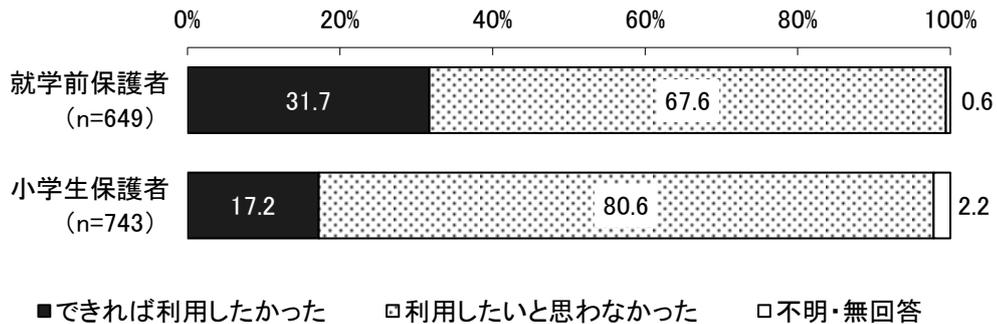
就学前 小学生

◆ (お子さんが病気の際、「父親が仕事を休んだ」または「母親が仕事を休んだ」と回答した方)

その際、「病児・病後児保育を利用したい」と思いましたか[前：問16-1、小：問14-1] <単数回答>

就学前では、「利用したいと思わなかった」が67.6%、「できれば利用したかった」が31.7%となっています。

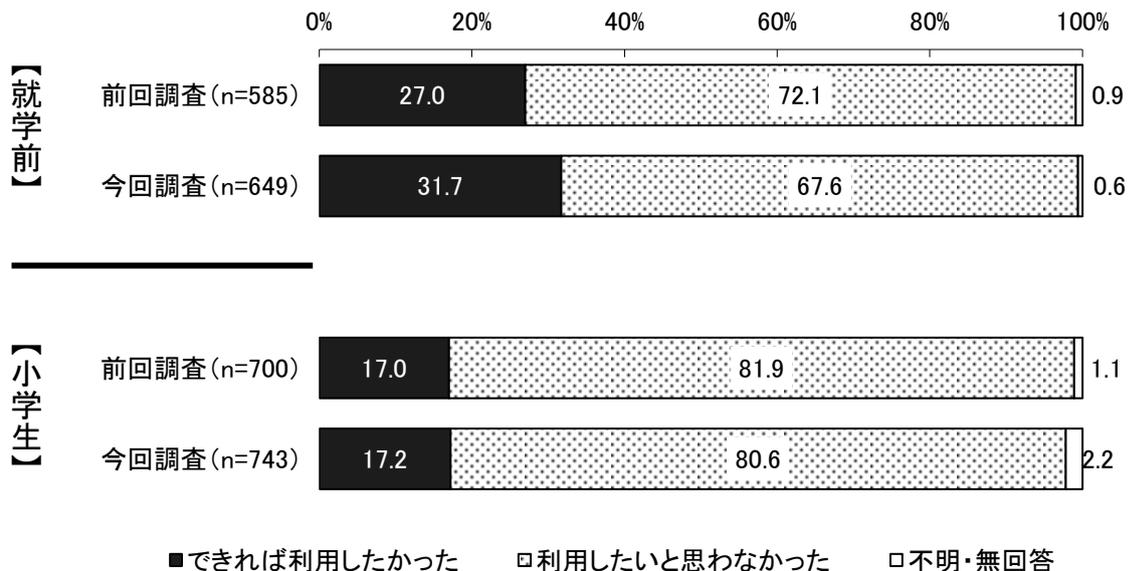
小学生では、「利用したいと思わなかった」が80.6%、「できれば利用したかった」が17.2%となっています。



【前回調査との比較】病児・病後児保育の利用希望の有無[前：問16-1、小：問14-1]

前回調査の結果と比較すると、就学前では、「できれば利用したかった」が4.7ポイント高くなっています。一方の小学生では、「できれば利用したかった」がほぼ同じ割合となっており、大きな変化はうかがえません。

就学前において、病児・病後児保育への認知度が高まっていることがうかがえます。



【クロス集計】病児・病後児保育の利用希望の有無[前：問16-1、小：問14-1]×

年齢（学年）別、提供区域別、母親の就労状況別

「できれば利用したかった」についてみると、就学前において1・2歳が比較的高くなっており、小学生においては、大きな差異はみられません。

また、母親の就労状況別にみると、就学前で、かつフルタイムで働いている母親の利用希望が高くなっていることがうかがえます。

【就学前】

上段:件数 下段:%		問16-1 その際、「病児・病後児保育を利用したい」と思いましたか。		
		できれば利用したかった	利用したいと思わなかった	不明・無回答
全体 (n=649)		206 31.7	439 67.6	4 0.6
★年齢区分	0歳 (n=20)	5 25.0	15 75.0	- -
	1・2歳 (n=146)	58 39.7	88 60.3	- -
	3歳以上 (n=464)	136 29.3	324 69.8	4 0.9
★提供区域	東区域 (n=85)	23 27.1	61 71.8	1 1.2
	西区域 (n=229)	77 33.6	150 65.5	2 0.9
	北区域 (n=131)	40 30.5	91 69.5	- -
	中区域 (n=193)	63 32.6	129 66.8	1 0.5
★母親の就労状況	フルタイムで働いている (n=193)	77 39.9	115 59.6	1 0.5
	フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中 (n=27)	8 29.6	19 70.4	- -
	パート・アルバイト等で働いている (n=217)	50 23.0	165 76.0	2 0.9
	パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中 (n=6)	1 16.7	5 83.3	- -
	現在は仕事をしていない (n=16)	1 6.3	14 87.5	1 6.3

【小学生】

上段:件数 下段:%		問14-1 その際、「病児・病後児保育を利用したい」と思いましたか。		
		できれば利用したかった	利用したいと思わなかった	不明・無回答
全体 (n=743)		128 17.2	599 80.6	16 2.2
★学年区分	低学年 (n=315)	67 21.3	238 75.6	10 3.2
	高学年 (n=413)	59 14.3	348 84.3	6 1.5
★提供区域	東区域 (n=107)	20 18.7	83 77.6	4 3.7
	西区域 (n=245)	43 17.6	195 79.6	7 2.9
	北区域 (n=157)	22 14.0	132 84.1	3 1.9
	中区域 (n=221)	43 19.5	177 80.1	1 0.5
★母親の就労状況	フルタイムで働いている (n=182)	39 21.4	140 76.9	3 1.6
	フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中 (n=7)	4 57.1	3 42.9	- -
	パート・アルバイト等で働いている (n=372)	53 14.2	314 84.4	5 1.3
	パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中 (n=2)	1 50.0	1 50.0	- -
	現在は仕事をしていない (n=23)	5 21.7	17 73.9	1 4.3

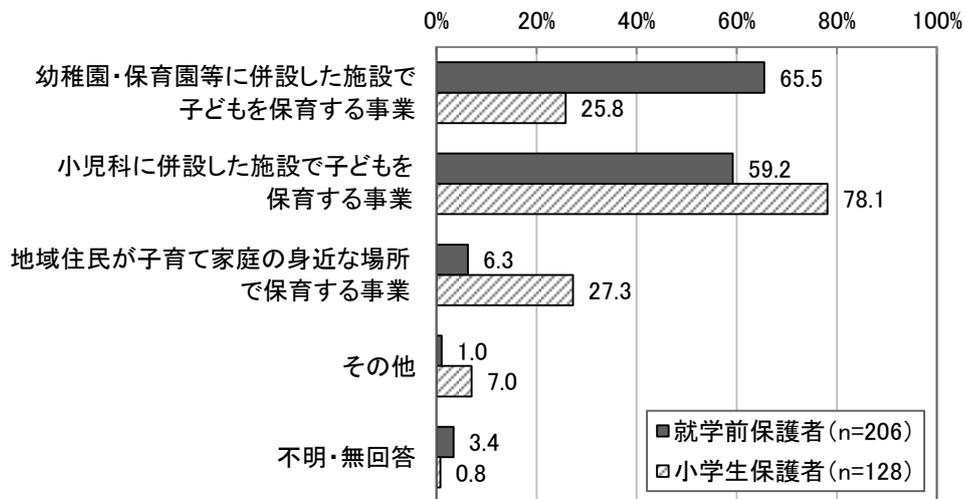
就学前 小学生

◆ (病児・病後児保育を「1. できれば利用したかった」と回答した方)

あなたにとって病児・病後児保育の望ましい形態はどれですか[前：問16-2、小：問14-2] <複数回答>

就学前では、「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が65.5%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が59.2%、「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業」が6.3%となっています。

小学生では、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が78.1%と最も多く、次いで「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が25.8%、「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業」が27.3%となっています。



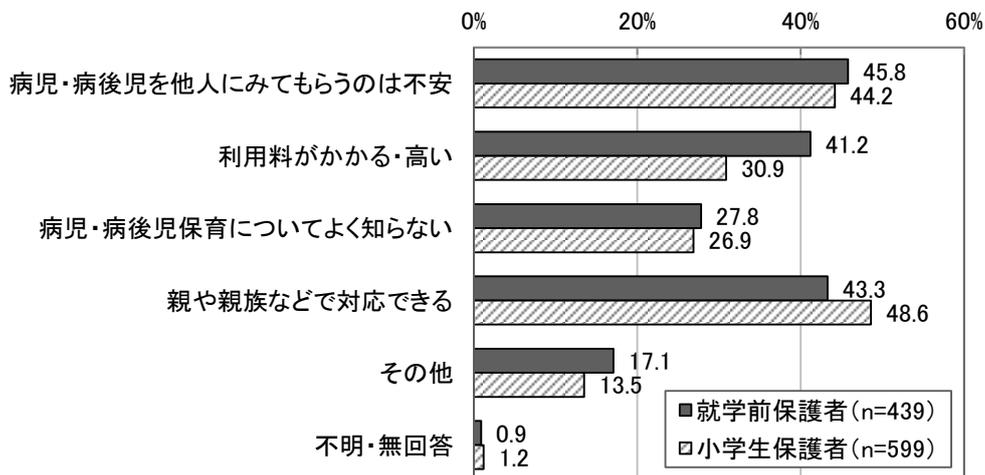
就学前 小学生

◆ (病児・病後児保育を「2. 利用したいと思わなかった」と回答した方)

病児・病後児保育を利用したいと思わなかったという理由は何ですか[前：問16-3、小：問14-3] <複数回答>

就学前では、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が45.8%と最も多く、次いで「親や親族などで対応できる」が43.3%、「利用料がかかる・高い」が41.2%となっています。

小学生では、「親や親族などで対応できる」が48.6%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が44.2%、「利用料がかかる・高い」が30.9%となっています。



6. 宛名のお子さんの一時預かりについて

就学前 小学生

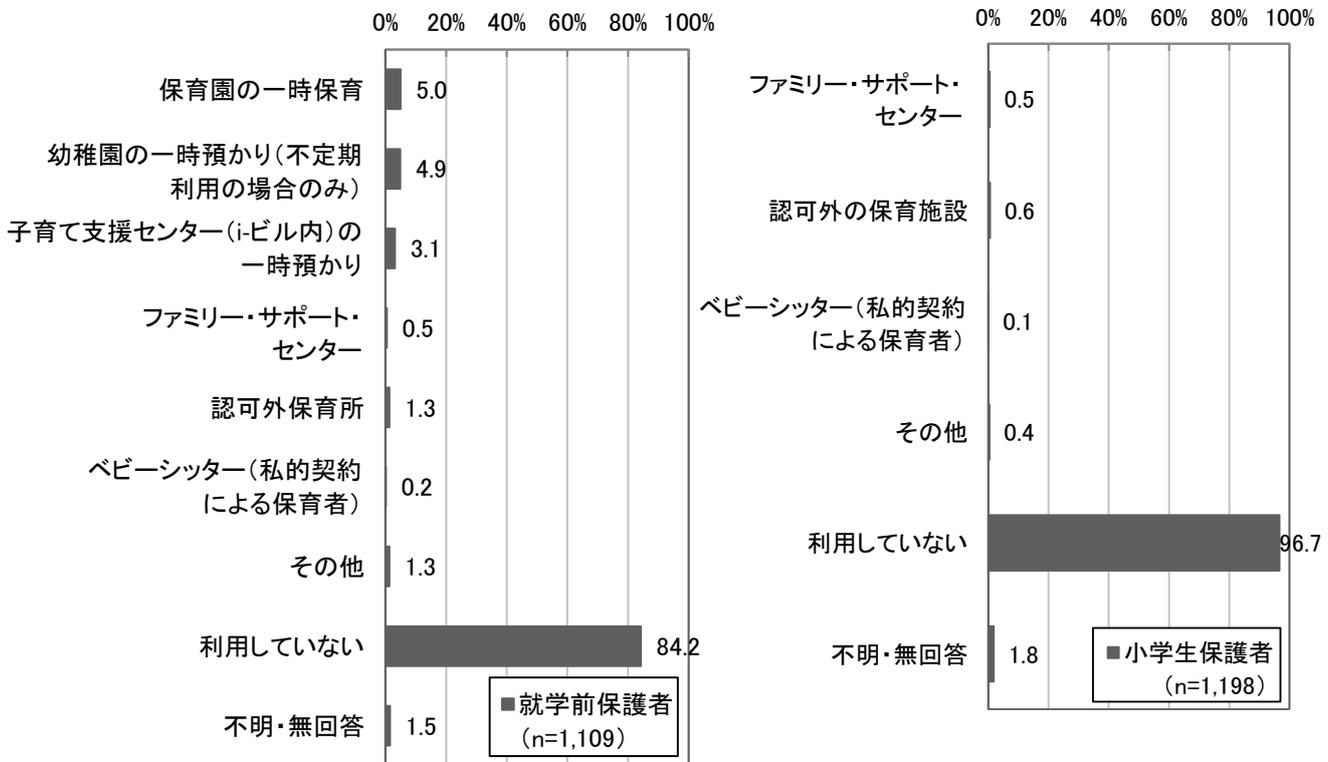
◆この1年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、お子さんについて不定期に利用しているものがありますか〔前：問20、小：問15〕〈複数回答〉

就学前では、「利用していない」が84.2%と最も多く、次いで「保育園の一時保育」が5.0%、「幼稚園の一時預かり（不定期利用の場合のみ）」が4.9%となっています。

小学生では、「利用していない」が96.7%と最も多く、また、すべての施設・サービスの利用率が1%以下となっています。

【就学前】

【小学生】



【クロス集計】不定期に利用しているもの[前：問20、小：問15]×

年齢（学年）別、提供区域別、母親の就労状況別

就学前、小学生ともに、年齢別・学年別、提供区域別、母親の就労状況別にかかわらず「利用していない」が高くなっています。

【就学前】

上段:件数 下段:%		問20 この1年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、お子さんについて不定期に利用したのがありますか。								
		保育園の一時保育	幼稚園の一時預かり(不定期利用の場合のみ)	子育て支援センター(ビル内)の一時預かり	ファミリー・サポート・センター	認可外保育所	ベビーシッター(私的契約による保育者)	その他	利用していない	不明・無回答
全体(n=1,109)		56 5.0	54 4.9	34 3.1	5 0.5	14 1.3	2 0.2	14 1.3	934 84.2	17 1.5
★年齢区分	0歳 (n=143)	4 2.8	1 0.7	5 3.5	-	1 0.7	2 1.4	5 3.5	128 89.5	-
	1・2歳(n=270)	21 7.8	1 0.4	15 5.6	3 1.1	3 1.1	-	2 0.7	228 84.4	3 1.1
	3歳以上(n=664)	30 4.5	51 7.7	14 2.1	2 0.3	10 1.5	-	5 0.8	554 83.4	10 1.5
★提供区域	東区域(n=151)	7 4.6	8 5.3	3 2.0	1 0.7	-	-	3 2.0	128 84.8	1 0.7
	西区域(n=380)	20 5.3	16 4.2	9 2.4	-	6 1.6	-	5 1.3	324 85.3	10 2.6
	北区域(n=225)	13 5.8	8 3.6	3 1.3	-	3 1.3	-	2 0.9	196 87.1	1 0.4
	中区域(n=336)	14 4.2	22 6.5	19 5.7	4 1.2	5 1.5	2 0.6	3 0.9	275 81.8	2 0.6
★母親の就労状況	フルタイムで働いている(n=212)	15 7.1	4 1.9	6 2.8	1 0.5	4 1.9	-	4 1.9	177 83.5	4 1.9
	フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中(n=126)	8 6.3	3 2.4	6 4.8	-	-	-	1 0.8	111 88.1	-
	パート・アルバイト等で働いている(n=258)	9 3.5	17 6.6	7 2.7	1 0.4	3 1.2	-	4 1.6	217 84.1	5 1.9
	パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中(n=25)	-	-	1 4.0	-	1 4.0	-	-	24 96.0	-
	現在は仕事をしていない(n=197)	9 4.6	19 9.6	6 3.0	1 0.5	4 2.0	2 1.0	2 1.0	155 78.7	1 0.5
	これまでに就労したことがない(n=5)	-	1 20.0	-	-	-	-	-	4 80.0	-

【小学生】

上段:件数 下段:%		問15 この1年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、お子さんについて不定期に利用したのがありますか。					
		ファミリー・サポート・センター	認可外の保育施設	ベビーシッター(私的契約による保育者)	その他	利用していない	不明・無回答
全体(n=1,198)		6 0.5	7 0.6	1 0.1	5 0.4	1159 96.7	21 1.8
★学年区分	低学年(n=485)	3 0.6	5 1.0	-	3 0.6	465 95.9	10 2.1
	高学年(n=689)	3 0.4	2 0.3	1 0.1	2 0.3	672 97.5	9 1.3
★提供区域	東区域(n=148)	-	1 0.7	-	1 0.7	145 98.0	1 0.7
	西区域(n=391)	2 0.5	1 0.3	1 0.3	2 0.5	376 96.2	9 2.3
	北区域(n=264)	1 0.4	2 0.8	-	-	255 96.6	7 2.7
	中区域(n=376)	3 0.8	3 0.8	-	2 0.5	365 97.1	3 0.8
★母親の就労状況	フルタイムで働いている(n=255)	3 1.2	-	-	1 0.4	249 97.6	2 0.8
	フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中(n=10)	-	-	-	-	10 100.0	-
	パート・アルバイト等で働いている(n=504)	3 0.6	3 0.6	-	3 0.6	488 96.8	8 1.6
	パート・アルバイト等だが、現在産休・育休・介護休業中(n=2)	-	-	-	-	2 100.0	-
	現在は仕事をしていない(n=171)	-	1 0.6	-	-	168 98.2	2 1.2
	これまでに就労したことがない(n=7)	-	-	-	-	7 100.0	-

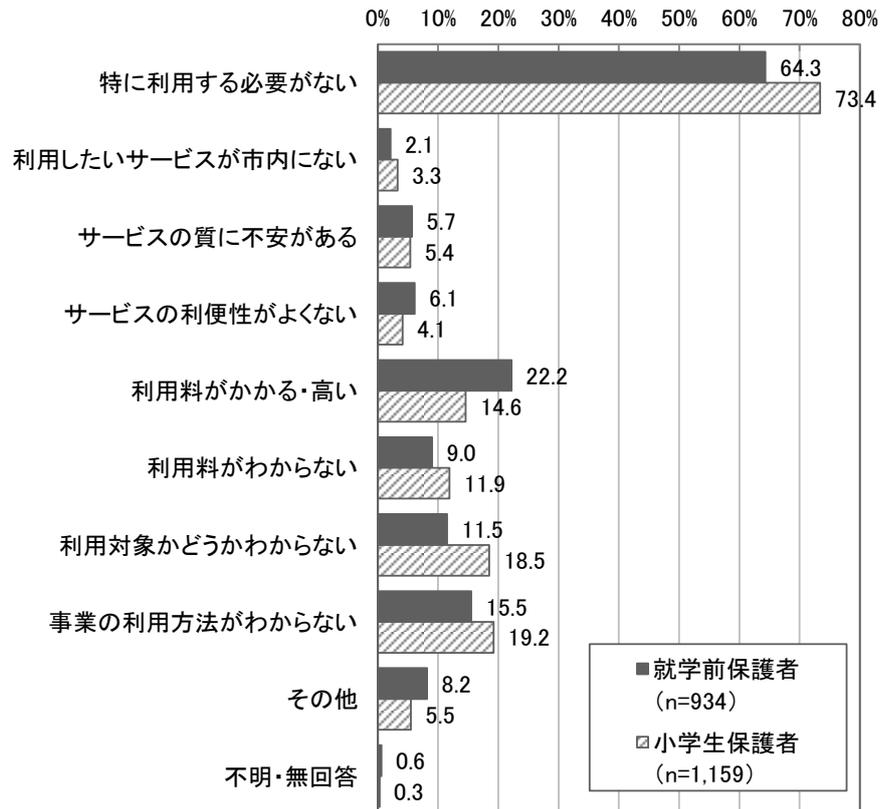
就学前 **小学生**

◆ (事業を不定期に「利用していない」と回答した方)

利用していない理由は何ですか[前：問 20-1、小：問 15-1] <複数回答>

就学前では、「特に利用する必要がない」が 64.3%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が 22.2%、「事業の利用方法がわからない」が 15.5%となっています。

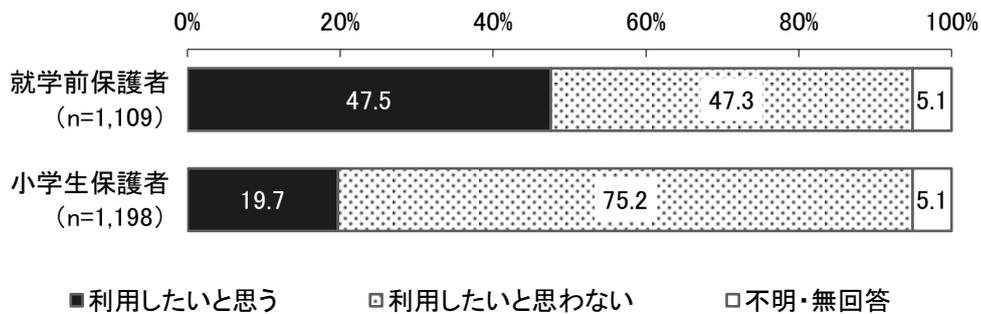
小学生では、「特に利用する必要がない」が 73.4%と最も多く、「事業の利用方法がわからない」が 19.2%、「利用対象かどうかわからない」が 18.5%となっています。



就学前 小学生

◆私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や親の病気、あるいは就労のため、お子さんについて、一時預かりを利用したいと思いますか[前：問21、小：問16]〈単数回答〉

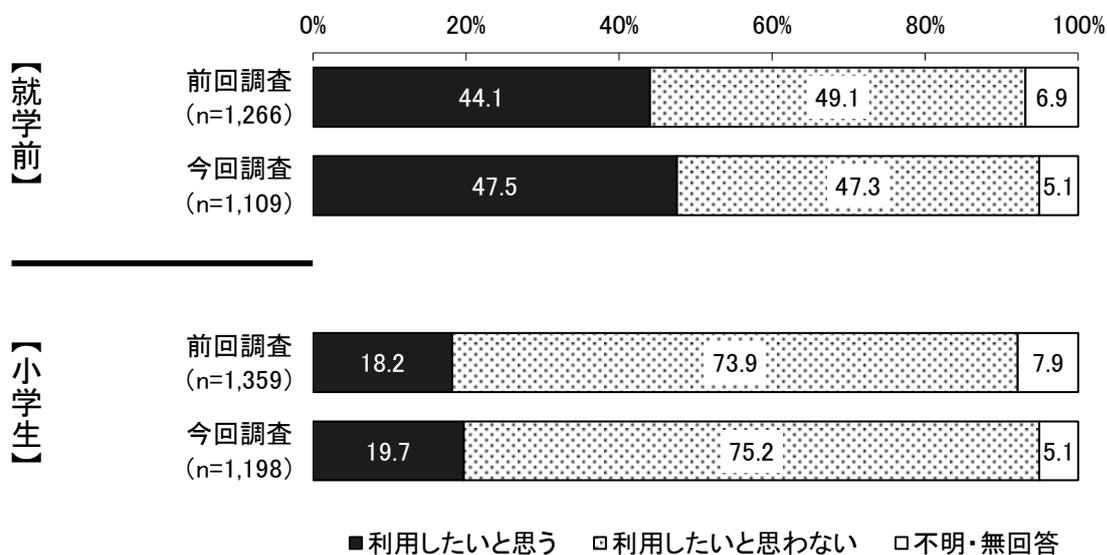
就学前では、「利用したいと思う」が47.5%、「利用したいと思わない」が47.3%となっています。
小学生では、「利用したいと思う」が19.7%、「利用したいと思わない」が75.2%となっています。



【前回調査との比較】一時預かりの利用希望[前：問21、小：問16]

前回調査の結果と比較すると、就学前では「利用したいと思う」が、わずかながら高くなっています。

小学生においては、大きな変化はうかがえません。

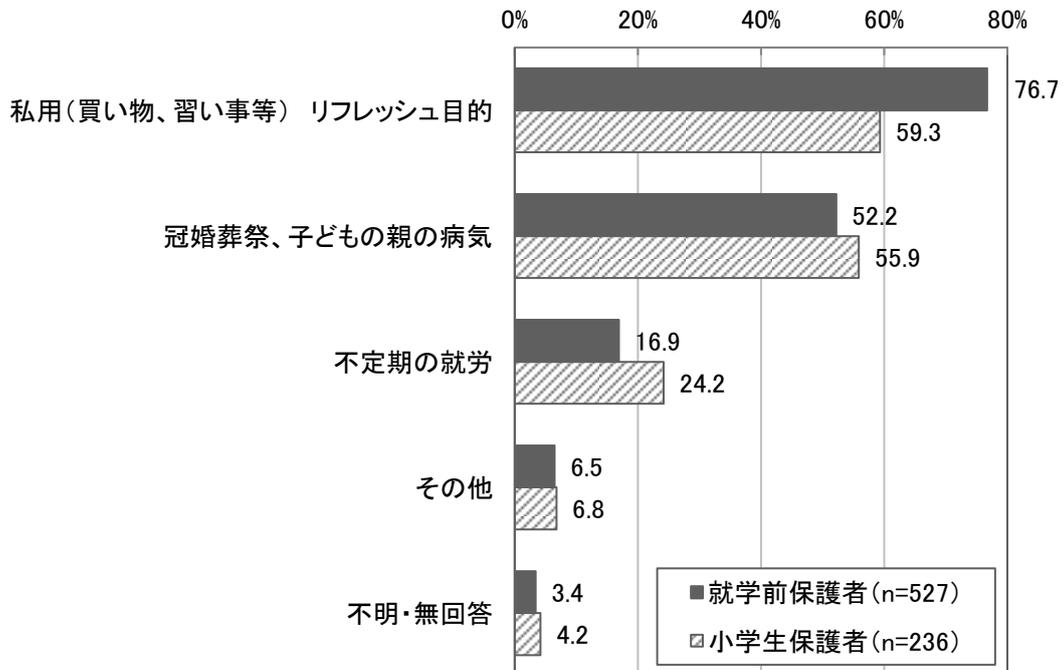


就学前 小学生

◆利用を希望する目的[前：問21、小：問16]〈複数回答〉

就学前では、「私用（買い物、習い事等）リフレッシュ目的」が76.7%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が52.2%、「不定期の就労」が16.9%となっています。

小学生では、「私用（買い物、習い事等）リフレッシュ目的」が59.3%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が55.9%、「不定期の就労」が24.2%となっています。



就学前 小学生

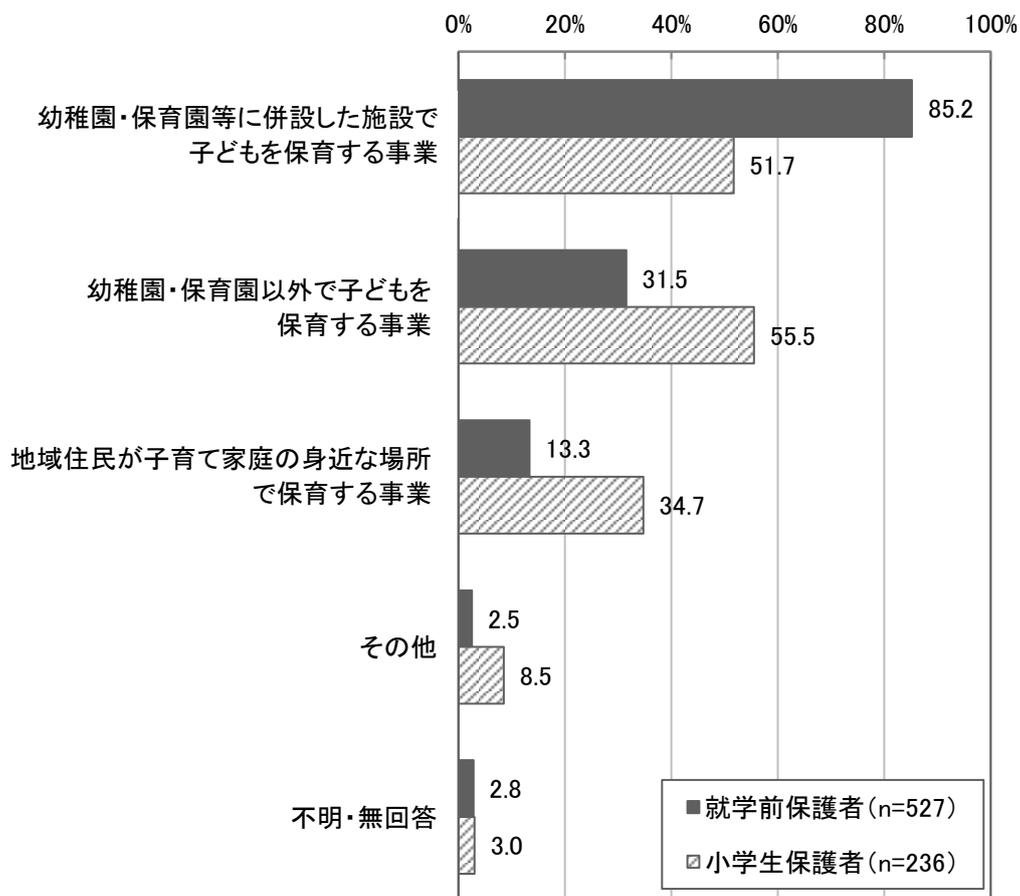
◆（一時預かりを「1. 利用したいと思う」と回答した方）

あなたにとって不定期の一時預かりの望ましい形態はどれですか

〔前：問 21-1、小：問 16-1〕〈複数回答〉

就学前では、「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 85.2%と最も高く、次いで「幼稚園・保育園以外で子どもを保育する事業」が 31.5%、「地域住民が子育て家庭の近くで保育する事業」が 13.3%となっています。

小学生では、「幼稚園・保育園以外で子どもを保育する事業」が 55.5%と最も高く、次いで「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 51.7%、「地域住民が子育て家庭の近くで保育する事業」が 34.7%となっています。



7. 土曜・休日の保育園や幼稚園などの利用について

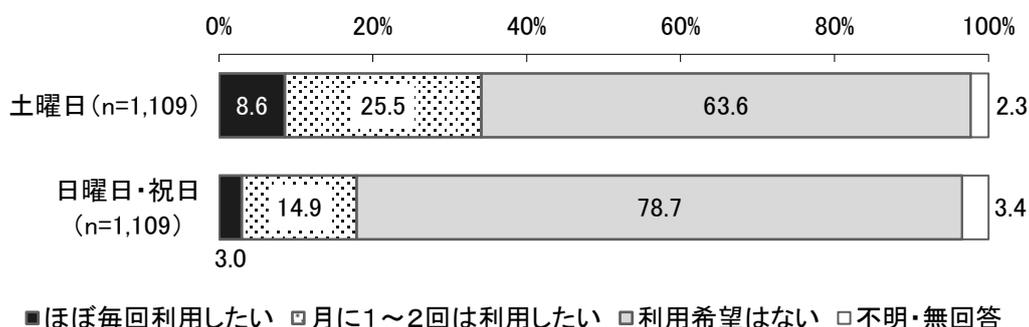
※就学前のみ

就学前

◆お子さんについて、(1)土曜日と(2)日曜日・祝日に、保育園や幼稚園等の利用希望（一時利用は除く）をお答えください[前：問 22] <単数回答>

土曜日の利用希望では、「利用希望はない」が 63.6%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 25.5%となっています。

日曜日・祝日の利用希望では、「利用希望はない」が 78.7%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 14.9%となっています。

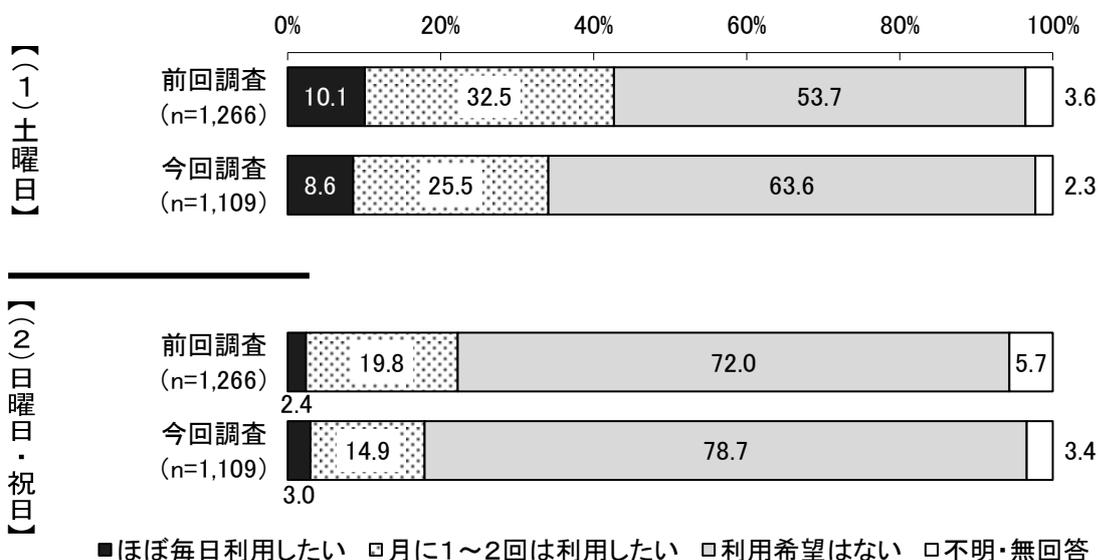


【前回調査との比較】(1)土曜日と(2)日曜日・祝日の保育園や幼稚園等の利用希望[前：問 22]

前回調査の結果と比較すると、土曜日では、「利用希望はない」が 9.9 ポイント高くなっており、一方で「月に1～2回は利用したい」が 7.0 ポイント低くなっています。

日曜日・祝日においてもその傾向は同様となっており、「利用希望はない」が 6.7 ポイント高く、「月に1～2回は利用したい」が 4.9 ポイント低くなっています。

土曜日、日曜日・祝日における利用希望の減少がうかがえます。



【クロス集計】(1)土曜日と(2)日曜日・祝日の保育園や幼稚園等の利用希望[前：問22]×

年齢別、提供区域別、母親の就労状況別

(1)土曜日の「利用希望はない」についてみると、1・2歳において低く、3歳以上において高くなっています。また、フルタイムで働いている母親において「ほぼ毎回利用したい」が高くなっています。

(2)日曜日・祝日においては、母親の就労状況別によって希望に違いがあり、フルタイムだが、現在産休・育休・介護休業中において「月に1～2回は利用したい」が20.6%と比較的高い割合となっています。

【(1)土曜日】

上段:件数 下段:%		問22(1)-1 利用希望(1)土曜日			
		ほぼ毎回 利用したい	月に1～2 回は利用し たい	利用希望は ない	不明・無回 答
全体 (n=1,109)		95 8.6	283 25.5	705 63.6	26 2.3
★年齢区分	0歳 (n=143)	14 9.8	39 27.3	87 60.8	3 2.1
	1・2歳 (n=270)	26 9.6	81 30.0	153 56.7	10 3.7
	3歳以上 (n=664)	50 7.5	158 23.8	447 67.3	9 1.4
★提供区域	東区域 (n=151)	19 12.6	34 22.5	93 61.6	5 3.3
	西区域 (n=380)	28 7.4	106 27.9	235 61.8	11 2.9
	北区域 (n=225)	20 8.9	55 24.4	149 66.2	1 0.4
	中区域 (n=336)	25 7.4	84 25.0	219 65.2	8 2.4
★母親の就 労状況	フルタイムで働いている (n=212)	33 15.6	58 27.4	118 55.7	3 1.4
	フルタイムだが、現在産休・育休・介護 休業中 (n=126)	12 9.5	30 23.8	81 64.3	3 2.4
	パート・アルバイト等で働いている (n=258)	16 6.2	68 26.4	169 65.5	5 1.9
	パート・アルバイト等だが、現在産休・ 育休・介護休業中 (n=25)	4 16.0	5 20.0	15 60.0	1 4.0
	現在は仕事をしていない (n=197)	3 1.5	38 19.3	153 77.7	3 1.5
	これまでに就労したことがない (n=5)	-	1 20.0	4 80.0	-

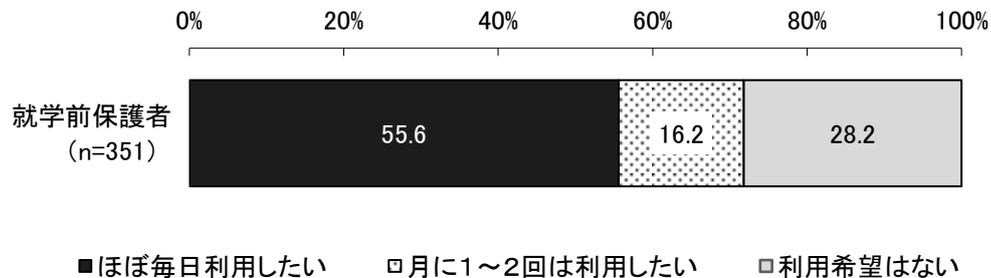
上段:件数 下段:%		問22(2)-1 利用希望(2)日曜日・祝日			
		ほぼ毎回 利用したい	月に1～2 回は利用し たい	利用希望は ない	不明・無回 答
全体 (n=1,109)		33 3.0	165 14.9	873 78.7	38 3.4
★年齢区分	0歳 (n=143)	5 3.5	25 17.5	109 76.2	4 2.8
	1・2歳 (n=270)	8 3.0	45 16.7	206 76.3	11 4.1
	3歳以上 (n=664)	19 2.9	89 13.4	538 81.0	18 2.7
★提供区域	東区域 (n=151)	8 5.3	21 13.9	114 75.5	8 5.3
	西区域 (n=380)	7 1.8	60 15.8	302 79.5	11 2.9
	北区域 (n=225)	8 3.6	31 13.8	180 80.0	6 2.7
	中区域 (n=336)	10 3.0	50 14.9	265 78.9	11 3.3
★母親の就 労状況	フルタイムで働いている (n=212)	7 3.3	38 17.9	163 76.9	4 1.9
	フルタイムだが、現在産休・育休・介護 休業中 (n=126)	3 2.4	26 20.6	93 73.8	4 3.2
	パート・アルバイト等で働いている (n=258)	7 2.7	32 12.4	210 81.4	9 3.5
	パート・アルバイト等だが、現在産休・ 育休・介護休業中 (n=25)	2 8.0	-	22 88.0	1 4.0
	現在は仕事をしていない (n=197)	1 0.5	16 8.1	175 88.8	5 2.5
	これまでに就労したことがない (n=5)	-	2 40.0	3 60.0	-

就学前

◆（現在、幼稚園をフルタイムで利用している方）

夏休み・冬休みなどの長期休暇中の、幼稚園の利用希望（一時利用は除く）をお答えください[前：問 23] <単数回答>

「ほぼ毎日利用したい」が 55.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 16.2%となっています。



【クロス集計】夏休み・冬休みなどの長期休暇中の幼稚園の利用希望[前：問 23]×

年齢別、提供区域別、母親の就労状況別

年齢別、提供区域別にみると、いずれも「ほぼ毎回利用したい」が最も高くなっています。

母親の就労状況別にみると、現在は仕事をしていない方では「利用希望はない」、他の就労状況の方ではいずれも「ほぼ毎回利用したい」が最も高くなっています。

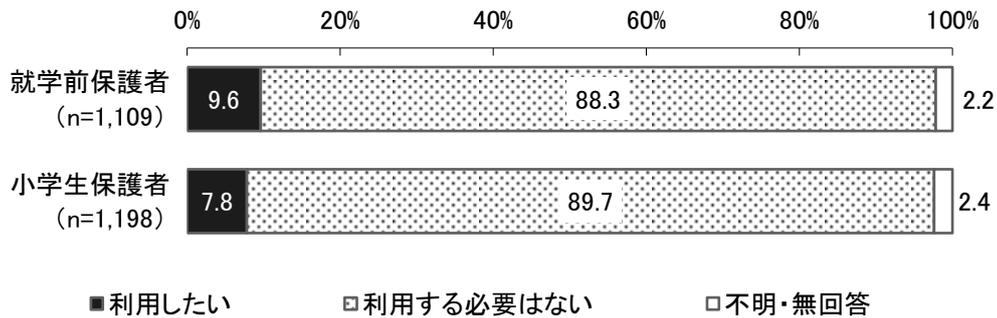
上段:件数 下段:%		問23 夏休み・冬休みなどの長期休暇中の、幼稚園の利用希望(一時利用は除く。)		
		ほぼ毎回 利用したい	月に1～2回は 利用したい	利用希望はな い
全体 (n=351)		195 55.6	57 16.2	99 28.2
★年齢区分	0歳 (n=31)	15 48.4	3 9.7	13 41.9
	1・2歳 (n=59)	36 61.0	12 20.3	11 18.6
	3歳以上 (n=246)	138 56.1	39 15.9	69 28.0
★提供区域	東区域 (n=46)	23 50.0	12 26.1	11 23.9
	西区域 (n=123)	69 56.1	14 11.4	40 32.5
	北区域 (n=76)	47 61.8	9 11.8	20 26.3
	中区域 (n=100)	54 54.0	21 21.0	25 25.0
★母親の就 労状況	フルタイムで働いている (n=67)	39 58.2	8 11.9	20 29.9
	フルタイムだが、現在産休・育休・介護 休業中 (n=20)	13 65.0	2 10.0	5 25.0
	パート・アルバイト等で働いている (n=70)	42 60.0	10 14.3	18 25.7
	パート・アルバイト等だが、現在産休・ 育休・介護休業中 (n=6)	3 50.0	2 33.3	1 16.7
	現在は仕事をしていない (n=91)	29 31.9	24 26.4	38 41.8
	これまでに就労したことがない (n=2)	-	2 100.0	-

8. 宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりについて

就学前 小学生

- ◆保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）のため、お子さんを泊まりがけで家族以外に預ける必要があるときに、ショートステイ（おおむね一週間程度まで、子どもを児童養護施設などに宿泊させて預かる事業）を利用したいと思いますか[前：問 24、小：問 17] <単数回答>

就学前では、「利用する必要はない」が 88.3%、「利用したい」が 9.6%となっています。
小学生では、「利用する必要はない」が 89.7%、「利用したい」が 7.8%となっています。



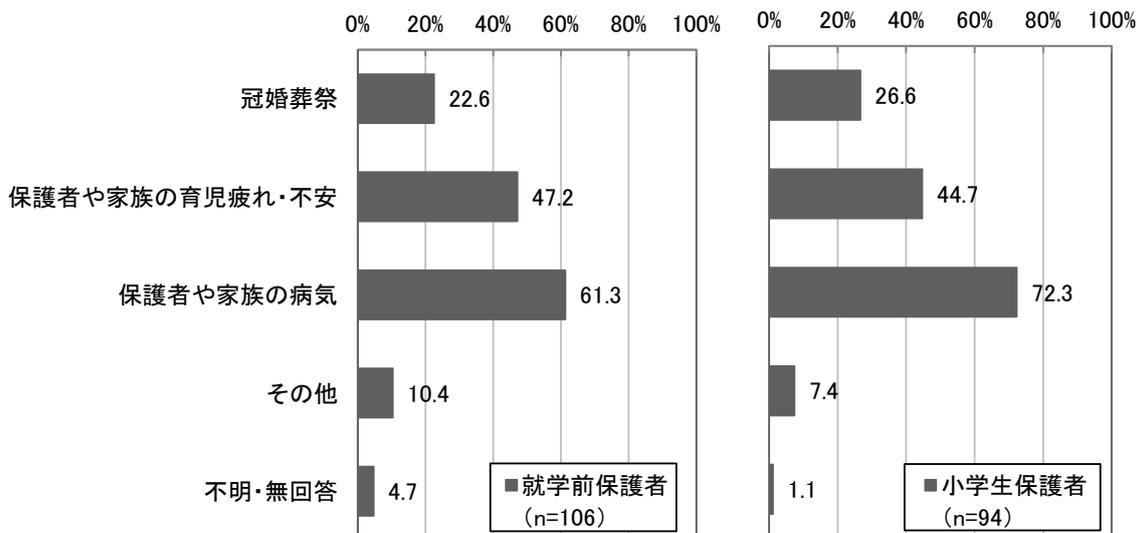
就学前 小学生

- ◆（ショートステイを「1. 利用したい」と回答した方）

利用したいと思う目的をお答えください[前：問 24-1、小：問 17-1] <複数回答>

就学前では、「保護者や家族の病気」が 61.3%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 47.2%、「冠婚葬祭」が 22.6%となっています。

小学生では、「保護者や家族の病気」が 72.3%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 44.7%、「冠婚葬祭」が 26.6%となっています。

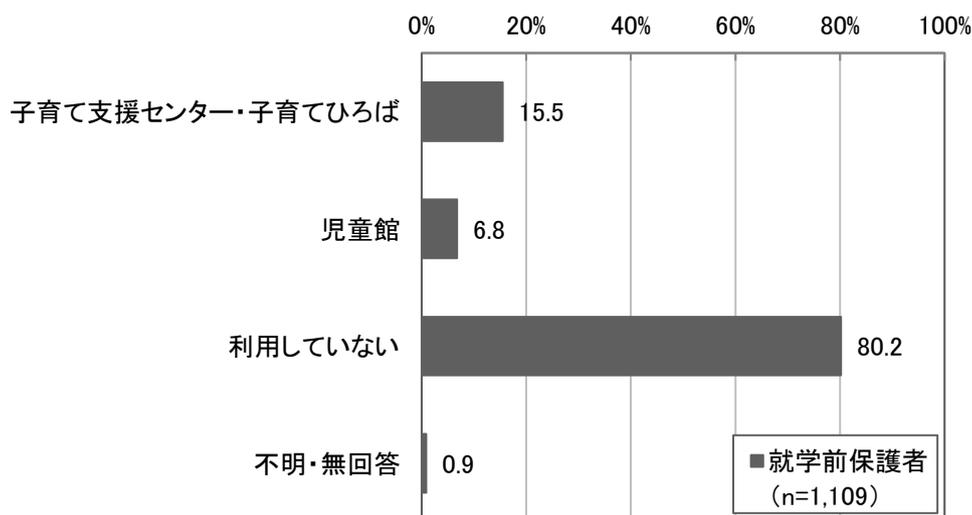


9. 地域の子育て支援サービスについて

就学前

◆お子さんは、現在、子育て支援センターや児童館を利用されていますか[前：問25] <複数回答>

「利用していない」が80.2%と最も多く、次いで「子育て支援センター・子育てひろば」が15.5%となっています。



【クロス集計】子育て支援センターや児童館の利用状況[前：問25]×年齢別、提供区域別

「子育て支援センター・子育てひろば」については、0歳において43.4%と高くなっており、年齢が上がるにつれて、その割合は低くなっています。

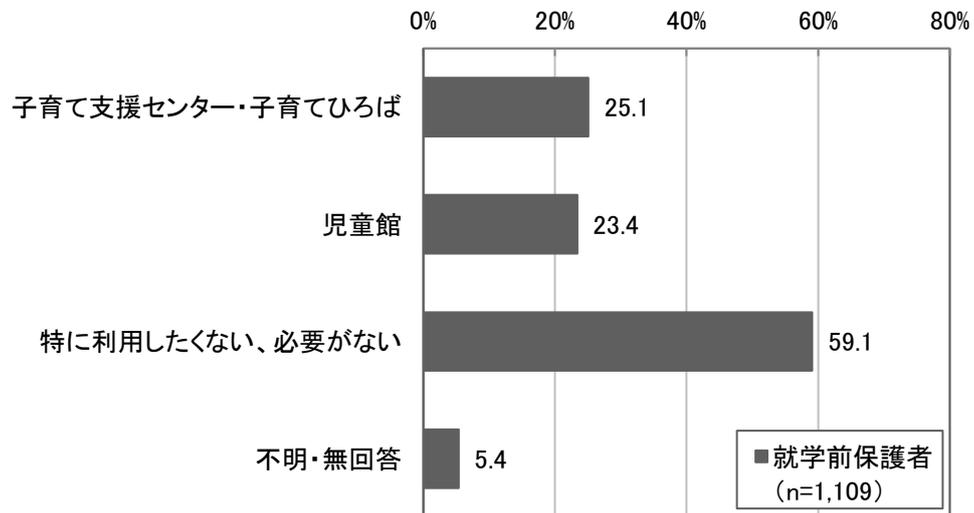
「児童館」については1・2歳において比較的高い割合となっています。

上段:件数 下段:%		問25 お子さんは、現在、子育て支援センターや児童館を利用されていますか。			
		子育て支援センター・子育てひろば	児童館	利用していない	不明・無回答
全体(n=1,109)		172 15.5	75 6.8	889 80.2	10 0.9
★年齢区分	0歳 (n=143)	62 43.4	11 7.7	79 55.2	1 0.7
	1・2歳 (n=270)	63 23.3	33 12.2	187 69.3	5 1.9
	3歳以上 (n=664)	44 6.6	28 4.2	598 90.1	2 0.3
	東区域 (n=151)	23 15.2	8 5.3	123 81.5	2 1.3
★提供区域	西区域 (n=380)	54 14.2	28 7.4	310 81.6	4 1.1
	北区域 (n=225)	27 12.0	14 6.2	190 84.4	1 0.4
	中区域 (n=336)	67 19.9	24 7.1	251 74.7	2 0.6

就学前

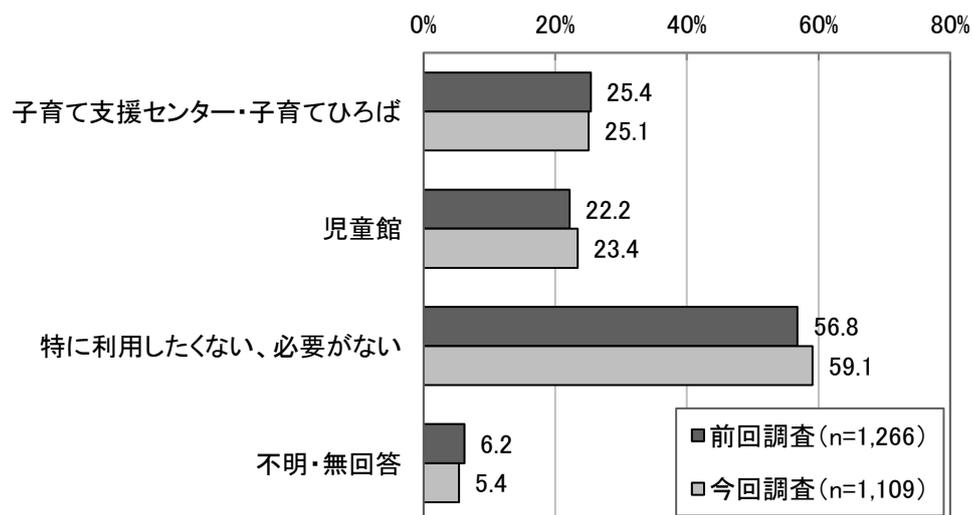
◆子育て支援センターや児童館について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか[前：問26]〈複数回答〉

「特に利用したくない、必要がない」が59.1%と最も多く、次いで「子育て支援センター・子育てひろば」が25.1%となっています。



【前回調査との比較】今後の子育て支援センターや児童館の利用意向[前：問26]

前回調査の結果と比較すると、大きな変化はうかがえません。



【クロス集計】子育て支援センターや児童館の今後の利用意向[前：問 26]×年齢別、提供区域別

年齢年別にみると、0歳および1・2歳では「子育て支援センター・子育てひろば」が、それぞれ全体より高くなっており、3歳未満の子どもがいる保護者にとってのニーズが高いことがうかがえます。

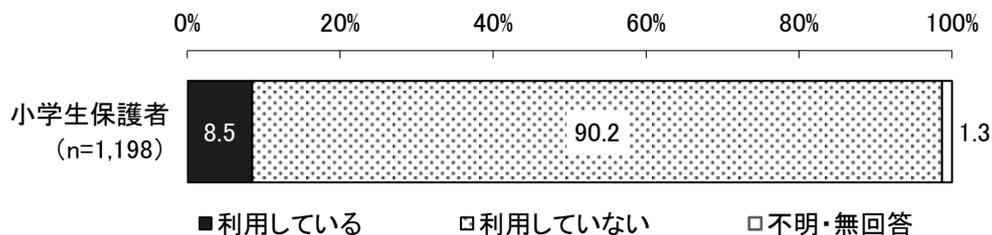
上段:件数 下段:%		問26 子育て支援センターや児童館について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。			
		子育て支援センター・子育てひろば	児童館	特に利用したくない、必要がない	不明・無回答
全体 (n=1,109)		278 25.1	259 23.4	655 59.1	60 5.4
★年齢区分	0歳 (n=143)	78 54.5	42 29.4	46 32.2	8 5.6
	1・2歳 (n=270)	94 34.8	69 25.6	136 50.4	23 8.5
	3歳以上 (n=664)	102 15.4	143 21.5	452 68.1	24 3.6
★提供区域	東区域 (n=151)	33 21.9	27 17.9	96 63.6	8 5.3
	西区域 (n=380)	86 22.6	86 22.6	232 61.1	23 6.1
	北区域 (n=225)	62 27.6	57 25.3	131 58.2	9 4.0
	中区域 (n=336)	95 28.3	85 25.3	185 55.1	18 5.4

小学生

◆お子さんは、現在、児童館の一般利用（放課後児童クラブを除く）をされていますか

[小：問 18] <単数回答>

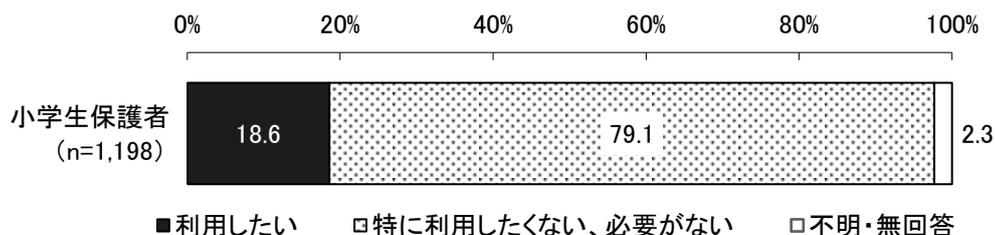
「利用していない」が 90.2%、「利用している」が 8.5%となっています。



小学生

◆児童館の一般利用（放課後児童クラブを除く）について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか [小：問 19] <単数回答>

「特に利用したくない、必要がない」が 79.1%、「利用したい」が 18.6%となっています。



【クロス集計】児童館の今後の利用意向[小：問19]×学年別、提供区域別

学年別にみると、低学年では「利用したい」が26.6%と、全体より8ポイント高くなっています。低学年におけるニーズの高さがうかがえます。

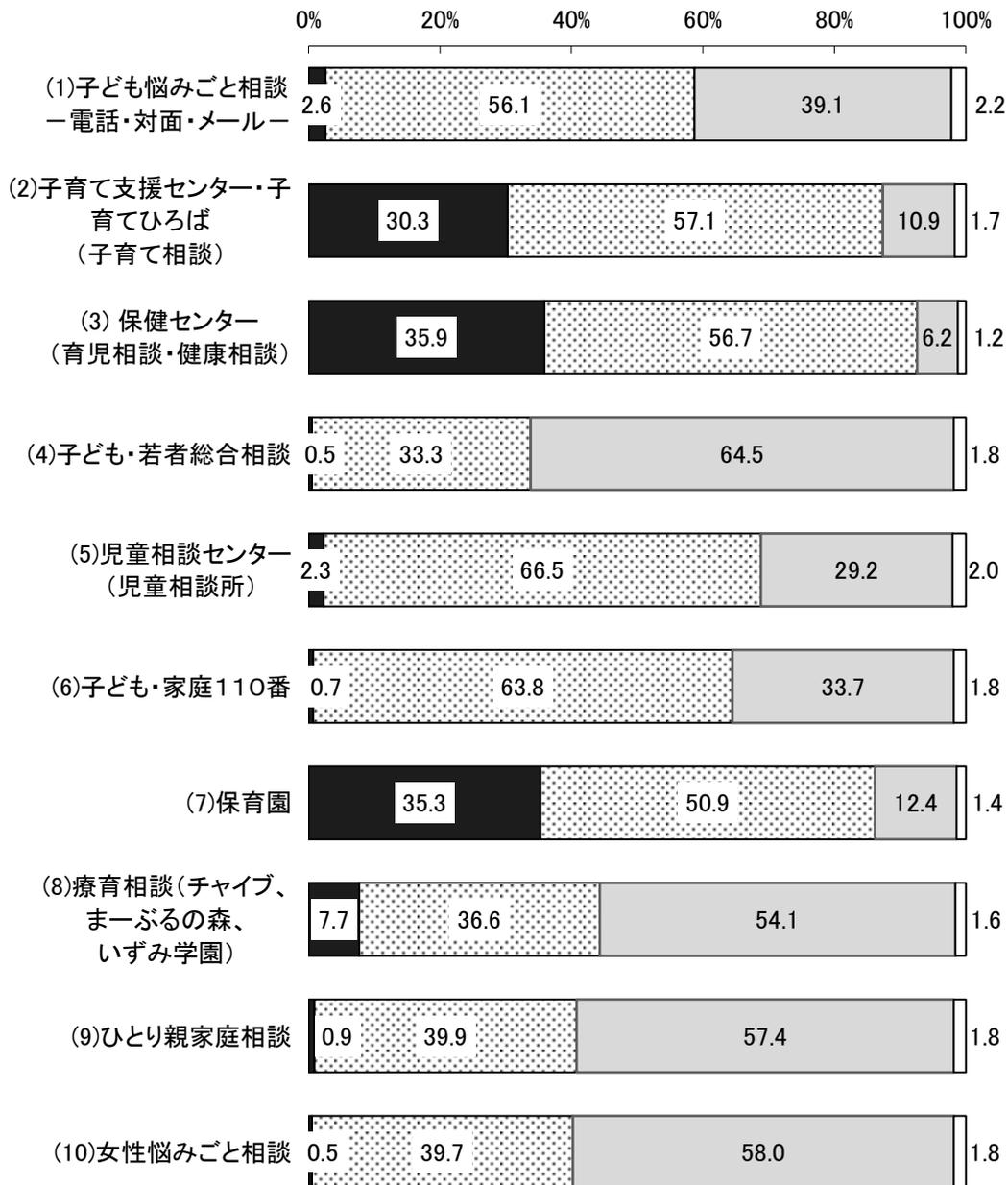
上段:件数 下段:%		問19 児童館について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。		
		利用したい	特に利用したくない、必要がない	不明・無回答
全体 (n=1,198)		223 18.6	948 79.1	27 2.3
★学年区分	低学年 (n=485)	129 26.6	339 69.9	17 3.5
	高学年 (n=689)	91 13.2	590 85.6	8 1.2
★提供区域	東区域 (n=148)	22 14.9	124 83.8	2 1.4
	西区域 (n=391)	80 20.5	300 76.7	11 2.8
	北区域 (n=264)	42 15.9	219 83.0	3 1.1
	中区域 (n=376)	76 20.2	290 77.1	10 2.7

就学前

◆次の子どもや子育て家庭についての相談窓口を利用したことはありますか[前：問27] <単数回答>

就学前では、「利用したことがある」の割合が比較的多い相談窓口は、『(3) 保健センター（育児相談・健康相談）』（35.9%）、『(7) 保育園』（35.3%）、『(2) 子育て支援センター・子育てひろば（子育て相談）』（30.3%）となっています。

【就学前】



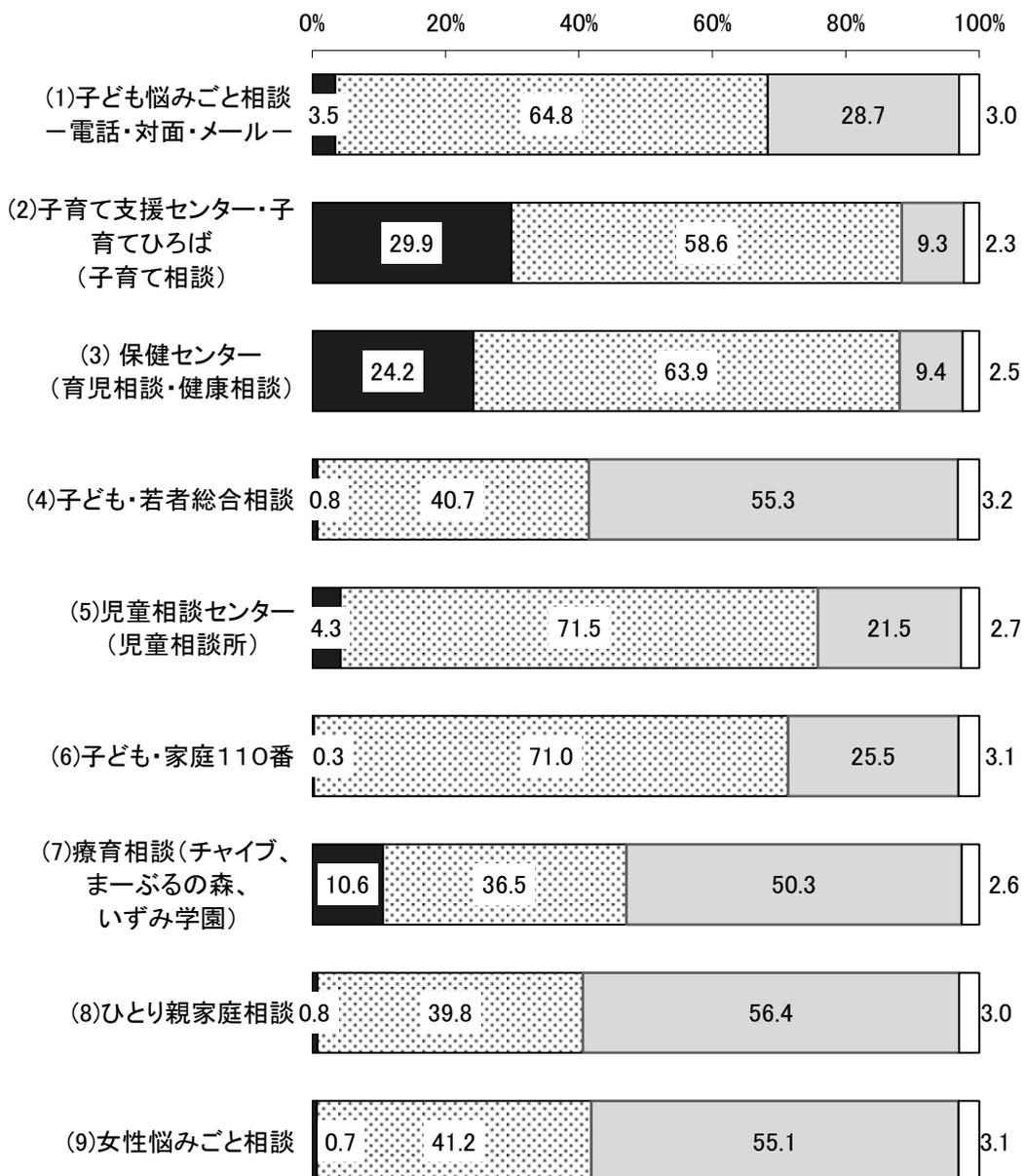
■利用したことがある □知っているが利用したことはない □知らない □不明・無回答

小学生

◆次の子どもや子育て家庭についての相談窓口を利用したことはありますか[小：問20]〈単数回答〉

小学生では、「利用したことがある」の割合が比較的多い相談窓口は、『(2) 子育て支援センター・子育てひろば(子育て相談)』(29.9%)、『(4) 保健センター(育児相談・健康相談)』(24.2%)となっています。

【小学生】



■利用したことがある □知っているが利用したことはない □知らない □不明・無回答

10. 放課後等の過ごし方について

【1】小学校就学後の放課後の過ごし方について(5歳以上の就学前児童のみ)

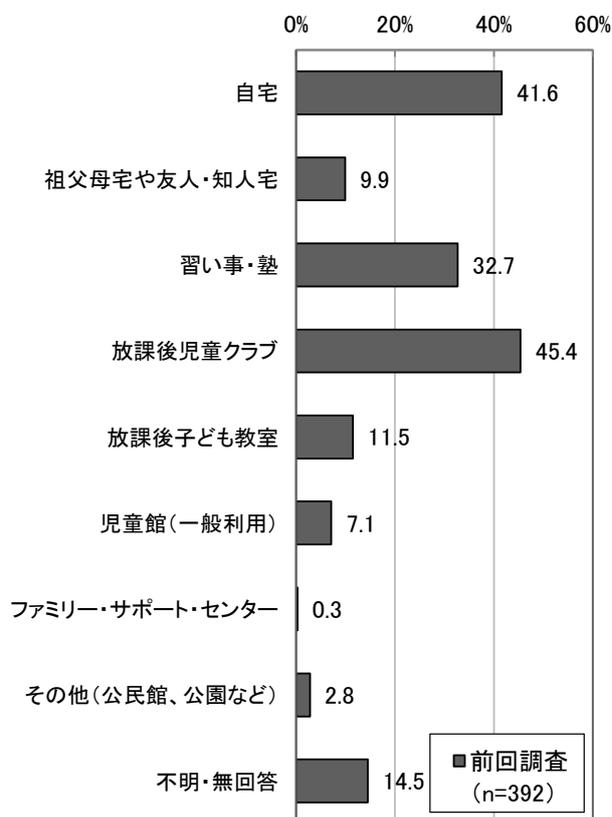
就学前

◆お子さんが小学校にあがった際、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか[前：問28]〈複数回答〉

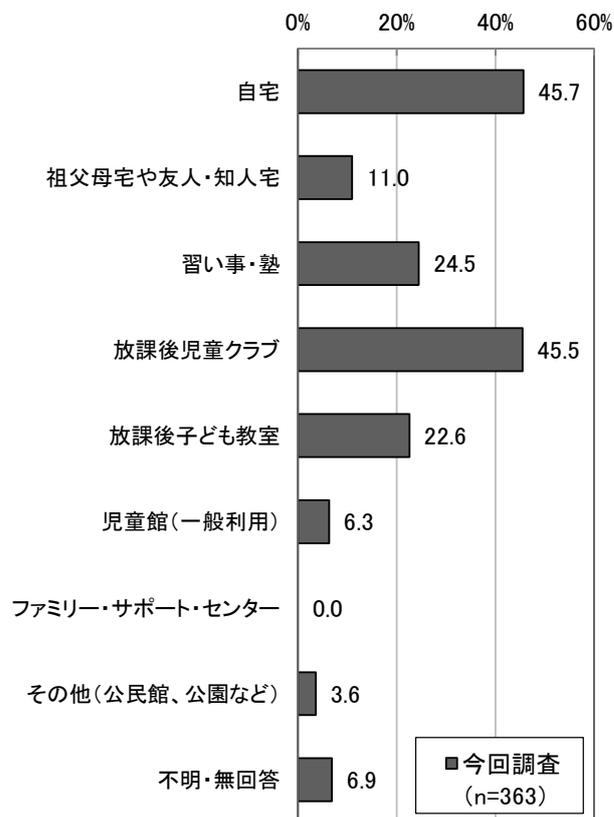
「自宅」が45.7%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が45.5%、「習い事・塾・スポーツクラブ」が24.5%となっています。

前回調査の結果と比較すると、「放課後子ども教室」が11.1ポイント高くなっています。一方、「習い事・塾」は8.2ポイント減少しています。

【前回調査結果】



【今回調査結果】



【クロス集計】放課後に過ごさせたい場所[前：問 28]×提供区域別

提供区域別にみると、東区域および中区域では「自宅」が全体より高く、中区域では「放課後児童クラブ」も全体より高くなっています。

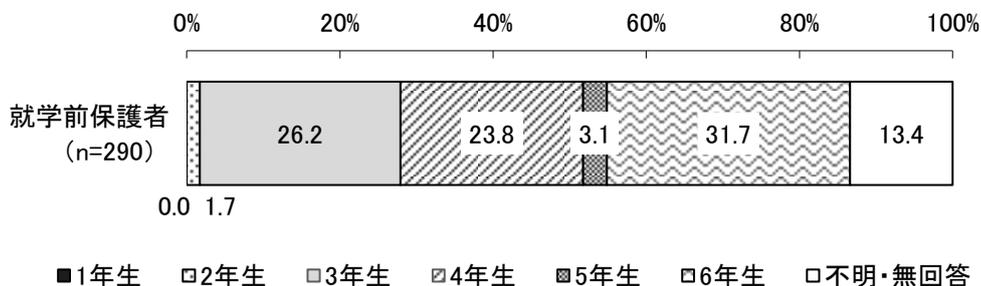
上段:件数 下段:%		問28 お子さんが小学校にあがった際、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。								
		自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事・ 塾・スポー ツクラブ	放課後児 童クラブ	放課後子 ども教室 [キッズ]	児童館(一 般利用)	ファミリー・ サポート・ センター	その他(公 民館、公 園など)	不明・無回 答
全体 (n=363)		166 45.7	40 11.0	89 24.5	165 45.5	82 22.6	23 6.3	-	13 3.6	25 6.9
★提供区 域	東区域 (n=47)	28 59.6	4 8.5	15 31.9	17 36.2	9 19.1	2 4.3	-	2 4.3	2 4.3
	西区域 (n=132)	57 43.2	16 12.1	26 19.7	56 42.4	37 28.0	11 8.3	-	7 5.3	8 6.1
	北区域 (n=81)	30 37.0	12 14.8	16 19.8	36 44.4	20 24.7	4 4.9	-	2 2.5	9 11.1
	中区域 (n=102)	51 50.0	8 7.8	32 31.4	56 54.9	16 15.7	6 5.9	-	2 2.0	5 4.9

就学前

◆ (「4. 放課後児童クラブ」の利用を希望する方)

何年生まで利用させたいか[前：問 28] <数量回答>

「6年生」が31.7%と最も多く、次いで「3年生」が26.2%、「4年生」が23.8%となっています。



【クロス集計】何年生まで利用させたいか[前：問28]×提供区域別

東区域と北区域においては「6年生まで利用させたい」の割合が高くなっていますが、サンプル数が少ないために留意が必要となっています。

上段:件数 下段:%		問28④-2 放課後児童クラブ[○年生まで利用させたい]						
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明・無回答
全体(n=165)		-	5 3.0	43 26.1	33 20.0	8 4.8	57 34.5	19 11.5
★提供区域	東区域 (n=17)	-	-	4 23.5	3 17.6	-	8 47.1	2 11.8
	西区域 (n=56)	-	2 3.6	12 21.4	11 19.6	2 3.6	19 33.9	10 17.9
	北区域 (n=36)	-	-	11 30.6	5 13.9	2 5.6	15 41.7	3 8.3
	中区域 (n=56)	-	3 5.4	16 28.6	14 25.0	4 7.1	15 26.8	4 7.1

就学前

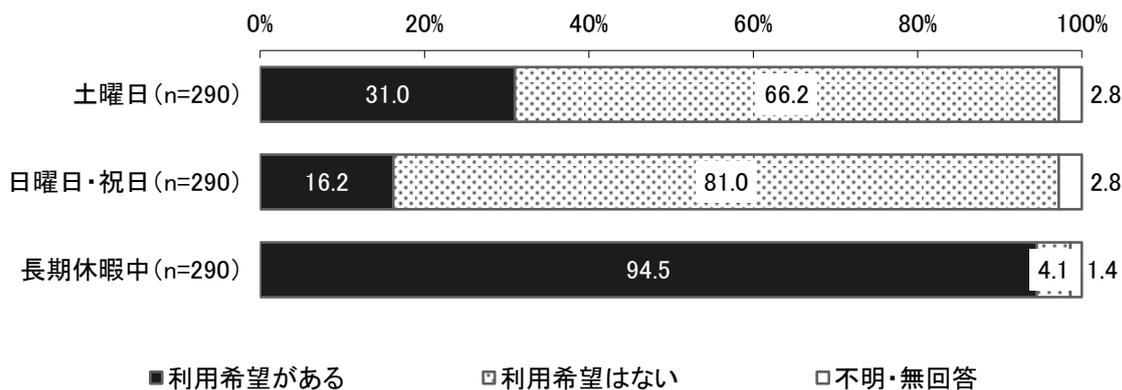
◆（「4. 放課後児童クラブ」の利用を希望する方）

(1)土曜日、(2)日曜日・祝日、(3)夏休み・冬休みなどの長期休暇中において、それぞれ児童クラブの利用希望はありますか[前：問28-1]〈単数回答〉

土曜日では、「利用希望はない」が66.2%、「利用希望がある」が31.0%となっています。

日曜日・祝日では、「利用希望はない」が81.0%、「利用希望がある」が16.2%となっています。

(夏休み・冬休みなどの)長期休暇中では、「利用希望がある」が94.5%、「利用希望はない」が4.1%となっています。



【2】放課後の過ごし方について(小学生のみ)

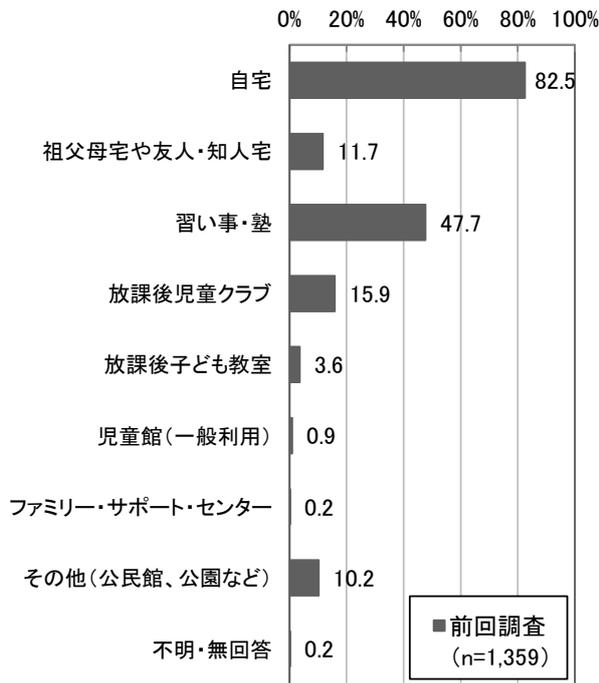
小学生

◆お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか [小：問11] <複数回答>

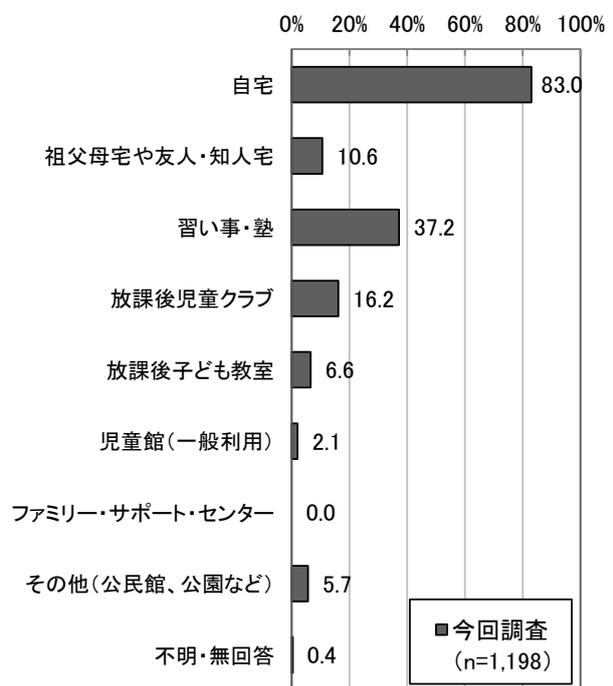
「自宅」が83.0%と最も多く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」が37.2%、「放課後児童クラブ」が16.2%となっています。

前回調査の結果*と比較すると、「習い事・塾・スポーツクラブ」が10.5ポイント減少しています。

【前回調査結果】



【今回調査結果】



※前回調査では「習い事・塾」としてしていますが、類似の項目とみなし参考として比較しています。

【クロス集計】放課後に過ごしている場所[小：問11]×提供区域別

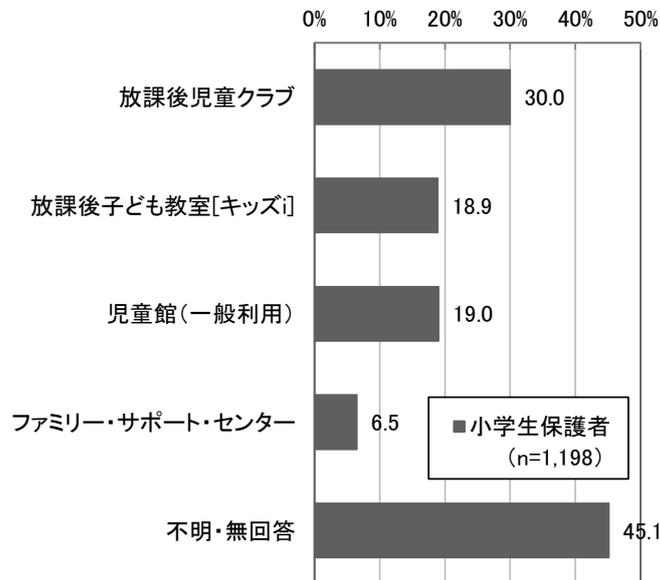
提供区域別にみると、いずれも「自宅」が最も高く、次いで「習い事・塾・スポーツクラブ」となっています。また、中区域においては「習い事・塾・スポーツクラブ」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	問11 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。									
	自宅	祖父母宅 や友人・知 人宅	習い事・ 塾・スポー ツクラブ	放課後児 童クラブ	放課後子 ども教室 [キッズ]	児童館(一 般利用)	ファミリー・ サポート・ センター	その他	不明・無回 答	
全体 (n=1,198)	994 83.0	127 10.6	446 37.2	194 16.2	79 6.6	25 2.1	-	68 5.7	5 0.4	
★提供区域	東区域 (n=148)	124 83.8	15 10.1	51 34.5	27 18.2	10 6.8	1 0.7	-	11 7.4	-
	西区域 (n=391)	321 82.1	40 10.2	144 36.8	70 17.9	24 6.1	12 3.1	-	24 6.1	-
	北区域 (n=264)	222 84.1	28 10.6	82 31.1	40 15.2	14 5.3	5 1.9	-	10 3.8	2 0.8
	中区域 (n=376)	310 82.4	42 11.2	161 42.8	55 14.6	30 8.0	6 1.6	-	22 5.9	2 0.5

小学生

◆問 11 の事業（「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室[キッズ i]」「児童館（一般利用）」
「ファミリー・サポート・センター」）のうち、必要だと思うサービスは何ですか[小：問 12] <複数回答>

「放課後児童クラブ」が 30.0%と最も多く、次いで「児童館（一般利用）」が 19.0%、「放課後子ども教室[キッズ i]」が 18.9%となっています。



小学生

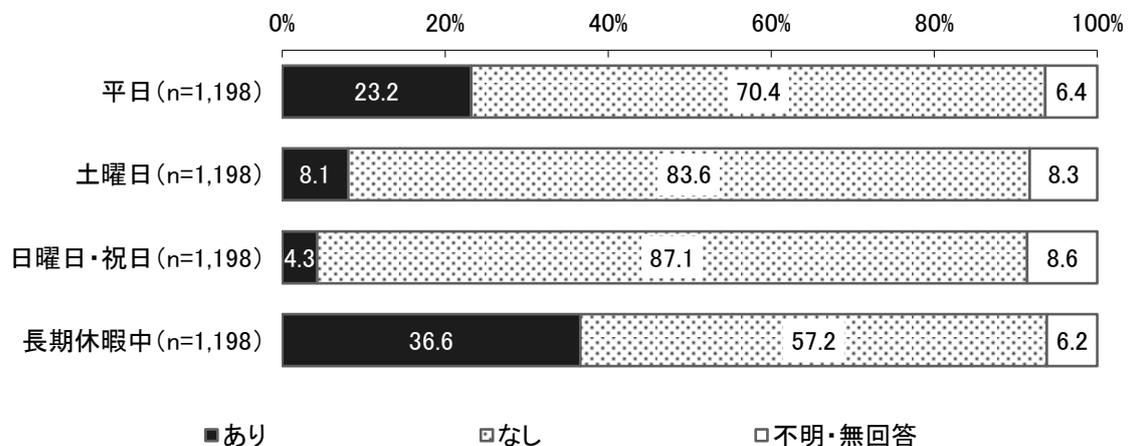
◆お子さんについて、今後の放課後児童クラブの利用意向についてお聞きます
[小：問 13] <単数回答>

放課後児童クラブの利用意向について、平日では、「なし」が 70.4%、「あり」が 23.2%となっています。

土曜日では、「なし」が 83.6%、「あり」が 8.1%となっています。

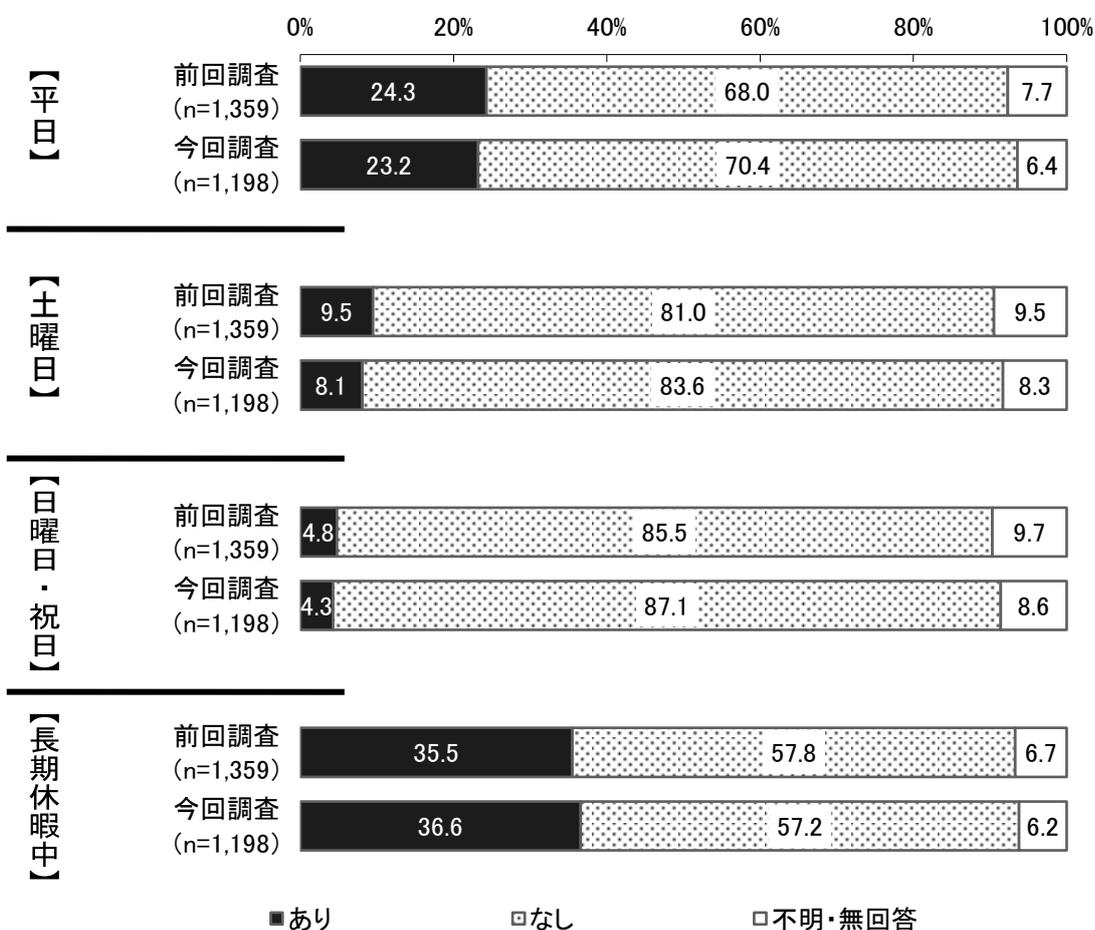
日曜日・祝日では、「なし」が 87.1%、「あり」が 4.3%となっています。

(夏休み・冬休みなどの)長期休暇中では、「なし」が 57.2%、「あり」が 36.6%となっています。



【前回調査との比較】今後の放課後児童クラブの利用意向[小：問13]

前回調査の結果と比較すると、大きな変化はうかがえません。



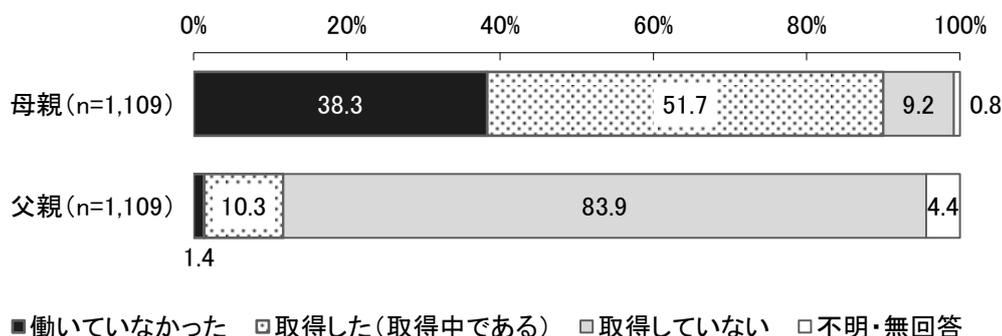
11. 子育てと仕事の両立について

就学前

◆宛名のお子さんが生まれた時、(1)母親か(2)父親のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか[前：問29]〈単数回答〉

母親では、「取得した（取得中である）」が 51.7%と最も多く、次いで「働いていなかった」が 38.3%となっています。

父親では、「取得していない」が 83.9%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が 10.3%となっています。

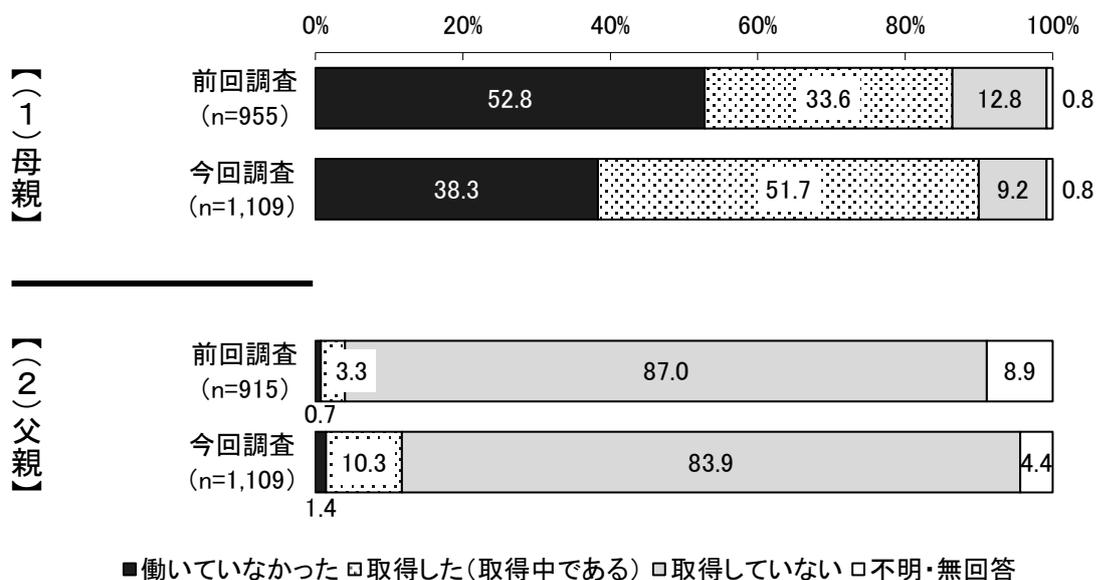


【前回調査との比較】(1)母親、(2)父親の育児休業の取得状況[前：問29]

前回調査の結果と比較すると、母親では、「取得した（取得中である）」が 18.1ポイント高くなっており、一方で「働いていなかった」が 14.5ポイント低くなっています。

父親では、「取得した（取得中である）」が 7.0ポイント高くなっています。

母親の就労の増加とともに、母親・父親双方の育児休業の取得が進んだことがうかがえます。



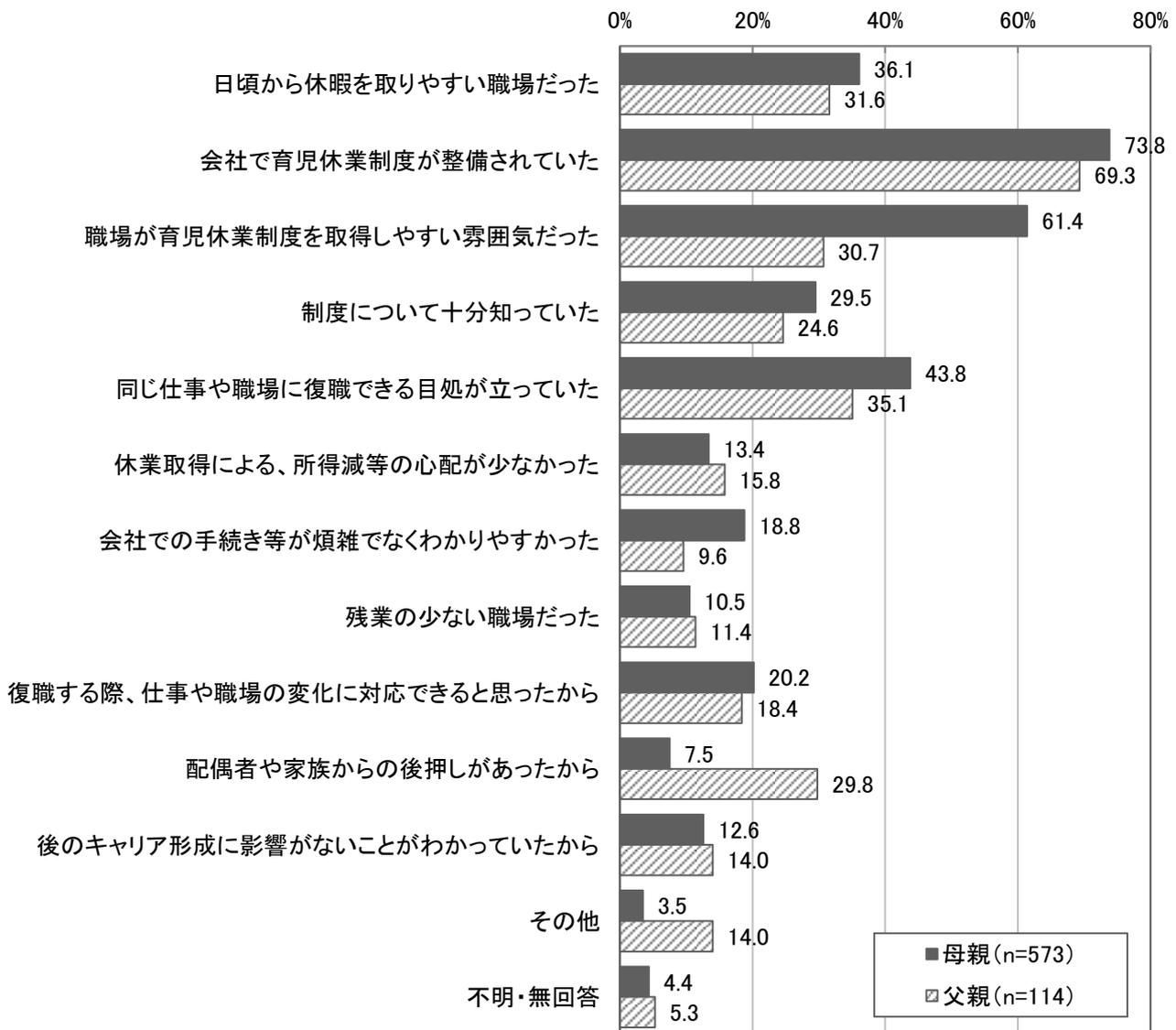
就学前

◆（育児休業を「2. 取得した（取得中である）」と回答した方）

取得した（取得中である）理由〔前：問 29-1〕〈複数回答〉

母親では、「会社で育児休業制度が整備されていた」が73.8%と最も多く、次いで「職場が育児休業制度を取得しやすい雰囲気だった」が61.4%、「同じ仕事や職場に復職できる目処が立っていた」が43.8%となっています。

父親では、「会社で育児休業制度が整備されていた」が69.3%と最も多く、次いで「同じ仕事や職場に復職できる目処が立っていた」が35.1%、「日頃から休暇を取りやすい職場だった」が31.6%となっています。



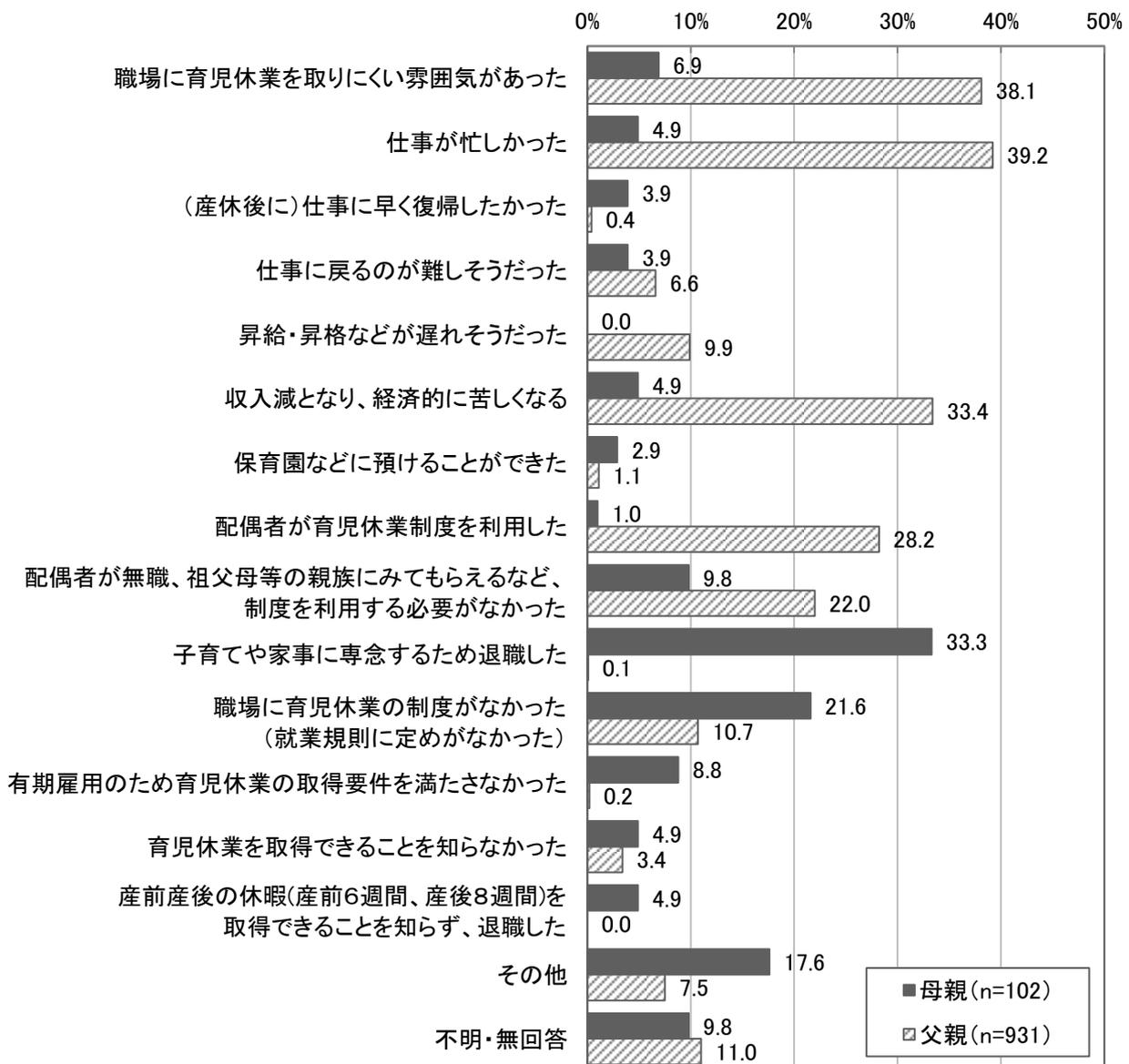
就学前

◆（育児休暇を「3. 取得していない」と回答した方）

取得していない理由[前：問 29-2] <複数回答>

母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が 33.3%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 21.6%、「その他」が 17.6%となっています。

父親では、「仕事が忙しかった」が 39.2%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 38.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 33.4%となっています。



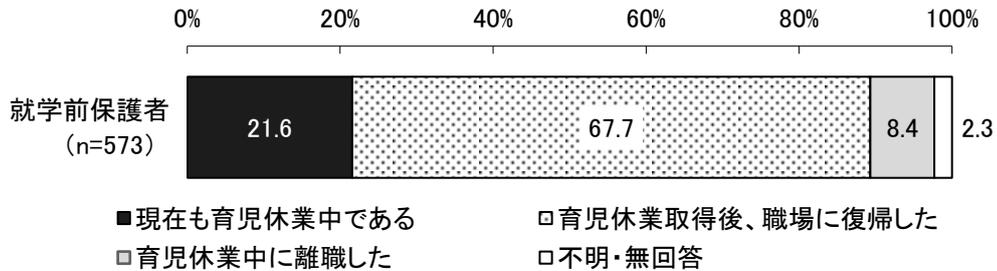
前：問 30 から問 31-1 は、前：問 29 で母親が「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方

【1】母親の職場復帰の状況など

就学前

◆ 育児休業取得後、職場に復帰しましたか〔前：問 30〕〈単数回答〉

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 67.7%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 21.6%となっています。

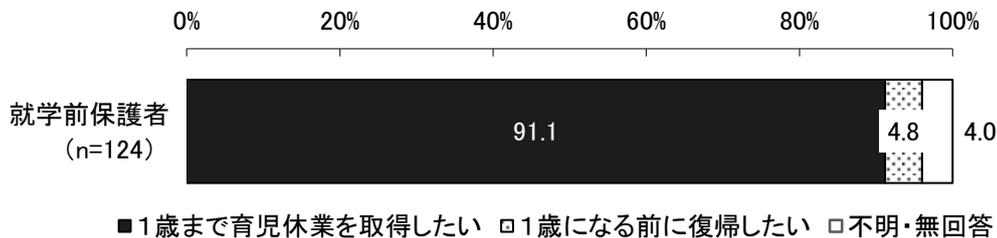


就学前

◆ (「1. 現在も育児休業中である」と回答した方)

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか〔前：問 30-1〕〈単数回答〉

「1歳まで育児休業を取得したい」が 91.1%、「1歳になる前に復帰したい」が 4.8%となっています。



就学前

◆ (「2. 育児休業中取得後、職場に復帰した」と回答した方)

育児休業から職場に復帰したのは、希望どおりでしたか〔前：問 30-2〕〈単数回答〉

「希望どおりだった」が 66.8%と最も多く、次いで「希望する時期より早く復帰した」が 21.1%、「希望する時期より遅く復帰した」が 11.1%となっています。

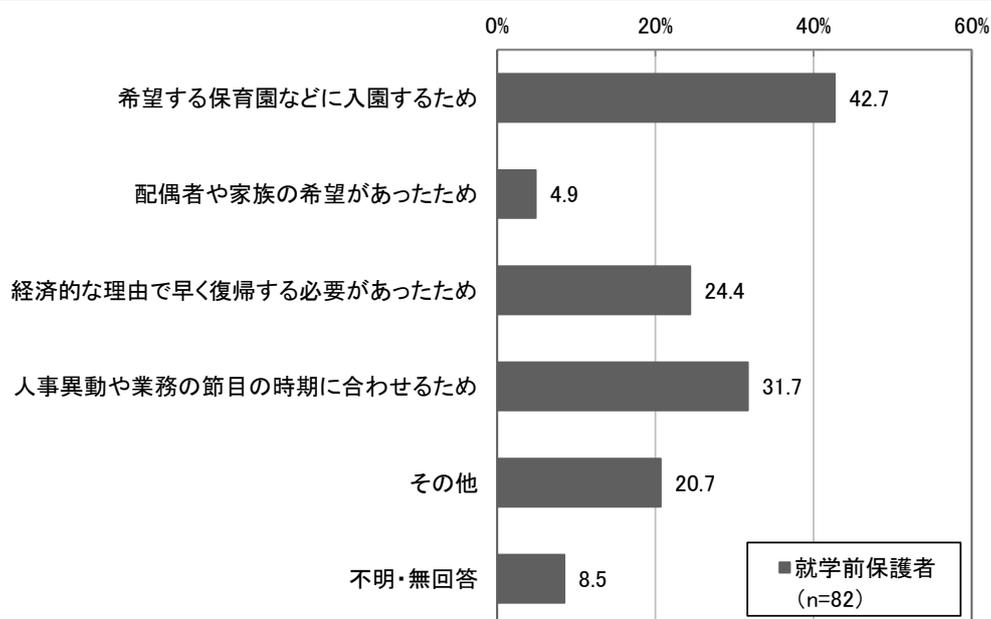


就学前

◆（育児休業からの復帰が「2. 希望する時期より早く復帰した」と回答した方）

早く復帰した理由[前：問 30-3] <複数回答>

「希望する保育園などに入園するため」が42.7%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が31.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が24.4%となっています。

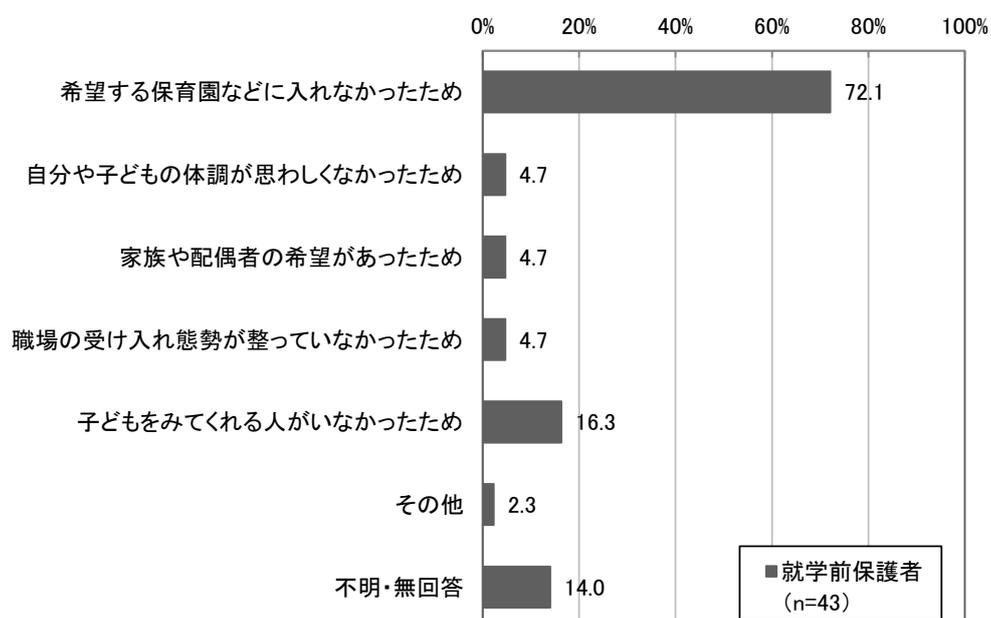


就学前

◆（育児休業からの復帰が「3. 希望する時期より遅く復帰した」と回答した方）

遅く復帰した理由[前：問 30-4] <複数回答>

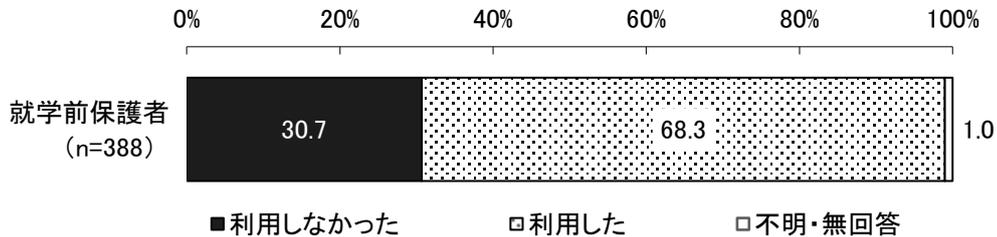
「希望する保育園などに入れなかったため」が72.1%と最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」がそれぞれ16.3%となっています。



就学前

◆ 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか〔前：問 31〕〈単数回答〉

「利用しなかった」が 30.7%、「利用した」が 68.3%となっています。

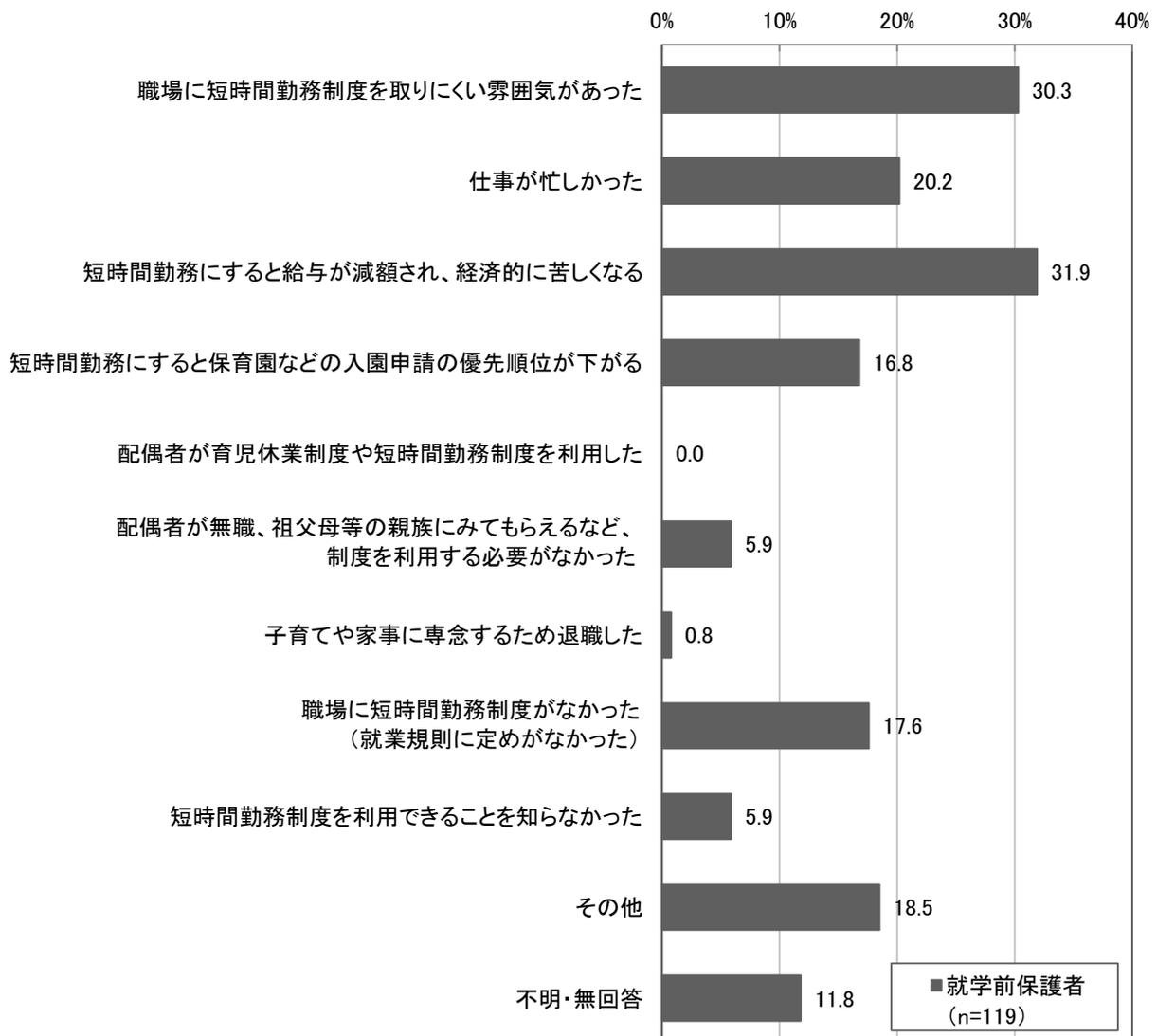


就学前

◆ (短時間勤務制度を「1. 利用しなかった」と回答した方)

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか〔前：問 31-1〕〈複数回答〉

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 31.9%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 30.3%、「仕事が忙しかった」が 20.2%となっています。

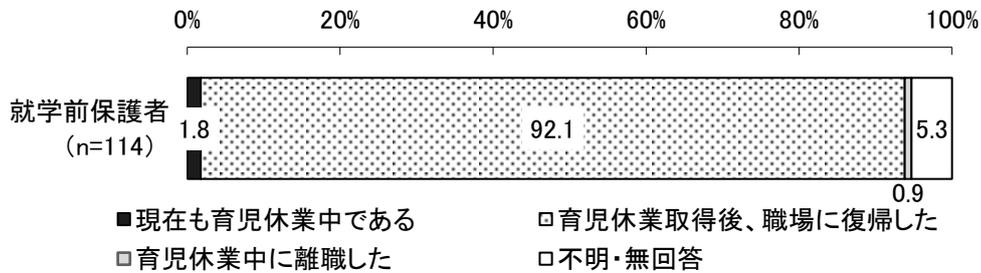


【2】父親の職場復帰の状況など

就学前

◆ 育児休業取得後、職場に復帰しましたか[前：問 30] <単数回答>

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 92.1%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 1.8%となっています。



就学前

◆ (「1. 現在も育児休業中である」と回答した方)

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか[前：問 30-1] <単数回答>

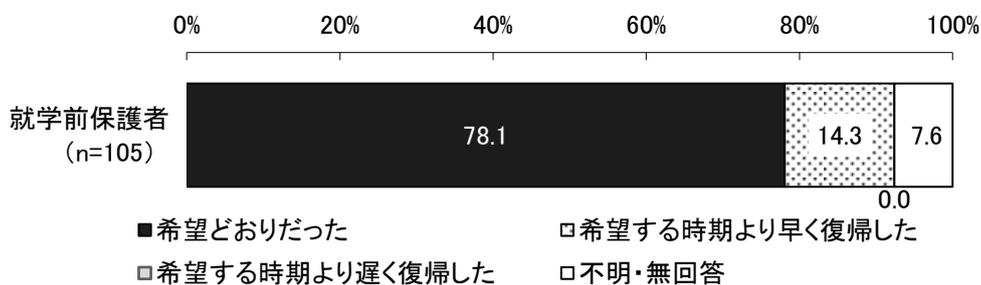
「1歳まで育児休業を取得したい」が1件(50.0%)、「1歳になる前に復帰したい」が1件(50.0%)となっています(件数が少ないため、グラフの表記を省略しています)。

就学前

◆ (「2. 育児休業中取得後、職場に復帰した」と回答した方)

育児休業から職場に復帰したのは、希望どおりでしたか[前：問 30-2] <単数回答>

「希望どおりだった」が78.1%と最も多く、次いで「希望する時期より早く復帰した」が14.3%となっています。

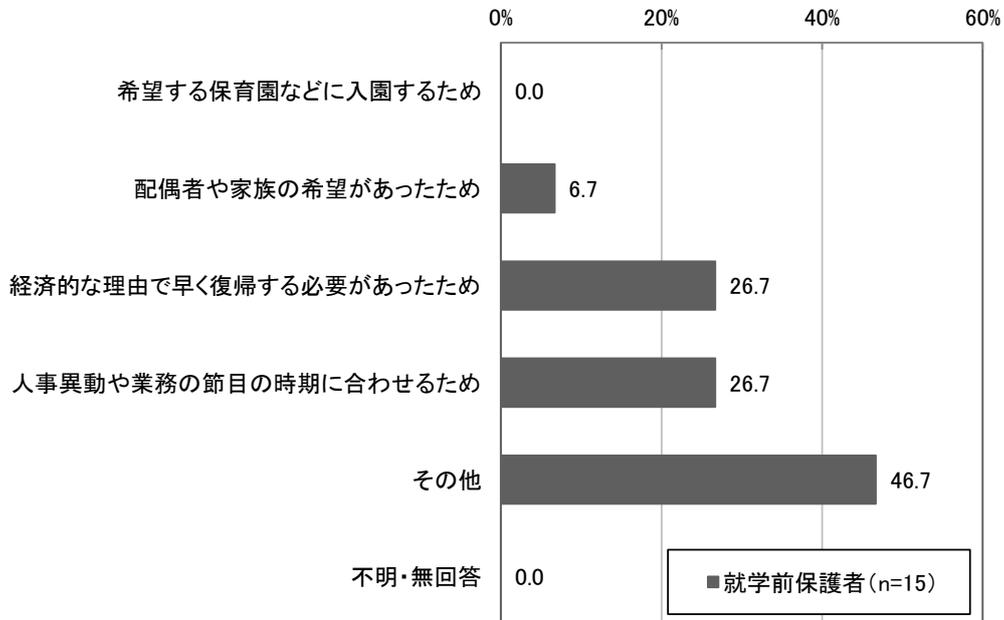


就学前

◆（育児休業からの復帰が「2. 希望する時期より早く復帰した」と回答した方）

早く復帰した理由[前：問 30-3] <複数回答>

「その他」が 46.7%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」と「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がそれぞれ 26.7%となっています。



就学前

◆（育児休業からの復帰が「3. 希望する時期より遅く復帰した」と回答した方）

遅く復帰した理由[前：問 30-4] <複数回答>

※回答はありませんでした。

就学前

◆ 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか〔前：問 31〕〈単数回答〉

「利用しなかった」が 78.1、「利用した」が 10.5%となっています。

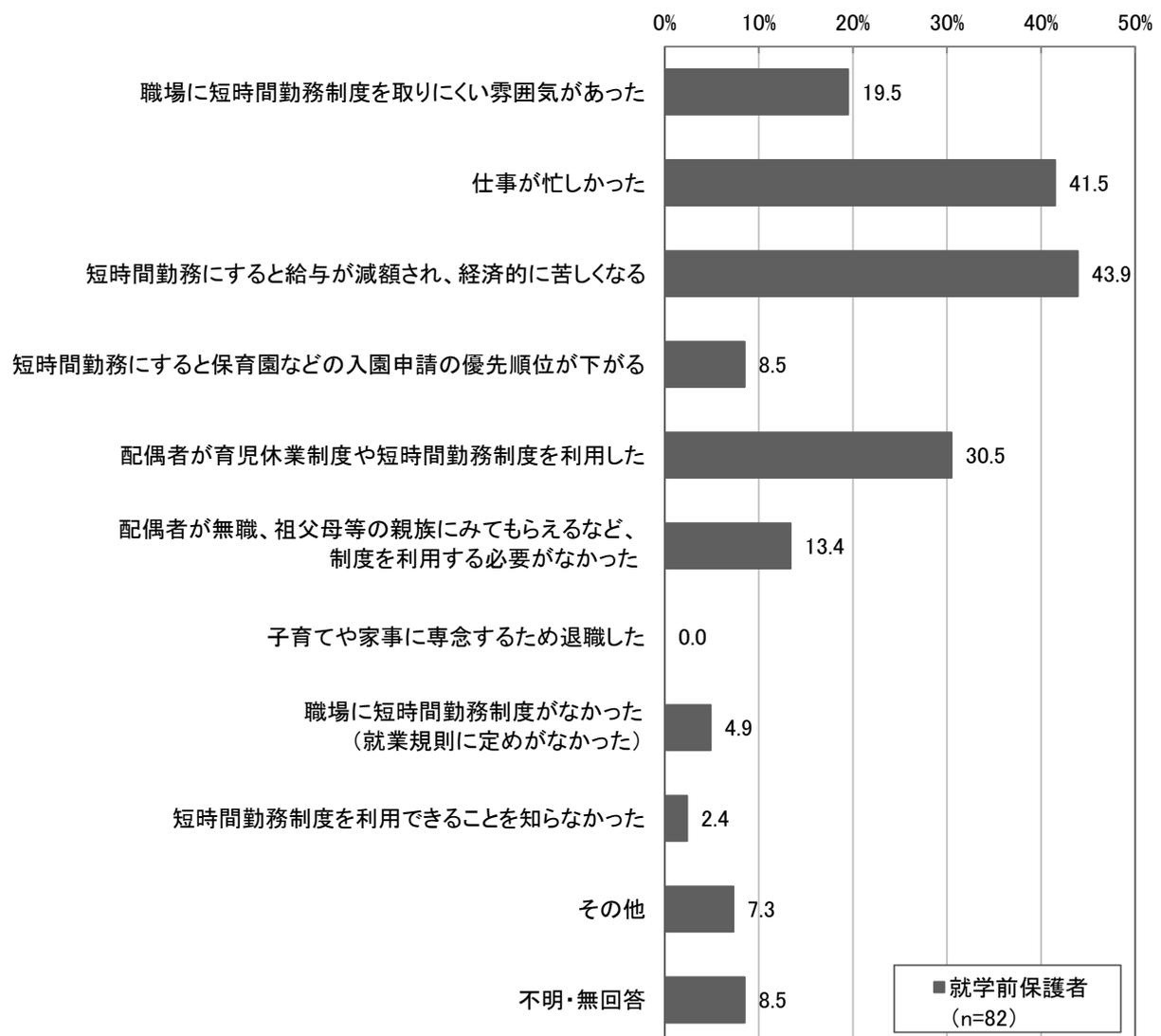


就学前

◆ (短時間勤務制度を「1. 利用しなかった」と回答した方)

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか〔前：問 31-1〕〈複数回答〉

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 43.9%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 41.5%、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が 30.5%となっています。



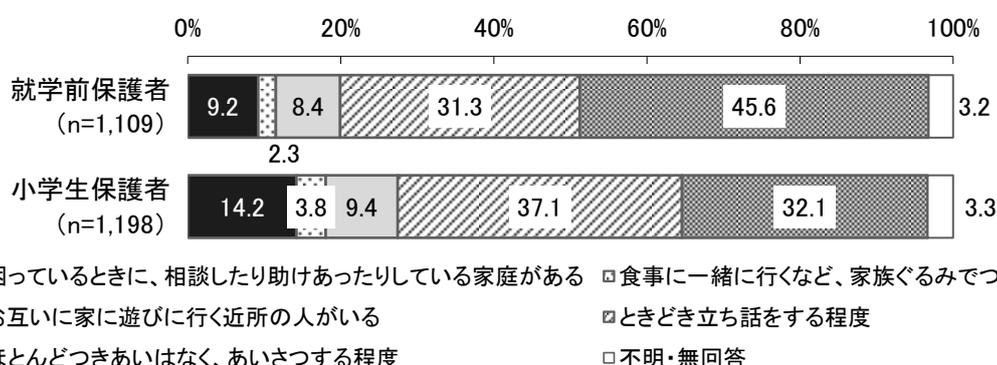
12. 子育てと地域社会について

就学前 小学生

◆となり近所（地域）とのつきあいはどうですか〔前：問 32、小：問 21〕〈単数回答〉

就学前では、「ほとんどつきあいはなく、あいさつする程度」が 45.6%と最も多く、次いで「ときどき立ち話をする程度」が 31.3%、「困っているときに、相談したり助けあったりしている家庭がある」が 9.2%となっています。

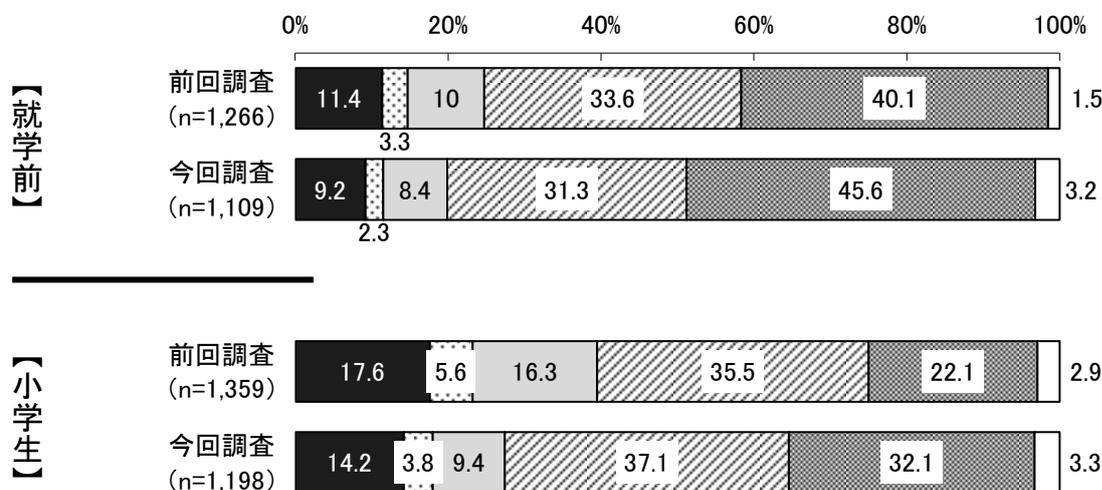
小学生では、「ときどき立ち話をする程度」が 37.1%と最も多く、次いで「ほとんどつきあいはなく、あいさつする程度」が 32.1%、「困っているときに、相談したり助けあったりしている家庭がある」が 14.2%となっています。



【前回調査との比較】となり近所（地域）とのつきあい〔前：問 32、小：問 21〕

前回調査の結果と比較すると、就学前では、「ほとんどつきあいはなく、あいさつする程度」が 5.5 ポイント増加しています。

小学生でも同様に、「ほとんどつきあいはなく、あいさつする程度」10.0 ポイント増加しています。一方で、「お互いに家に遊びに行く近所の人がある」が 6.9 ポイント減少しています。近隣とのつきあいの希薄化がうかがえ、その背景には、コロナ禍での生活が少なからず影響しているものと考えられます。



- 困っているときに、相談したり助けあったりしている家庭がある
- お互いに家に遊びに行く近所の人がある
- ほとんどつきあいはなく、あいさつする程度
- 食事と一緒にいくなど、家族ぐるみでつきあっている
- ときどき立ち話をする程度
- 不明・無回答

【クロス集計】となり近所（地域）とのつきあい[前：問32、小：問21]×

年齢（学年）別、提供区域別

就学前の年齢別にみると、0歳では「ほとんどつきあいはなく、あいさつする程度」が62.2%と、全体より16.6ポイント高くなっています。また、年齢の上昇に伴って、その割合は減少していることや、「お互いに家に遊びに行く近所の人がある」などが増えていることから、子どもの成長が近隣とのつきあいのきっかけになると考えられます。

【就学前】

上段:件数 下段:%		問32 となり近所(地域)とのつきあいはどうですか。					
		困っているときに、相談したり助けあったりしている家庭がある	食事に一緒に行くなど、家族ぐるみでつきあっている	お互いに家に遊びに行く近所の人がある	ときどき立ち話をする程度	ほとんどつきあいはなく、あいさつする程度	不明・無回答
全体(n=1,109)		102 9.2	25 2.3	93 8.4	347 31.3	506 45.6	36 3.2
★年齢区分	0歳 (n=143)	4 2.8	3 2.1	5 3.5	39 27.3	89 62.2	3 2.1
	1・2歳 (n=270)	15 5.6	5 1.9	17 6.3	81 30.0	145 53.7	7 2.6
	3歳以上 (n=664)	80 12.0	16 2.4	70 10.5	216 32.5	257 38.7	25 3.8
★提供区域	東区域 (n=151)	12 7.9	5 3.3	9 6.0	53 35.1	65 43.0	7 4.6
	西区域 (n=380)	39 10.3	7 1.8	36 9.5	117 30.8	168 44.2	13 3.4
	北区域 (n=225)	20 8.9	7 3.1	20 8.9	76 33.8	95 42.2	7 3.1
	中区域 (n=336)	30 8.9	6 1.8	27 8.0	98 29.2	167 49.7	8 2.4

【小学生】

上段:件数 下段:%		問21 となり近所(地域)とのつきあいはどうですか。					
		困っているときに、相談したり助けあったりしている家庭がある	食事に一緒に行くなど、家族ぐるみでつきあっている	お互いに家に遊びに行く近所の人がある	ときどき立ち話をする程度	ほとんどつきあいはなく、あいさつする程度	不明・無回答
全体(n=1,198)		170 14.2	46 3.8	113 9.4	445 37.1	385 32.1	39 3.3
★学年区分	低学年 (n=485)	57 11.8	15 3.1	50 10.3	174 35.9	168 34.6	21 4.3
	高学年 (n=689)	110 16.0	29 4.2	62 9.0	258 37.4	212 30.8	18 2.6
★提供区域	東区域 (n=148)	17 11.5	4 2.7	19 12.8	57 38.5	48 32.4	3 2.0
	西区域 (n=391)	59 15.1	19 4.9	26 6.6	145 37.1	131 33.5	11 2.8
	北区域 (n=264)	46 17.4	4 1.5	25 9.5	100 37.9	81 30.7	8 3.0
	中区域 (n=376)	46 12.2	17 4.5	42 11.2	134 35.6	120 31.9	17 4.5

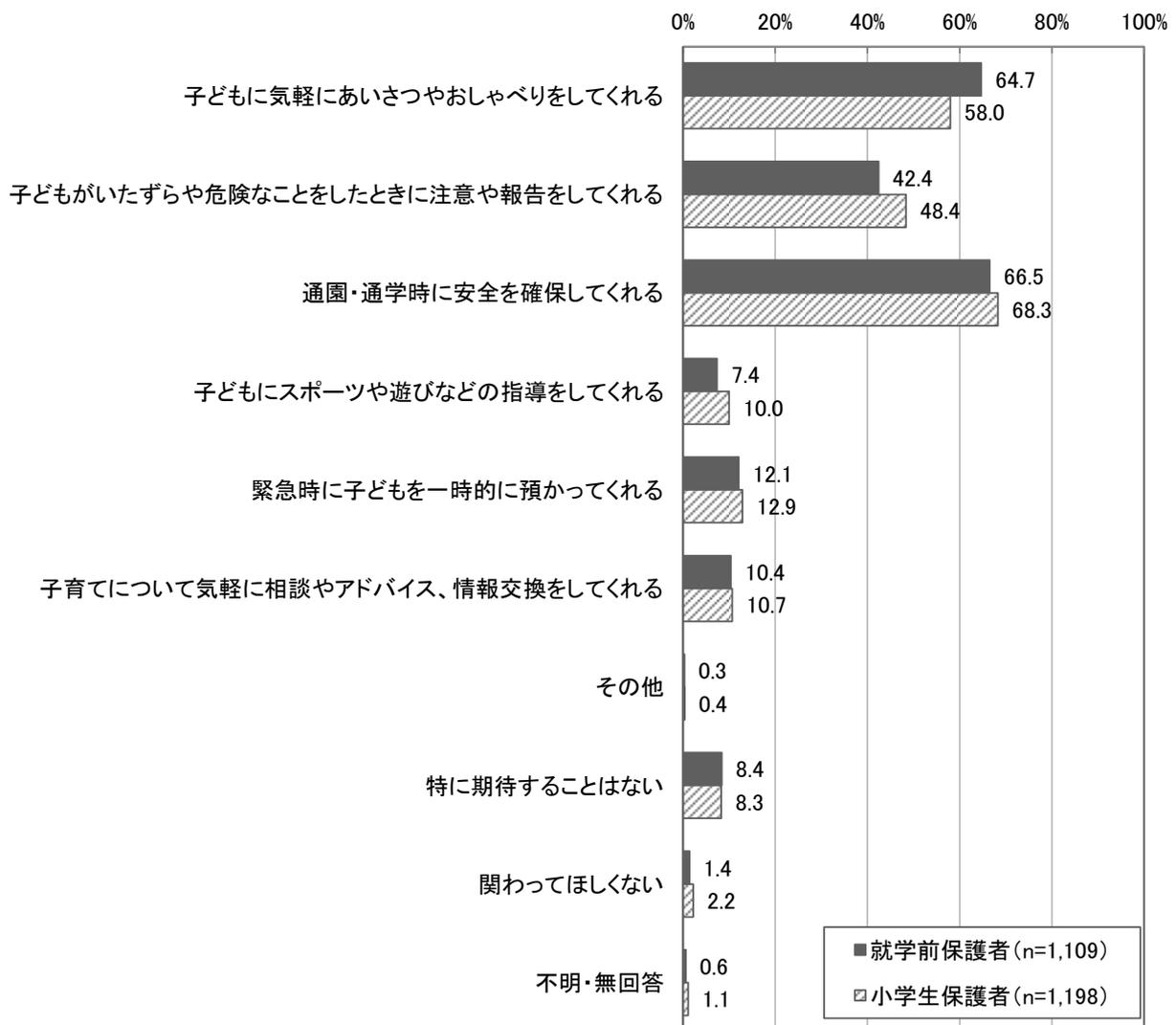
就学前 小学生

◆子育て家庭や子どもと、地域の関わりにどのような期待をしますか

[前：問 33、小：問 22] <複数回答>

就学前では、「通園・通学時に安全を確保してくれる」が 66.5%と最も多く、次いで「子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」が 64.7%、「子どもがいたずらや危険なことをした時に注意や報告をしてくれる」が 42.4%となっています。

小学生では、「通園・通学時に安全を確保してくれる」が 68.3%と最も多く、次いで「子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」が 58.0%、「子どもがいたずらや危険なことをした時に注意や報告をしてくれる」が 48.4%となっています。



【クロス集計】地域の関わりに期待すること〔前：問33、小：問22〕×

年齢（学年）別、提供区域別

就学前の年齢別にみると、いずれの年齢においても「子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる」と「通園・通学時に安全を確保してくれる」の割合が高くなっています。この傾向は、提供区域別においても同様となっていますが、東区域においては「通園・通学時に安全を確保してくれる」が、他の区域に比べて高くなっています。

小学生の学年別、提供区域別にみると、いずれも「通園・通学時に安全を確保してくれる」が高くなっています。その中でも、東区域においては「通園・通学時に安全を確保してくれる」が他の区域に比べて高くなっていますが、この傾向は、就学前と同様の傾向となっています。

【就学前】

		問33 子育て家庭や子どもと、地域の関わりにどのような期待をしますか。									
上段:件数 下段:%		子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる	子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる	通園・通学時に安全を確保してくれる	子どもにスポーツや遊びなどの指導をしてくれる	緊急時に子どもを一時的に預かってくれる	子育てについて気軽に相談やアドバイス、情報交換をしてくれる	その他	特に期待することはない	関わってほしくない	不明・無回答
全体 (n=1109)		718 64.7	470 42.4	737 66.5	82 7.4	134 12.1	115 10.4	3 0.3	93 8.4	15 1.4	7 0.6
★ 年齢区分	0歳 (n=143)	92 64.3	56 39.2	94 65.7	8 5.6	8 5.6	8 5.6	- -	18 12.6	4 2.8	- -
	1・2歳 (n=270)	178 65.9	106 39.3	178 65.9	20 7.4	27 10.0	38 14.1	1 0.4	21 7.8	3 1.1	2 0.7
	3歳以上 (n=664)	433 65.2	300 45.2	445 67.0	49 7.4	95 14.3	64 9.6	1 0.2	51 7.7	6 0.9	4 0.6
	★ 提供区域	東区域 (n=151)	94 62.3	67 44.4	106 70.2	15 9.9	20 13.2	17 11.3	- -	15 9.9	2 1.3
	西区域 (n=380)	243 63.9	157 41.3	256 67.4	26 6.8	44 11.6	41 10.8	1 0.3	29 7.6	5 1.3	3 0.8
	北区域 (n=225)	153 68.0	95 42.2	142 63.1	16 7.1	28 12.4	19 8.4	1 0.4	22 9.8	- -	- -
	中区域 (n=336)	219 65.2	148 44.0	223 66.4	23 6.8	40 11.9	35 10.4	- -	25 7.4	8 2.4	3 0.9

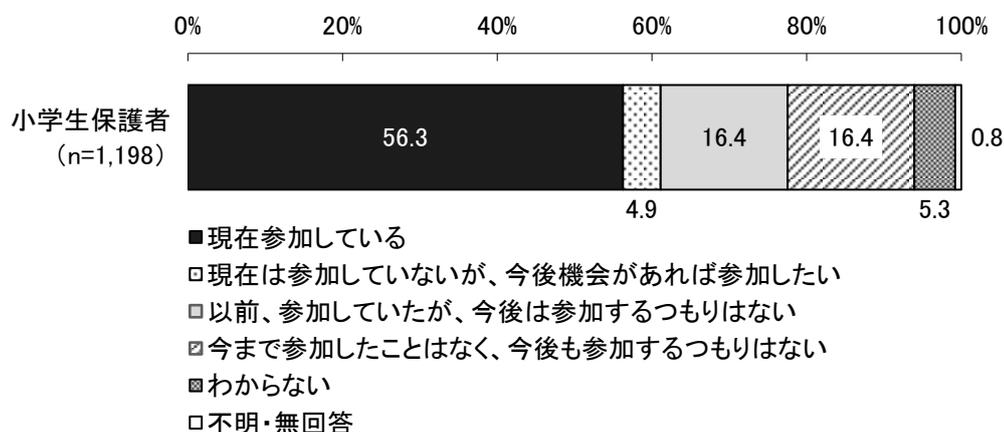
【小学生】

		問22 子育て家庭や子どもと、地域の関わりにどのような期待をしますか。									
上段:件数 下段:%		子どもに気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる	子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる	通園・通学時に安全を確保してくれる	子どもにスポーツや遊びなどの指導をしてくれる	緊急時に子どもを一時的に預かってくれる	子育てについて気軽に相談やアドバイス、情報交換をしてくれる	その他	特に期待することはない	関わってほしくない	不明・無回答
全体 (n=1,198)		695 58.0	580 48.4	818 68.3	120 10.0	154 12.9	128 10.7	5 0.4	99 8.3	26 2.2	13 1.1
★ 学年区分	低学年 (n=485)	291 60.0	235 48.5	343 70.7	41 8.5	75 15.5	55 11.3	2 0.4	34 7.0	8 1.6	8 1.6
	高学年 (n=689)	396 57.5	335 48.6	460 66.8	76 11.0	76 11.0	70 10.2	3 0.4	61 8.9	16 2.3	5 0.7
★ 提供区域	東区域 (n=148)	86 58.1	76 51.4	115 77.7	16 10.8	15 10.1	11 7.4	1 0.7	10 6.8	3 2.0	1 0.7
	西区域 (n=391)	222 56.8	179 45.8	251 64.2	47 12.0	38 9.7	42 10.7	1 0.3	38 9.7	11 2.8	7 1.8
	北区域 (n=264)	163 61.7	124 47.0	172 65.2	19 7.2	37 14.0	24 9.1	1 0.4	24 9.1	5 1.9	1 0.4
	中区域 (n=376)	217 57.7	191 50.8	268 71.3	36 9.6	61 16.2	49 13.0	2 0.5	24 6.4	6 1.6	4 1.1

小学生

◆地域の子ども会活動に参加していますか[小：問23]〈単数回答〉

「現在参加している」が56.3%と最も多く、次いで「以前、参加していたが、今後は参加するつもりはない」と「今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」がそれぞれ16.4%となっています。



【クロス集計】地域の子ども会活動への参加[小：問23]×学年別、提供区域別

学年別、提供区域別にみると、いずれも「現在参加している」が高くなっています。東区域と北区域が比較的高くなっている一方で、中区域は低くなっています。

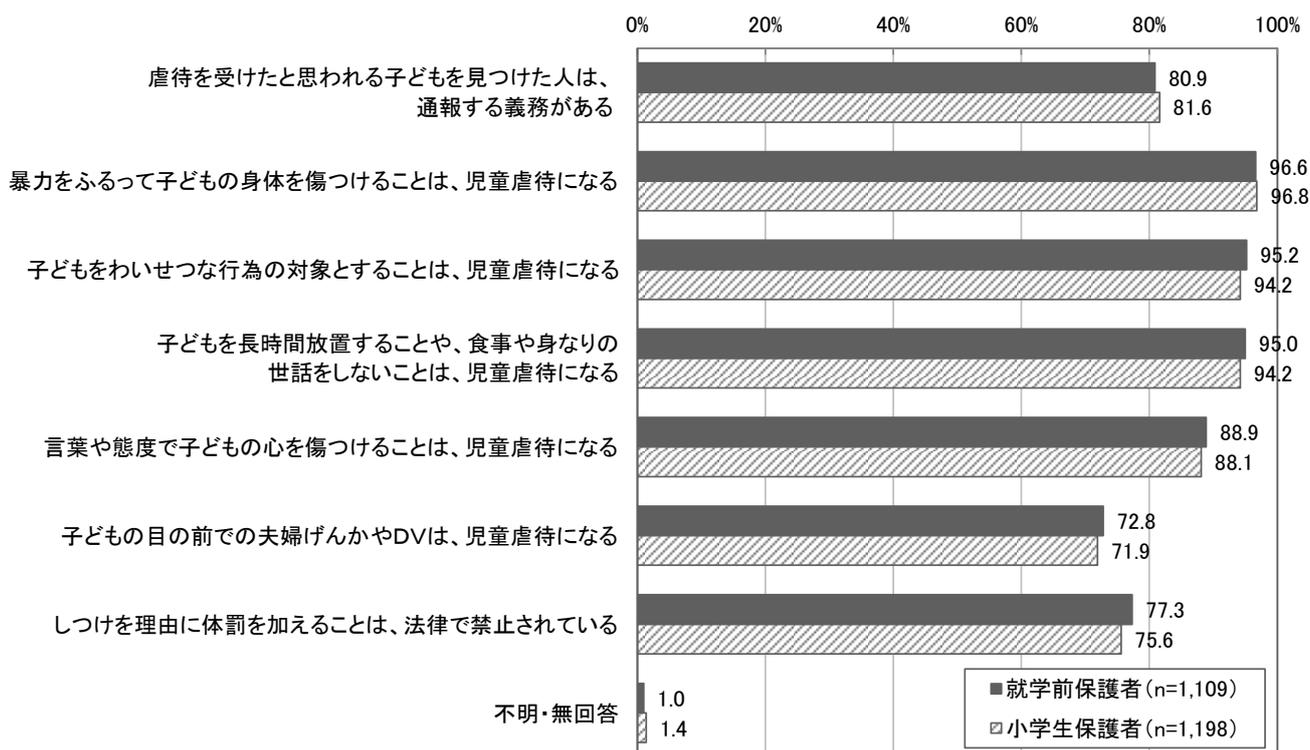
上段:件数 下段:%		問23 地域の子ども会活動に参加していますか。					
		現在参加している	現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい	以前、参加していたが、今後は参加するつもりはない	今まで参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	わからない	不明・無回答
全体 (n=1,198)		675 56.3	59 4.9	196 16.4	196 16.4	63 5.3	9 0.8
★学年区分	低学年 (n=485)	256 52.8	36 7.4	58 12.0	102 21.0	31 6.4	2 0.4
	高学年 (n=689)	404 58.6	23 3.3	136 19.7	91 13.2	29 4.2	6 0.9
★提供区域	東区域 (n=148)	100 67.6	6 4.1	15 10.1	18 12.2	9 6.1	-
	西区域 (n=391)	207 52.9	16 4.1	71 18.2	69 17.6	23 5.9	5 1.3
	北区域 (n=264)	181 68.6	9 3.4	34 12.9	28 10.6	11 4.2	1 0.4
	中区域 (n=376)	176 46.8	28 7.4	74 19.7	77 20.5	19 5.1	2 0.5

13. 児童虐待について

就学前 小学生

◆あなたが、児童虐待について知っていることは何ですか[前：問34、小：問24]〈複数回答〉

就学前、小学生ともに認知度の高い項目は、「暴力をふるって子どもの身体を傷つけることは、児童虐待になる」、「子どもをわいせつな行為の対象とすることは、児童虐待になる」、「子どもを長時間放置することや、食事や身なりの世話をしないことは、児童虐待になる」となっています。



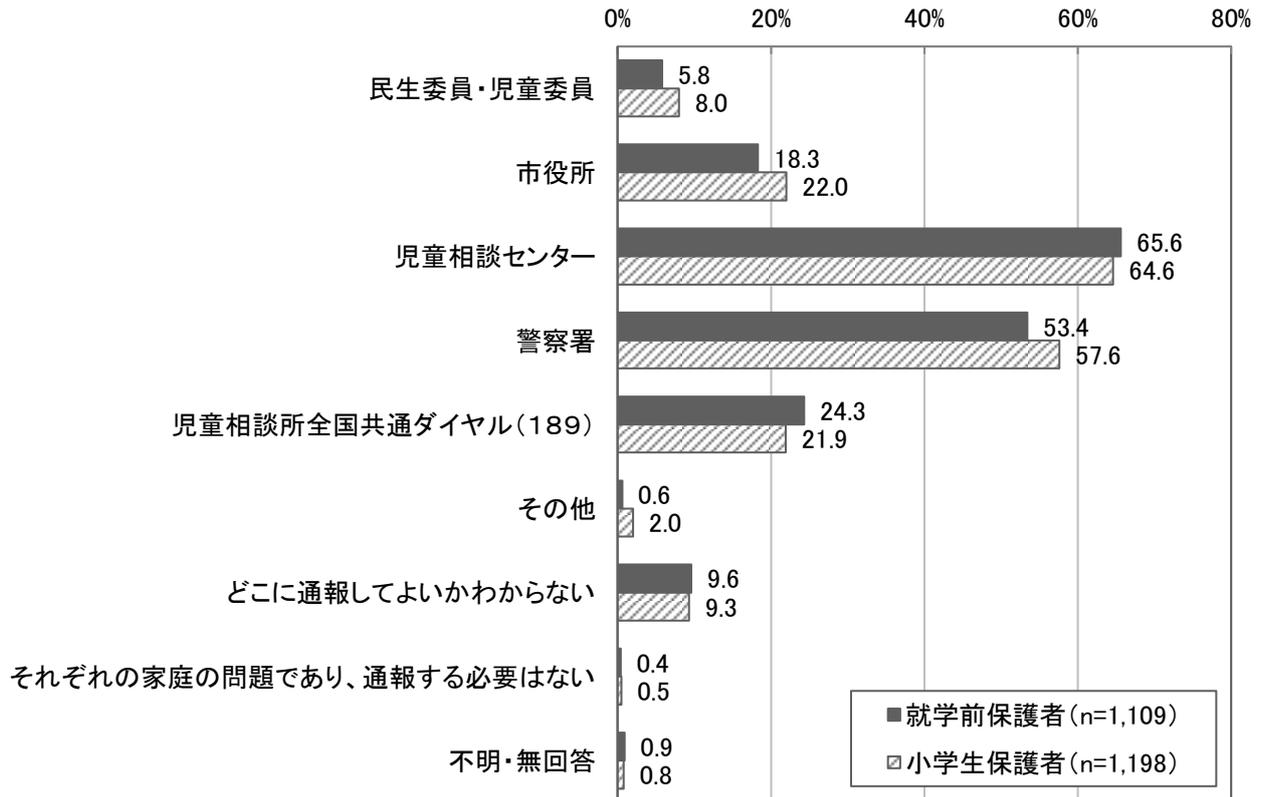
就学前 **小学生**

◆あなたが、児童虐待を発見した場合、どこに通報すればよいと思いますか

[前：問 35、小：問 25] <複数回答>

就学前では、「児童相談センター」が 65.6%と最も多く、次いで「警察署」が 53.4%、「児童相談所全国共通ダイヤル（189）」が 24.3%となっています。

小学生では、「児童相談センター」が 64.6%と最も多く、次いで「警察署」が 57.6%、「市役所」が 22.0%となっています。



14. 子育て全般について

就学前 小学生

◆仕事と子育てに関する保護者の方の状況をうかがいます[前：問36、小：問26] <単数回答>

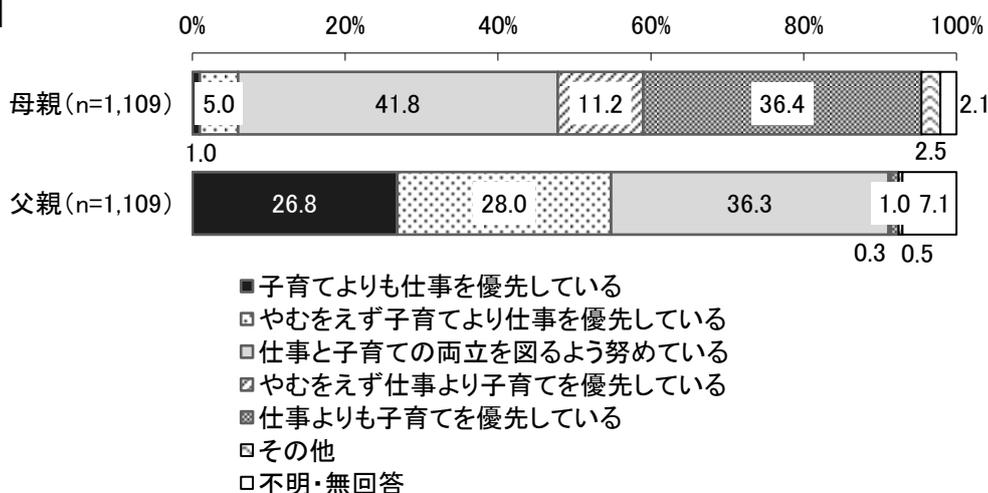
就学前において、母親では「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」が41.8%と最も多く、次いで「仕事よりも子育てを優先している」が36.4%、「やむをえず仕事より子育てを優先している」が11.2%となっています。

父親では、「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」が36.3%と最も多く、次いで「やむをえず子育てより仕事を優先している」が28.0%、「子育てよりも仕事を優先している」が26.8%となっています。

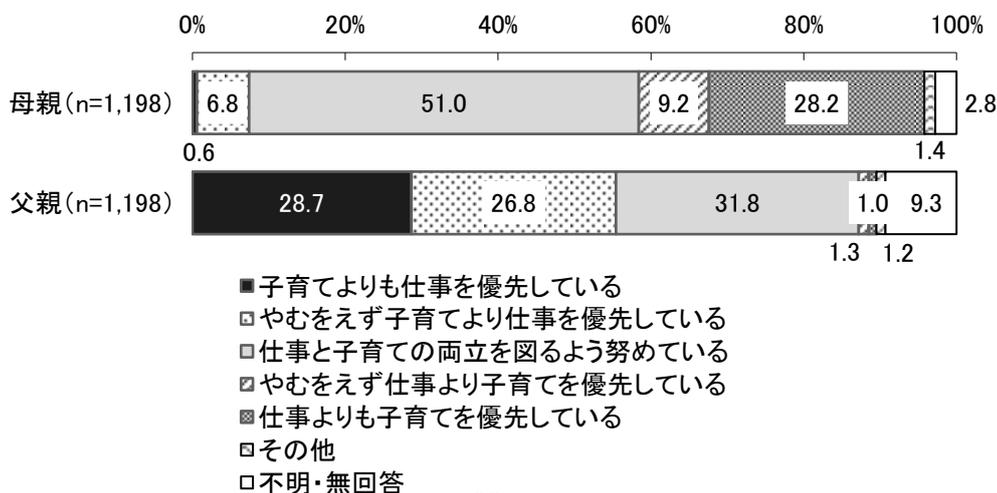
小学生において、母親では「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」が51.0%と最も多く、次いで「仕事よりも子育てを優先している」が28.2%、「やむをえず仕事より子育てを優先している」が9.2%となっています。

父親では、「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」が31.8%と最も多く、次いで「子育てよりも仕事を優先している」が28.7%、「やむをえず子育てより仕事を優先している」が26.8%となっています。

【就学前】



【小学生】



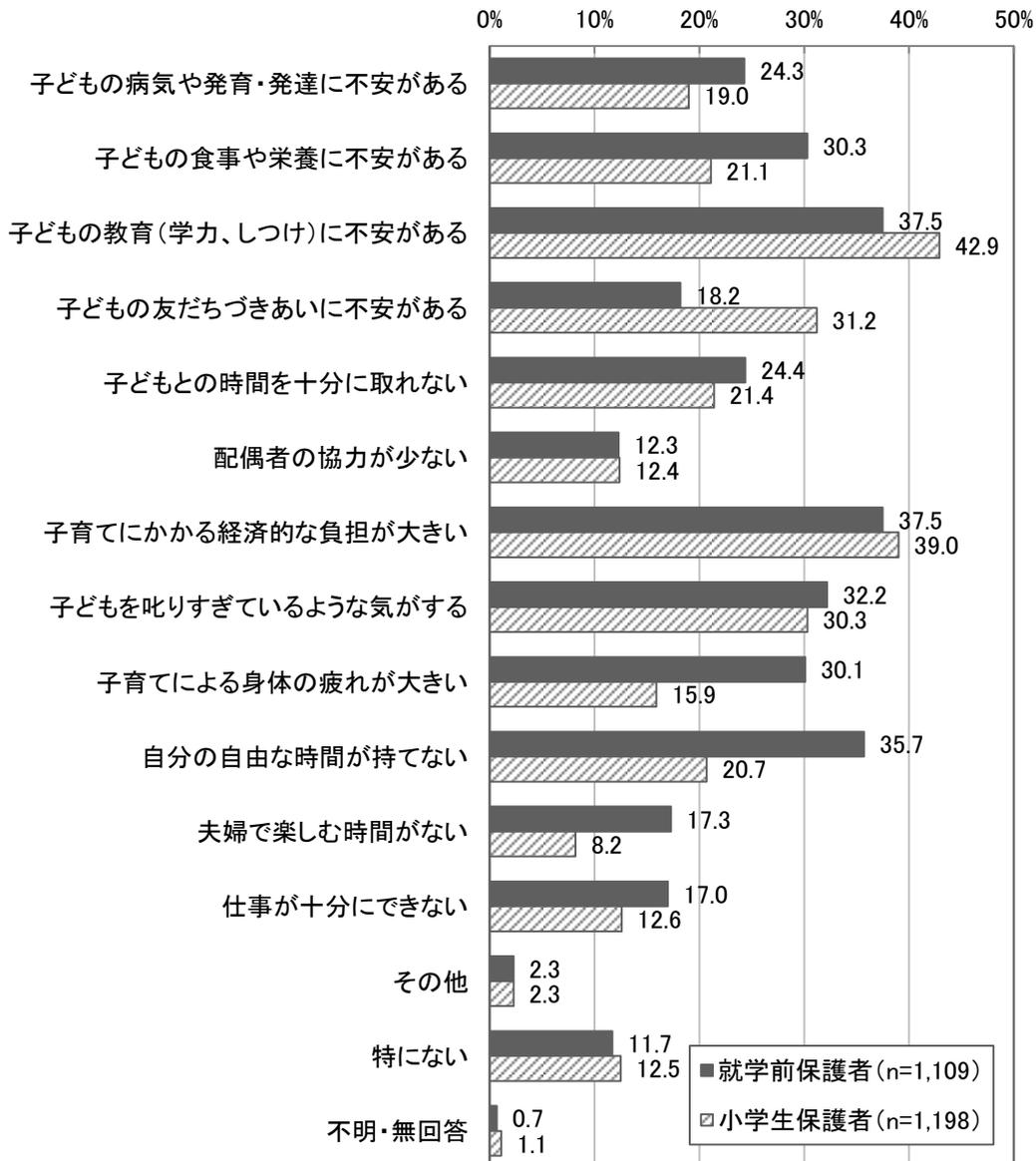
就学前 小学生

◆あなたが、子育てに関して悩んでいること、気になることは何ですか

[前：問 37、小：問 27] <複数回答>

就学前では、「子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある」と「子育てにかかる経済的な負担が大きい」がそれぞれ 37.5%と最も多く、次いで「自分の自由な時間が持てない」が 35.7%、「子どもを叱りすぎているような気がする」が 32.2%となっています。

小学生では、「子どもの教育（学力、しつけ）に不安がある」が 42.9%と最も多く、次いで「子育てにかかる経済的な負担が大きい」が 39.0%、「子どもの友だちづきあいに不安がある」が 31.2%となっています。



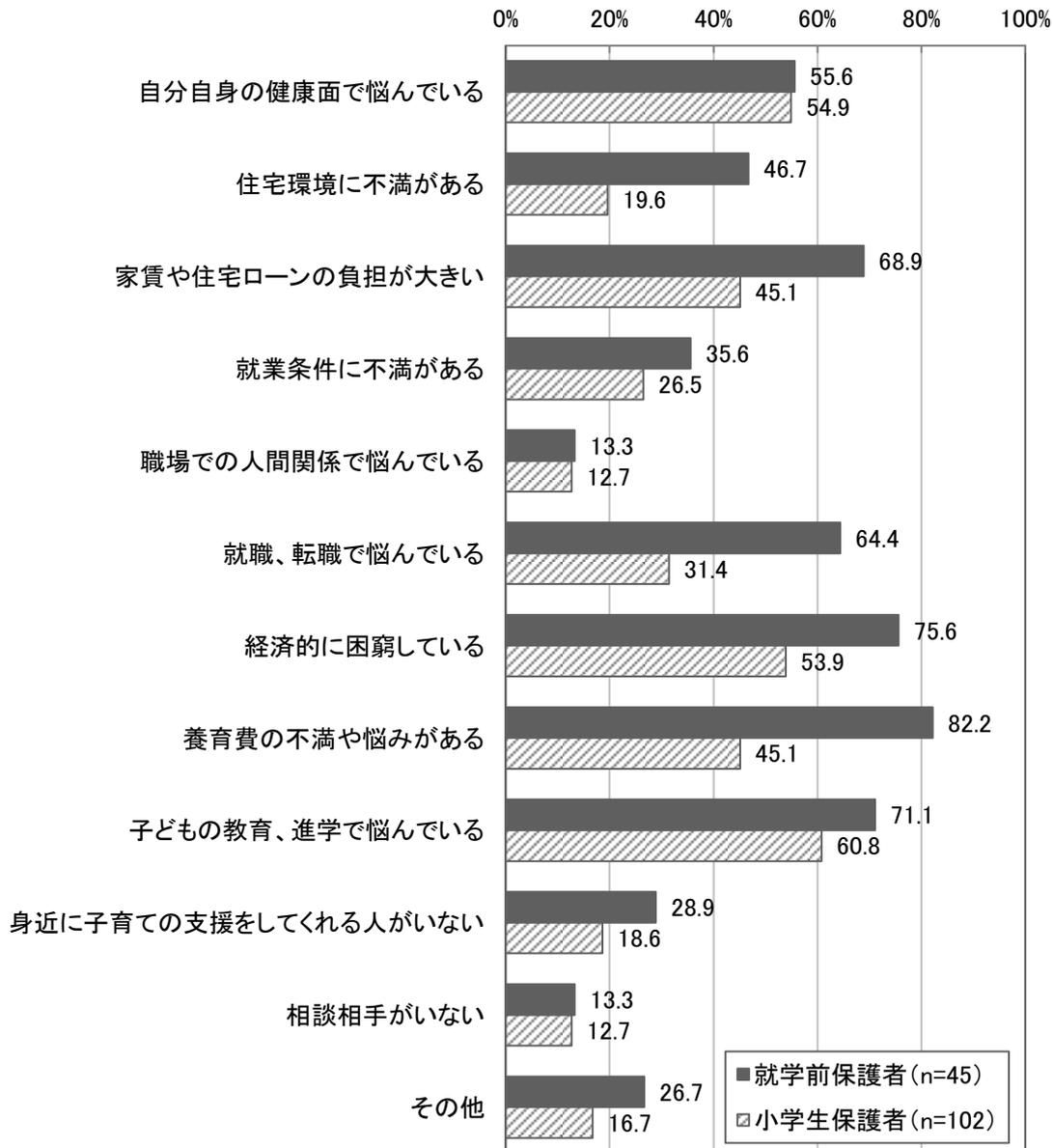
就学前 小学生

◆ (ひとり親家庭の方)

子育てや生活で悩んでいることは何ですか[前：問38、小：問28] <複数回答>

就学前では、「養育費の不満や悩みがある」が82.2%と最も多く、次いで「経済的に困窮している」が75.6%、「子どもの教育、進学で悩んでいる」が71.1%となっています。

小学生では、「子どもの教育、進学で悩んでいる」が60.8%と最も多く、次いで「自分自身の健康面で悩んでいる」が54.9%、「経済的に困窮している」が53.9%となっています。



※「不明・無回答」を除くとともに、各項目の回答数を前：問3および小：問4における「配偶者がいない」の数で除しています。

就学前 小学生

◆一宮市の子育て支援施策への満足度・重要度についてお聞きます

[前：問 39、小：問 29] <単数回答>

この問いでは、一宮市の子育て支援施策について、(1) から (15) の施策の現在までの満足度と今後の重要度についてうかがっています。

評価の方法は、施策ごとに満足度は「満足」の5点から「不満」の1点、重要度は「重要」の5点から「重要でない」の1点まで、それぞれ5段階評価で点数化を行い、それを「わからない」「不明・無回答」を除く回答件数で除した、加重平均で平均値を算出しました。

【就学前】

施策内容	満足度 平均	重要度 平均
(1) 子育てに関する相談、情報提供の充実	3.10	4.02
(2) 親子・親同士の交流の場の充実	3.02	3.37
(3) 家庭の教育力向上のための学習の機会の充実	2.78	3.71
(4) 母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実	3.00	4.00
(5) 安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実	3.64	4.65
(6) 次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	2.80	3.93
(7) 放課後の子どもの居場所の充実	2.63	4.55
(8) 児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	2.82	4.64
(9) 障害のある子どもが地域で安心して生活できるよう障害児施策の充実	2.89	4.42
(10) ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	2.97	4.25
(11) 保育サービスの費用負担や学費など経済支援の充実	2.47	4.62
(12) 仕事と子育てが両立できるよう保育園、幼稚園の箇所数や内容の充実	2.90	4.51
(13) 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発	2.37	4.43
(14) 親子トイレ・授乳コーナーの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実	3.05	4.38
(15) 犯罪や事故から子どもを守るための取り組みの充実	2.75	4.70

【小学生】

施策内容	満足度 平均	重要度 平均
(1) 子育てに関する相談、情報提供の充実	3.00	3.94
(2) 親子・親同士の交流の場の充実	3.01	3.35
(3) 家庭の教育力向上のための学習の機会の充実	2.74	3.73
(4) 母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実	3.05	3.88
(5) 安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実	3.53	4.53
(6) 次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	2.79	3.88
(7) 放課後の子どもの居場所の充実	2.76	4.30
(8) 児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	2.80	4.48
(9) 障害のある子どもが地域で安心して生活できるよう障害児施策の充実	2.86	4.35
(10) ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	2.83	4.18
(11) 保育サービスの費用負担や学費など経済支援の充実	2.65	4.44
(12) 仕事と子育てが両立できるよう保育園、幼稚園の箇所数や内容の充実	3.07	4.25
(13) 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発	2.49	4.27
(14) 親子トイレ・授乳コーナーの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実	3.15	4.10
(15) 犯罪や事故から子どもを守るための取り組みの充実	2.77	4.58

就学前 小学生

◆一宮市の子育て支援施策への満足度・重要度についてお聞きます

[前：問 39、小：問 29] <単数回答>

就学前・小学生保護者の施策に対する満足度と重要度を、点数の高い順に上から並べると、満足度では、就学前、小学生ともに、「(5)安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」が上位となっています。また重要度では、就学前、小学生ともに、「(15)犯罪や事故から子どもを守るための取り組みの充実」と「(5)安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」、「(8)児童虐待やいじめ等に対する対策の充実」が上位となっています。

【就学前・小学生保護者の満足度と重要度の上位3位】

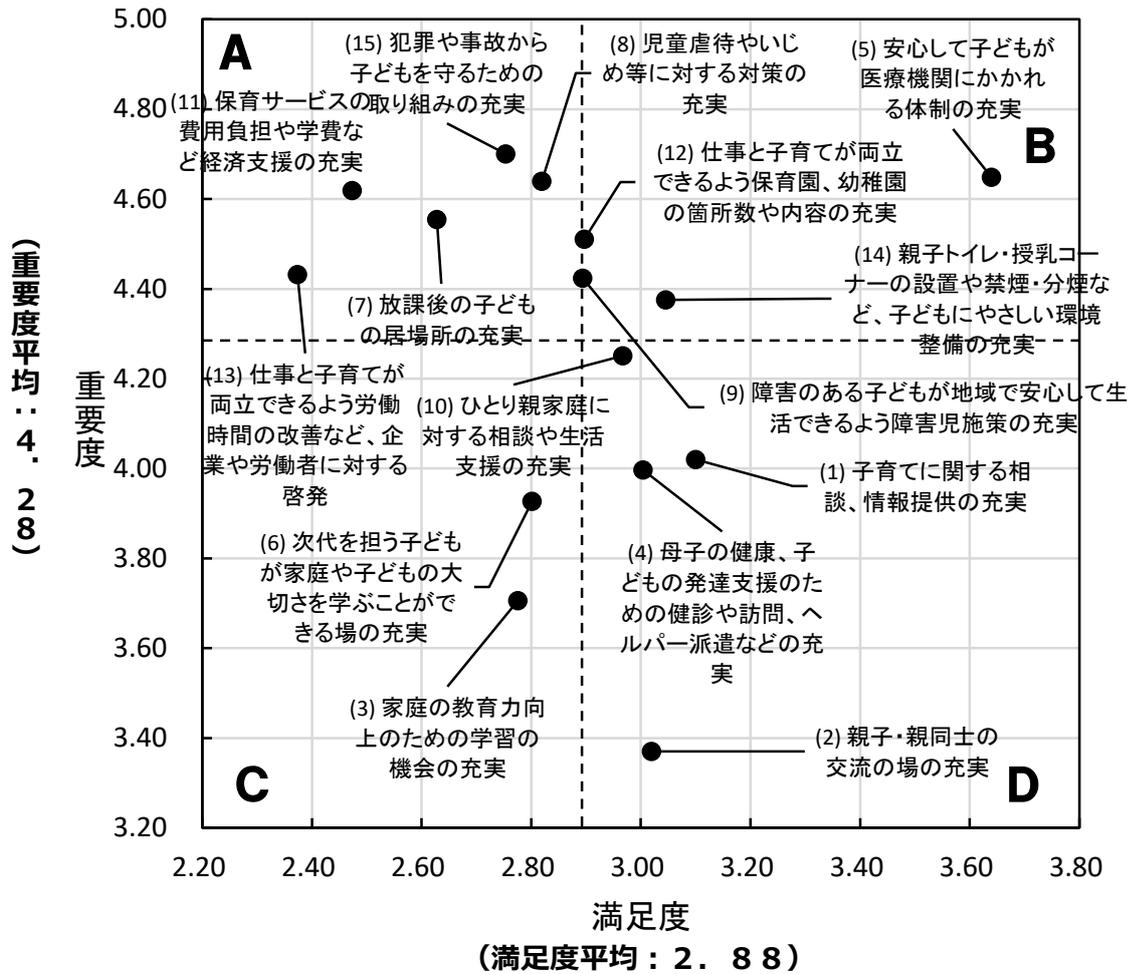
順位	就学前保護者		小学生保護者	
	満足度	重要度	満足度	重要度
1位	(5)安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実	(15)犯罪や事故から子どもを守るための取り組みの充実	(5)安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実	(15)犯罪や事故から子どもを守るための取り組みの充実
2位	(1)子育てに関する相談、情報提供の充実	(5)安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実	(14)親子トイレ・授乳コーナーの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実	(5)安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実
3位	(14)親子トイレ・授乳コーナーの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実	(8)児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	(12)仕事と子育てが両立できるよう保育園、幼稚園の箇所数や内容の充実	(8)児童虐待やいじめ等に対する対策の充実

就学前

◆一宮市の子育て支援施策への満足度・重要度についてお聞きます [前：問 39] <単数回答>

就学前保護者の、(1) から (15) の施策の満足度・重要度を散布図で示すと以下のようになります。

【就学前 満足度と重要度の散布図】



【散布図の見方】

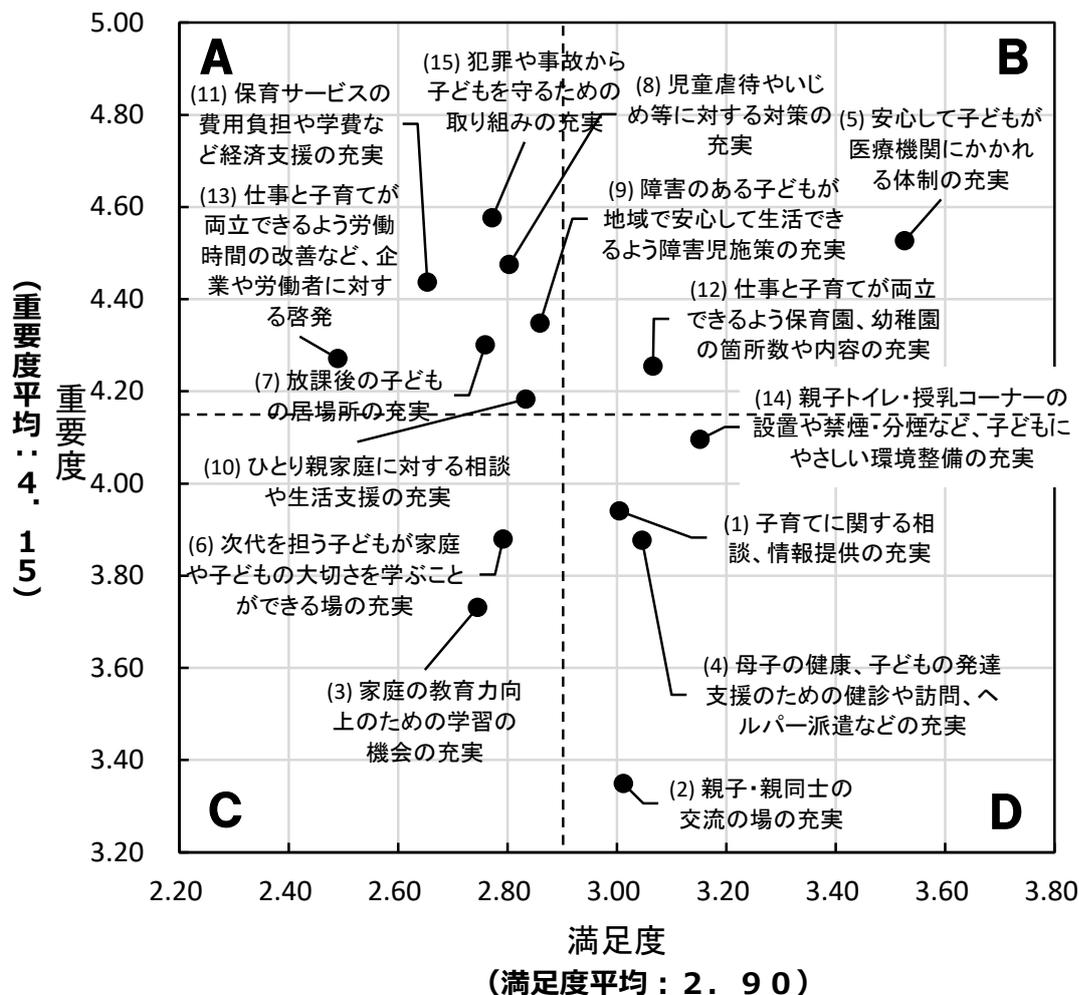
領域	
「A」の施策	重要度が高いにもかかわらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
「B」の施策	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
「C」の施策	満足度は低いものの重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
「D」の施策	満足度は高く、重要度が低いため、今後満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

小学生

◆一宮市の子育支援施策への満足度・重要度についてお聞きます[小：問 29] <単数回答>

小学生保護者の、(1) から (15) の施策の満足度・重要度を散布図で示すと以下のようになります。

【小学生 満足度と重要度の散布図】



【散布図の見方】

領域	
「A」の施策	重要度が高いにもかかわらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
「B」の施策	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
「C」の施策	満足度は低いものの重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
「D」の施策	満足度は高く、重要度が低いため、今後満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

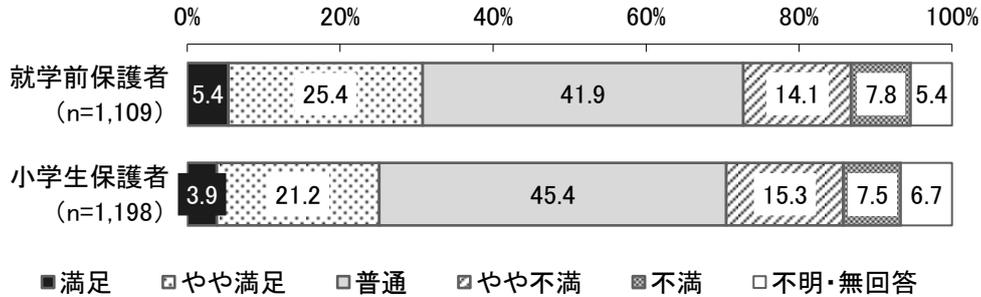
就学前 小学生

◆一宮市の子育ての環境や支援への満足度についてお聞きます

[前：問 40、小：問 30] <単数回答>

就学前では、『満足』（「満足」と「やや満足」の割合の合計）が 30.8%、『不満』（「やや不満」と「不満」の割合の合計）が 21.9%となっています。

小学生では、『満足』が 25.1%、『不満』が 22.8%となっています。



【クロス集計】子育ての環境や支援への満足度[前：問 40、小：問 30]×

年齢（学年）別、提供区域別

小学生よりも就学前の方が、満足度が高く、おおむね年齢が低い方が、満足度が高い傾向にあります。

【就学前】

上段:件数 下段:%		問39 一宮市の子育ての環境や支援への満足度についてお聞きます。					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明・無回答
全体	(n=1,109)	60 5.4	282 25.4	465 41.9	156 14.1	86 7.8	60 5.4
★年齢区分	0歳 (n=143)	7 4.9	38 26.6	51 35.7	20 14.0	14 9.8	13 9.1
	1・2歳 (n=270)	13 4.8	55 20.4	117 43.3	41 15.2	25 9.3	19 7.0
	3歳以上 (n=664)	38 5.7	183 27.6	280 42.2	91 13.7	45 6.8	27 4.1
★提供区域	東区域 (n=151)	4 2.6	33 21.9	65 43.0	22 14.6	17 11.3	10 6.6
	西区域 (n=380)	23 6.1	84 22.1	163 42.9	51 13.4	35 9.2	24 6.3
	北区域 (n=225)	13 5.8	66 29.3	89 39.6	37 16.4	11 4.9	9 4.0
	中区域 (n=336)	17 5.1	97 28.9	139 41.4	43 12.8	23 6.8	17 5.1

【小学生】

上段:件数 下段:%		問39 一宮市の子育ての環境や支援への満足度についてお聞きます。					
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明・無回答
全体	(n=1,198)	47 3.9	254 21.2	544 45.4	183 15.3	90 7.5	80 6.7
★学年区分	低学年 (n=485)	20 4.1	108 22.3	207 42.7	82 16.9	33 6.8	35 7.2
	高学年 (n=689)	26 3.8	144 20.9	324 47.0	97 14.1	56 8.1	42 6.1
★提供区域	東区域 (n=148)	5 3.4	29 19.6	79 53.4	23 15.5	6 4.1	6 4.1
	西区域 (n=391)	11 2.8	82 21.0	170 43.5	69 17.6	38 9.7	21 5.4
	北区域 (n=264)	13 4.9	52 19.7	117 44.3	37 14.0	23 8.7	22 8.3
	中区域 (n=376)	17 4.5	89 23.7	168 44.7	52 13.8	22 5.9	28 7.4

自由回答（とりまとめ）

就学前

- ◆最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください

	内 容	件数
1	経済的支援について	151 件
2	保育園・幼稚園・認定こども園について	115 件
3	遊び場・公共施設について	78 件
4	放課後の居場所について（児童館、放課後児童クラブ、放課後子ども教室）	57 件
5	その他教育・保育全般について（一時預かり・子育て支援センター）	54 件
6	仕事と家庭の両立・職場環境について	41 件
7	医療・健診について	37 件
8	安心・安全について	34 件
9	相談・情報・交流・イベントについて	32 件
10	子育て全般について	24 件
11	病児・病後児保育について	20 件
12	学校について	18 件
13	発達支援・障害児について	9 件
14	地域活動について	7 件
15	その他	27 件
16	特になし	2 件

小学生

◆最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください

	内 容	件数
1	経済的支援について	115 件
2	放課後の居場所について（児童館、放課後児童クラブ、放課後子ども教室）	87 件
3	医療・健診について	67 件
4	学校について	61 件
5	遊び場・公共施設について	46 件
6	相談・情報・交流・イベントについて	25 件
	仕事と家庭の両立・職場環境について	
8	安心・安全について	23 件
9	保育園・幼稚園・認定こども園について	22 件
10	発達支援・障害児について	21 件
11	その他教育・保育全般について（一時預かり・子育て支援センター）	20 件
12	子育て全般について	18 件
13	地域活動について	13 件
14	病児・病後児保育について	4 件
15	その他	26 件
16	特になし	1 件

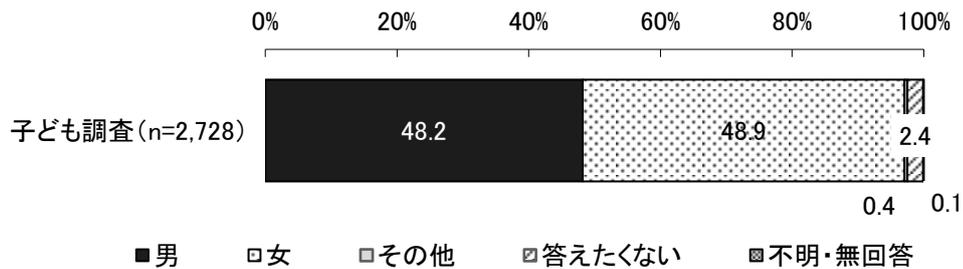
Ⅲ. こども・若者の意識調査結果

[1] 子どもの生活状況調査【子ども票】

1. あなた自身のことについて

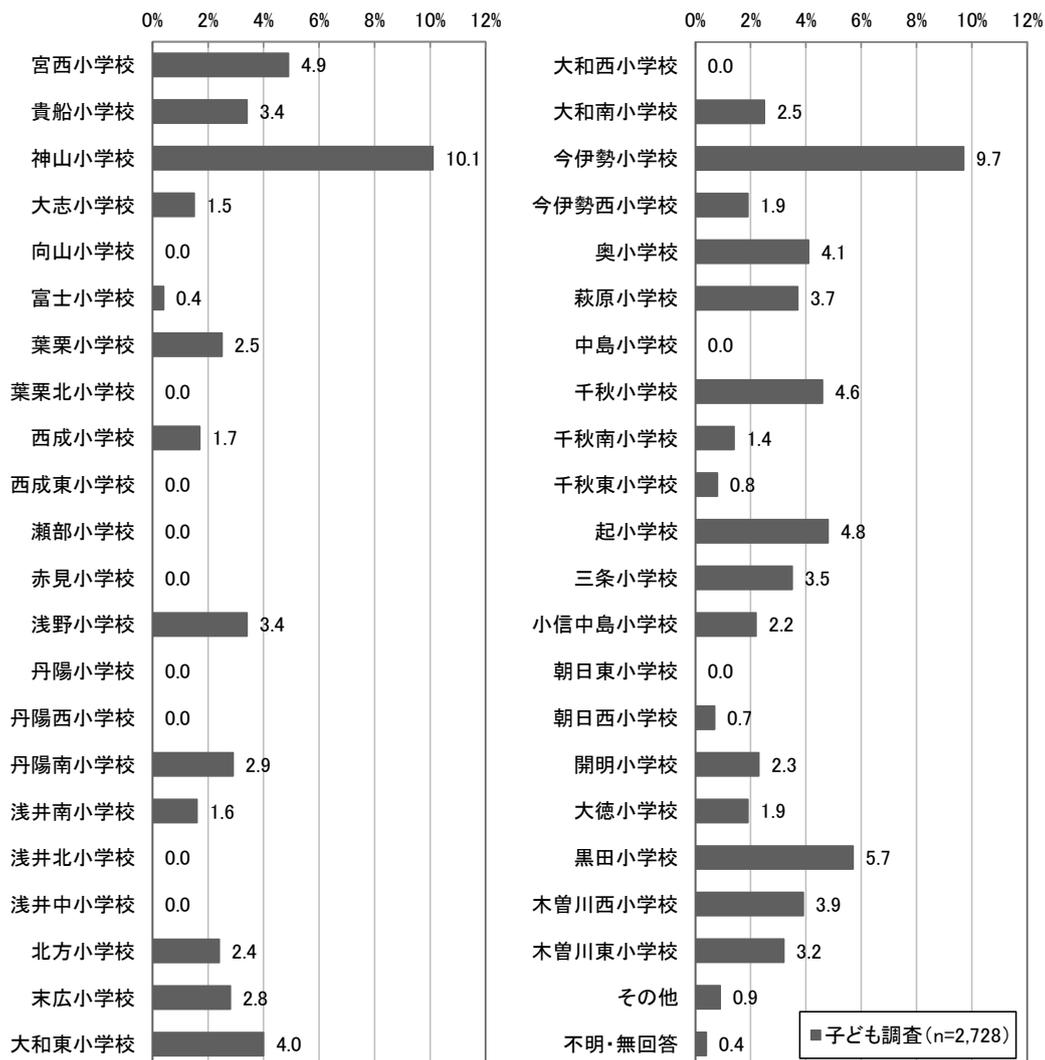
子ども

◆あなたの性別を教えてください[子：問1]〈単数回答〉



子ども

◆あなたが通っている(通っていた)小学校を教えてください[子：問2]〈単数回答〉

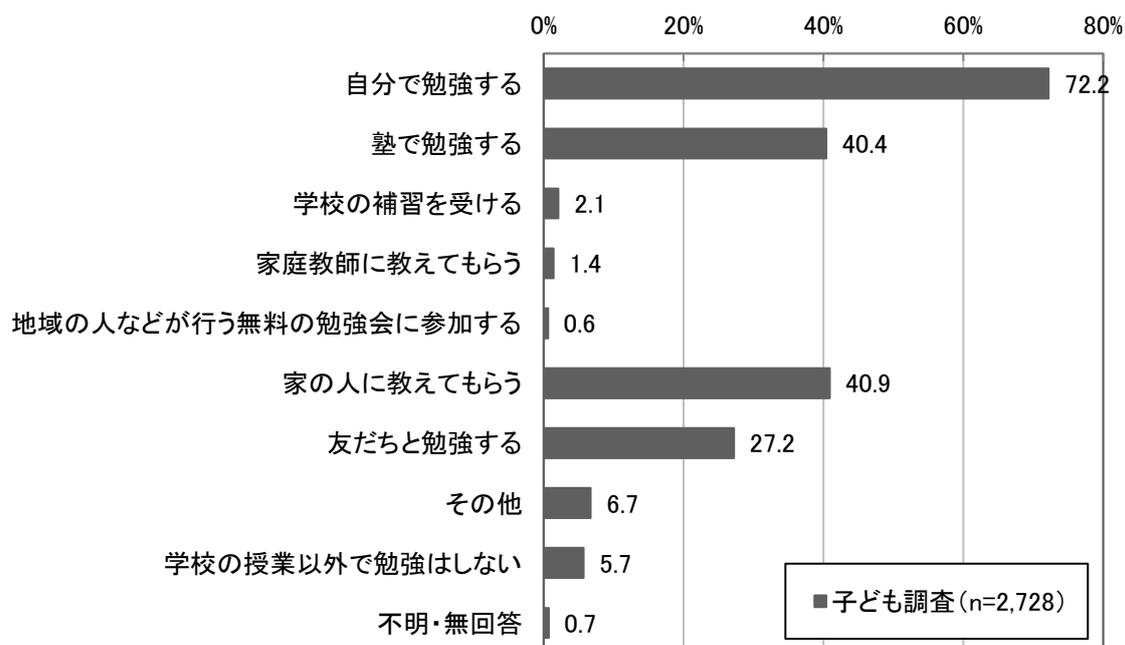


2. 普段の学習などについて

子ども

◆あなたは、普段学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか ※勉強には学校の宿題も含まれます[子：問3]〈複数回答〉

学校の授業以外での普段の勉強については、「自分で勉強する」が72.2%と最も多く、次いで「家の人に教えてもらう」が40.9%、「塾で勉強する」が40.4%となっています。



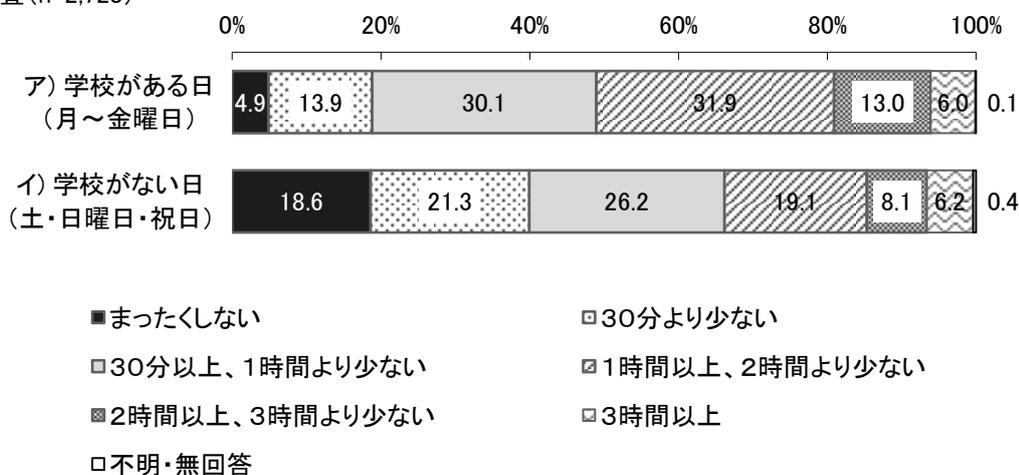
子ども

◆あなたは、普段学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含まれます[子：問4] <単数回答>

学校の授業以外での普段の勉強時間について、ア) 学校がある日(月～金曜日)では、「1時間以上、2時間より少ない」が31.9%と最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が30.1%、「30分より少ない」が13.9%となっています。

また、イ) 学校がない日(土・日曜日・祝日)では、「30分以上、1時間より少ない」が26.2%と最も多く、次いで「30分より少ない」が21.3%、「1時間以上、2時間より少ない」が19.1%となっています。

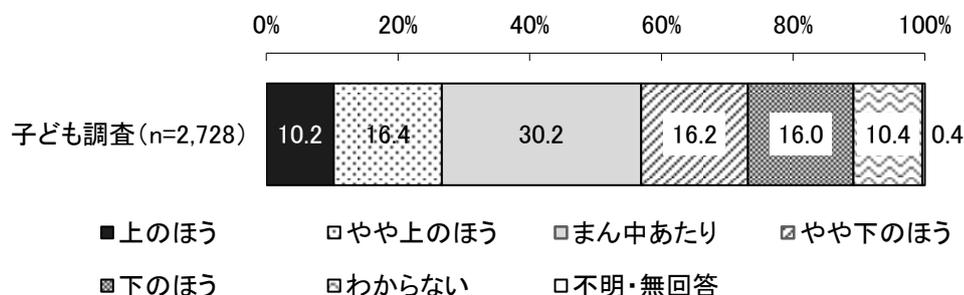
子ども調査(n=2,728)



子ども

◆あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか[子：問5] <単数回答>

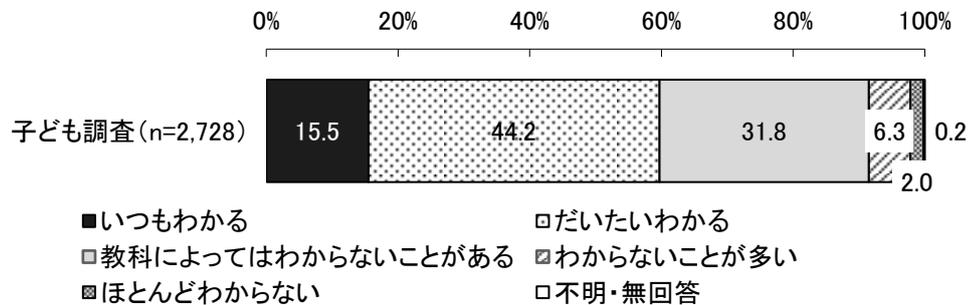
成績がクラスの中でどのくらいだと思うかについては、「まん中あたり」が30.2%と最も多く、次いで「やや上のほう」が16.4%、「やや下のほう」が16.2%となっています。



子ども

◆あなたは、学校の授業がわからないことがありますか[子：問6]〈単数回答〉

学校の授業がわからないことがあるかについては、「だいたいわかる」が44.2%と最も多く、次いで「教科によってはわからないことがある」が31.8%、「いつもわかる」が15.5%となっています。



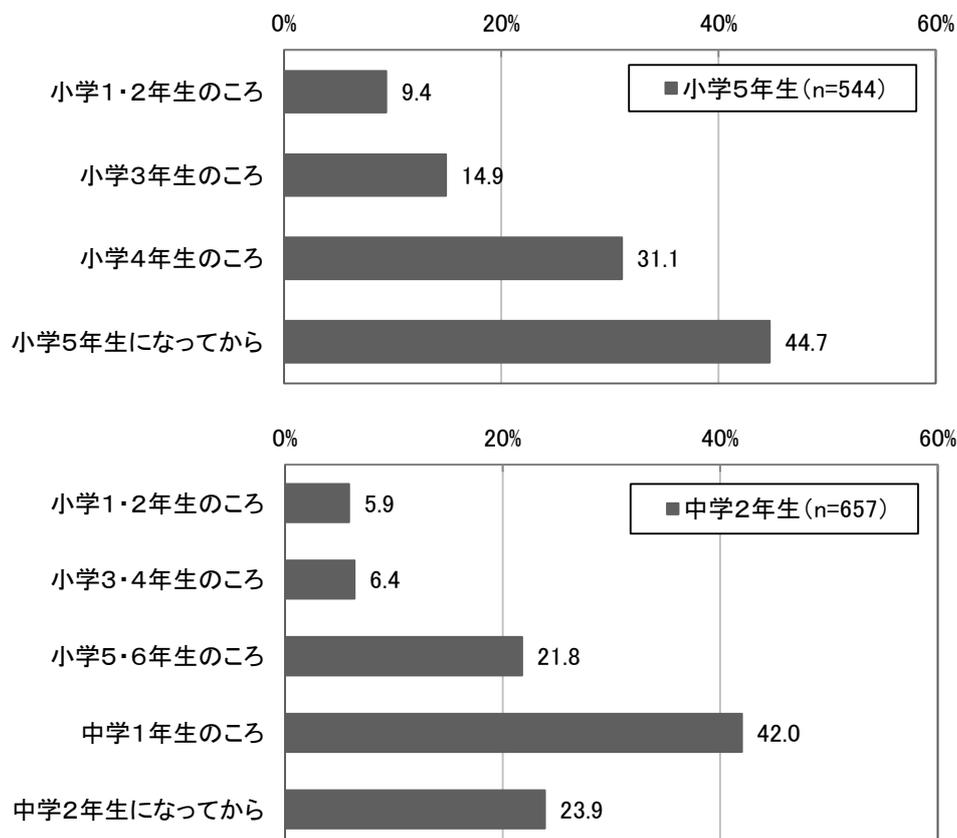
子ども

◆（「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人）

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか[子：問7（1）（2）]〈単数回答〉

小学5年生では、「小学5年生になってから」が44.7%と最も多く、次いで「小学4年生のころ」が31.1%、「小学3年生のころ」が14.9%となっています。

中学2年生では、「中学1年生のころ」が42.0%と最も多く、次いで「小学5・6年生のころ」が21.8%となっています。



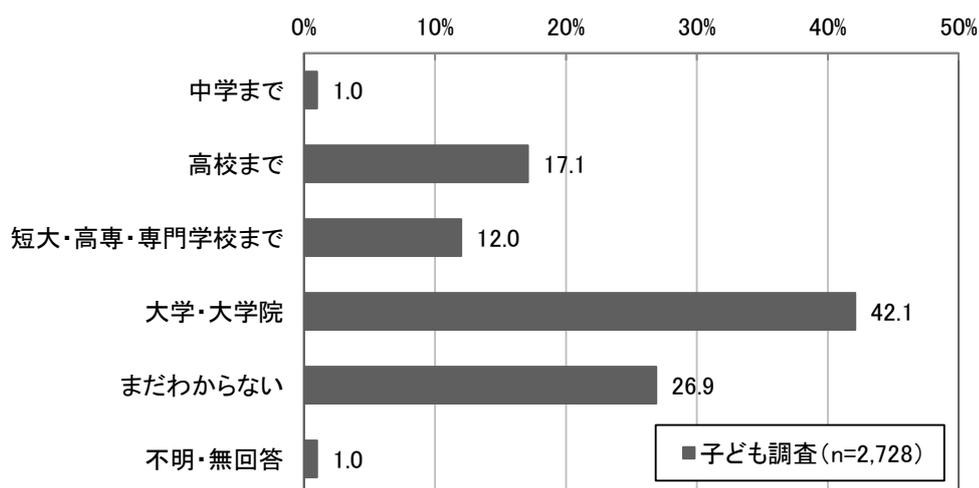
※「不明・無回答」を除いた結果を掲載しています。

3. 将来の希望について

子ども

◆あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか[子：問8]〈単数回答〉

将来、どの段階まで進学したいかについては、「大学・大学院」が42.1%と最も多く、次いで「まだわからない」が26.9%、「高校まで」が17.1%となっています。

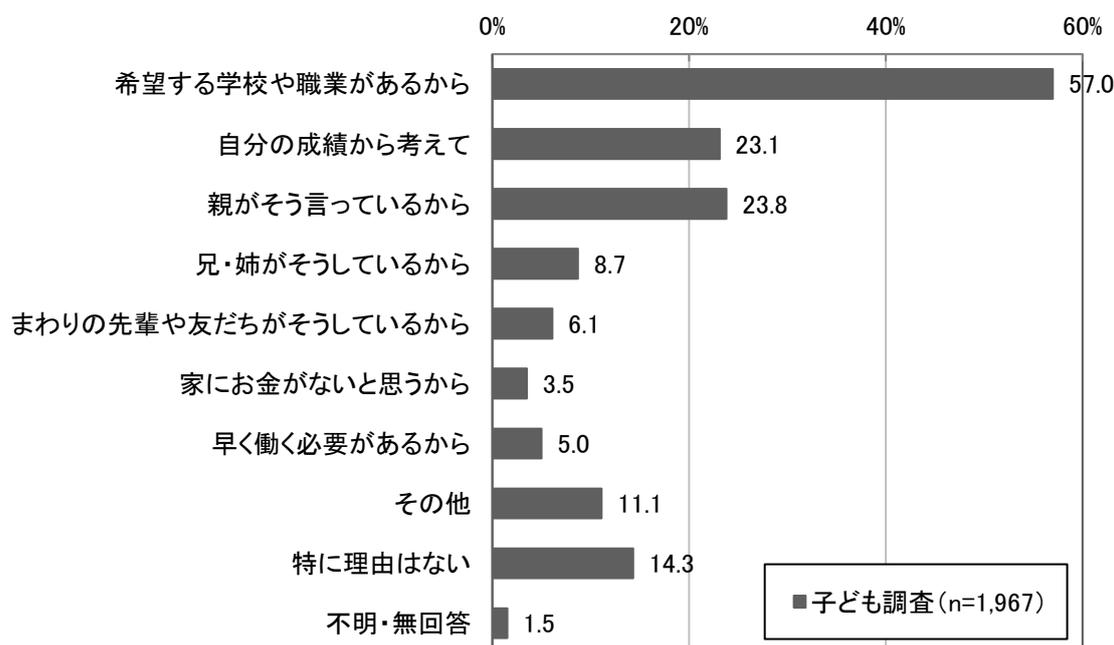


子ども

◆（「1 中学まで」「2 高校まで」「3 短大・高専・専門学校まで」「4 大学・大学院」と答えた人）

その理由を教えてください[子：問9]〈複数回答〉

「希望する学校や職業があるから」が57.0%と最も多く、次いで「親がそう言っているから」が23.8%、「自分の成績から考えて」が23.1%となっています。

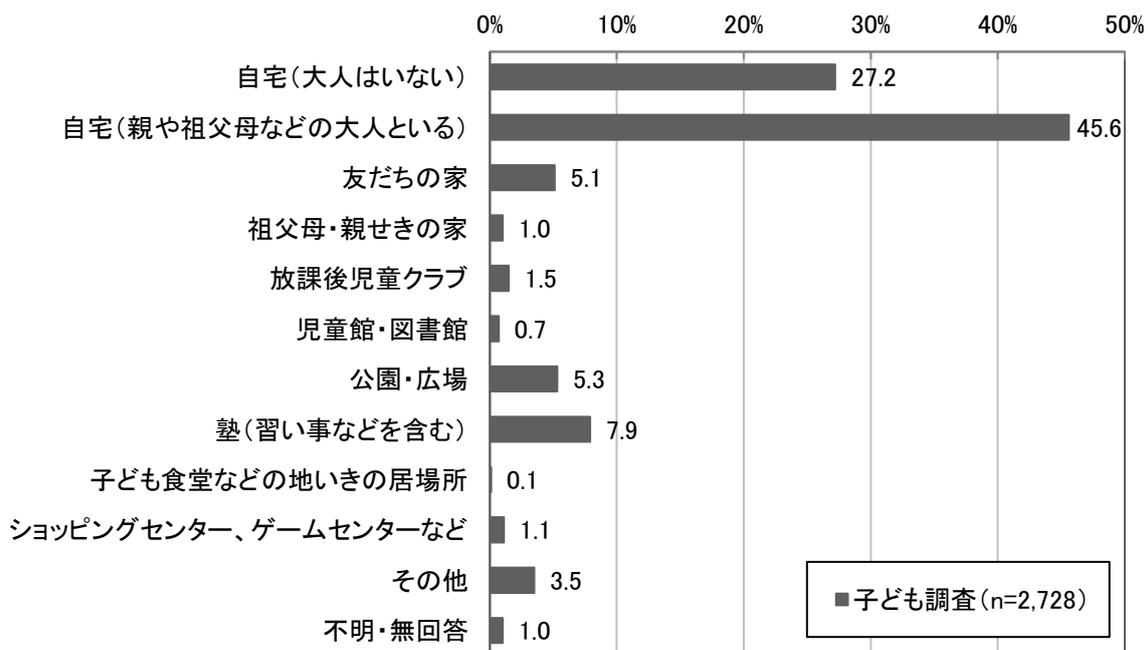


4. 学校以外での過ごし方などについて

子ども

◆あなたは、学校のある日の放課後、どこにすることが多いですか[子：問10] <単数回答>

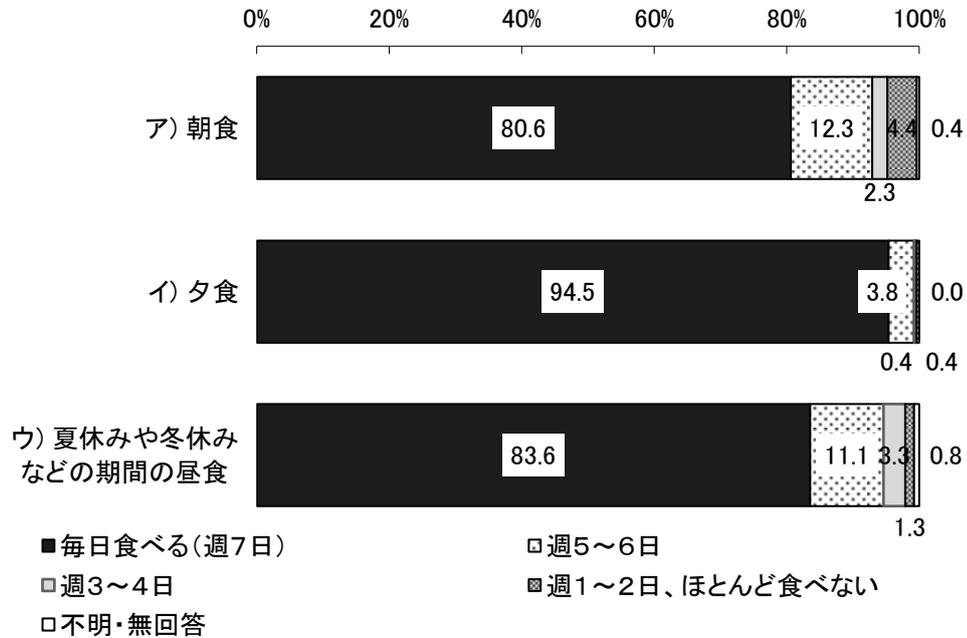
学校のある日の放課後にいる場所については、「自宅（親や祖父母などの大人といる）」が45.6%と最も多く、次いで「自宅（大人はいない）」が27.2%、「塾（習い事などを含む）」が7.9%となっています。



子ども

◆あなたは週にどのくらい、食事をしていますか[子：問11]〈単数回答〉

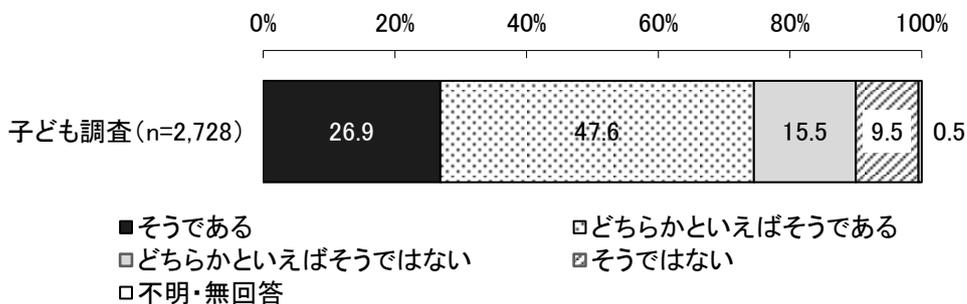
【ア）朝食】、【イ）夕食】、【ウ）夏休みや冬休みなどの期間の昼食】のいずれも、「毎日食べる（週7日）」が最も多く、それぞれ80.6%、94.5%、83.6%となっています。一方、【ア）朝食】では、「週1～2回、ほとんど食べない」が4.4%となっています。



子ども

◆あなたは普段（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか[子：問12]〈単数回答〉

「どちらかといえばそうである」が47.6%と最も多く、次いで「そうである」が26.9%、「どちらかといえばそうではない」が15.5%となっています。

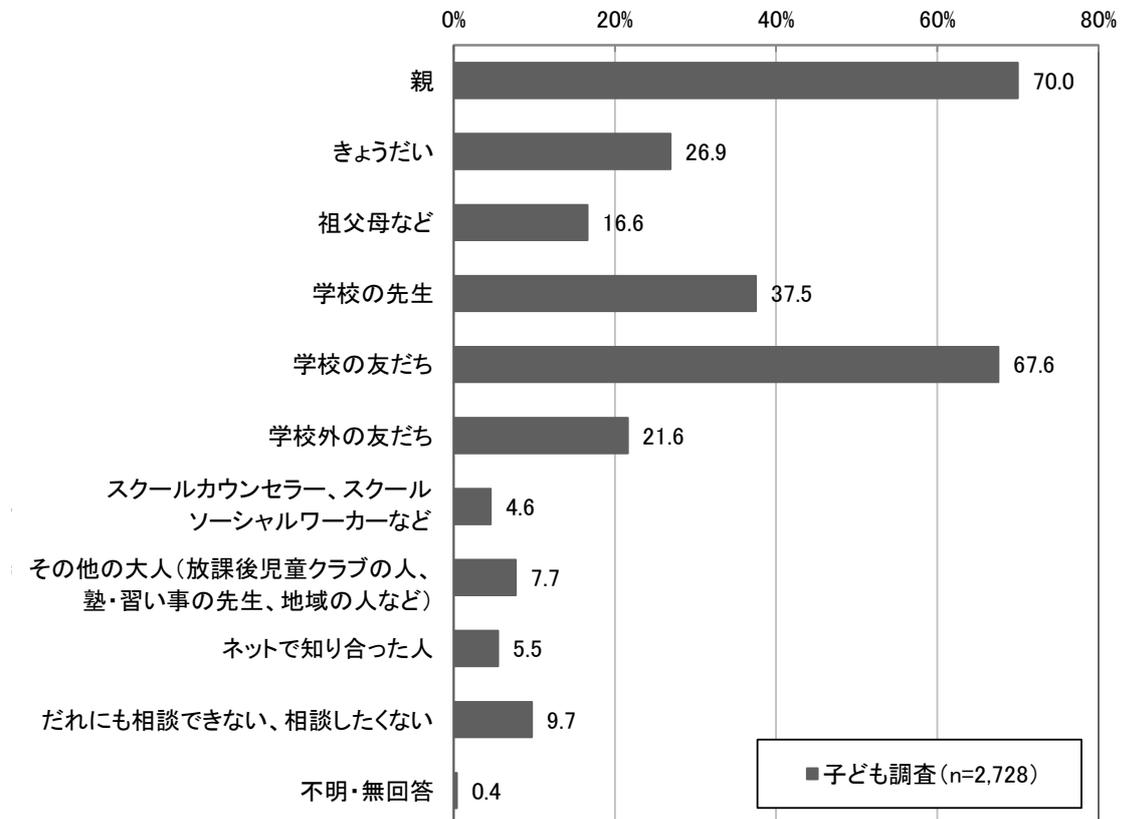


子ども

◆あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか

[子：問13] <複数回答>

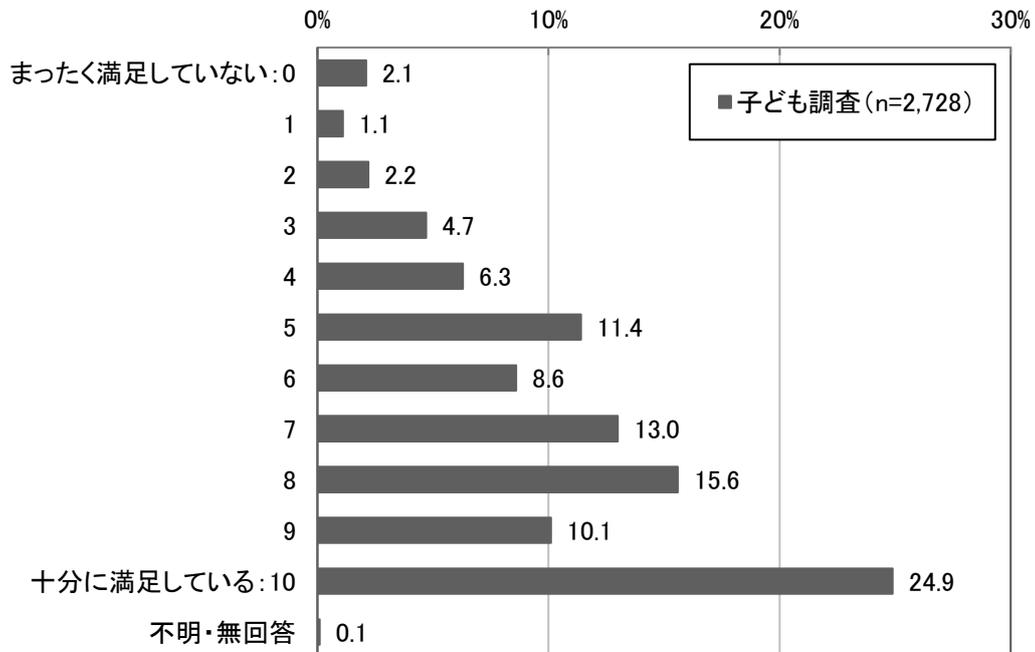
困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人については、「親」が70.0%と最も多く、次いで「学校の友だち」が67.6%、「学校の先生」が37.5%となっています。



子ども

◆全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください[子：問14]〈単数回答〉

最近の生活の満足度については、「10（点）」が24.9%と最も多く、次いで「8（点）」が15.6%、「7（点）」が13.0%となっています。また、加重平均は7.1点となっています。

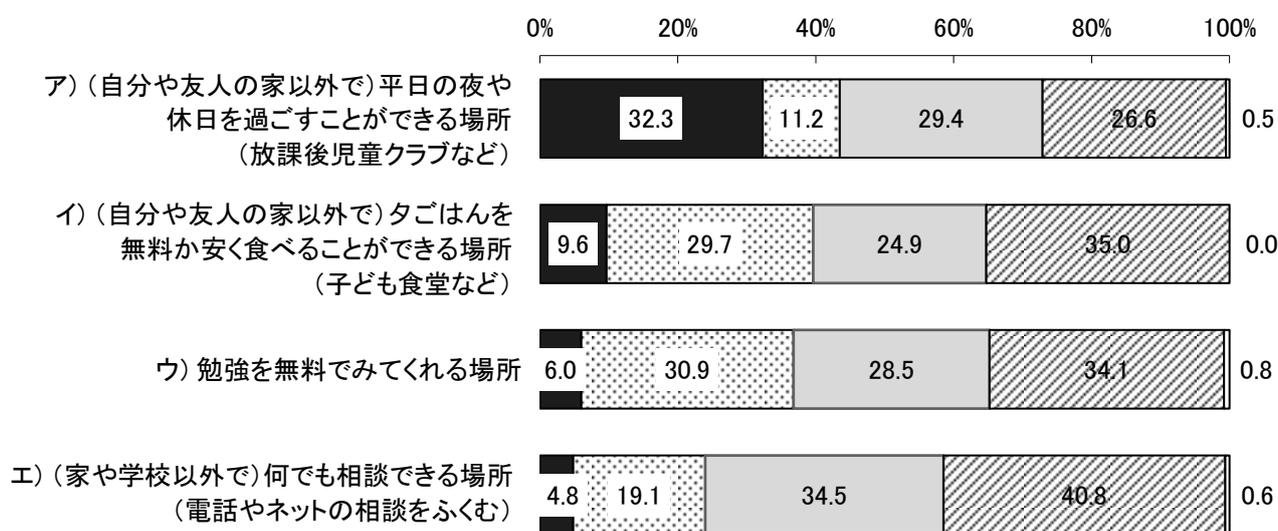


子ども

◆あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか[子：問15]〈単数回答〉

「利用したことがある」場所については、【ア）（自分や友人の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所（放課後児童クラブなど）】が32.3%と、他の項目に比べて多くなっています。

一方、【イ）（自分や友人の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）】【ウ）勉強を無料でみてくれる場所】【エ）（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ）】については、いずれも「利用したことがある」の割合が低く、「今後利用したいかどうかわからない」が最も多くなっています。



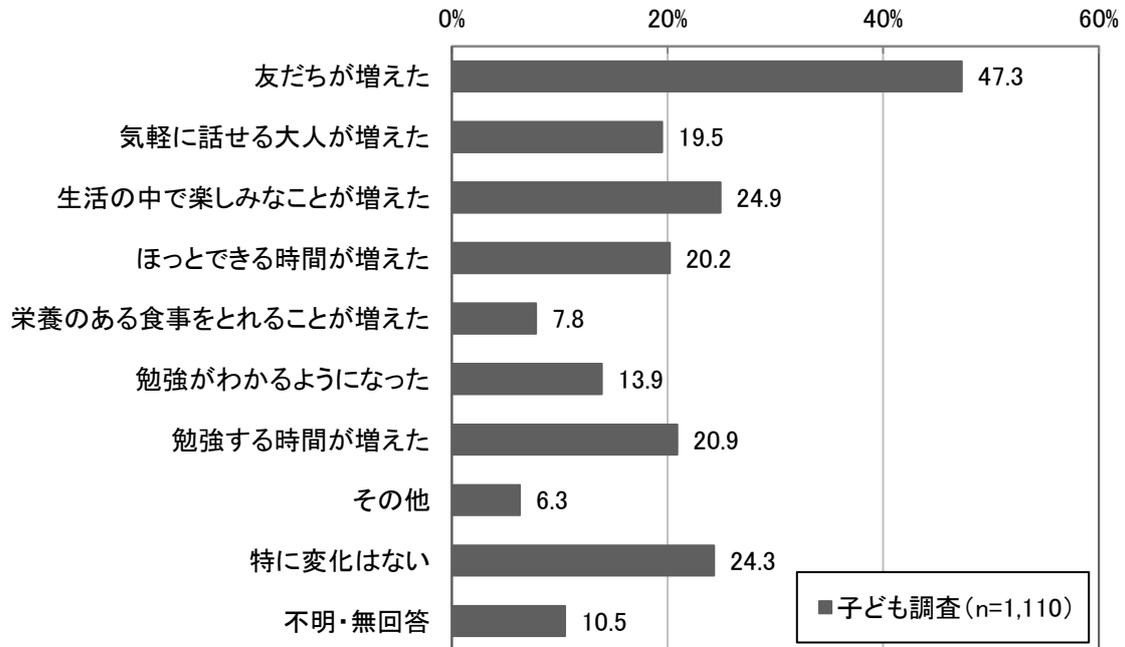
- 利用したことがある
- 【利用したことはない場合】あれば利用したいと思う
- 【利用したことはない場合】今後も利用したいと思わない
- 【利用したことはない場合】今後利用したいかどうかわからない
- 不明・無回答

子ども

◆ (「ア」～「エ」について1つでも「1 利用したことがある」と答えた人)

そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか[子：問16] <複数回答>

「友だちが増えた」が47.3%と最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が24.9%、「特に変化はない」が24.3%となっています。



自由回答（とりまとめ）

子ども

◆さいごに、その他、毎日の生活で感じていることや、このアンケートの感想などがありましたら、自由に書いてください

	内 容	件数
1	学校・勉強・部活について	110 件
2	アンケートについて	99 件
3	生活面について	67 件
4	友だち・人間関係について	49 件
5	家族について	34 件
6	精神面について	18 件
7	行政・施設整備について	10 件
8	将来・進路について	6 件
9	その他	87 件
10	特になし	133 件

[2]子どもの生活状況調査【保護者票】

1. お子さんや保護者のことについて

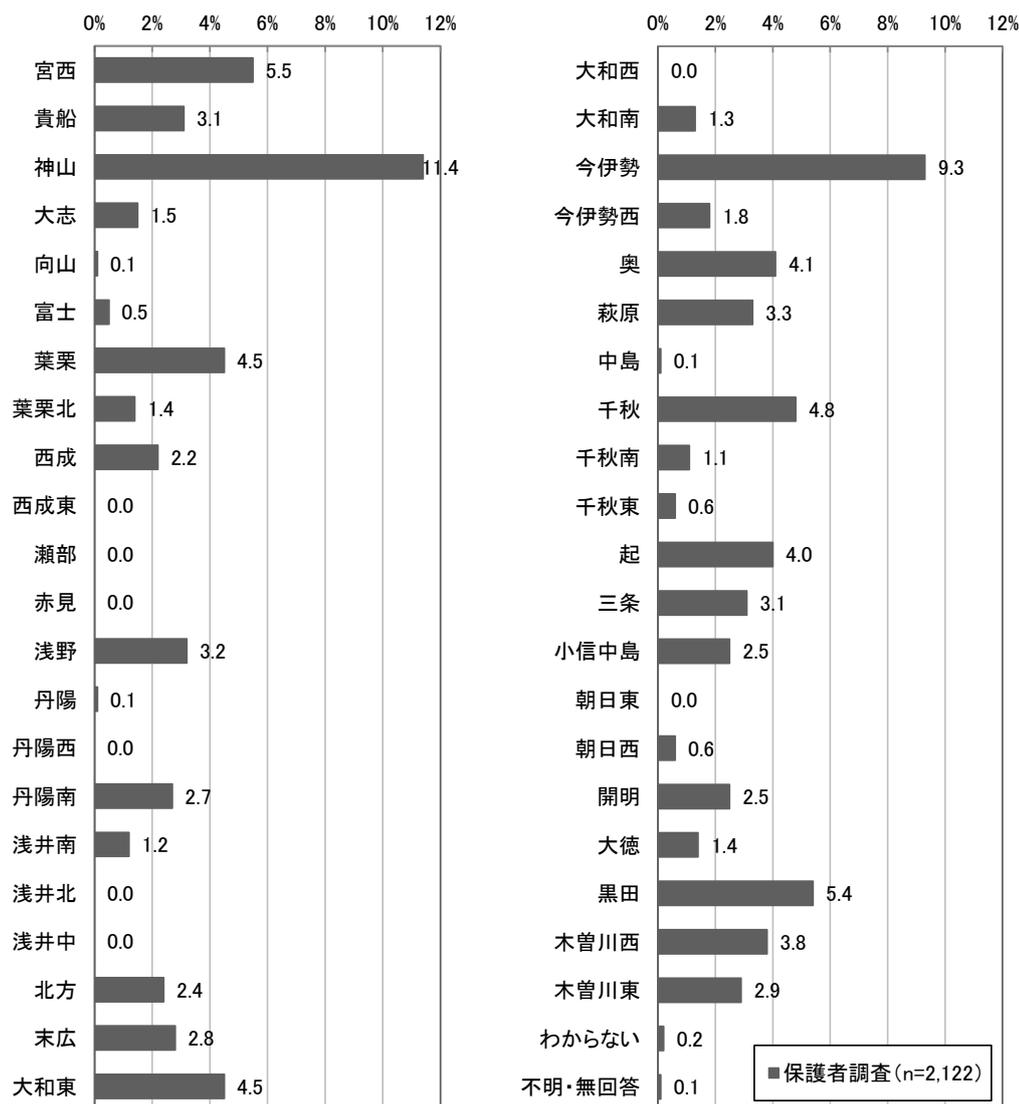
保護者

◆お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください
 [保：問1]〈単数回答〉



保護者

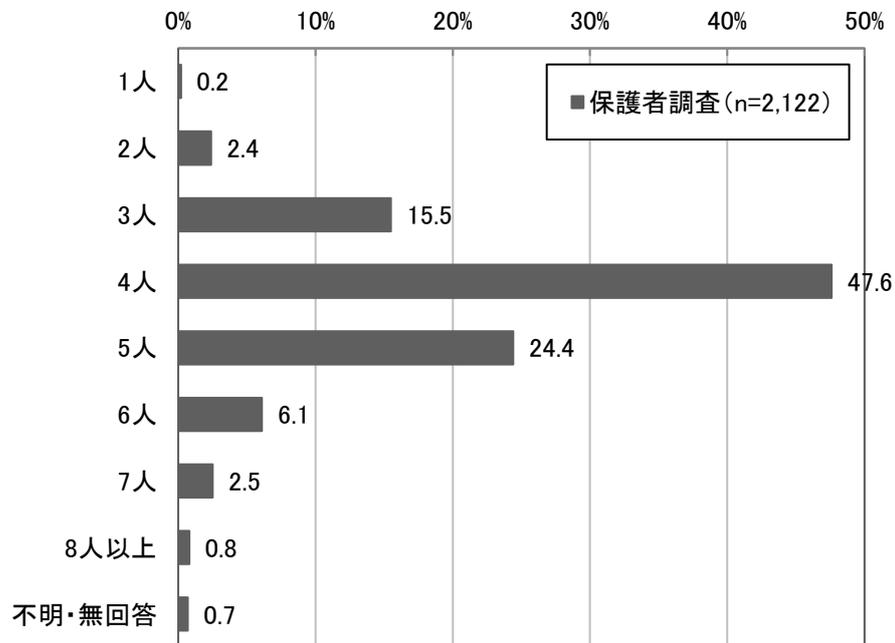
◆お住まいの小学校区をお答えください[保：問2]〈単数回答〉



保護者

◆お子さんと普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたやお子さんを含めて何人ですか[保：問3]〈数量回答〉

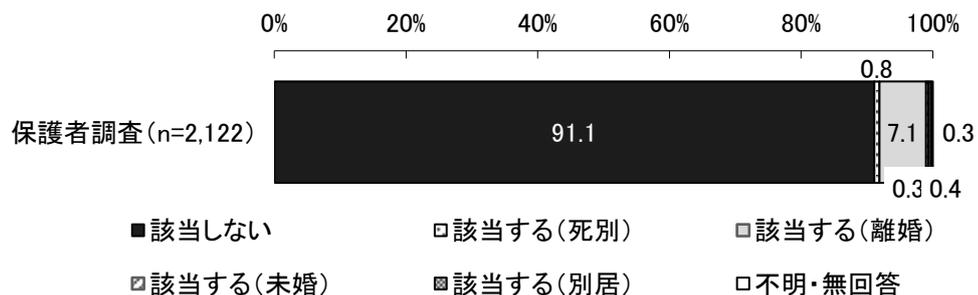
「4人」が47.6%と最も多く、次いで「5人」が24.4%、「3人」が15.5%となっています。



保護者

◆あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか[保：問4]〈単数回答〉

ひとり親世帯に該当するのは全体に対して8.6%となっています。その中でも、離婚によるひとり親世帯が最も多く、全体に対して7.1%となっています。

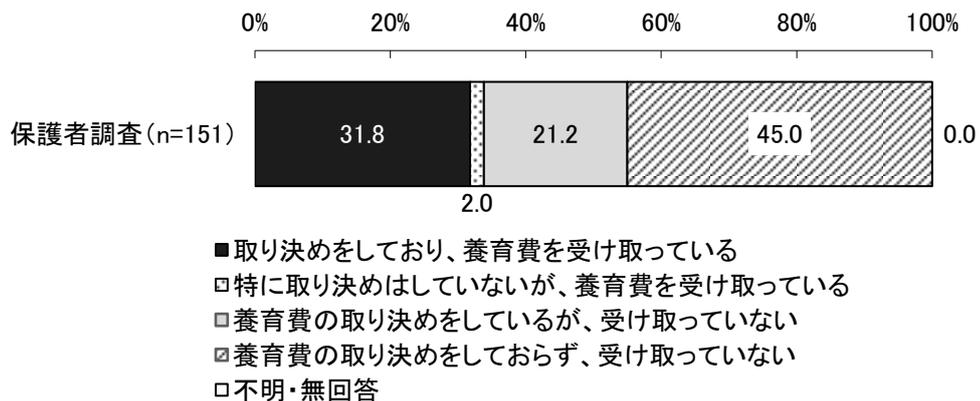


保護者

◆「3. 該当する（離婚）」と答えた方

相手方とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか
[保：問5] <単数回答>

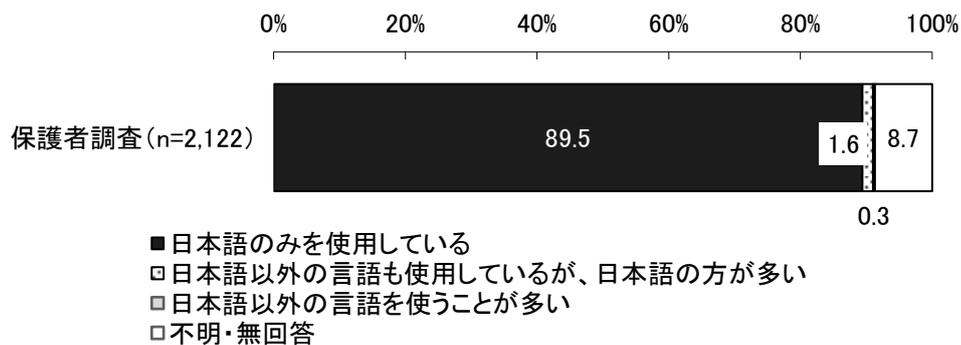
「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が45.0%と最も多く、次いで「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が31.8%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が21.2%となっています。



保護者

◆ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか[保：問6] <単数回答>

「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が1.6%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.3%となっています。



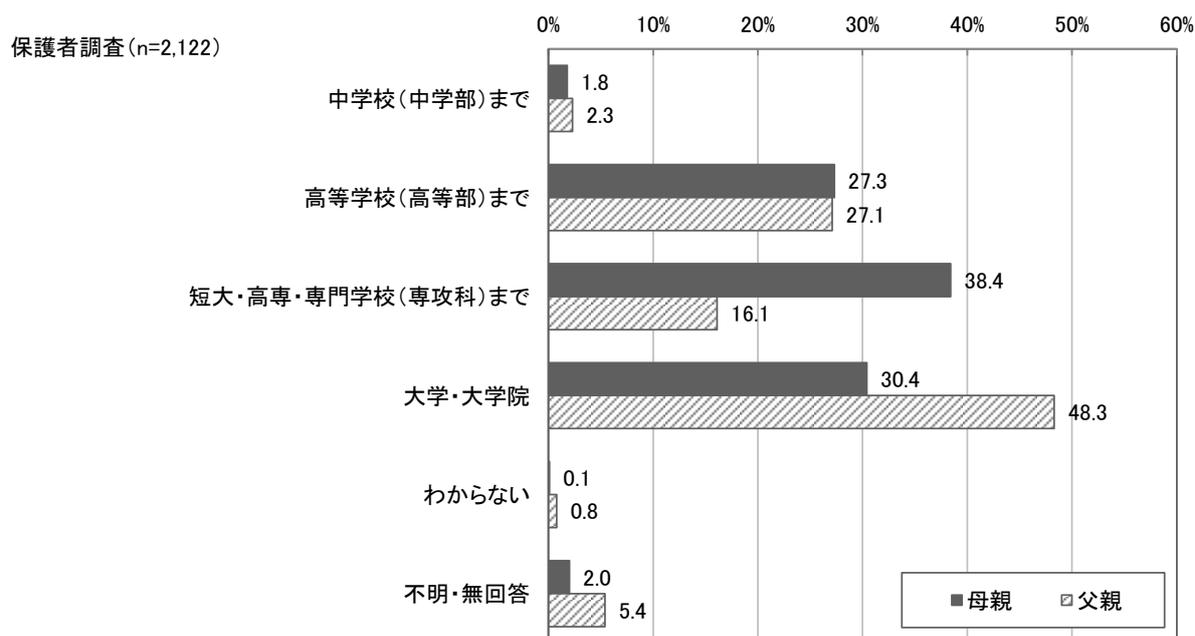
2. お子さんの母親と父親について

保護者

◆お子さんの保護者（母親・父親）の最後に通った学校をお答えください [保：問7] <単数回答>

母親では「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が38.4%と最も多く、次いで「大学・大学院」が30.4%、「高等学校（高等部）まで」が27.3%となっています。

父親では「大学・大学院」が48.3%と最も多く、次いで「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が16.1%、「高等学校（高等部）まで」が27.1%となっています。



【クロス集計】保護者（母親・父親）の最後に通った学校 [保：問7]×所得区分別

所得区分別にみると、母親、父親ともに、所得区分が高いほど「大学・大学院まで」が高くなっています。

【母親】

上段:件数 下段:%		問7 お子さんの母親の最後に通った学校					
		中学校(中学 部)まで	高等学校(高 等部)まで	短大・高専・ 専門学校(専 攻科)まで	大学・大学院	わからない	不明・無回答
全体(n=2,122)		38 1.8	580 27.3	815 38.4	645 30.4	2 0.1	42 2.0
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	8 0.8	213 20.6	384 37.2	416 40.3	- -	12 1.2
	所得区分Ⅱ (n=702)	10 1.4	219 31.2	295 42.0	160 22.8	2 0.3	16 2.3
	所得区分Ⅲ (n=175)	11 6.3	86 49.1	55 31.4	19 10.9	- -	4 2.3

【父親】

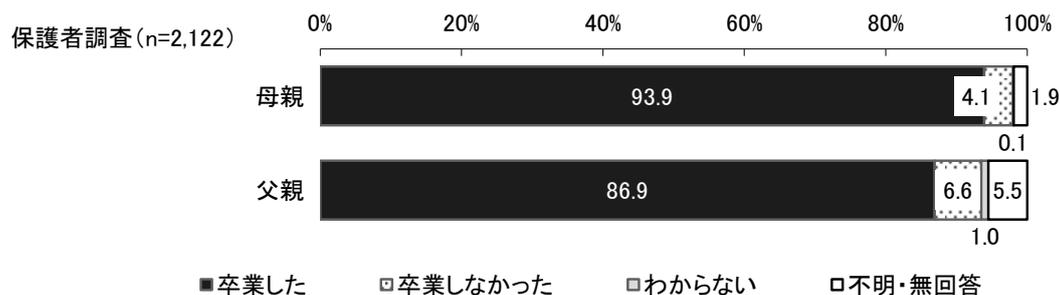
上段:件数 下段:%		問7 お子さんの父親の最後に通った学校					
		中学校(中学 部)まで	高等学校(高 等部)まで	短大・高専・ 専門学校(専 攻科)まで	大学・大学院	わからない	不明・無回答
全体(n=2,122)		49 2.3	576 27.1	341 16.1	1025 48.3	17 0.8	114 5.4
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	12 1.2	229 22.2	147 14.2	628 60.8	2 0.2	15 1.5
	所得区分Ⅱ (n=702)	20 2.8	236 33.6	131 18.7	286 40.7	4 0.6	25 3.6
	所得区分Ⅲ (n=175)	11 6.3	49 28.0	25 14.3	27 15.4	8 4.6	55 31.4

保護者

◆お子さんの母親と父親は、前の設問で回答した最後に通った学校を、卒業しましたか

[保：問8]〈単数回答〉

母親、父親いずれも「卒業した」が最も多く、それぞれ93.9%、86.9%となっています。



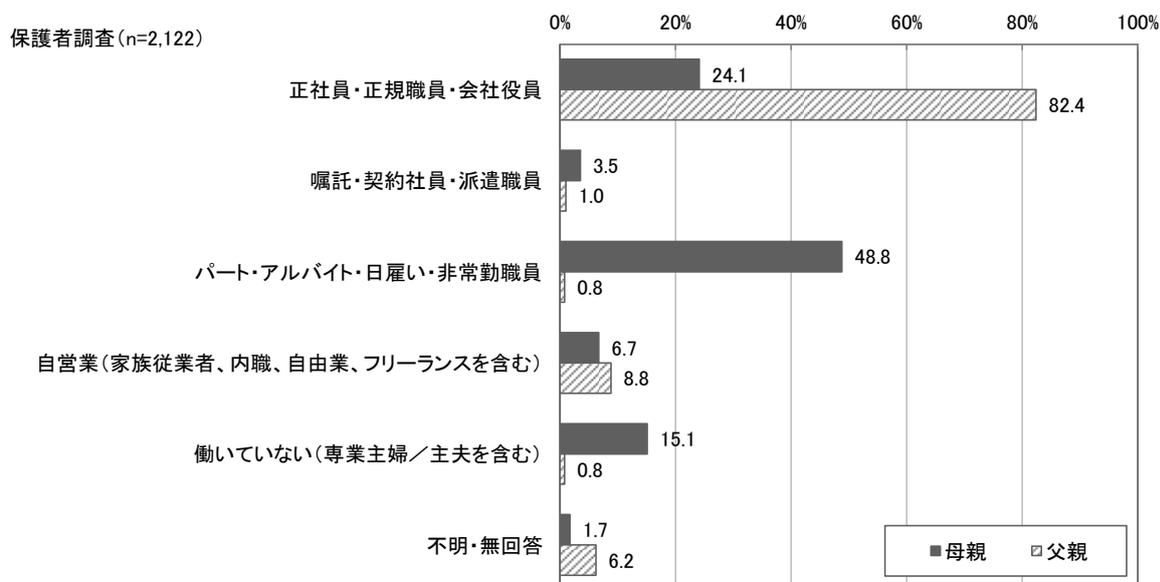
保護者

◆お子さんの母親と父親の就労状況について、あてはまるものを回答してください

[保：問9] <単数回答>

母親では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が48.8%と最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が24.1%、「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」が15.1%となっています。

父親では「正社員・正規職員・会社役員」が82.4%と最も多く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」が8.8%となっています。



【クロス集計】保護者（母親・父親）の就労状況 [保：問9]×所得区分別

所得区分別にみると、母親では所得区分Ⅰで「正社員・正規職員・会社役員」が32.6%と、全体より8.5ポイント高くなっています。また、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」については、所得区分Ⅱにおいて高くなっています。

【母親】

上段:件数 下段:%		問9 お子さんの母親の就労状況					
		正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)	働いていない(専業主婦／主夫を含む)	不明・無回答
全体(n=2,122)		511 24.1	75 3.5	1036 48.8	142 6.7	321 15.1	37 1.7
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	337 32.6	37 3.6	442 42.8	62 6.0	143 13.8	12 1.2
	所得区分Ⅱ (n=702)	110 15.7	17 2.4	410 58.4	45 6.4	107 15.2	13 1.9
	所得区分Ⅲ (n=175)	36 20.6	9 5.1	84 48.0	19 10.9	24 13.7	3 1.7

【父親】

上段:件数 下段:%		問9 お子さんの父親の就労状況					
		正社員・正規 職員・会社役 員	嘱託・契約社 員・派遣職員	パート・アル バイト・日雇 い・非常勤職 員	自営業(家族 従業者、内 職、自由業、 フリーランス を含む)	働いていな い(専業主婦 ／主夫を含 む)	不明・無回答
全体(n=2,122)		1749 82.4	21 1.0	17 0.8	186 8.8	18 0.8	131 6.2
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	939 90.9	8 0.8	2 0.2	71 6.9	- -	13 1.3
	所得区分Ⅱ (n=702)	593 84.5	8 1.1	9 1.3	55 7.8	8 1.1	29 4.1
	所得区分Ⅲ (n=175)	64 36.6	4 2.3	4 2.3	28 16.0	7 4.0	68 38.9

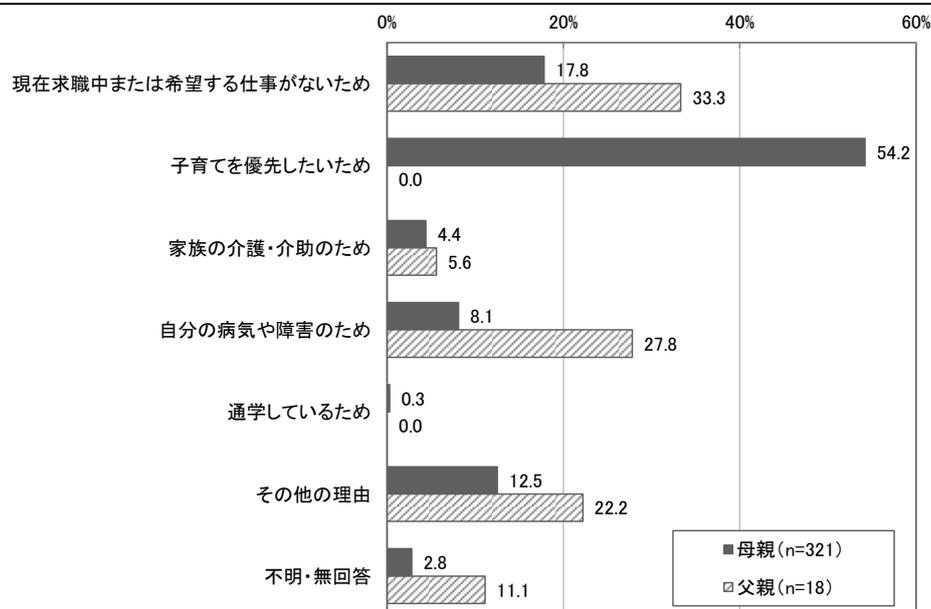
保護者

◆「働いていない（専業主婦／主夫を含む）」と答えた方

働いていない主な理由を教えてください[保：問10]〈単数回答〉

母親では「子育てを優先したいため」が54.2%と最も多く、次いで「現在求職中または希望する仕事がないため」が17.8%となっています。

父親では「現在求職中または希望する仕事がないため」が33.3%と最も多く、次いで「自分の病気や障害のため」が27.8%となっています。



3. お子さんの教育等について

保護者

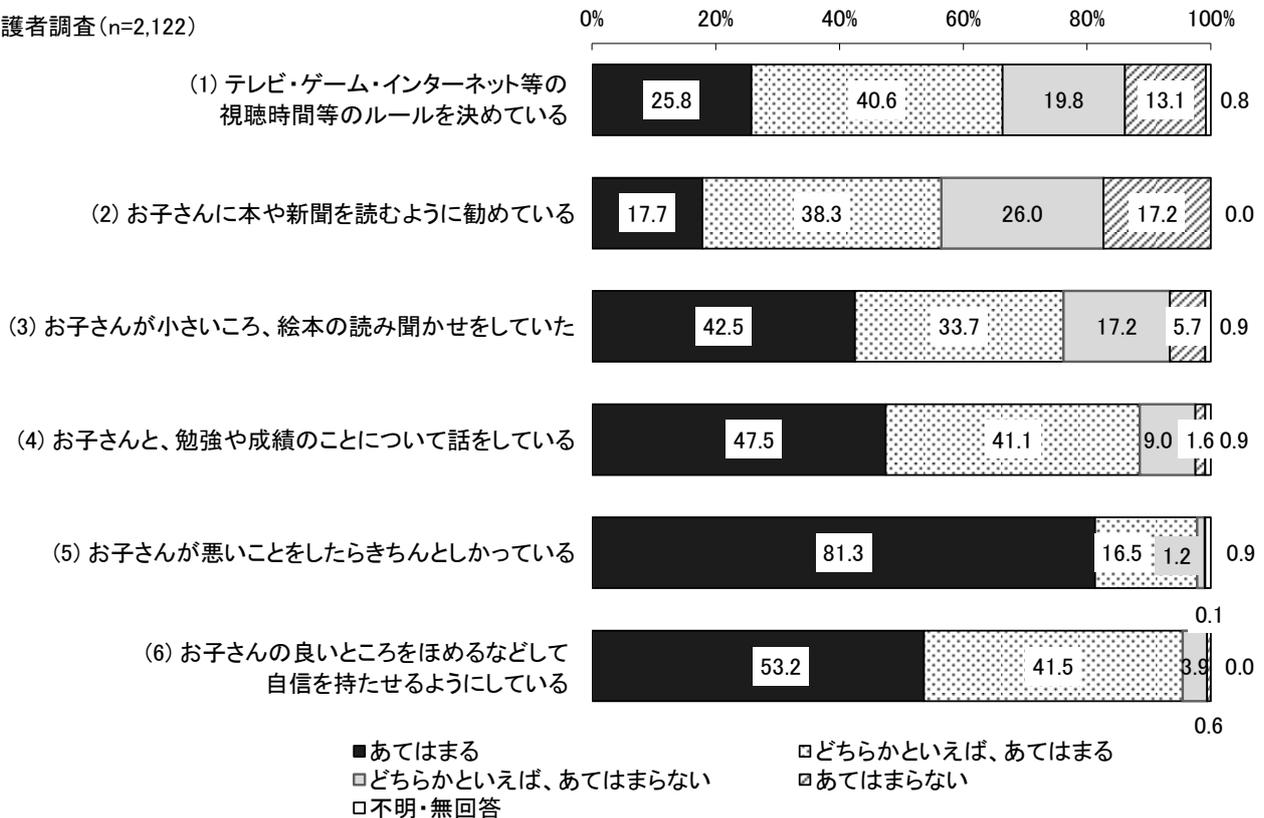
◆保護者の方とお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか

[保：問11] <単数回答>

『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）が最も多い項目としては【(5)お子さんが悪いことをしたらきちんとしかっている】が97.8%、次いで【(6)お子さんの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている】が94.7%、【(4)お子さんと、勉強や成績のことについて話をしている】が88.6%となっています。

一方、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）が最も多い項目としては【(2)お子さんに本や新聞を読むように勧めている】が43.2%、次いで【(1)テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている】が32.9%、【(3)お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた】が22.9%となっています。

保護者調査(n=2,122)



【クロス集計】保護者の方とお子さんの関わり方 [保：問11]×所得区分別

所得区分別にみると、所得区分が低いほど『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）が高く、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）が低くなっています。

（１）【テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている】

上段:件数 下段:%		問11(1) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている				
		あてはまる	どちらかとい えば、あては まる	どちらかとい えば、あては まらない	あてはまらな い	不明・無回答
全体(n=2,122)		547 25.8	861 40.6	420 19.8	278 13.1	16 0.8
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	294 28.5	411 39.8	207 20.0	114 11.0	7 0.7
	所得区分Ⅱ (n=702)	167 23.8	292 41.6	136 19.4	100 14.2	7 1.0
	所得区分Ⅲ (n=175)	35 20.0	64 36.6	40 22.9	35 20.0	1 0.6

所得区分別にみると、所得区分が低いほど『あてはまらない』（「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」の合計）が高く、『あてはまる』（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）が低くなっています。

（２）【お子さんに本や新聞を読むように勧めている】

上段:件数 下段:%		問11(2) お子さんに本や新聞を読むように勧めている				
		あてはまる	どちらかとい えば、あては まる	どちらかとい えば、あては まらない	あてはまらな い	不明・無回答
全体(n=2,122)		375 17.7	812 38.3	552 26.0	364 17.2	19 0.9
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	211 20.4	427 41.3	249 24.1	139 13.5	7 0.7
	所得区分Ⅱ (n=702)	113 16.1	245 34.9	208 29.6	128 18.2	8 1.1
	所得区分Ⅲ (n=175)	18 10.3	57 32.6	45 25.7	54 30.9	1 0.6

所得区分別にみると、いずれも「あてはまる」が最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」となっています。

（３）【お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた】

上段:件数 下段:%		問11(3) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた				
		あてはまる	どちらかとい えば、あては まる	どちらかとい えば、あては まらない	あてはまらな い	不明・無回答
全体(n=2,122)		901 42.5	715 33.7	364 17.2	122 5.7	20 0.9
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	469 45.4	339 32.8	171 16.6	44 4.3	10 1.0
	所得区分Ⅱ (n=702)	273 38.9	240 34.2	135 19.2	47 6.7	7 1.0
	所得区分Ⅲ (n=175)	72 41.1	59 33.7	29 16.6	14 8.0	1 0.6

所得区分別にみると、所得区分が高いほど「あてはまる」が高くなっています。一方で、「どちらかといえば、あてはまる」は所得区分が低いほど高くなっています。

(4) 【お子さんと、勉強や成績のことについて話をしている】

上段:件数 下段:%		問11(4) お子さんと、勉強や成績のことについて話をしている				
		あてはまる	どちらかとい えば、あては まる	どちらかとい えば、あては まらない	あてはまらな い	不明・無回答
全体(n=2,122)		1007 47.5	873 41.1	190 9.0	35 1.6	17 0.8
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	563 54.5	382 37.0	65 6.3	15 1.5	8 0.8
	所得区分Ⅱ (n=702)	292 41.6	319 45.4	73 10.4	11 1.6	7 1.0
	所得区分Ⅲ (n=175)	63 36.0	84 48.0	21 12.0	6 3.4	1 0.6

所得区分別にみると、いずれも「あてはまる」が最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」となっています。

(5) 【お子さんが悪いことをしたらきちんとしかっている】

上段:件数 下段:%		問11(5) お子さんが悪いことをしたらきちんとしかっている				
		あてはまる	どちらかとい えば、あては まる	どちらかとい えば、あては まらない	あてはまらな い	不明・無回答
全体(n=2,122)		1725 81.3	351 16.5	26 1.2	3 0.1	17 0.8
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	854 82.7	161 15.6	10 1.0	1 0.1	7 0.7
	所得区分Ⅱ (n=702)	562 80.1	126 17.9	7 1.0	-	7 1.0
	所得区分Ⅲ (n=175)	141 80.6	27 15.4	3 1.7	2 1.1	2 1.1

所得区分別にみると、いずれも「あてはまる」が最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」となっています。

(6) 【お子さんの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている】

上段:件数 下段:%		問11(6) お子さんの良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている				
		あてはまる	どちらかとい えば、あては まる	どちらかとい えば、あては まらない	あてはまらな い	不明・無回答
全体(n=2,122)		1128 53.2	880 41.5	82 3.9	13 0.6	19 0.9
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	581 56.2	409 39.6	32 3.1	4 0.4	7 0.7
	所得区分Ⅱ (n=702)	352 50.1	315 44.9	24 3.4	3 0.4	8 1.1
	所得区分Ⅲ (n=175)	90 51.4	68 38.9	14 8.0	2 1.1	1 0.6

保護者

◆あなたは、ここ最近（おおむね1年間）でお子さんと次のようなことをすることがありましたか

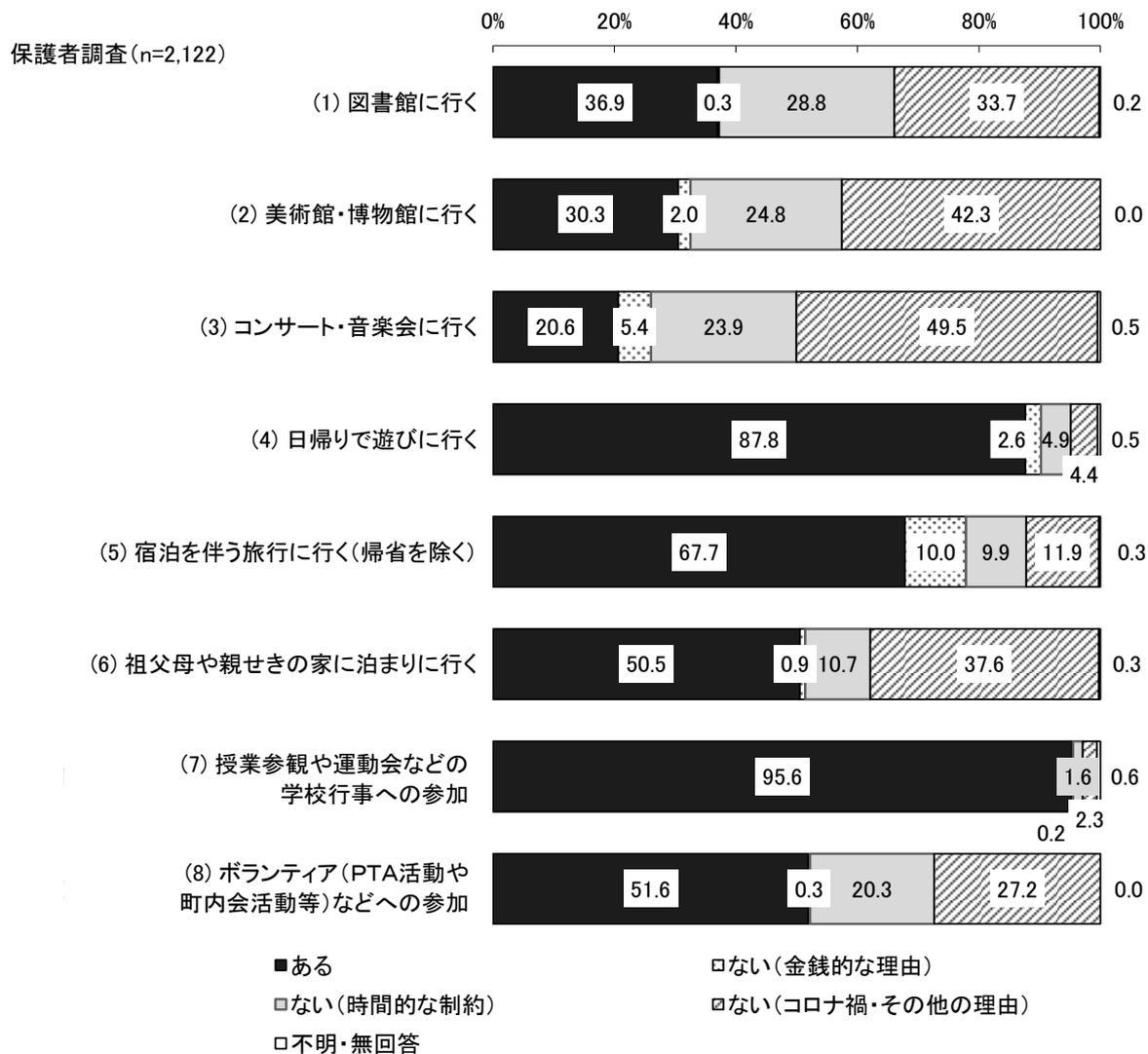
[保：問12] <単数回答>

「ある」については、【(7)授業参観や運動会などの学校行事への参加】が95.6%と最も多く、次いで【(4)日帰りで遊びに行く】が87.8%、【(5)宿泊を伴う旅行に行く（帰省を除く）】が67.7%となっています。

また、「ない（金銭的な理由）」については【(5)宿泊を伴う旅行に行く（帰省を除く）】が10.0%となっており、他の項目より高くなっています。

「ない（時間的な制約）」については【(1)図書館に行く】が28.8%で最も多く、次いで【(2)美術館・博物館に行く】が24.8%となっています。

また、「ない（コロナ禍・その他の理由）」については【(3)コンサート・音楽会に行く】が49.5%で最も多く、次いで【(2)美術館・博物館に行く】が42.3%となっています。



【クロス集計】ここ最近（おおむね1年間）でお子さんとしたこと [保：問12]×所得区分別

所得区分別にみると、所得区分Ⅰ、Ⅱでは、「ある」が最も多く、所得区分Ⅲでは、「ない（コロナ禍・その他の理由）」が最も多くなっています。

(1) 【図書館に行く】

上段:件数 下段:%		問12(1) 図書館に行く				
		ある	ない(金銭的な理由)	ない(時間的な制約)	ない(コロナ禍・その他の理由)	不明・無回答
全体(n=2,122)		784 36.9	6 0.3	612 28.8	715 33.7	5 0.2
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	403 39.0	3 0.3	292 28.3	335 32.4	- -
	所得区分Ⅱ (n=702)	263 37.5	1 0.1	197 28.1	238 33.9	3 0.4
	所得区分Ⅲ (n=175)	48 27.4	2 1.1	61 34.9	64 36.6	- -

所得区分別にみると、いずれも「ない（コロナ禍・その他の理由）」が最も高くなっています。

(2) 【美術館・博物館に行く】

上段:件数 下段:%		問12(2) 美術館・博物館に行く				
		ある	ない(金銭的な理由)	ない(時間的な制約)	ない(コロナ禍・その他の理由)	不明・無回答
全体(n=2,122)		644 30.3	42 2.0	527 24.8	898 42.3	11 0.5
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	360 34.8	8 0.8	248 24.0	416 40.3	1 0.1
	所得区分Ⅱ (n=702)	190 27.1	20 2.8	166 23.6	320 45.6	6 0.9
	所得区分Ⅲ (n=175)	36 20.6	9 5.1	60 34.3	68 38.9	2 1.1

所得区分別にみると、いずれも、「ない（コロナ禍・その他の理由）」が高くなっています。

(3) 【コンサート・音楽会に行く】

上段:件数 下段:%		問12(3) コンサート・音楽会に行く				
		ある	ない(金銭的な理由)	ない(時間的な制約)	ない(コロナ禍・その他の理由)	不明・無回答理由)
全体(n=2,122)		438 20.6	115 5.4	507 23.9	1051 49.5	11 0.5
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	245 23.7	25 2.4	249 24.1	512 49.6	2 0.2
	所得区分Ⅱ (n=702)	134 19.1	50 7.1	165 23.5	349 49.7	4 0.6
	所得区分Ⅲ (n=175)	23 13.1	27 15.4	44 25.1	79 45.1	2 1.1

所得区分別にみると、いずれも、「ある」が高くなっています。

(4) 【日帰りで遊びに行く】

上段:件数 下段:%		問12(4) 日帰りで遊びに行く				
		ある	ない(金銭的な理由)	ない(時間的な制約)	ない(コロナ禍・その他の理由)	不明・無回答理由)
全体(n=2,122)		1864 87.8	55 2.6	104 4.9	94 4.4	5 0.2
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	950 92.0	7 0.7	38 3.7	38 3.7	- -
	所得区分Ⅱ (n=702)	603 85.9	27 3.8	40 5.7	30 4.3	2 0.3
	所得区分Ⅲ (n=175)	142 81.1	14 8.0	9 5.1	10 5.7	- -

所得区分別にみると、いずれも、「ある」が高くなっているものの、所得区分によって差が大きくなります。

(5) 【宿泊を伴う旅行に行く（帰省を除く）】

上段:件数 下段:%		問12(5) 宿泊を伴う旅行に行く(帰省を除く)				
		ある	ない(金銭的な理由)	ない(時間的な制約)	ない(コロナ禍・その他の理由)	不明・無回答理由)
全体(n=2,122)		1437 67.7	212 10.0	211 9.9	253 11.9	9 0.4
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	822 79.6	28 2.7	87 8.4	95 9.2	1 0.1
	所得区分Ⅱ (n=702)	409 58.3	110 15.7	85 12.1	95 13.5	3 0.4
	所得区分Ⅲ (n=175)	91 52.0	52 29.7	11 6.3	21 12.0	- -

所得区分別にみると、いずれも、「ある」が高くなっています。

(6) 【祖父母や親せきの家に泊まりに行く】

上段:件数 下段:%		問12(6) 祖父母や親せきの家に泊まりに行く				
		ある	ない(金銭的な理由)	ない(時間的な制約)	ない(コロナ禍・その他の理由)	不明・無回答
全体(n=2,122)		1071 50.5	20 0.9	227 10.7	798 37.6	6 0.3
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	553 53.5	3 0.3	104 10.1	373 36.1	- -
	所得区分Ⅱ (n=702)	345 49.1	9 1.3	71 10.1	274 39.0	3 0.4
	所得区分Ⅲ (n=175)	83 47.4	6 3.4	23 13.1	62 35.4	1 0.6

所得区分別にみると、いずれも、「ある」が高くなっています。

(7) 【授業参観や運動会などの学校行事への参加】

上段:件数 下段:%		問12(7) 授業参観や運動会などの学校行事への参加				
		ある	ない(金銭的な理由)	ない(時間的な制約)	ない(コロナ禍・その他の理由)	不明・無回答
全体(n=2,122)		2028 95.6	5 0.2	35 1.6	48 2.3	6 0.3
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	999 96.7	- -	11 1.1	22 2.1	1 0.1
	所得区分Ⅱ (n=702)	671 95.6	2 0.3	11 1.6	15 2.1	3 0.4
	所得区分Ⅲ (n=175)	162 92.6	2 1.1	4 2.3	7 4.0	- -

所得区分別にみると、いずれも「ある」が最も高くなっているものの、所得区分によって差が大きくなります。

(8) 【ボランティア（PTA活動や町内会活動等）などへの参加】

上段:件数 下段:%		問12(8) ボランティア(PTA活動や町内会活動等)などへの参加				
		ある	ない(金銭的な理由)	ない(時間的な制約)	ない(コロナ禍・その他の理由)	不明・無回答
全体(n=2,122)		1094 51.6	7 0.3	430 20.3	578 27.2	13 0.6
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	567 54.9	- -	192 18.6	271 26.2	3 0.3
	所得区分Ⅱ (n=702)	355 50.6	4 0.6	139 19.8	197 28.1	7 1.0
	所得区分Ⅲ (n=175)	61 34.9	3 1.7	59 33.7	51 29.1	1 0.6

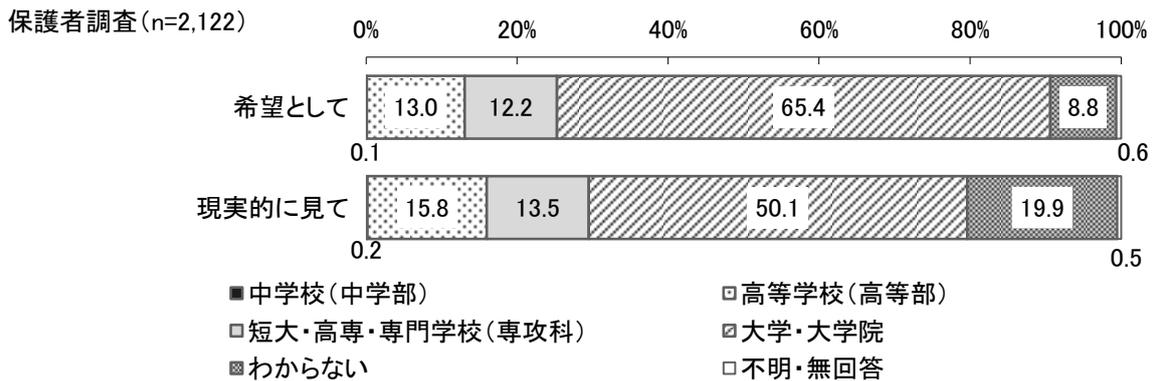
保護者

◆お子さんには、希望として、将来どの段階まで進学してほしいと思いますか[保：問13] <単数回答>

◆お子さんは、現実的に見て、将来どの段階まで進学すると思いますか[保：問14] <単数回答>

希望としては、「大学・大学院」が65.4%と最も多く、次いで「高等学校（高等部）」が13.0%、「短大・高専・専門学校（専攻科）」が12.2%となっています。

現実的に見た進学の間階としては、「大学・大学院」が50.1%と最も多く、次いで「わからない」が19.9%、「高等学校（高等部）」が15.8%となっています。



【クロス集計】お子さんには、希望として、将来どの段階まで進学してほしいと思いますか[保：問 13]
 お子さんは、現実的に見て、将来どの段階まで進学すると思いますか[保：問 14]×

所得区分別

所得区分別にみると、【希望として】、【現実的に見て】ともに、所得区分が高いほど、「大学・大学院」が高くなっています。

【希望として】

上段:件数 下段:%		問13 お子さんには、希望として、将来どの段階まで進学してほしいと思いますか					
		中学校(中学部)	高等学校(高等部)	短大・高専・専門学校(専攻科)	大学・大学院	わからない	不明・無回答
全体(n=2,122)		2 0.1	275 13.0	258 12.2	1388 65.4	187 8.8	12 0.6
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	1 0.1	71 6.9	94 9.1	798 77.3	66 6.4	3 0.3
	所得区分Ⅱ (n=702)	-	124 17.7	104 14.8	390 55.6	81 11.5	3 0.4
	所得区分Ⅲ (n=175)	1 0.6	49 28.0	30 17.1	80 45.7	13 7.4	2 1.1

【現実的に見て】

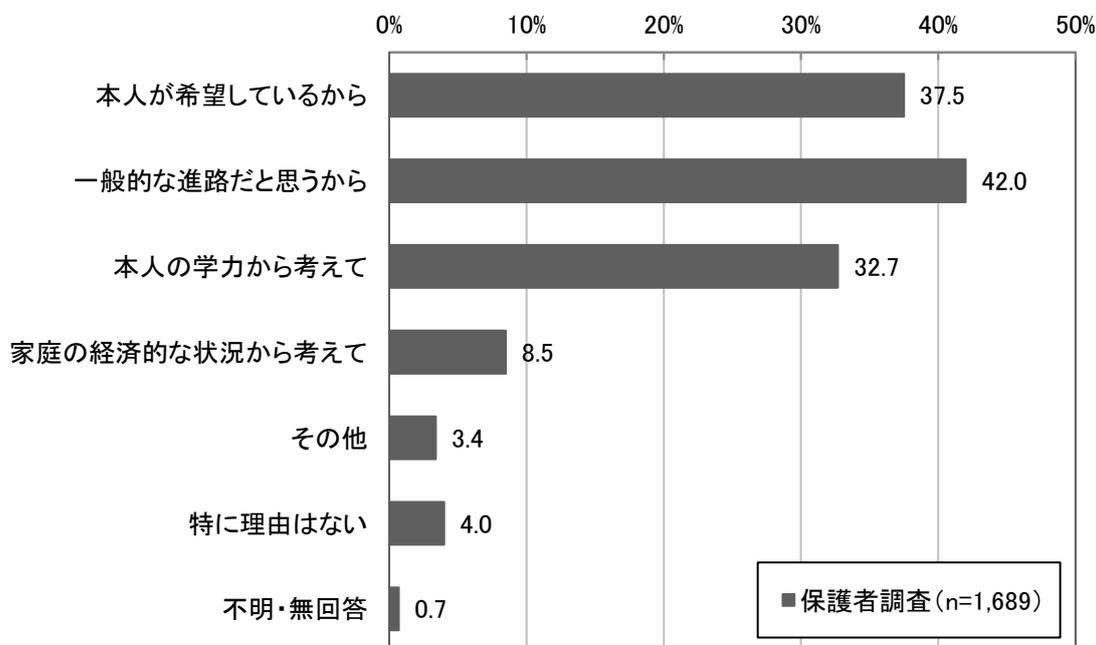
上段:件数 下段:%		問14 お子さんは、現実的に見て、将来どの段階まで進学すると思いますか					
		中学校(中学部)	高等学校(高等部)	短大・高専・専門学校(専攻科)	大学・大学院	わからない	不明・無回答
全体(n=2,122)		4 0.2	335 15.8	287 13.5	1063 50.1	423 19.9	10 0.5
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	-	93 9.0	118 11.4	653 63.2	168 16.3	1 0.1
	所得区分Ⅱ (n=702)	2 0.3	138 19.7	108 15.4	289 41.2	162 23.1	3 0.4
	所得区分Ⅲ (n=175)	1 0.6	63 36.0	37 21.1	45 25.7	27 15.4	2 1.1

保護者

(現実的に見た進学段階として「1. 中学校(中学部)」～「4. 大学・大学院」を選んだ方)

◆その理由は何ですか[保：問15]〈複数回答〉

「一般的な進路だと思うから」が42.0%と最も多く、次いで「本人が希望しているから」が37.5%、「本人の学力から考えて」が32.7%となっています。



【クロス集計】その理由は何ですか[保：問15]×所得区分別

所得区分別にみると、所得区分が高いほど「一般的な進路だと思うから」と「本人の学力から考えて」が高くなっています。一方で、所得区分が低いほど「家庭の経済的な状況から考えて」が高くなっています。

上段:件数 下段:%	問15 その理由は何ですか							
	本人が希望しているから	一般的な進路だと思うから	本人の学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	不明・無回答	
全体 (n=1,689)	633 37.5	710 42.0	553 32.7	144 8.5	58 3.4	67 4.0	11 0.7	
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=864)	349 40.4	412 47.7	295 34.1	42 4.9	24 2.8	21 2.4	5 0.6
	所得区分Ⅱ (n=537)	178 33.1	202 37.6	177 33.0	71 13.2	22 4.1	27 5.0	3 0.6
	所得区分Ⅲ (n=146)	50 34.2	50 34.2	40 27.4	21 14.4	6 4.1	7 4.8	2 1.4

保護者

◆あなたは次のことで頼れる人はいますか[保：問16]〈単数回答／相談先：複数回答〉

(1) 子育てに関する相談については、「いる」が91.6%、「いない」が4.8%、「そのことで人に頼らない」が3.3%となっています。

所得区分別にみると、所得区分Ⅲでは「いる」が82.9%と、全体より8.7ポイント低くなっています。

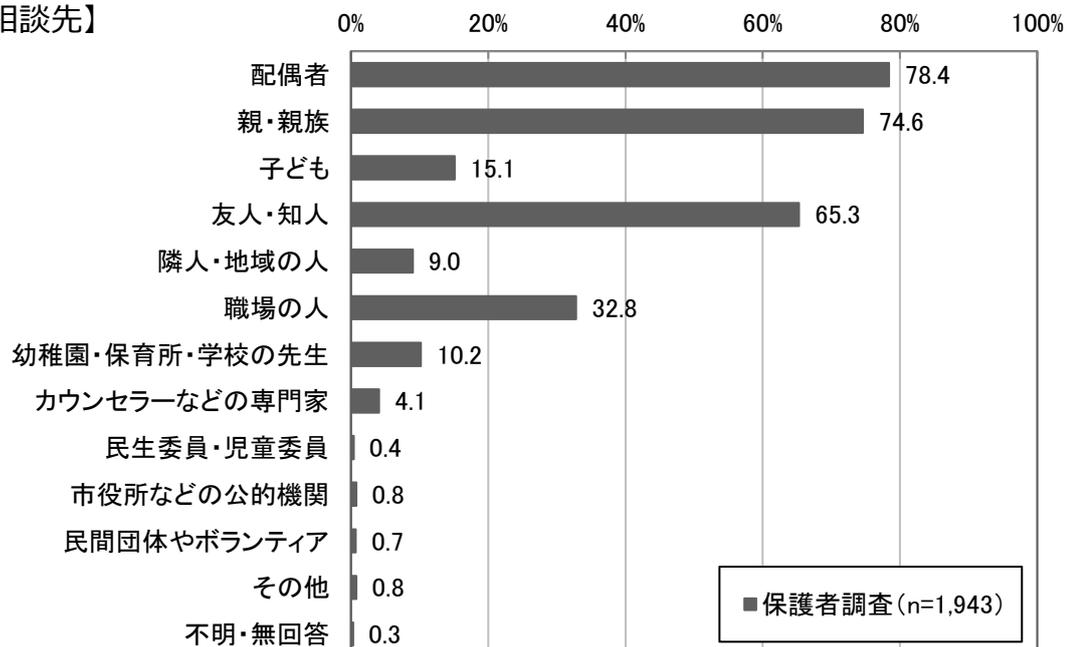
その相談先については「配偶者」が78.4%と最も多く、次いで「親・親族」が74.6%、「友人・知人」が65.3%となっています。

(1)【子育てに関する相談】



上段:件数 下段:%		問16(1)子育てに関する相談で頼れる人はいますか			
		いる	いない	そのことで人に頼らない	不明・無回答
全体 (n=2,122)		1943 91.6	101 4.8	71 3.3	7 0.3
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	970 93.9	29 2.8	32 3.1	2 0.2
	所得区分Ⅱ (n=702)	640 91.2	35 5.0	26 3.7	1 0.1
	所得区分Ⅲ (n=175)	145 82.9	21 12.0	8 4.6	1 0.6

【相談先】



(2) 重要なことの相談については、「いる」が89.8%、「いない」が6.2%、「そのことで人に頼らない」が3.5%となっています。

所得区分別にみると、所得区分Ⅲでは「いる」が72.0%と、全体より17.8ポイント低くなっています。

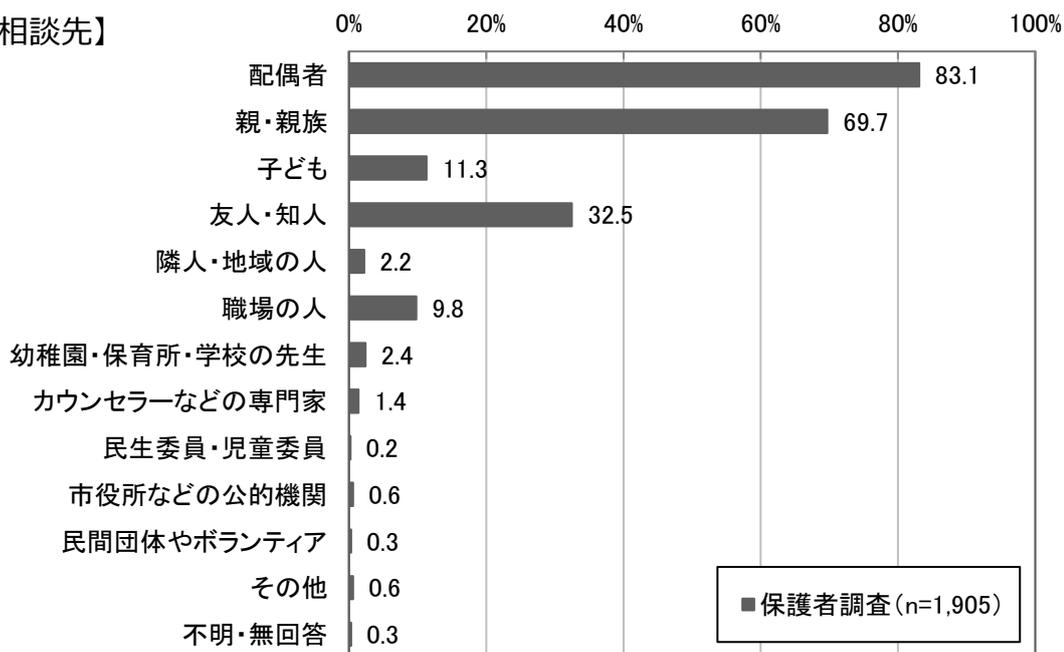
その相談先については「配偶者」が83.1%と最も多く、次いで「親・親族」が69.7%、「友人・知人」が32.5%となっています。

(2) 【重要なことの相談】



上段:件数 下段:%		問16(2) 重要なことの相談で頼れる人はいますか			
		いる	いない	そのことで人に頼らない	不明・無回答
全体 (n=2,122)		1905 89.8	132 6.2	75 3.5	10 0.5
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	963 93.2	36 3.5	30 2.9	4 0.4
	所得区分Ⅱ (n=702)	629 89.6	47 6.7	25 3.6	1 0.1
	所得区分Ⅲ (n=175)	126 72.0	33 18.9	14 8.0	2 1.1

【相談先】

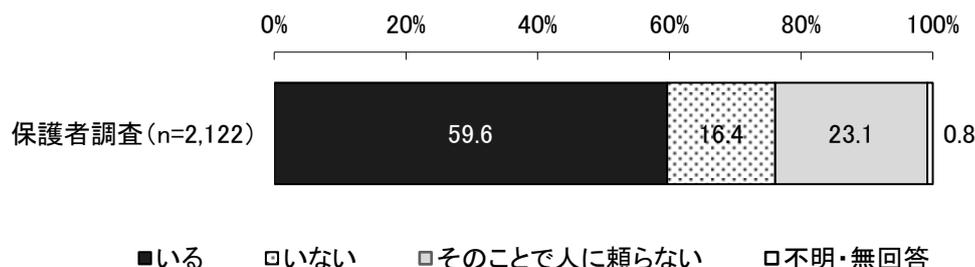


(3) いざという時のお金の援助については、「いる」が 59.6%、「いない」が 16.4%、「そのことで人に頼らない」が 23.1%となっています。

所得区分別にみると、所得区分Ⅲでは「いない」が 32.0%と、全体より 15.6 ポイント高くなっています。

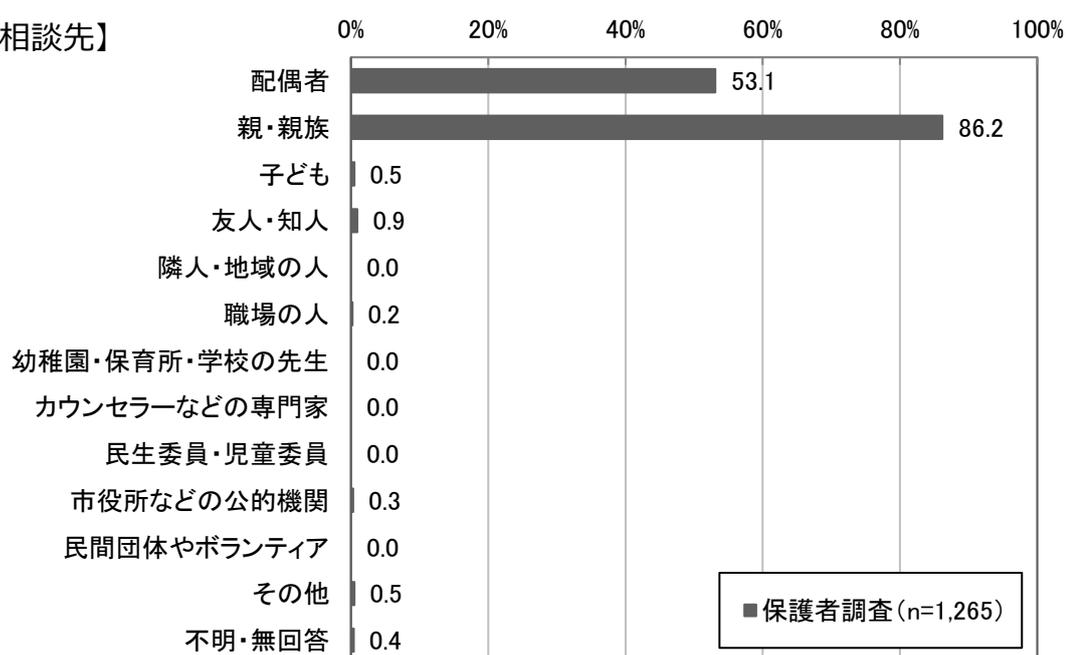
その相談先については「親・親族」が 86.2%と最も多く、次いで「配偶者」が 53.1%となっています。

(3) 【いざという時のお金の援助】



上段:件数 下段:%		問16(3)いざという時のお金の援助で頼れる人はいま すか			
		いる	いない	そのことで人 に頼らない	不明・無回答
全体 (n=2,122)		1265 59.6	349 16.4	491 23.1	17 0.8
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	662 64.1	114 11.0	253 24.5	4 0.4
	所得区分Ⅱ (n=702)	408 58.1	137 19.5	153 21.8	4 0.6
	所得区分Ⅲ (n=175)	80 45.7	56 32.0	37 21.1	2 1.1

【相談先】

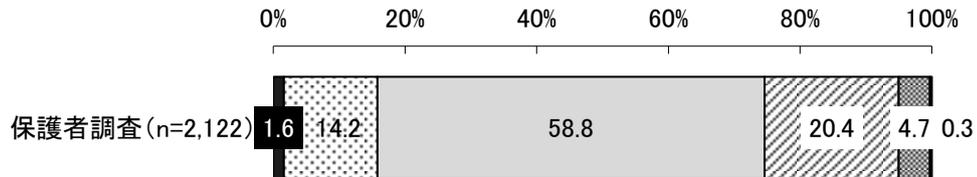


4. 保護者の家庭での生活について

保護者

◆あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか[保：問17]〈単数回答〉

「ふつう」が58.8%と最も多く、次いで「苦しい」が20.4%、「ゆとりがある」が14.2%となっています。

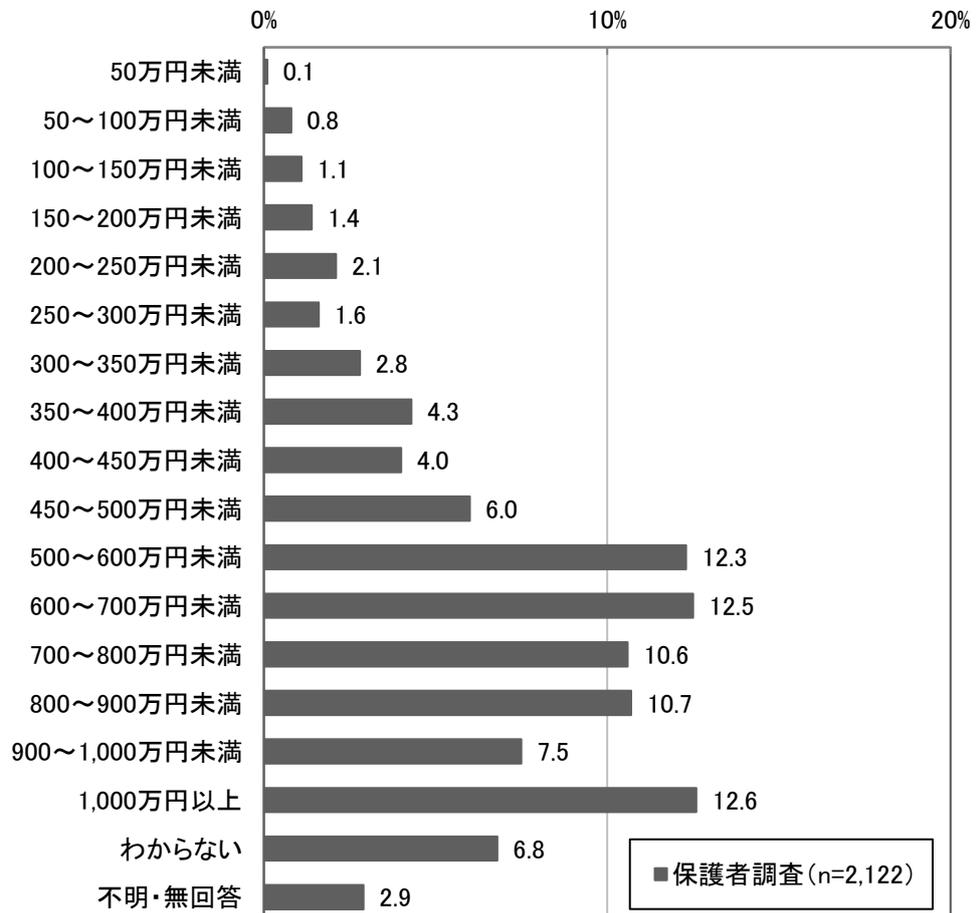


■大変ゆとりがある □ゆとりがある □ふつう □苦しい □大変苦しい □不明・無回答

保護者

◆世帯全体の昨年1年間（令和4年1月1日～令和4年12月31日の期間）におけるおおよその税込みの年間収入はいくらですか[保：問18]〈単数回答〉

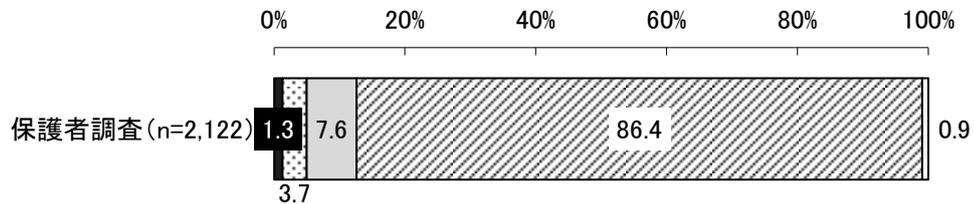
「1,000万円以上」が12.6%と最も多く、次いで「600～700万円未満」が12.5%、「500～600万円未満」が12.3%となっています。



保護者

◆あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか[保：問19]〈単数回答〉

「よくあった」が1.3%、「ときどきあった」が3.7%、「まれにあった」が7.6%となっています。



■よくあった □ときどきあった □まれにあった □まったくなかった □不明・無回答

【クロス集計】あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか[保：問19]×所得区分別

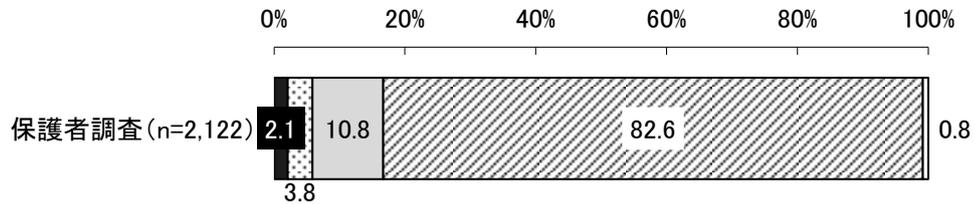
所得区分別にみると、いずれも「まったくなかった」が最も高くなっているものの、所得区分によって差が大きくみられます。

上段:件数 下段:%		問19 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品(酒・たばこなど)は含みません				
		よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	不明・無回答
全体(n=2,122)		28 1.3	79 3.7	161 7.6	1834 86.4	20 0.9
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	3 0.3	10 1.0	35 3.4	977 94.6	8 0.8
	所得区分Ⅱ (n=702)	12 1.7	42 6.0	79 11.3	564 80.3	5 0.7
	所得区分Ⅲ (n=175)	11 6.3	23 13.1	33 18.9	105 60.0	3 1.7

保護者

◆あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか[保：問20]〈単数回答〉

「よくあった」が2.1%、「ときどきあった」が3.8%、「まれにあった」が10.8%となっています。



■よくあった □ときどきあった □まれにあった □まったくなかった □不明・無回答

【クロス集計】あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか[保：問20]×所得区分別

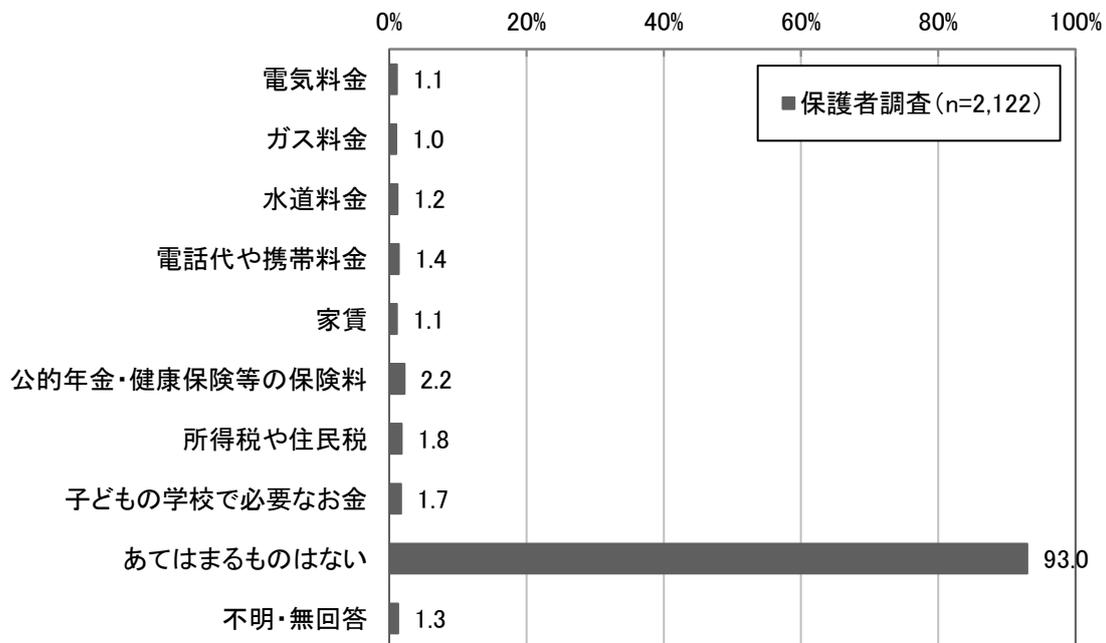
所得区分別にみると、いずれも「まったくなかった」が最も高くなっているものの、所得区分によって差が大きくみられます。

上段:件数 下段:%		問20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません				
		よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	不明・無回答
全体 (n=2,122)		44 2.1	80 3.8	229 10.8	1753 82.6	16 0.8
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	5 0.5	11 1.1	55 5.3	955 92.4	7 0.7
	所得区分Ⅱ (n=702)	19 2.7	37 5.3	113 16.1	531 75.6	2 0.3
	所得区分Ⅲ (n=175)	16 9.1	25 14.3	43 24.6	88 50.3	3 1.7

保護者

◆あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で払えなかったことがありましたか[保：問21]〈複数回答〉

「あてはまるものはない」が93.0%と最も多くなっており、他の項目では1~2%程度の回答となっています。



【クロス集計】あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で払えなかったことがありましたか[保：問21]×所得区分別

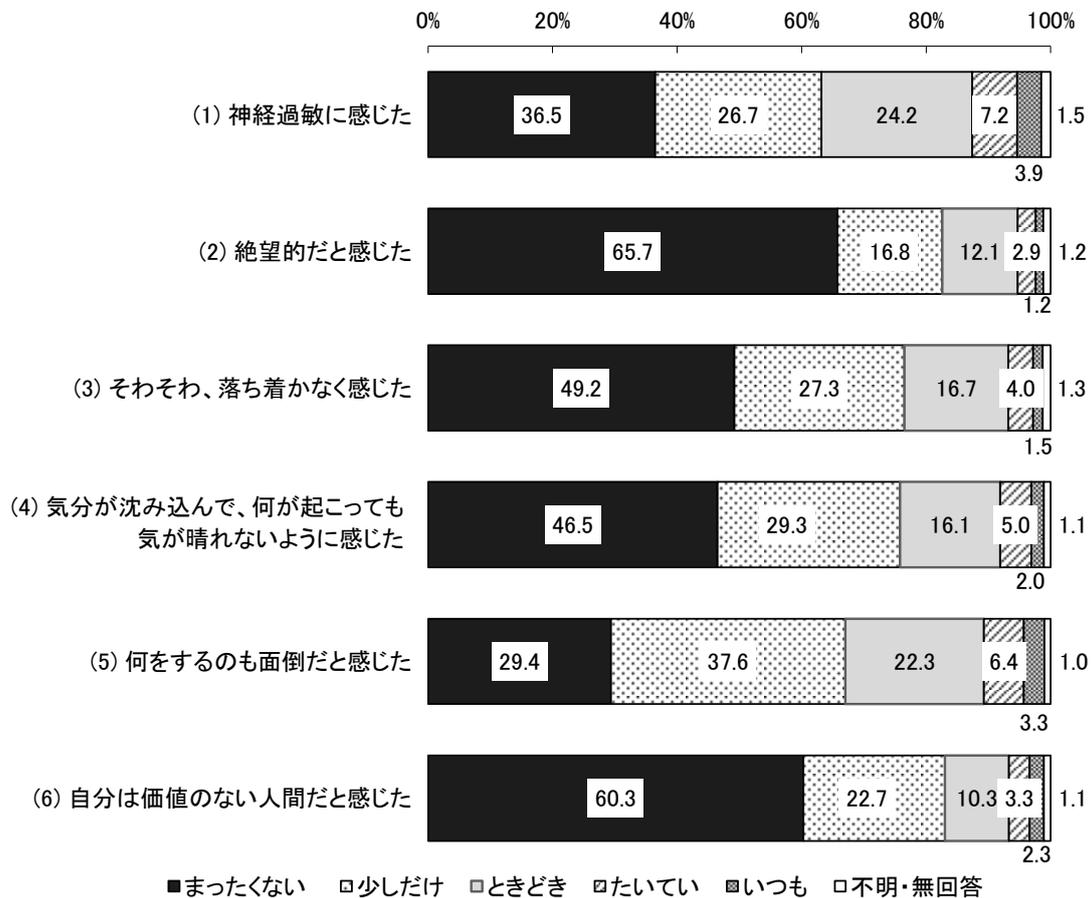
所得区分別にみると、いずれも「あてはまるものはない」が最も高くなっているものの、所得区分が低いほど、それ以外の項目が高くなっています。

上段:件数 下段:%		問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で払えなかったことがありましたか									
		電気料金	ガス料金	水道料金	電話代や携帯料金	家賃	公的年金・健康保険等の保険料	所得税や住民税	子どもの学校で必要なお金	あてはまるものはない	不明・無回答
全体 (n=2,122)		23 1.1	22 1.0	25 1.2	29 1.4	23 1.1	46 2.2	39 1.8	37 1.7	1974 93.0	27 1.3
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	-	-	1 0.1	2 0.2	1 0.1	1 0.1	5 0.5	2 0.2	1010 97.8	11 1.1
	所得区分Ⅱ (n=702)	10 1.4	10 1.4	11 1.6	11 1.6	7 1.0	15 2.1	20 2.8	11 1.6	648 92.3	6 0.9
	所得区分Ⅲ (n=175)	12 6.9	12 6.9	13 7.4	15 8.6	13 7.4	20 11.4	6 3.4	21 12.0	123 70.3	7 4.0

保護者

◆この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか[保：問22]〈単数回答〉

「いつも」と「たいてい」の合計でみると、【(1)神経過敏に感じた】が11.1%、【(5)何をするのも面倒だと感じた】が9.7%、【(4)気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じた】が7.0%となっています。



【クロス集計】この1か月のあなたの気持ちはどのようでしたか[保：問22]×所得区分別

所得区分別にみると、所得区分Ⅰ、Ⅱでは「まったくない」が、所得区分Ⅲでは「ときどき」が最も多くなっています

(1) 【神経過敏に感じた】

上段:件数 下段:%		問22(1) 神経過敏に感じた					
		まったくない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも	不明・無回答
全体(n=2,122)		775 36.5	566 26.7	514 24.2	153 7.2	82 3.9	32 1.5
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	433 41.9	289 28.0	226 21.9	50 4.8	23 2.2	12 1.2
	所得区分Ⅱ (n=702)	234 33.3	175 24.9	186 26.5	67 9.5	30 4.3	10 1.4
	所得区分Ⅲ (n=175)	45 25.7	45 25.7	47 26.9	18 10.3	16 9.1	4 2.3

所得区分別にみると、いずれも「まったくない」が最も高くなっているものの、所得区分によって差が大きくみられます。

(2) 【絶望的だと感じた】

上段:件数 下段:%		問22(2) 絶望的だと感じた					
		まったくない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも	不明・無回答
全体(n=2,122)		1395 65.7	356 16.8	257 12.1	62 2.9	26 1.2	26 1.2
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	769 74.4	138 13.4	93 9.0	20 1.9	3 0.3	10 1.0
	所得区分Ⅱ (n=702)	419 59.7	137 19.5	102 14.5	30 4.3	8 1.1	6 0.9
	所得区分Ⅲ (n=175)	84 48.0	38 21.7	36 20.6	7 4.0	8 4.6	2 1.1

所得区分別にみると、いずれも「まったくない」が最も高くなっているものの、所得区分によって差が大きくみられます。

(3) 【そわそわ、落ち着かなく感じた】

上段:件数 下段:%		問22(3) そわそわ、落ち着かなく感じた					
		まったくない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも	不明・無回答
全体(n=2,122)		1045 49.2	580 27.3	355 16.7	84 4.0	31 1.5	27 1.3
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	562 54.4	282 27.3	147 14.2	27 2.6	6 0.6	9 0.9
	所得区分Ⅱ (n=702)	321 45.7	193 27.5	135 19.2	37 5.3	9 1.3	7 1.0
	所得区分Ⅲ (n=175)	66 37.7	46 26.3	38 21.7	13 7.4	7 4.0	5 2.9

所得区分別にみると、いずれも「まったくない」が最も高くなっているものの、所得区分によって差が大きくみられます。

(4) 【気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた】

上段:件数 下段:%		問22(4) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた					
		まったくない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも	不明・無回答
全体 (n=2,122)		986 46.5	622 29.3	342 16.1	106 5.0	43 2.0	23 1.1
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	538 52.1	308 29.8	133 12.9	32 3.1	12 1.2	10 1.0
	所得区分Ⅱ (n=702)	298 42.5	207 29.5	131 18.7	45 6.4	15 2.1	6 0.9
	所得区分Ⅲ (n=175)	55 31.4	51 29.1	39 22.3	20 11.4	7 4.0	3 1.7

所得区分別にみると、いずれも「少しだけ」が最も高く、次いで所得区分Ⅰ、Ⅱでは「まったくない」が、所得区分Ⅲでは「ときどき」となっています。

(5) 【何をするのも面倒だと感じた】

上段:件数 下段:%		問22(5) 何をするのも面倒だと感じた					
		まったくない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも	不明・無回答
全体 (n=2,122)		624 29.4	798 37.6	473 22.3	136 6.4	70 3.3	21 1.0
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	346 33.5	400 38.7	207 20.0	50 4.8	22 2.1	8 0.8
	所得区分Ⅱ (n=702)	189 26.9	257 36.6	171 24.4	54 7.7	25 3.6	6 0.9
	所得区分Ⅲ (n=175)	33 18.9	63 36.0	46 26.3	22 12.6	8 4.6	3 1.7

所得区分別にみると、いずれも「まったくない」が最も高くなっているものの、所得区分によって差が大きくみられます。

(6) 【自分は価値のない人間だと感じた】

上段:件数 下段:%		問22(6) 自分は価値のない人間だと感じた					
		まったくない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも	不明・無回答
全体 (n=2,122)		1280 60.3	481 22.7	218 10.3	71 3.3	48 2.3	24 1.1
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	694 67.2	222 21.5	78 7.6	17 1.6	14 1.4	8 0.8
	所得区分Ⅱ (n=702)	381 54.3	174 24.8	92 13.1	34 4.8	15 2.1	6 0.9
	所得区分Ⅲ (n=175)	81 46.3	48 27.4	22 12.6	11 6.3	9 5.1	4 2.3

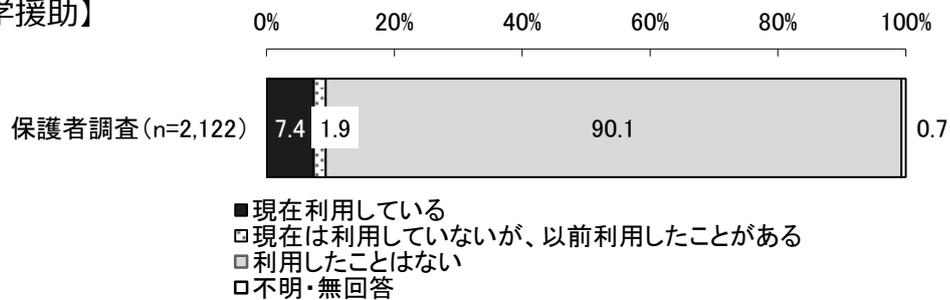
保護者

◆あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか

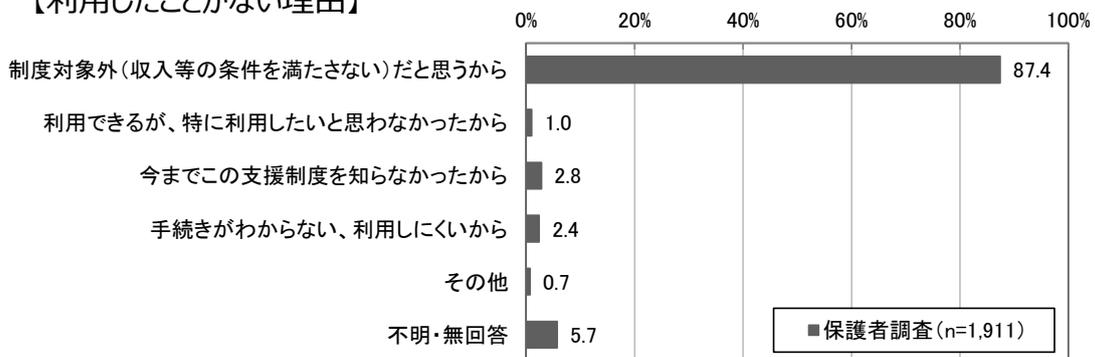
[保：問 23] <単数回答>

(1) 就学援助については、「現在利用している」が7.4%、「現在は利用していないが、以前利用したことがある」が1.9%となっています。

(1) 【就学援助】



【利用したことがない理由】



【クロス集計】家庭における支援制度の利用経験[保：問23]×所得区分別

所得区分別にみると、所得区分Ⅲでは「現在利用している」が54.9%と、半数以上の利用があります。

【利用したことがない理由】では、いずれも「制度対象外（収入等の条件を満たさない）だと思ふから」が最も多くなっているものの、所得区分が低いほどそれ以外の項目が高くなっています。

(1) 【就学援助】

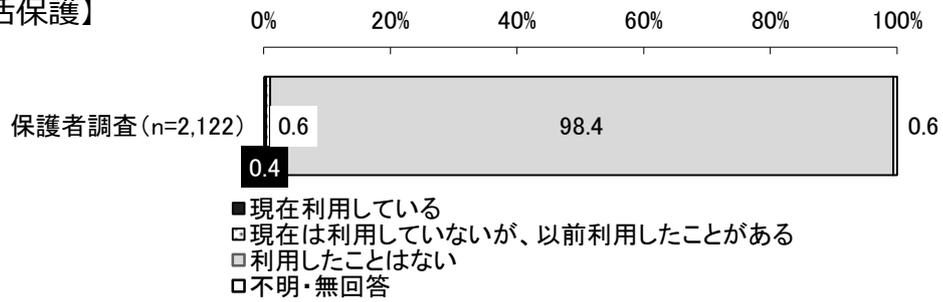
上段:件数 下段:%		問23(1) 就学援助			
		現在利用している	現在は利用していないが、以前利用したことがある	利用したことはない	不明・無回答
全体(n=2,122)		156 7.4	41 1.9	1911 90.1	14 0.7
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	2 0.2	8 0.8	1016 98.4	7 0.7
	所得区分Ⅱ (n=702)	44 6.3	21 3.0	633 90.2	4 0.6
	所得区分Ⅲ (n=175)	96 54.9	5 2.9	72 41.1	2 1.1

【利用したことがない理由】

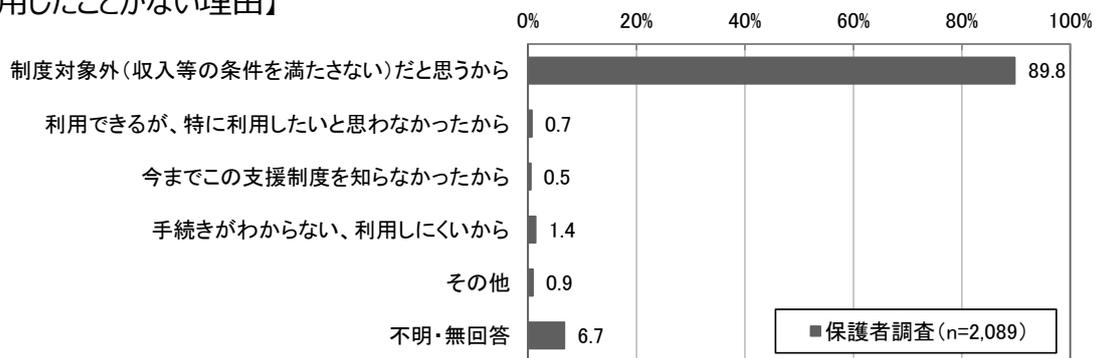
上段:件数 下段:%		*問23(1) 就学援助を利用したことはない理由は何ですか					
		制度対象外(収入等の条件を満たさない)だと思ふから	利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	今までこの支援制度を知らなかったから	手続きがわからない、利用しにくいから	その他	不明・無回答
全体(n=1,911)		1671 87.4	20 1.0	53 2.8	46 2.4	13 0.7	108 5.7
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,016)	932 91.7	5 0.5	19 1.9	6 0.6	5 0.5	49 4.8
	所得区分Ⅱ (n=633)	549 86.7	7 1.1	21 3.3	17 2.7	2 0.3	37 5.8
	所得区分Ⅲ (n=72)	45 62.5	4 5.6	5 6.9	11 15.3	3 4.2	4 5.6

(2) 生活保護については、「現在利用している」が0.4%、「現在は利用していないが、以前利用したことがある」が0.6%となっています。

(2) 【生活保護】



【利用したことがない理由】



【クロス集計】家庭における支援制度の利用経験[保：問23]×所得区分別

所得区分別にみると、いずれも「利用したことはない」が最も高くなっています。

【利用したことがない理由】では、いずれも「制度対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が最も多くなっているものの、所得区分が低いほどそれ以外の項目が高くなっています。

(2) 【生活保護】

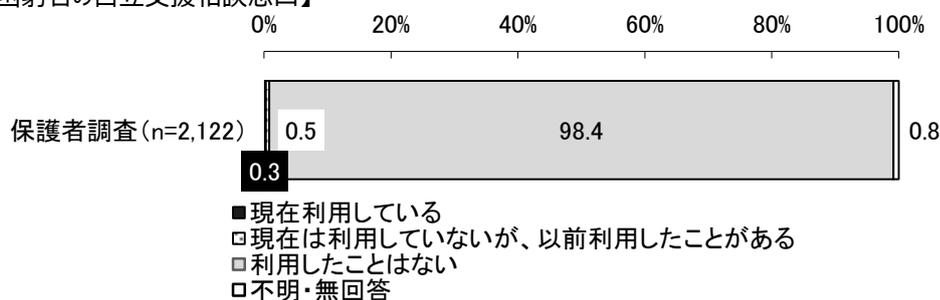
上段:件数 下段:%		問23(2)生活保護			
		現在利用している	現在は利用していないが、以前利用したことがある	利用したことはない	不明・無回答
全体(n=2,122)		9 0.4	12 0.6	2089 98.4	12 0.6
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	- -	2 0.2	1025 99.2	6 0.6
	所得区分Ⅱ (n=702)	2 0.3	4 0.6	693 98.7	3 0.4
	所得区分Ⅲ (n=175)	- -	6 3.4	167 95.4	2 1.1

【利用したことがない理由】

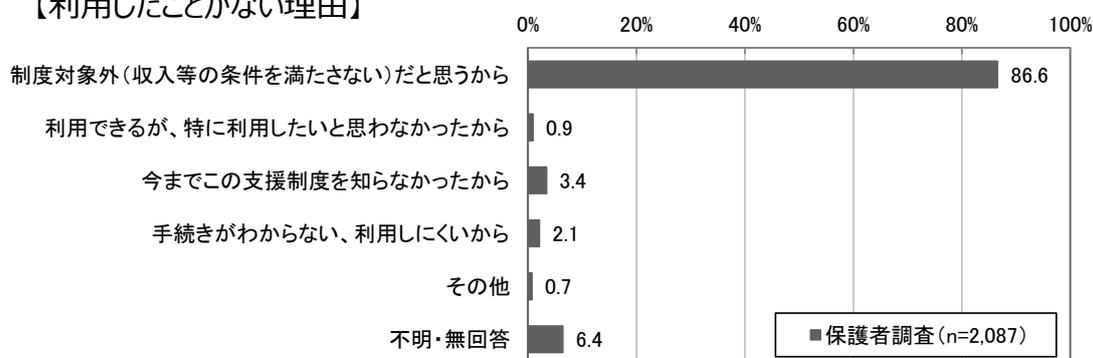
上段:件数 下段:%		*問23(2)生活保護を利用したことはない理由は何ですか					
		制度対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	今までこの支援制度を知らなかったから	手続きがわからない、利用しにくいから	その他	不明・無回答
全体(n=2,089)		1876 89.8	15 0.7	10 0.5	29 1.4	18 0.9	141 6.7
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,025)	957 93.4	2 0.2	4 0.4	3 0.3	2 0.2	57 5.6
	所得区分Ⅱ (n=693)	624 90.0	3 0.4	4 0.6	8 1.2	5 0.7	49 7.1
	所得区分Ⅲ (n=167)	123 73.7	7 4.2	1 0.6	12 7.2	4 2.4	20 12.0

(3) 生活困窮者の自立支援相談窓口については、「現在利用している」が0.3%、「現在は利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっています。

(3) 【生活困窮者の自立支援相談窓口】



【利用したことがない理由】



【クロス集計】家庭における支援制度の利用経験[保：問23]×所得区分別

所得区分別にみると、いずれも「利用したことはない」が最も高くなっています。

【利用したことがない理由】では、いずれも「制度対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が最も多くなっているものの、所得区分が低いほどそれ以外の項目が高くなっています。

（3）【生活困窮者の自立支援相談窓口】

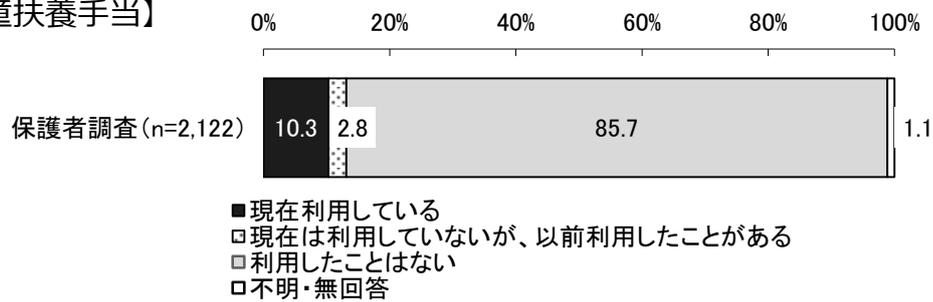
上段:件数 下段:%		問23(3)生活困窮者の自立支援相談窓口			
		現在利用している	現在は利用していないが、以前利用したことがある	利用したことはない	不明・無回答
全体(n=2,122)		7 0.3	11 0.5	2087 98.4	17 0.8
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	2 0.2	- -	1024 99.1	7 0.7
	所得区分Ⅱ (n=702)	1 0.1	3 0.4	694 98.9	4 0.6
	所得区分Ⅲ (n=175)	1 0.6	7 4.0	165 94.3	2 1.1

【利用したことがない理由】

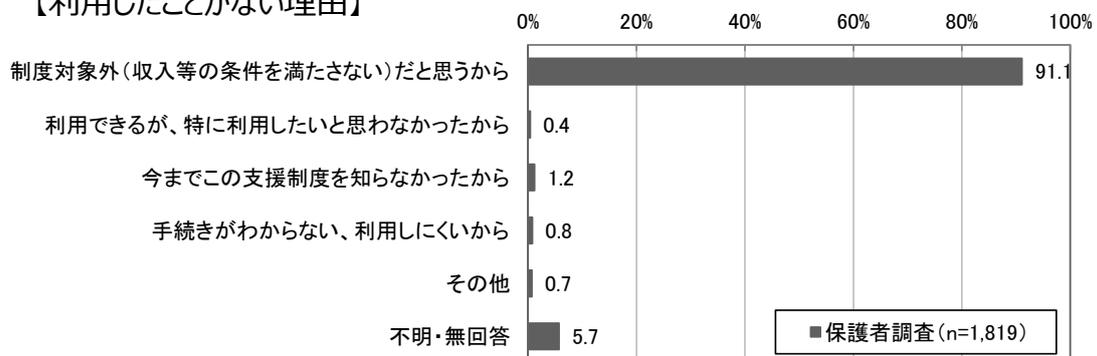
上段:件数 下段:%		*問23(3)生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことはない理由は何ですか					
		制度対象外 (収入等の条件を満たさない)だと思うから	利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	今までこの支援制度を知らなかったから	手続きがわからない、利用しにくいから	その他	不明・無回答
全体(n=2,087)		1807 86.6	18 0.9	70 3.4	44 2.1	14 0.7	134 6.4
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,024)	946 92.4	2 0.2	18 1.8	3 0.3	3 0.3	52 5.1
	所得区分Ⅱ (n=694)	605 87.2	3 0.4	27 3.9	10 1.4	4 0.6	45 6.5
	所得区分Ⅲ (n=165)	94 57.0	9 5.5	19 11.5	19 11.5	2 1.2	22 13.3

(4) 児童扶養手当については、「現在利用している」が10.3%、「現在は利用していないが、以前利用したことがある」が2.8%となっています。

(4) 【児童扶養手当】



【利用したことがない理由】



【クロス集計】家庭における支援制度の利用経験[保：問23]×所得区分別

所得区分別にみると、所得区分Ⅲでは「現在利用している」が47.4%、「利用したことはない」が45.7%とほぼ同じ割合となっています。

【利用したことがない理由】では、いずれも「制度対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が最も多くなっているものの、所得区分が低いほどそれ以外の項目が高くなっています。

（４）【児童扶養手当】

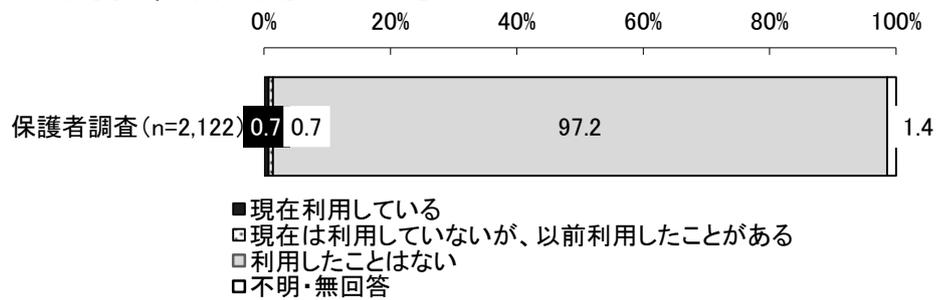
上段:件数 下段:%		問23(4)児童扶養手当			
		現在利用している	現在は利用していないが、以前利用したことがある	利用したことはない	不明・無回答
全体(n=2,122)		219 10.3	60 2.8	1819 85.7	24 1.1
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	51 4.9	20 1.9	951 92.1	11 1.1
	所得区分Ⅱ (n=702)	64 9.1	26 3.7	608 86.6	4 0.6
	所得区分Ⅲ (n=175)	83 47.4	9 5.1	80 45.7	3 1.7

【利用したことがない理由】

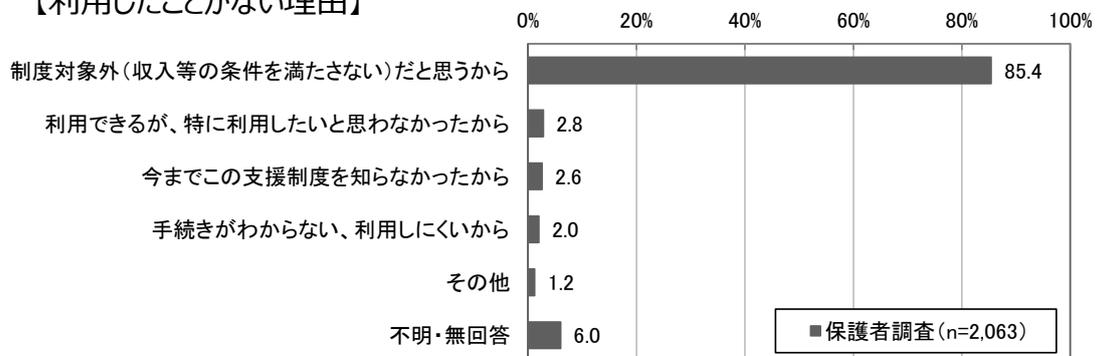
上段:件数 下段:%		*問23(4)児童扶養手当を利用したことはない理由は何ですか					不明・無回答
		制度対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	今までこの支援制度を知らなかったから	手続きがわからない、利用しにくいから	その他	
全体(n=1,819)		1658 91.1	8 0.4	22 1.2	15 0.8	12 0.7	104 5.7
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=951)	888 93.4	1 0.1	8 0.8	2 0.2	4 0.4	48 5.0
	所得区分Ⅱ (n=608)	551 90.6	1 0.2	10 1.6	8 1.3	2 0.3	36 5.9
	所得区分Ⅲ (n=80)	63 78.8	4 5.0	2 2.5	3 3.8	2 2.5	6 7.5

(5) 母子家庭等就業・自立支援センターについては、「現在利用している」が0.7%、「現在は利用していないが、以前利用したことがある」が0.7%となっています。

(5) 【母子家庭等就業・自立支援センター】



【利用したことがない理由】



【クロス集計】家庭における支援制度の利用経験[保：問23]×所得区分別

所得区分別にみると、いずれも「利用したことはない」が最も高くなっています。

【利用したことがない理由】では、いずれも「制度対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が最も多くなっているものの、所得区分が低いほどその他の項目が高くなっています。

（５）【母子家庭等就業・自立支援センター】

上段:件数 下段:%		問23(5)母子家庭等就業・自立支援センター			
		現在利用している	現在は利用していないが、以前利用したことがある	利用したことはない	不明・無回答
全体 (n=2,122)		15 0.7	15 0.7	2063 97.2	29 1.4
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,033)	6 0.6	- -	1014 98.2	13 1.3
	所得区分Ⅱ (n=702)	1 0.1	5 0.7	693 98.7	3 0.4
	所得区分Ⅲ (n=175)	3 1.7	8 4.6	156 89.1	8 4.6

【利用したことがない理由】

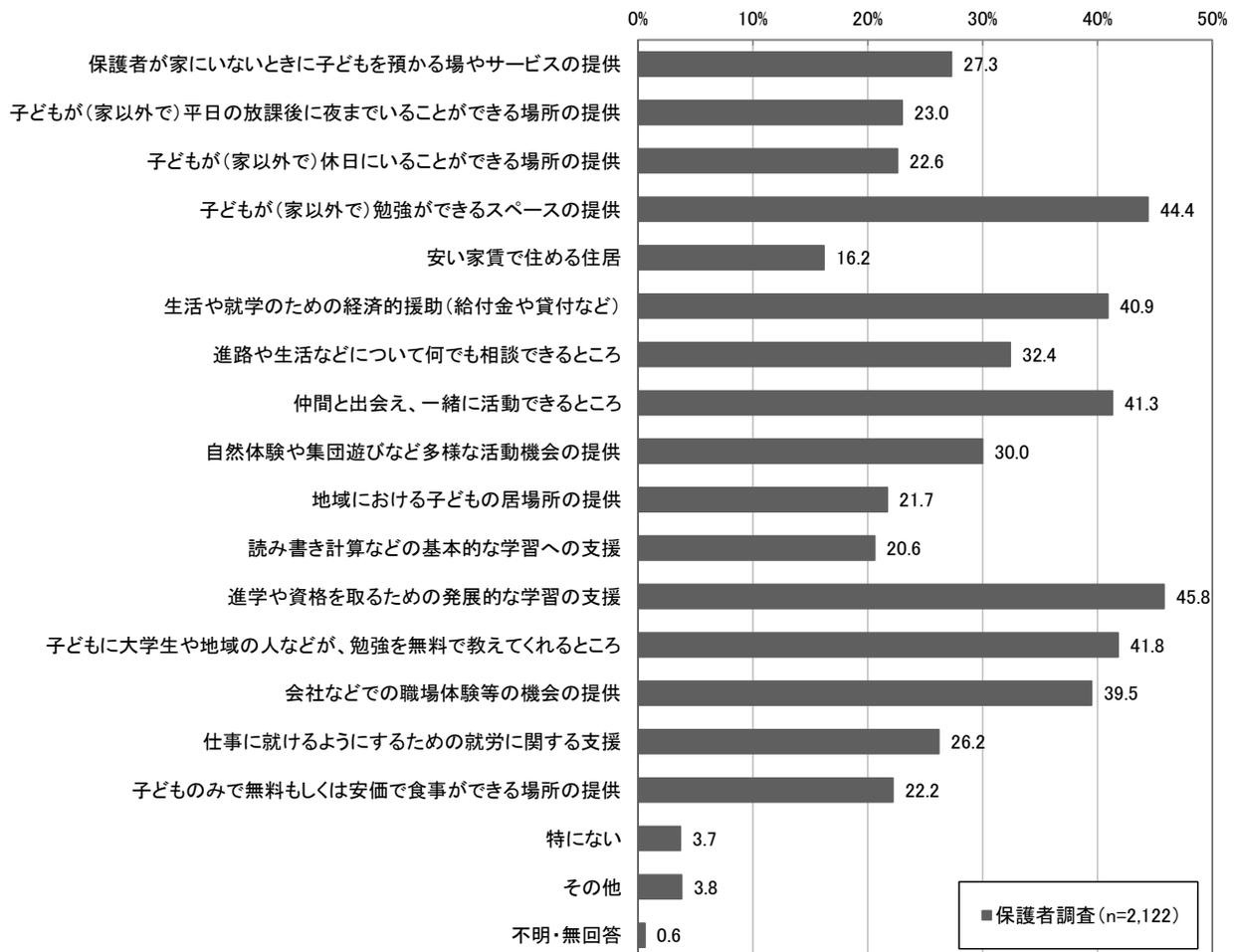
上段:件数 下段:%		*問23(5)母子家庭等就業・自立支援センターを利用したことはない理由は何ですか					
		制度対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用できるが、特に利用したいと思わなかったから	今までこの支援制度を知らなかったから	手続きがわからない、利用しにくいから	その他	不明・無回答
全体 (n=2,063)		1761 85.4	58 2.8	54 2.6	42 2.0	24 1.2	124 6.0
★所得区分	所得区分Ⅰ (n=1,014)	937 92.4	4 0.4	16 1.6	4 0.4	6 0.6	47 4.6
	所得区分Ⅱ (n=693)	591 85.3	20 2.9	16 2.3	12 1.7	7 1.0	47 6.8
	所得区分Ⅲ (n=156)	76 48.7	25 16.0	12 7.7	22 14.1	6 3.8	15 9.6

保護者

◆お子さんにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか

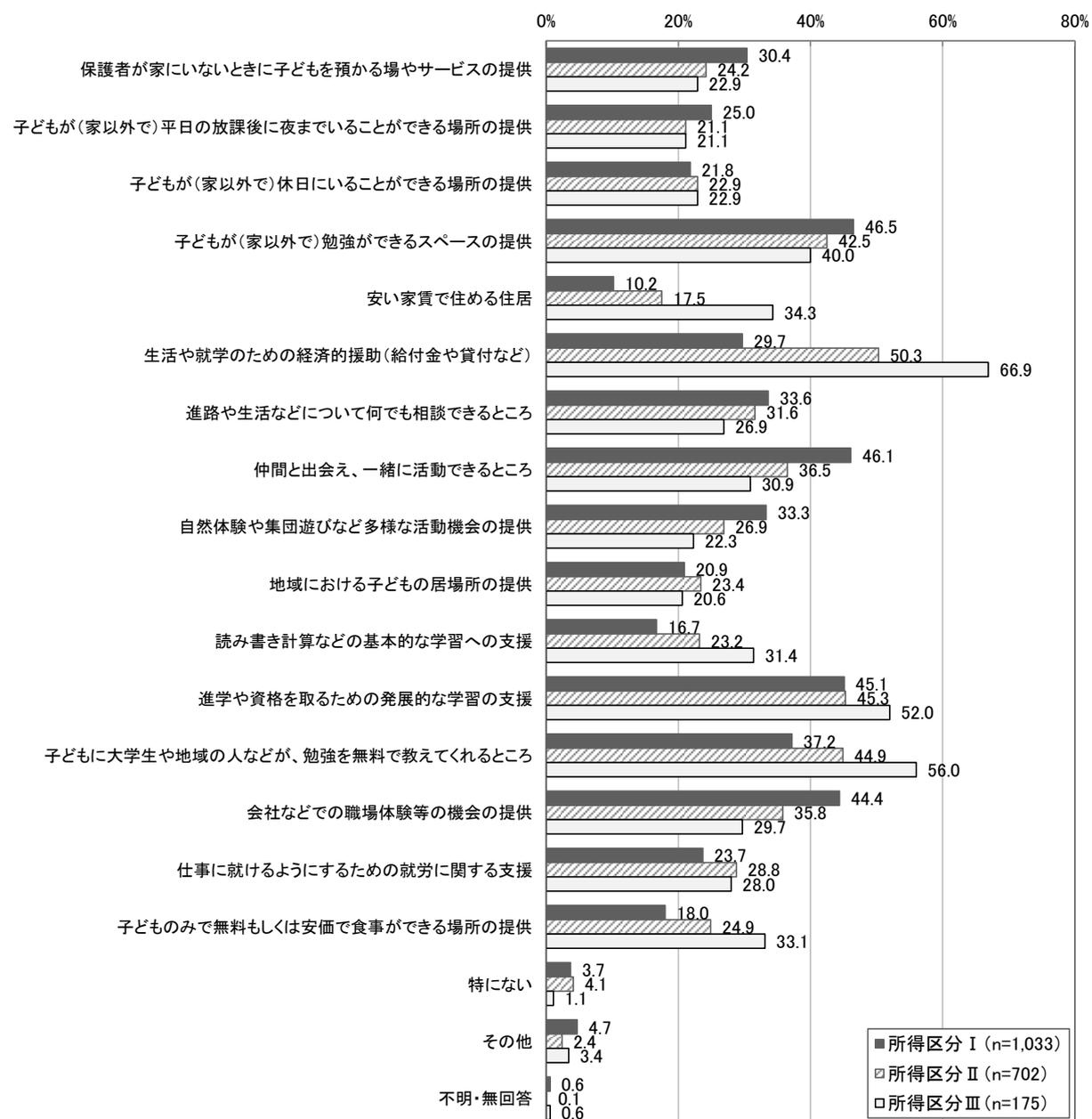
[保：問 24] <複数回答>

「進学や資格を取るための発展的な学習の支援」が45.8%と最も多く、次いで「子どもが（家以外で）勉強ができるスペースの提供」が44.4%、「子どもに大学生や地域の人などが、勉強を無料で教えてくれるところ」が41.8%となっています。



【クロス集計】お子さんにとって、現在、または将来的に望まれる支援[保：問24]×所得区分別

所得区分別にみると、いずれの所得区分においても、学習に対する支援を望んでいることがうかがえます。また、所得区分Ⅰでは、体験活動への支援が、所得区分Ⅲでは、経済的な支援が高くなっています。



自由回答（とりまとめ）

保護者

◆最後に、その他、お子さんの生活の支援に関してご意見などがありましたら、自由にご記入ください

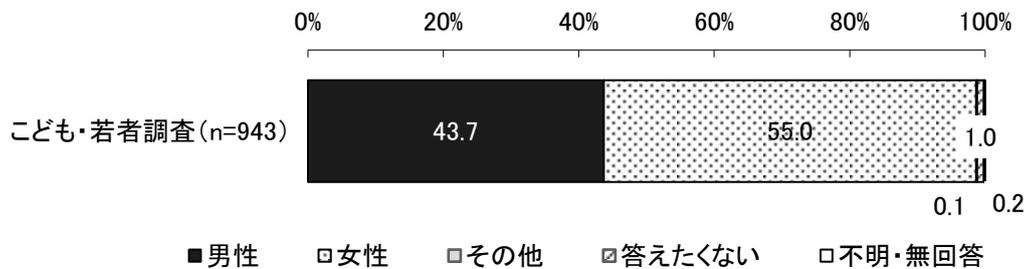
	内 容	件数
1	経済的支援について	186 件
2	学校について	86 件
3	放課後の居場所について（児童館、放課後児童クラブ、放課後子ども教室）	68 件
4	医療・健診・健康・食育について	52 件
5	相談・情報・交流・イベント・体験について	33 件
6	遊び場・公共施設について	32 件
7	発達支援・障害児について	26 件
8	いじめ・不登校について	23 件
9	子育て全般について	19 件
10	安心・安全について	12 件
	地域活動について	
12	仕事と家庭の両立・職場環境について	10 件
13	行政全般について	9 件
14	保育について	7 件
15	アンケートについて	5 件
16	その他	22 件
17	特になし	24 件

[3]こども・若者の意識と生活に関するアンケート調査

1. あなた自身のことについて

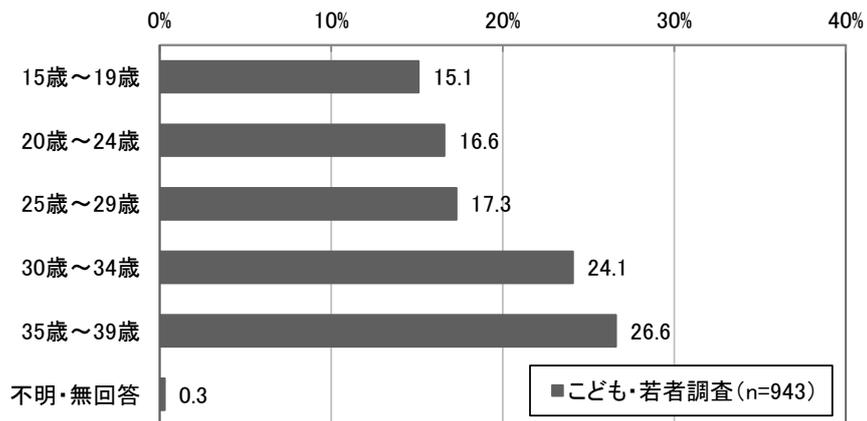
こども・若者

◆あなたの性別をお答えください[若：問1]〈単数回答〉



こども・若者

◆あなたの年齢をお答えください[若：問2]〈単数回答〉



こども・若者

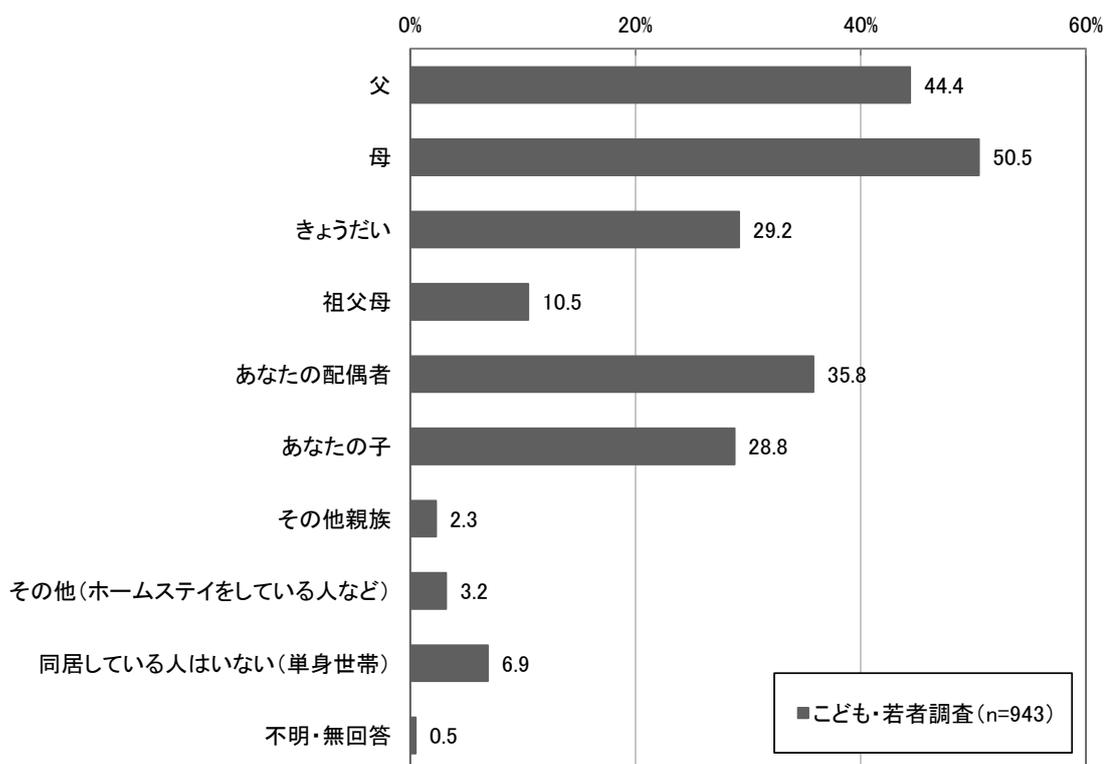
◆あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます[若：問3]〈単数回答〉



こども・若者

◆現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含まます[若：問4]〈複数回答〉

「母」が50.5%と最も多く、次いで「父」が44.4%、「あなたの配偶者」が35.8%となっています。



【クロス集計】現在、同居している方[若：問4]×年齢別

年齢別にみると、15歳～29歳では「母」が最も高く、次いで「父」となっていますが、30歳～39歳では「あなたの配偶者」が最も高く、次いで「あなたの子」となっています。年齢層に応じた、既婚と未婚の差の影響が背景にあるものとうかがえます。

上段:件数 下段:%	問4 現在、同居している方										
	父	母	きょうだい	祖父母	あなたの配偶者	あなたの子	その他親族	その他(ホームステイをしている人など)	同居している人はいない(単身世帯)	不明・無回答	
全体 (n=943)	419 44.4	476 50.5	275 29.2	99 10.5	338 35.8	272 28.8	22 2.3	30 3.2	65 6.9	5 0.5	
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	123 86.6	136 95.8	107 75.4	33 23.2	-	-	1 0.7	2 1.4	1 0.7	
	20歳～24歳 (n=157)	112 71.3	123 78.3	73 46.5	37 23.6	5 3.2	2 1.3	7 4.5	12 7.6	12 7.6	
	25歳～29歳 (n=163)	62 38.0	73 44.8	44 27.0	18 11.0	49 30.1	30 18.4	2 1.2	10 6.1	23 14.1	
	30歳～34歳 (n=227)	59 26.0	68 30.0	31 13.7	7 3.1	126 55.5	94 41.4	3 1.3	5 2.2	16 7.0	
	35歳～39歳 (n=251)	62 24.7	75 29.9	19 7.6	4 1.6	158 62.9	146 58.2	9 3.6	1 0.4	13 5.2	

こども・若者

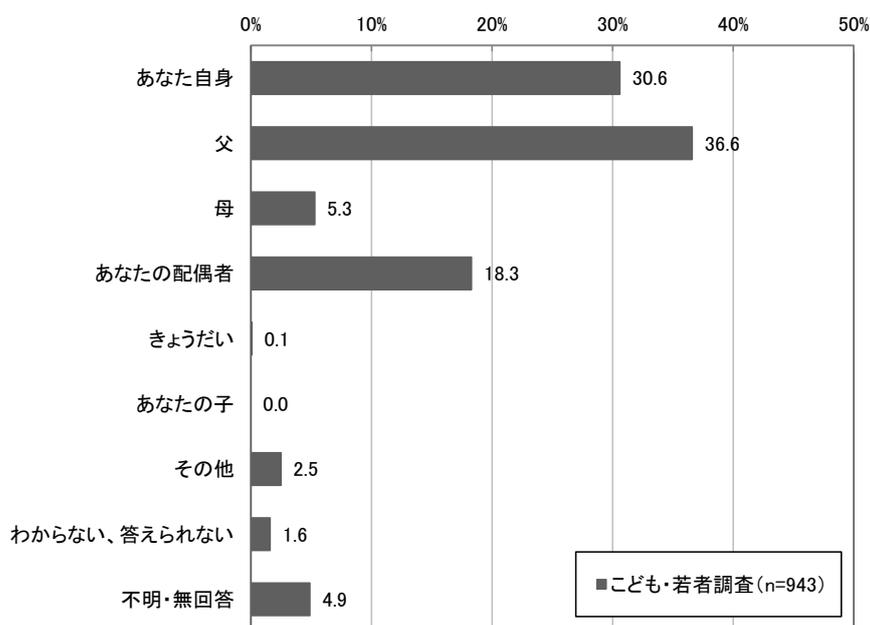
◆あなたの家の生計について、以下の（１）と（２）のそれぞれにお答えください

[若：問5（１）（２）] <単数回答>

（１）主に生計を支えている方、また仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にして
 けている人については、「父」が36.6%と最も多く、次いで「あなた自身」が30.6%、「あなたの
 配偶者」が18.3%となっています。

（２）主に生計を支えている方の主な収入源については、「就労、事業による収入（農業収入を
 含む）」が92.3%と最も多くなっています。

（１）主に生計を支えている方。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてける人

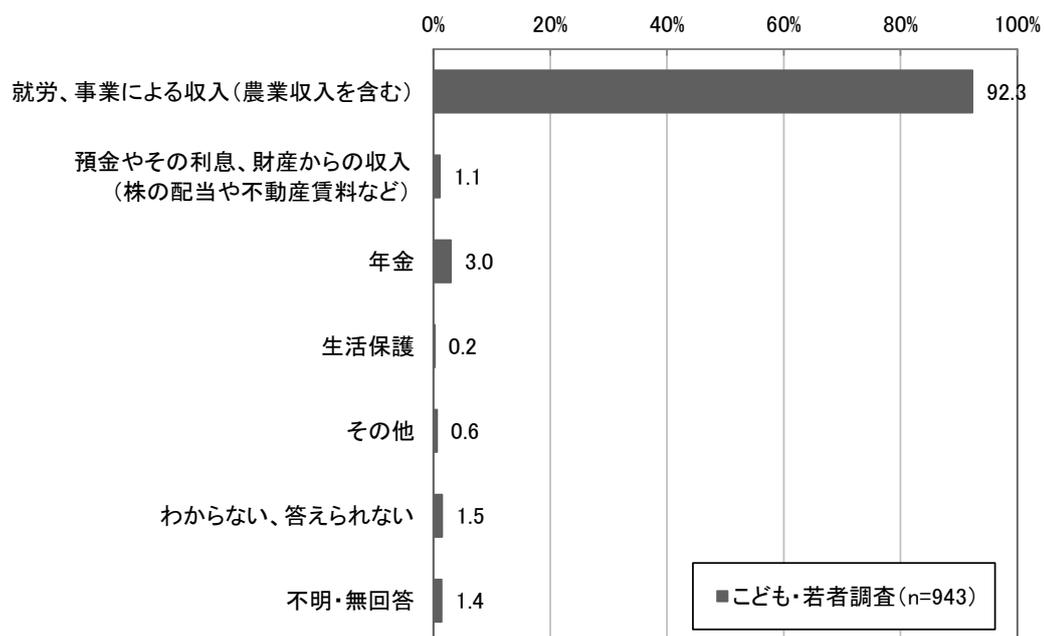


【クロス集計】生計を主に支えている方[若：問5（１）]×年齢別

年齢別にみると、15歳～24歳では「父」、25歳～39歳では「あなた自身」が最も高くなっており、
 生計を主に支えている方の違いがうかがえます。

上段:件数 下段:%		問5(1) 生計を主に支えている方								
		あなた自身	父	母	あなたの配 偶者	きょうだい	あなたの子	その他	わからない、 答えられな い	不明・無回 答
全体 (n=943)		289 30.6	345 36.6	50 5.3	173 18.3	1 0.1	-	24 2.5	15 1.6	46 4.9
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	-	114 80.3	17 12.0	-	-	-	1 0.7	2 1.4	8 5.6
	20歳～24歳 (n=157)	21 13.4	105 66.9	11 7.0	2 1.3	-	-	4 2.5	4 2.5	10 6.4
	25歳～29歳 (n=163)	71 43.6	47 28.8	8 4.9	21 12.9	-	-	6 3.7	3 1.8	7 4.3
	30歳～34歳 (n=227)	99 43.6	40 17.6	7 3.1	59 26.0	1 0.4	-	7 3.1	3 1.3	11 4.8
	35歳～39歳 (n=251)	98 39.0	38 15.1	7 2.8	91 36.3	-	-	6 2.4	3 1.2	8 3.2

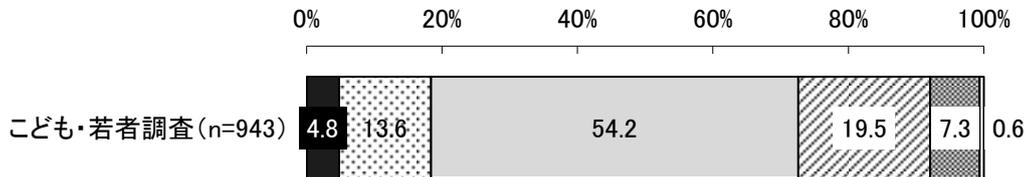
(2) 主に生計を支えている方の主な収入源



こども・若者

◆あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか[若：問6]〈単数回答〉

「ふつう」が54.2%と最も多く、次いで「苦しい」が19.5%、「ゆとりがある」が13.6%となっています。

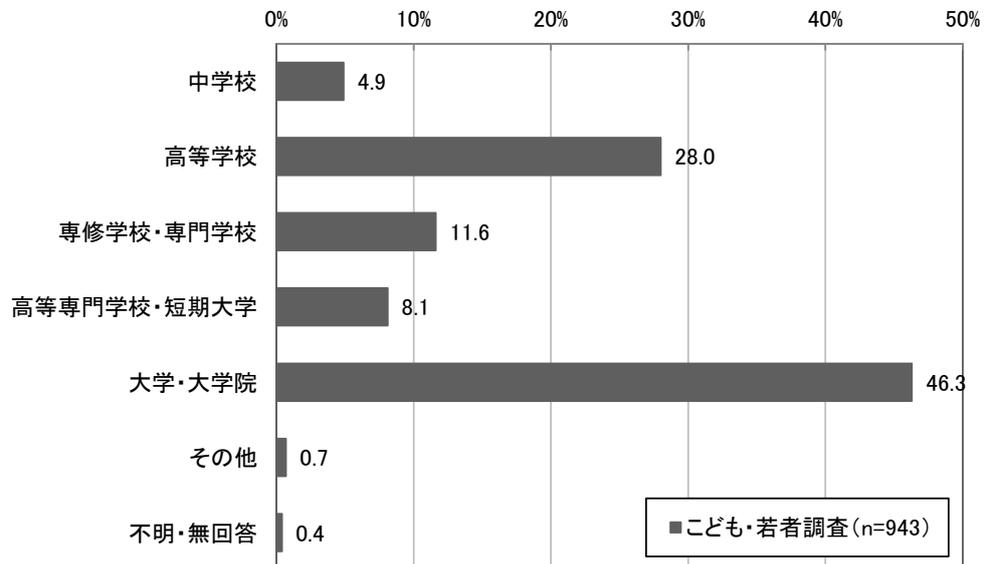


■ 大変ゆとりがある □ ゆとりがある □ ふつう □ 苦しい □ 大変苦しい □ 不明・無回答

こども・若者

◆あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください[若：問7]〈単数回答〉

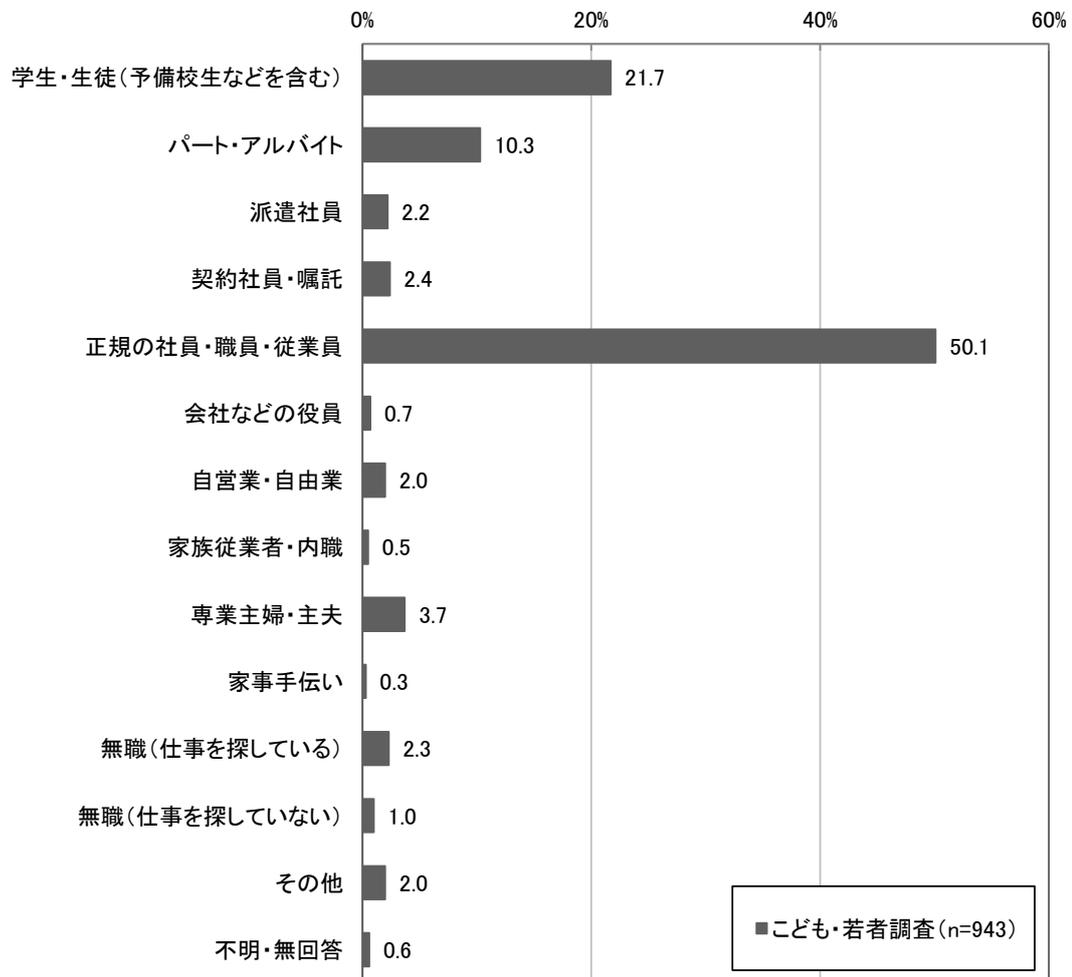
「大学・大学院」が46.3%と最も多く、次いで「高等学校」が28.0%、「専修学校・専門学校」が11.6%となっています。



こども・若者

◆あなたの現在の仕事をお答えください [若：問8] <単数回答>

「正規の社員・職員・従業員」が50.1%と最も多く、次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」が21.7%、「パート・アルバイト」が10.3%となっています。



【クロス集計】現在の仕事[若：問8]×年齢別

年齢別にみると、最も割合が高い項目が、「20～24歳」を起点として、「学生・生徒（予備校生などを含む）」から「正規の社員・職員・従業員」へと変わっていきます。

上段:件数 下段:%		問8 現在の仕事						
		学生・生徒 (予備校生などを含む)	パート・アルバイト	派遣社員	契約社員・嘱託	正規の社員・職員・従業員	会社などの役員	自営業・自由業
全体 (n=943)		205 21.7	97 10.3	21 2.2	23 2.4	472 50.1	7 0.7	19 2.0
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	137 96.5	-	-	1 0.7	2 1.4	-	-
	20歳～24歳 (n=157)	65 41.4	14 8.9	1 0.6	4 2.5	63 40.1	-	-
	25歳～29歳 (n=163)	2 1.2	13 8.0	7 4.3	8 4.9	113 69.3	3 1.8	2 1.2
	30歳～34歳 (n=227)	-	26 11.5	8 3.5	5 2.2	151 66.5	2 0.9	5 2.2
	35歳～39歳 (n=251)	1 0.4	43 17.1	5 2.0	5 2.0	143 57.0	2 0.8	12 4.8

上段:件数 下段:%		問8 現在の仕事						
		家族従業者・内職	専業主婦・主夫	家事手伝い	無職(仕事を探している)	無職(仕事を探していない)	その他	不明・無回答
全体 (n=943)		5 0.5	35 3.7	3 0.3	22 2.3	9 1.0	19 2.0	6 0.6
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	-	-	-	-	1 0.7	1 0.7	-
	20歳～24歳 (n=157)	-	-	-	2 1.3	1 0.6	5 3.2	2 1.3
	25歳～29歳 (n=163)	-	4 2.5	1 0.6	5 3.1	2 1.2	3 1.8	-
	30歳～34歳 (n=227)	1 0.4	17 7.5	-	6 2.6	3 1.3	3 1.3	-
	35歳～39歳 (n=251)	4 1.6	14 5.6	2 0.8	9 3.6	2 0.8	7 2.8	2 0.8

こども・若者

◆あなたの就業経験についてお答えください（パート・アルバイトを含む） [若：問9] <単数回答>

「現在、就業している」が74.8%と最も多く、次いで「これまでに就業経験はない」が12.2%、「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」が9.1%となっています。



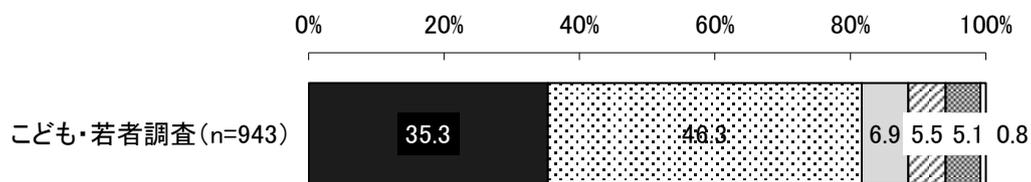
- 現在、就業している
- 現在、就業しているが、休職や休業中である
- 現在は就業していないが、過去に就業経験がある
- ▣ これまでに就業経験はない
- 不明・無回答

2. あなたの日頃の意識と生活について

こども・若者

◆あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください [若：問10] <単数回答>

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が81.6%、『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が12.4%となっています。



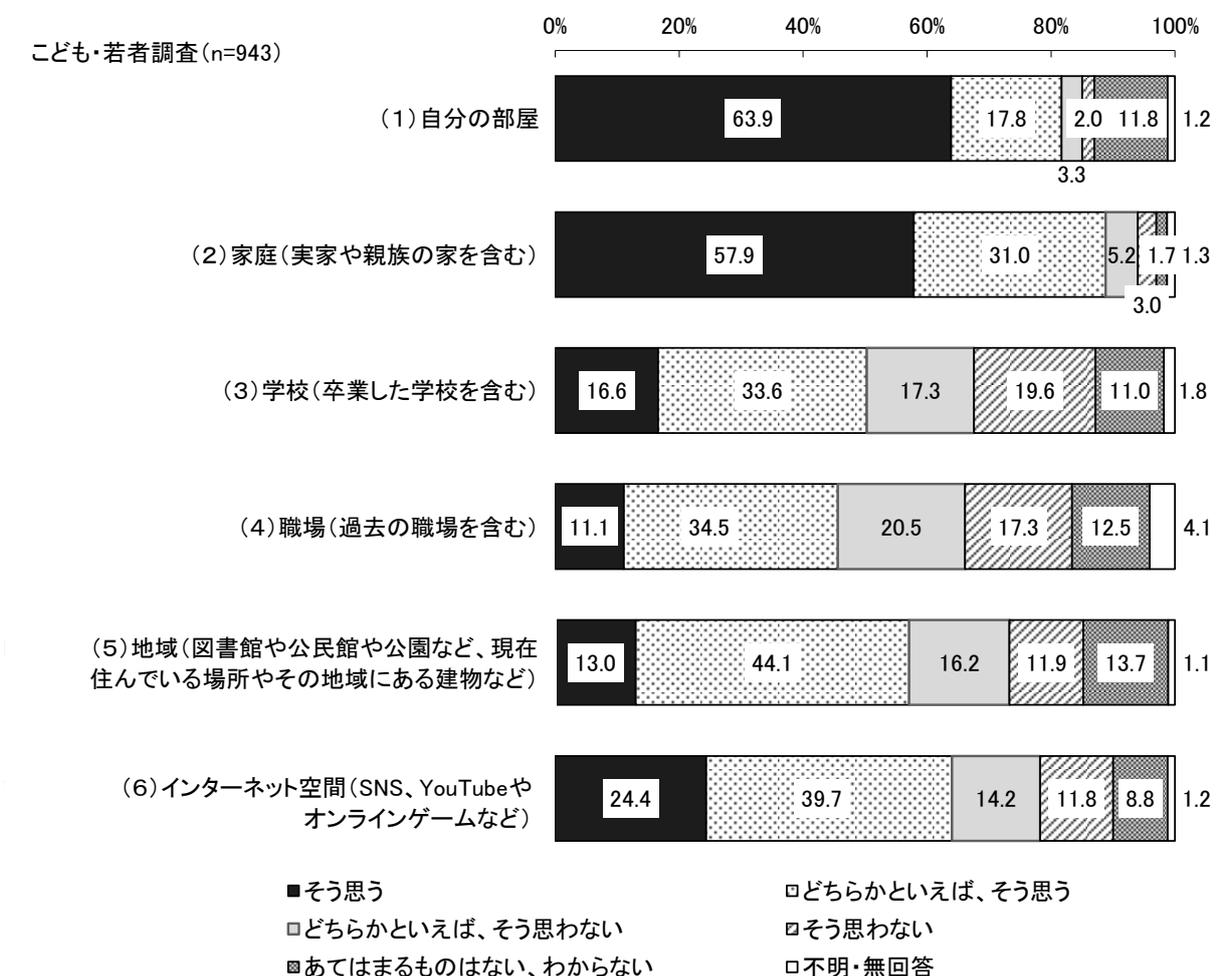
- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- わからない
- 不明・無回答

こども・若者

◆次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になって
いますか [若：問11] <単数回答>

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）についてみると、【(2) 家庭（実家や親族の家を含む）】が88.9%と最も多く、次いで【(1) 自分の部屋】が81.7%、【(6) インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）】が64.1%となっています。

『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）についてみると、【(4) 職場（過去の職場を含む）】が37.8%と最も多く、次いで【(3) 学校（卒業した学校を含む）】が36.9%、【(5) 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やその地域にある建物など）】が28.1%となっています。



【クロス集計】インターネット空間は居場所になっているか[若：問11(6)]×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が低くなっています。

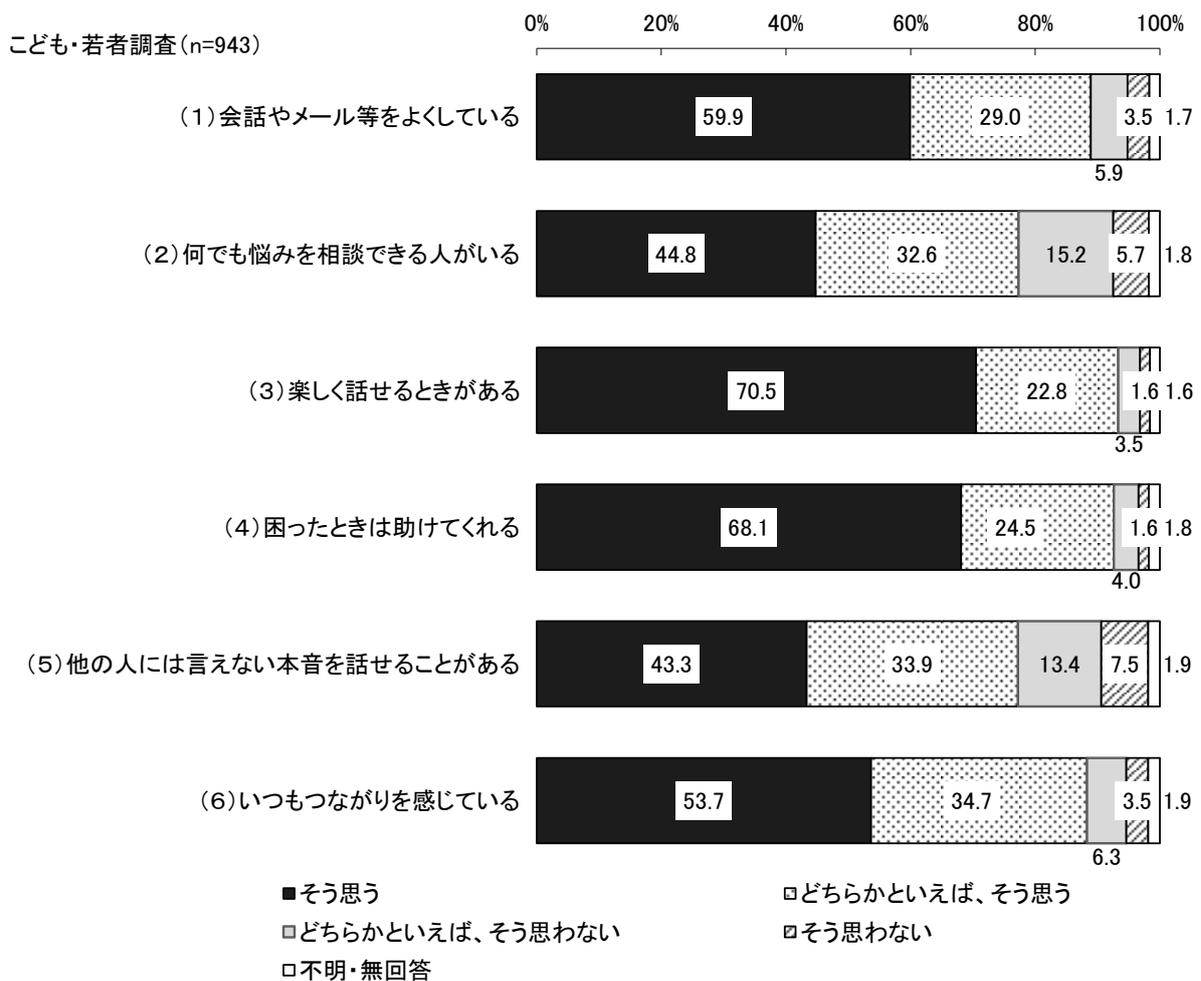
上段:件数 下段:%		問11(6) インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっているか					
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	あてはまるも のではない、わ からない	不明・無回答
全体(n=943)		230 24.4	374 39.7	134 14.2	111 11.8	83 8.8	11 1.2
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	59 41.5	53 37.3	13 9.2	11 7.7	6 4.2	- -
	20歳～24歳 (n=157)	48 30.6	68 43.3	15 9.6	8 5.1	14 8.9	4 2.5
	25歳～29歳 (n=163)	44 27.0	63 38.7	32 19.6	18 11.0	6 3.7	- -
	30歳～34歳 (n=227)	47 20.7	87 38.3	33 14.5	33 14.5	24 10.6	3 1.3
	35歳～39歳 (n=251)	32 12.7	103 41.0	41 16.3	41 16.3	32 12.7	2 0.8

こども・若者

◆家族・親族とあなたの関わりは、どのようなものですか [若：問12] <単数回答>

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）についてみると、【(3) 楽しく話せるときがある】が93.3%と最も多く、次いで【(4) 困ったときは助けてくれる】が92.6%、【(1) 会話やメール等をよくしている】が88.9%となっています。

『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）についてみると、【(2) 何でも悩みを相談できる人がある】と【(5) 他の人には言えない本音を話せることがある】がそれぞれ20.9%と最も多くなっています。

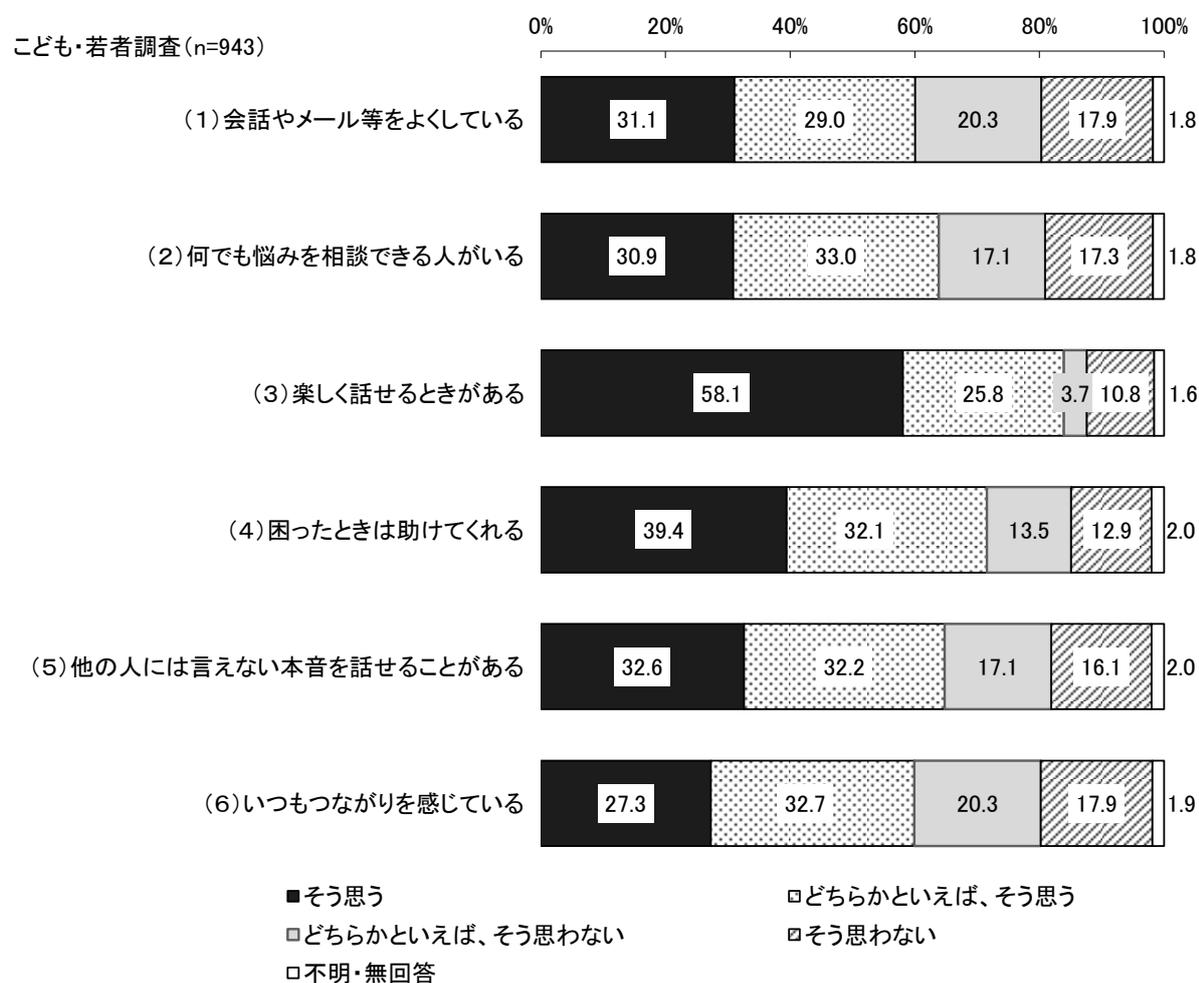


こども・若者

◆学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか [若：問13] <単数回答>

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）についてみると、【(3) 楽しく話せるときがある】が83.9%と最も多く、次いで【(4) 困ったときは助けてくれる】が71.5%、【(5) 他の人には言えない本音を話せることがある】が64.8%となっています。

『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）についてみると、【(1) 会話やメール等をよくしている】と【(6) いつもつながりを感じている】がそれぞれ38.2%と最も多く、次いで【(2) 何でも悩みを相談できる人がいる】が34.4%となっています。



【クロス集計】学校で出会った友人と、会話やメール等をよくしている[若：問13(1)]×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が低くなっており、また、学校を卒業する年齢以降は、「そう思う」の割合は著しく低下していきます。

上段:件数 下段:%		問13(1) 学校で出会った友人と、会話やメール等をよくしている				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		293 31.1	273 29.0	191 20.3	169 17.9	17 1.8
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	103 72.5	26 18.3	9 6.3	2 1.4	2 1.4
	20歳～24歳 (n=157)	71 45.2	42 26.8	24 15.3	16 10.2	4 2.5
	25歳～29歳 (n=163)	43 26.4	66 40.5	27 16.6	25 15.3	2 1.2
	30歳～34歳 (n=227)	37 16.3	79 34.8	59 26.0	45 19.8	7 3.1
	35歳～39歳 (n=251)	38 15.1	59 23.5	72 28.7	80 31.9	2 0.8

【クロス集計】学校で出会った友人に、何でも悩みを相談できる人がいる[若：問13(2)]×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が低くなっており、また、学校を卒業する年齢以降は、その割合は徐々に低下していきます。

上段:件数 下段:%		問13(2) 学校で出会った友人に、何でも悩みを相談できる人がいる				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		291 30.9	311 33.0	161 17.1	163 17.3	17 1.8
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	78 54.9	43 30.3	13 9.2	6 4.2	2 1.4
	20歳～24歳 (n=157)	66 42.0	51 32.5	17 10.8	19 12.1	4 2.5
	25歳～29歳 (n=163)	52 31.9	61 37.4	27 16.6	21 12.9	2 1.2
	30歳～34歳 (n=227)	46 20.3	84 37.0	43 18.9	46 20.3	8 3.5
	35歳～39歳 (n=251)	48 19.1	72 28.7	60 23.9	70 27.9	1 0.4

【クロス集計】学校で出会った友人は、困ったときは助けてくれる[若：問13(4)]×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が低くなっており、また、学校を卒業する年齢以降は、「そう思う」の割合は徐々に低下していきます。

上段:件数 下段:%		問13(4) 学校で出会った友人は、困ったときは助けてくれる				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		372 39.4	303 32.1	127 13.5	122 12.9	19 2.0
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	98 69.0	31 21.8	8 5.6	3 2.1	2 1.4
	20歳～24歳 (n=157)	78 49.7	52 33.1	11 7.0	12 7.6	4 2.5
	25歳～29歳 (n=163)	63 38.7	60 36.8	22 13.5	15 9.2	3 1.8
	30歳～34歳 (n=227)	65 28.6	82 36.1	38 16.7	34 15.0	8 3.5
	35歳～39歳 (n=251)	67 26.7	78 31.1	47 18.7	57 22.7	2 0.8

【クロス集計】学校で出会った友人に、他の人には言えない本音話せることがある[若：問13(5)]
×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が低くなっており、また、学校を卒業する年齢以降は、「そう思う」の割合は徐々に低下していきます。

上段:件数 下段:%		問13(5) 学校で出会った友人に、他の人には言えない本音話せることがある				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		307 32.6	304 32.2	161 17.1	152 16.1	19 2.0
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	75 52.8	40 28.2	19 13.4	6 4.2	2 1.4
	20歳～24歳 (n=157)	61 38.9	54 34.4	21 13.4	16 10.2	5 3.2
	25歳～29歳 (n=163)	59 36.2	58 35.6	23 14.1	21 12.9	2 1.2
	30歳～34歳 (n=227)	56 24.7	79 34.8	43 18.9	41 18.1	8 3.5
	35歳～39歳 (n=251)	55 21.9	72 28.7	55 21.9	67 26.7	2 0.8

【クロス集計】学校で出会った友人と、いつもつながりを感じている[若：問13(6)]×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が低くなっており、また、学校を卒業する年齢以降は、その割合は徐々に低下していきます。

上段:件数 下段:%		問13(6) 学校で出会った友人と、いつもつながりを感じている				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		257 27.3	308 32.7	191 20.3	169 17.9	18 1.9
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	78 54.9	45 31.7	13 9.2	4 2.8	2 1.4
	20歳～24歳 (n=157)	56 35.7	51 32.5	25 15.9	21 13.4	4 2.5
	25歳～29歳 (n=163)	44 27.0	56 34.4	39 23.9	22 13.5	2 1.2
	30歳～34歳 (n=227)	38 16.7	79 34.8	58 25.6	44 19.4	8 3.5
	35歳～39歳 (n=251)	40 15.9	77 30.7	55 21.9	77 30.7	2 0.8

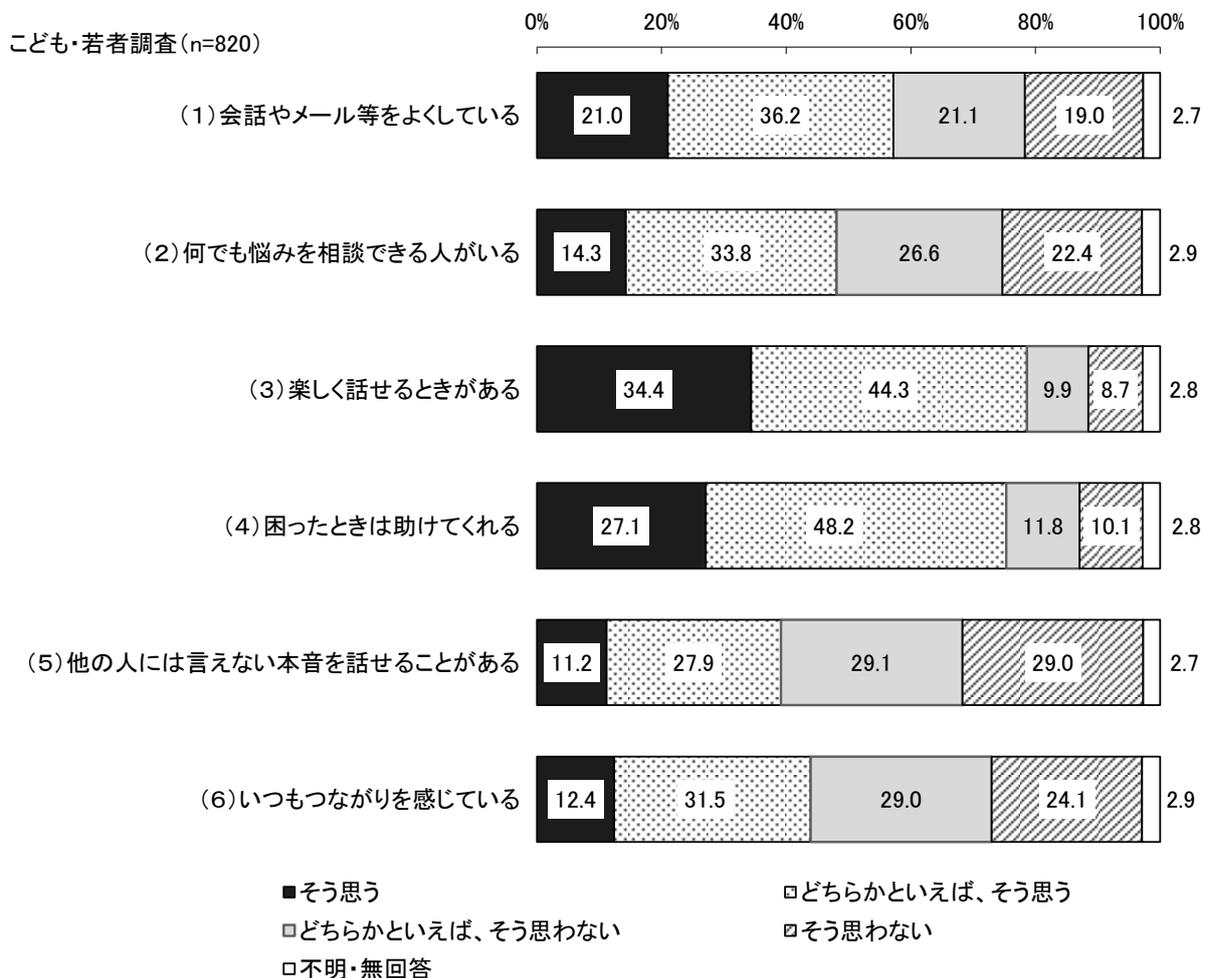
こども・若者

◆（現在、過去のいずれかに就業経験がある方のみ）

職場・アルバイト関係の人（現在および過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか〔若：問14〕〈単数回答〉

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）についてみると、【（3）楽しく話せるときがある】が78.7%と最も多く、次いで【（4）困ったときは助けてくれる】が75.3%、【（1）会話やメール等をよくしている】が57.2%となっています。

『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）についてみると、【（5）他の人には言えない本音話せることがある】が58.1%と最も多く、次いで【（6）いつもつながりを感じている】が53.1%、【（2）何でも悩みを相談できる人がいる】が49.0%となっています。

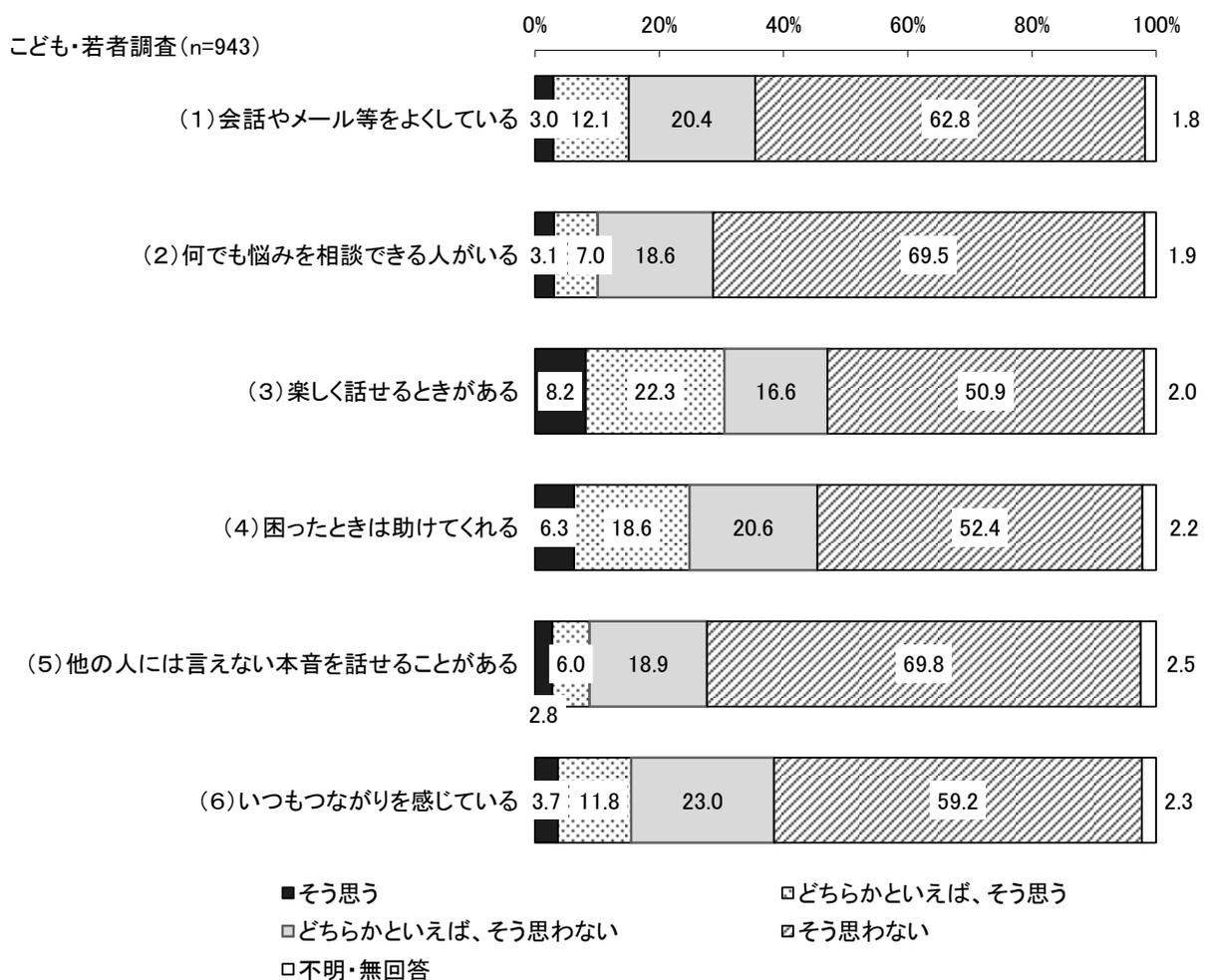


こども・若者

◆地域の人（近所の人、町内会などの知人、その他の地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）と、あなたの関わりは、どのようなものですか[若：問15] <単数回答>

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）についてみると、【（3）楽しく話せるときがある】が30.5%と最も多く、次いで【（4）困ったときは助けてくれる】が24.9%、【（6）いつもつながりを感じている】が15.5%となっています。

『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）についてみると、【（5）他の人には言えない本音話せることがある】が88.7%と最も多く、次いで【（2）何でも悩みを相談できる人がいる】が88.1%、【（1）会話やメール等をよくしている】が83.2%となっています。



【クロス集計】地域の人と、会話やメール等をよくしている[若：問15(1)]×年齢別

年齢別にみると、25歳～29歳までは『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）の割合が高くなっていき、その後、年齢が上がるにつれて、その割合が低くなっています。

上段:件数 下段:%		問15(1) 地域の人と、会話やメール等をよくしている				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		28 3.0	114 12.1	192 20.4	592 62.8	17 1.8
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	7 4.9	30 21.1	30 21.1	73 51.4	2 1.4
	20歳～24歳 (n=157)	1 0.6	11 7.0	39 24.8	100 63.7	6 3.8
	25歳～29歳 (n=163)	4 2.5	13 8.0	27 16.6	118 72.4	1 0.6
	30歳～34歳 (n=227)	7 3.1	23 10.1	39 17.2	152 67.0	6 2.6
	35歳～39歳 (n=251)	9 3.6	37 14.7	56 22.3	147 58.6	2 0.8

【クロス集計】地域の方は、困ったときは助けてくれる[若：問15(4)]×年齢別

年齢別にみると、25歳～29歳までは『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）の割合が高くなっていき、その後、年齢が上がるにつれて、その割合が低くなっています。

上段:件数 下段:%		問15(4) 地域の方は、困ったときは助けてくれる				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		59 6.3	175 18.6	194 20.6	494 52.4	21 2.2
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	18 12.7	48 33.8	24 16.9	47 33.1	5 3.5
	20歳～24歳 (n=157)	7 4.5	23 14.6	37 23.6	83 52.9	7 4.5
	25歳～29歳 (n=163)	8 4.9	14 8.6	34 20.9	106 65.0	1 0.6
	30歳～34歳 (n=227)	10 4.4	32 14.1	49 21.6	130 57.3	6 2.6
	35歳～39歳 (n=251)	16 6.4	58 23.1	49 19.5	126 50.2	2 0.8

【クロス集計】地域の人と、いつもつながりを感じている[若：問15(6)]×年齢別

年齢別にみると、25歳～29歳までは『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）の割合が高くなっていき、その後、年齢が上がるにつれて、その割合が低くなっています。

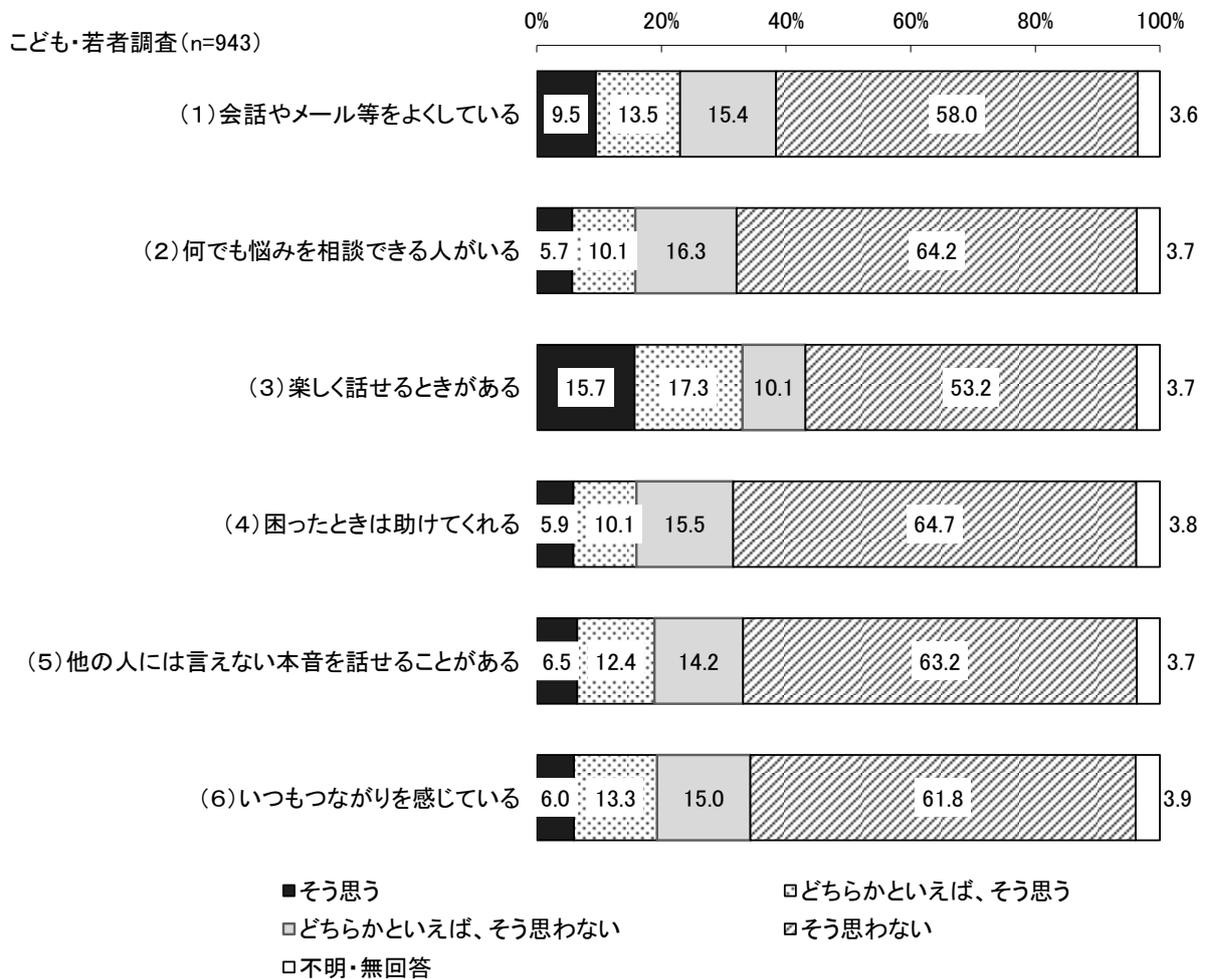
上段:件数 下段:%		問15(6) 地域の人と、いつもつながりを感じている				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		35 3.7	111 11.8	217 23.0	558 59.2	22 2.3
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	10 7.0	27 19.0	38 26.8	62 43.7	5 3.5
	20歳～24歳 (n=157)	5 3.2	10 6.4	44 28.0	91 58.0	7 4.5
	25歳～29歳 (n=163)	7 4.3	14 8.6	31 19.0	110 67.5	1 0.6
	30歳～34歳 (n=227)	6 2.6	22 9.7	48 21.1	145 63.9	6 2.6
	35歳～39歳 (n=251)	7 2.8	38 15.1	55 21.9	148 59.0	3 1.2

こども・若者

◆インターネット上における人やグループ（実際には会ったことがなかったり、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心のつきあいの人やグループ）と、あなたの関わりは、どのようなものですか [若：問16] <単数回答>

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）についてみると、【(3) 楽しく話せるときがある】が33.0%と最も多く、次いで【(1) 会話やメール等をよくしている】が23.0%、【(6) いつもつながりを感じている】が19.3%となっています。

『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）についてみると、【(2) 何でも悩みを相談できる人がいる】が80.5%と最も多く、次いで【(4) 困ったときは助けてくれる】が80.2%、【(5) 他の人には言えない本音を話せることがある】が77.4%となっています。



【クロス集計】インターネット上における人やグループと、会話やメール等をよくしている[若：問16(1)]

×年齢別

年齢別にみると、「そう思わない」の割合がいずれの年齢でも高いものの、年齢が下がるにつれて『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が高くなっています。

上段:件数 下段:%		問16(1)インターネット上における人やグループと、会話やメール等をよくしている				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		90 9.5	127 13.5	145 15.4	547 58.0	34 3.6
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	31 21.8	21 14.8	23 16.2	60 42.3	7 4.9
	20歳～24歳 (n=157)	18 11.5	32 20.4	21 13.4	79 50.3	7 4.5
	25歳～29歳 (n=163)	16 9.8	27 16.6	24 14.7	93 57.1	3 1.8
	30歳～34歳 (n=227)	16 7.0	19 8.4	45 19.8	138 60.8	9 4.0
	35歳～39歳 (n=251)	9 3.6	28 11.2	30 12.0	176 70.1	8 3.2

【クロス集計】インターネット上における人やグループに、何でも悩みを相談できる人がいる[若：問16(2)]

×年齢別

いずれの年齢においても『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が高くなっています。

上段:件数 下段:%		問16(2)インターネット上における人やグループに、何でも悩みを相談できる人がいる				
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		54 5.7	95 10.1	154 16.3	605 64.2	35 3.7
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	21 14.8	14 9.9	25 17.6	76 53.5	6 4.2
	20歳～24歳 (n=157)	8 5.1	23 14.6	30 19.1	88 56.1	8 5.1
	25歳～29歳 (n=163)	8 4.9	22 13.5	29 17.8	101 62.0	3 1.8
	30歳～34歳 (n=227)	12 5.3	14 6.2	38 16.7	154 67.8	9 4.0
	35歳～39歳 (n=251)	5 2.0	22 8.8	31 12.4	184 73.3	9 3.6

【クロス集計】インターネット上における人やグループと、楽しく話せるときがある[若：問16(3)]

×年齢別

年齢別にみると、15歳～19歳では、「そう思う」と「そう思わない」の割合が均衡していますが、年齢が上がるにつれて『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が高くなっています。

上段:件数 下段:%		問16(3)インターネット上における人やグループと、楽しく話せるときがある				
		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		148 15.7	163 17.3	95 10.1	502 53.2	35 3.7
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	45 31.7	21 14.8	15 10.6	54 38.0	7 4.9
	20歳～24歳 (n=157)	29 18.5	31 19.7	20 12.7	69 43.9	8 5.1
	25歳～29歳 (n=163)	27 16.6	35 21.5	12 7.4	86 52.8	3 1.8
	30歳～34歳 (n=227)	29 12.8	35 15.4	27 11.9	127 55.9	9 4.0
	35歳～39歳 (n=251)	18 7.2	40 15.9	20 8.0	165 65.7	8 3.2

【クロス集計】インターネット上における人やグループは、困ったときは助けてくれる[若：問16(4)]

×年齢別

いずれの年齢においても『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が高くなっています。

上段:件数 下段:%		問16(4)インターネット上における人やグループは、困ったときは助けてくれる				
		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		56 5.9	95 10.1	146 15.5	610 64.7	36 3.8
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	19 13.4	21 14.8	28 19.7	67 47.2	7 4.9
	20歳～24歳 (n=157)	11 7.0	23 14.6	27 17.2	88 56.1	8 5.1
	25歳～29歳 (n=163)	8 4.9	18 11.0	24 14.7	109 66.9	4 2.5
	30歳～34歳 (n=227)	11 4.8	15 6.6	40 17.6	152 67.0	9 4.0
	35歳～39歳 (n=251)	7 2.8	18 7.2	26 10.4	192 76.5	8 3.2

【クロス集計】インターネット上における人やグループに、他の人には言えない本音を話せることがある[若：問16(5)]

×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が高くなっています。

上段:件数 下段:%		問16(5) インターネット上における人やグループに、他の人には言えない本音を話せることがある				
		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		61 6.5	117 12.4	134 14.2	596 63.2	35 3.7
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	18 12.7	20 14.1	26 18.3	72 50.7	6 4.2
	20歳～24歳 (n=157)	11 7.0	26 16.6	23 14.6	89 56.7	8 5.1
	25歳～29歳 (n=163)	12 7.4	25 15.3	21 12.9	102 62.6	3 1.8
	30歳～34歳 (n=227)	14 6.2	18 7.9	37 16.3	148 65.2	10 4.4
	35歳～39歳 (n=251)	6 2.4	28 11.2	25 10.0	184 73.3	8 3.2

【クロス集計】インターネット上における人やグループと、いつもつながりを感じている[若：問16(6)]

×年齢別

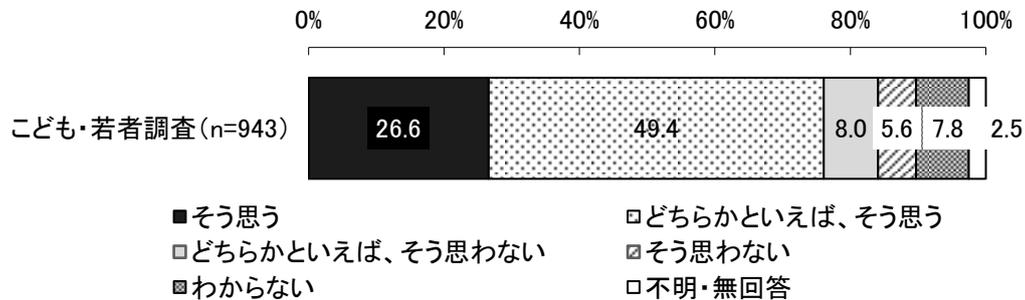
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が高くなっています。

上段:件数 下段:%		問16(6) インターネット上における人やグループと、いつもつながりを感じている				
		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体(n=943)		57 6.0	125 13.3	141 15.0	583 61.8	37 3.9
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	18 12.7	26 18.3	27 19.0	64 45.1	7 4.9
	20歳～24歳 (n=157)	10 6.4	26 16.6	29 18.5	84 53.5	8 5.1
	25歳～29歳 (n=163)	9 5.5	28 17.2	22 13.5	100 61.3	4 2.5
	30歳～34歳 (n=227)	12 5.3	22 9.7	33 14.5	150 66.1	10 4.4
	35歳～39歳 (n=251)	8 3.2	23 9.2	28 11.2	184 73.3	8 3.2

こども・若者

◆「社会のために役立つことをしたい」と思いますか [若：問17] <単数回答>

『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が76.0%、『そう思わない』（「そう思わない」と「どちらかといえば、そう思わない」の合計）が13.6%となっています。



【クロス集計】「社会のために役立つことをしたい」と思うか [若：問17] × 年齢別

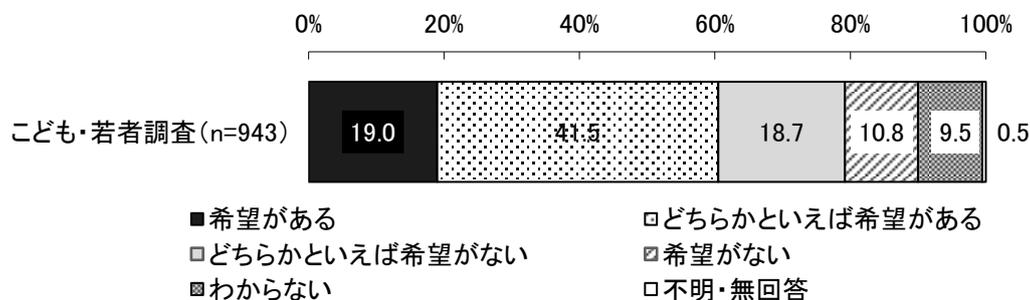
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）が低くなっています。

上段:件数 下段:%		問17 「社会のために役立つことをしたい」と思うか					
		そう思う	どちらかとい えば、そう思 う	どちらかとい えば、そう思 わない	そう思わない	わからない	不明・無回答
全体 (n=943)		251 26.6	466 49.4	75 8.0	53 5.6	74 7.8	24 2.5
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	61 43.0	58 40.8	9 6.3	5 3.5	5 3.5	4 2.8
	20歳～24歳 (n=157)	45 28.7	81 51.6	10 6.4	7 4.5	9 5.7	5 3.2
	25歳～29歳 (n=163)	43 26.4	82 50.3	9 5.5	11 6.7	14 8.6	4 2.5
	30歳～34歳 (n=227)	50 22.0	117 51.5	24 10.6	10 4.4	19 8.4	7 3.1
	35歳～39歳 (n=251)	51 20.3	128 51.0	23 9.2	19 7.6	26 10.4	4 1.6

こども・若者

◆自分の将来について明るい希望を持っていますか [若：問18] <単数回答>

『希望がある』（「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」の合計）が60.5%、『希望がない』（「希望がない」と「どちらかといえば希望がない」の合計）が29.5%となっています。



【クロス集計】自分の将来について明るい希望を持っているか [若：問18] × 年齢別

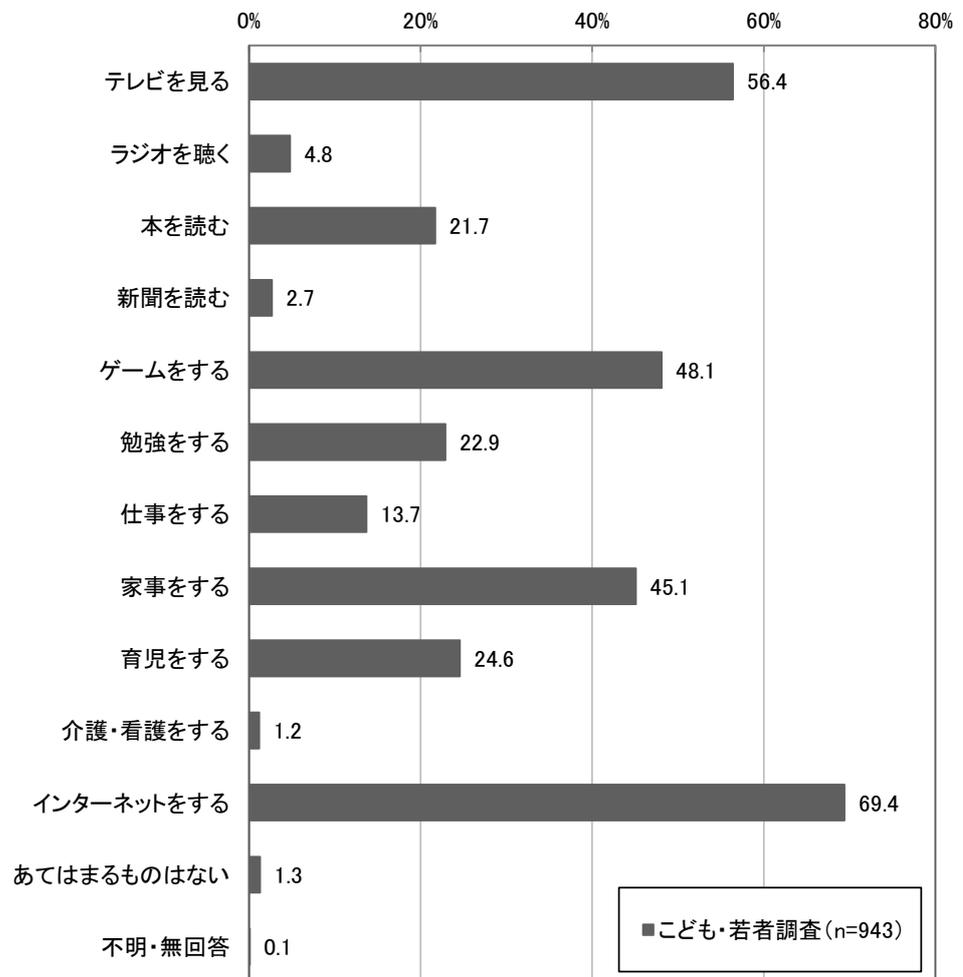
年齢別にみると、いずれの年齢も「どちらかといえば希望がある」が最も高くなっていますが、次いで、24歳まででは「希望がある」が、25歳以上では「どちらかといえば希望がない」が、高くなっています。

上段:件数 下段:%		問18 自分の将来について明るい希望を持っているか					
		希望がある	どちらかとい えば希望が ある	どちらかとい えば希望が ない	希望がない	わからない	不明・無回答
全体 (n=943)		179 19.0	391 41.5	176 18.7	102 10.8	90 9.5	5 0.5
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	46 32.4	69 48.6	14 9.9	6 4.2	6 4.2	1 0.7
	20歳～24歳 (n=157)	34 21.7	66 42.0	22 14.0	14 8.9	19 12.1	2 1.3
	25歳～29歳 (n=163)	30 18.4	68 41.7	34 20.9	16 9.8	14 8.6	1 0.6
	30歳～34歳 (n=227)	30 13.2	93 41.0	53 23.3	28 12.3	23 10.1	- -
	35歳～39歳 (n=251)	38 15.1	93 37.1	53 21.1	38 15.1	28 11.2	1 0.4

こども・若者

◆ 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください [若：問19] <複数回答>

「インターネットをする」が 69.4%と最も多く、次いで「テレビを見る」が 56.4%、「ゲームをする」が 48.1%となっています。



【クロス集計】普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときによくしていること〔若：問19〕×年齢別

年齢別にみると、35歳～39歳を除く年齢では「インターネットをする」、35歳～39歳では「家事をする」が最も高くなっています。また、年齢階層が上がるにしたがって「育児をする」が高くなっており、家族構成による違いがうかがえます。

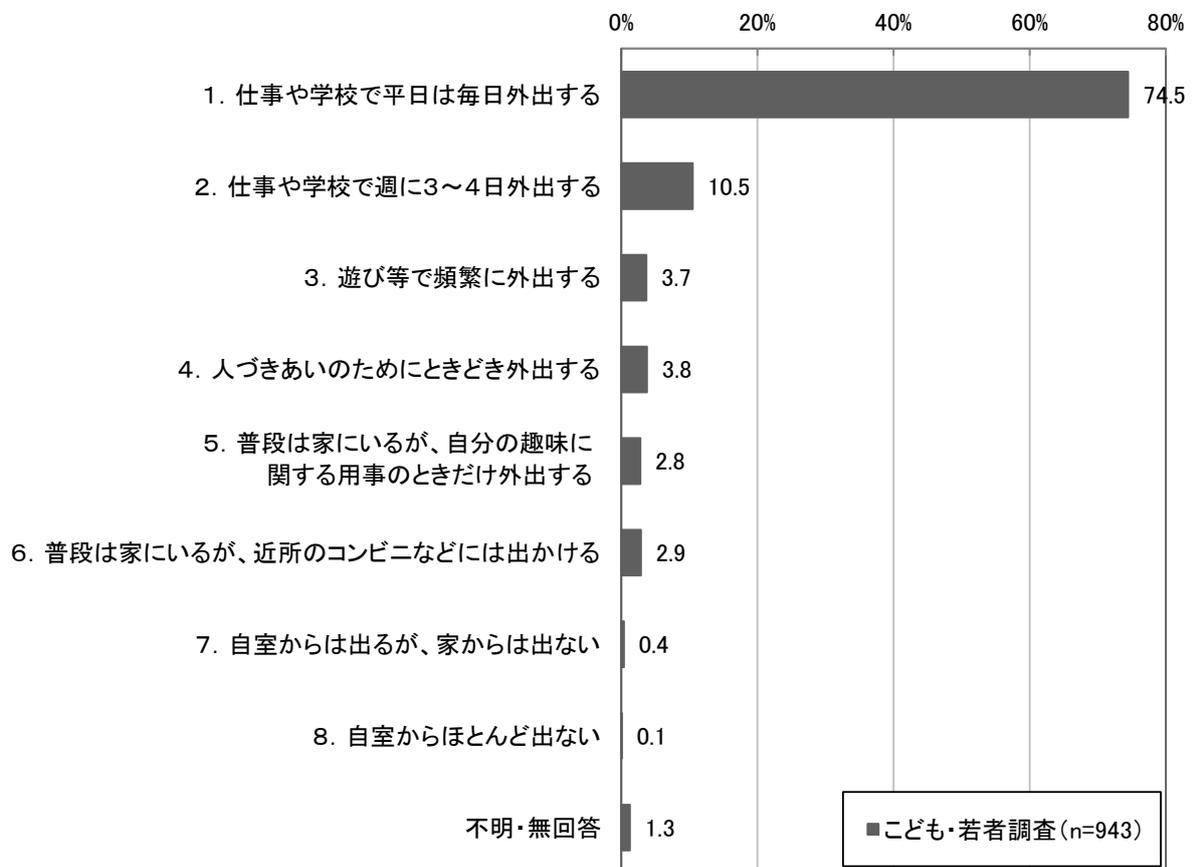
上段:件数 下段:%		問19 普段ご自宅(暮らしている場所)にいるときによくしていること							
		テレビを見る	ラジオを聴く	本を読む	新聞を読む	ゲームをする	勉強をする	仕事をする	家事をする
全体 (n=943)		532 56.4	45 4.8	205 21.7	25 2.7	454 48.1	216 22.9	129 13.7	425 45.1
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	85 59.9	5 3.5	40 28.2	6 4.2	84 59.2	82 57.7	2 1.4	11 7.7
	20歳～24歳 (n=157)	74 47.1	8 5.1	42 26.8	2 1.3	90 57.3	49 31.2	17 10.8	35 22.3
	25歳～29歳 (n=163)	88 54.0	7 4.3	36 22.1	2 1.2	82 50.3	28 17.2	34 20.9	74 45.4
	30歳～34歳 (n=227)	138 60.8	11 4.8	44 19.4	4 1.8	107 47.1	30 13.2	36 15.9	151 66.5
	35歳～39歳 (n=251)	146 58.2	14 5.6	43 17.1	11 4.4	89 35.5	27 10.8	40 15.9	154 61.4

上段:件数 下段:%		問19 普段ご自宅(暮らしている場所)にいるときによくしていること				
		育児をする	介護・看護をする	インターネットをする	あてはまるものはない	不明・無回答
全体 (n=943)		232 24.6	11 1.2	654 69.4	12 1.3	1 0.1
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	1 0.7	1 0.7	109 76.8	2 1.4	-
	20歳～24歳 (n=157)	2 1.3	1 0.6	120 76.4	3 1.9	1 0.6
	25歳～29歳 (n=163)	27 16.6	2 1.2	119 73.0	3 1.8	-
	30歳～34歳 (n=227)	85 37.4	4 1.8	157 69.2	2 0.9	-
	35歳～39歳 (n=251)	117 46.6	3 1.2	146 58.2	2 0.8	-

こども・若者

◆ 普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください [若：問 20] <単数回答>

「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 74.5%と最も多く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が 10.5%となっています。



こども・若者

- ◆ (「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」～「8. 自室からほとんど出ない」を選んだ方)

外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか [若：問21] <単数回答>

「3か月未満」が20.7%と最も多く、次いで「2年～3年未満」が15.5%、「1年～2年未満」と「3年～5年未満」がそれぞれ13.8%となっています。

上段:件数 下段:%

	3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満
こども・若者調査 (n=58)	12件 20.7%	3件 5.2%	4件 6.9%	8件 13.8%	9件 15.5%	8件 13.8%	6件 10.3%

	7年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満	25年～30年未満	30年以上	不明・無回答
こども・若者調査 (n=58)	0件 0.0%	5件 8.6%	0件 0.0%	1件 1.7%	0件 0.0%	1件 1.7%	1件 1.7%

※回答件数および割合が低いため、件数と割合を併記しています。

問 22 から問 25 は問 21 で「3. 6か月～1年未満」から「13. 30年以上」と回答した方

こども・若者

◆外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか [若：問 22] <単数回答>

「25歳～29歳」が28.6%と最も多く、次いで「20歳～24歳」が21.4%、「35歳～39歳」が19.0%となっています。

	上段:件数 下段:%						
	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	不明・無回答
こども・若者調査 (n=42)	4件 9.5%	1件 2.4%	9件 21.4%	12件 28.6%	7件 16.7%	8件 19.0%	1件 2.4%

こども・若者

◆外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか [若：問 23] <複数回答>

「退職したこと」が31.0%と最も多く、次いで「病気」が23.8%、「妊娠したこと」が21.4%となっています。

	上段:件数 下段:%							
	学校になじめなかったこと	小学校時代の不登校	中学校時代の不登校	高校時代の不登校	就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	病気
こども・若者調査 (n=42)	6件 14.3%	2件 4.8%	1件 2.4%	1件 2.4%	4件 9.5%	8件 19.0%	6件 14.3%	10件 23.8%

	妊娠したこと	退職したこと	介護・看護を担うことになったこと	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	その他	特に理由はない	わからない	不明・無回答
こども・若者調査 (n=42)	9件 21.4%	13件 31.0%	2件 4.8%	5件 11.9%	6件 14.3%	4件 9.5%	1件 2.4%	0件 0.0%

※「大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校」「受験に失敗したこと（高校・大学等）」には、回答がありませんでした。

こども・若者

◆問 23 で「1. 学校になじめなかったこと」～「15. その他」を選んだ方

外出状況が現在の状態になった最も大きな理由は何ですか [若：問 24] <単数回答>

「病気」が 24.3%と最も多く、次いで「妊娠したこと」が 18.9%、「退職したこと」が 16.2%となっています。

上段:件数 下段:%

	就職活動がうまくいかなかったこと	職場になじめなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	病気	妊娠したこと	退職したこと	新型コロナウイルス感染症が流行したこと	その他	不明・無回答
こども・若者調査 (n=37)	2件 5.4%	2件 5.4%	2件 5.4%	9件 24.3%	7件 18.9%	6件 16.2%	2件 5.4%	4件 10.8%	2件 4.8%

※回答のあった選択肢のみ記載しています。

こども・若者

◆最近 6 か月間に、家族以外の人と会話しましたか [若：問 25] <単数回答>

「ときどき会話した」が 42.9%、「よく会話した」と「ほとんど会話しなかった」がともに 26.2%となっています。

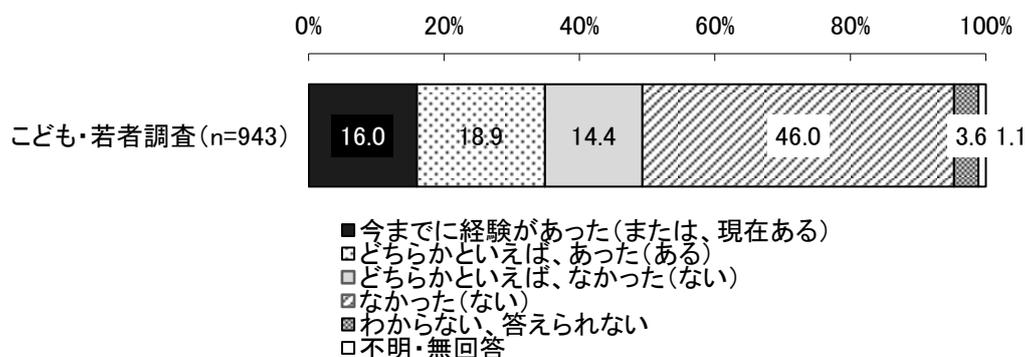
上段:件数 下段:%

	よく会話した	ときどき会話した	ほとんど会話しなかった	まったく会話しなかった	不明・無回答
こども・若者調査 (n=42)	11件 26.2%	18件 42.9%	11件 26.2%	2件 4.8%	0件 0.0%

こども・若者

◆今までに、社会生活や日常生活を滞りなく送ることができなかった経験がありましたか。または現在、社会生活や日常生活を滞りなく送れていない状況がありますか[若：問26]〈単数回答〉

「なかった(ない)」が46.0%と最も多く、次いで「どちらかといえば、あった(ある)」が18.9%、「今までに経験があった(または、現在ある)」が16.0%となっています。



【クロス集計】社会生活や日常生活を滞りなく送ることができなかった経験[若：問26]×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『あった(ある)』（「今までに経験があった(または、現在ある)」と「どちらかといえば、あった(ある)」の合計）が高くなっています。

上段:件数 下段:%		問26 社会生活や日常生活を滞りなく送ることができなかった経験					
		今までに経験があった(または、現在ある)	どちらかといえば、あった(ある)	どちらかといえば、なかった(ない)	なかった(ない)	わからない、答えられない	不明・無回答
全体(n=943)		151 16.0	178 18.9	136 14.4	434 46.0	34 3.6	10 1.1
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	13 9.2	23 16.2	21 14.8	79 55.6	6 4.2	-
	20歳～24歳 (n=157)	16 10.2	29 18.5	25 15.9	78 49.7	5 3.2	4 2.5
	25歳～29歳 (n=163)	25 15.3	29 17.8	23 14.1	76 46.6	7 4.3	3 1.8
	30歳～34歳 (n=227)	46 20.3	45 19.8	35 15.4	91 40.1	8 3.5	2 0.9
	35歳～39歳 (n=251)	50 19.9	51 20.3	32 12.7	109 43.4	8 3.2	1 0.4

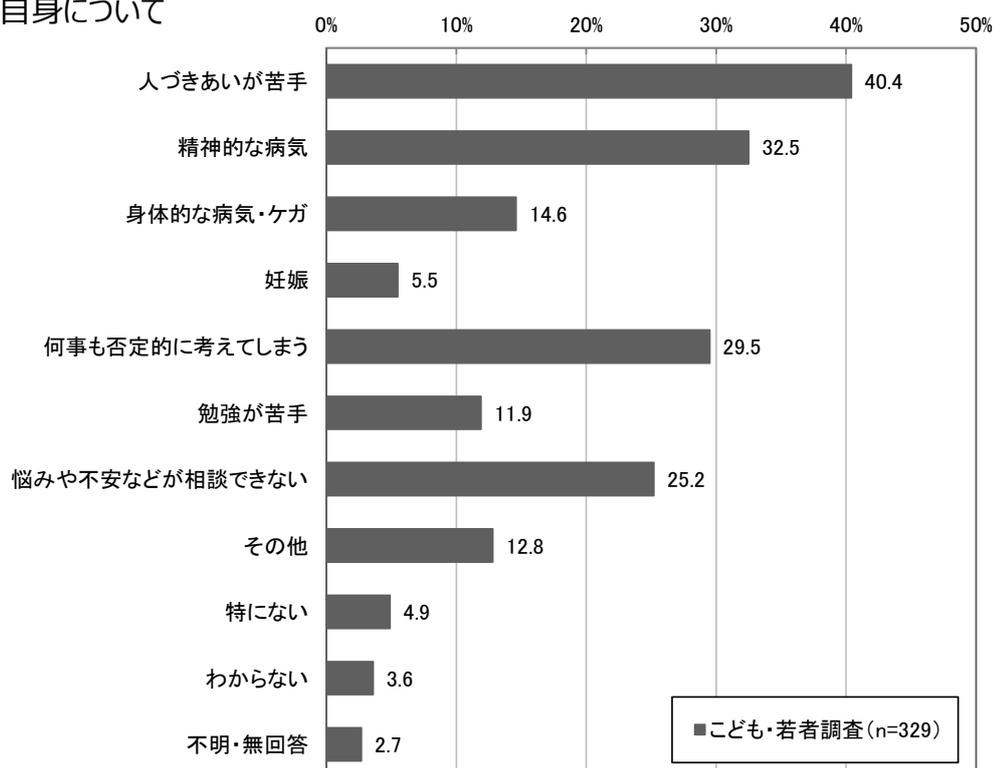
問 27 から問 29 は問 26 で「今までに経験があった（または、現在ある）」または「2. どちらかといえば、あった（ある）」と回答した方

こども・若者

◆そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか〔若：問 27〕〈複数回答〉

(1) 自分自身については、「人づきあいが苦手」が 40.4%と最も多く、次いで「精神的な病気」が 32.5%、「何事も否定的に考えてしまう」が 29.5%となっています。

(1) 自分自身について



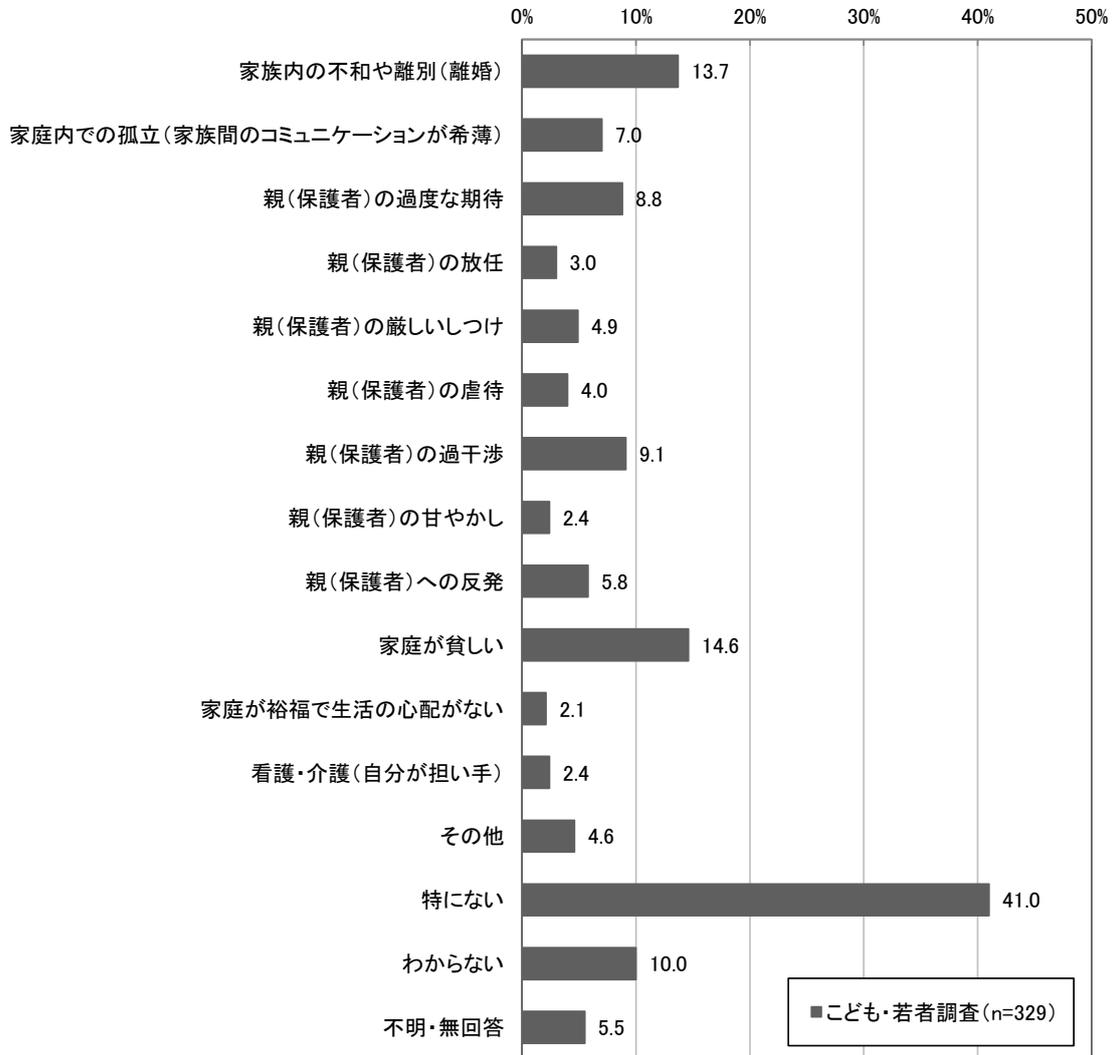
【クロス集計】自分自身について、そうした問題を経験した（している）主な原因〔若：問 27（1）〕×年齢別

年齢別にみると、15歳～19歳では「何事も否定的に考えてしまう」、20歳～24歳、25歳～29歳、30歳～34歳では「人づきあいが苦手」、35歳～39歳では「人づきあいが苦手」と「精神的な病気」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		問27(1)自分自身について、そうした問題を経験した(している)主な原因										
		人づきあいが苦手	精神的な病気	身体的な病気・ケガ	妊娠	何事も否定的に考えてしまう	勉強が苦手	悩みや不安などが相談できない	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体(n=329)		133 40.4	107 32.5	48 14.6	18 5.5	97 29.5	39 11.9	83 25.2	42 12.8	16 4.9	12 3.6	9 2.7
★年齢区分	15歳～19歳 (n=36)	14 38.9	6 16.7	7 19.4	-	15 41.7	3 8.3	9 25.0	4 11.1	2 5.6	3 8.3	2 5.6
	20歳～24歳 (n=45)	19 42.2	12 26.7	8 17.8	-	17 37.8	11 24.4	10 22.2	7 15.6	4 8.9	2 4.4	-
	25歳～29歳 (n=54)	29 53.7	21 38.9	8 14.8	4 7.4	20 37.0	10 18.5	15 27.8	3 5.6	1 1.9	2 3.7	1 1.9
	30歳～34歳 (n=91)	40 44.0	37 40.7	9 9.9	5 5.5	24 26.4	7 7.7	26 28.6	9 9.9	4 4.4	2 2.2	5 5.5
	35歳～39歳 (n=101)	30 29.7	30 29.7	16 15.8	9 8.9	21 20.8	7 6.9	22 21.8	19 18.8	5 5.0	3 3.0	1 1.0

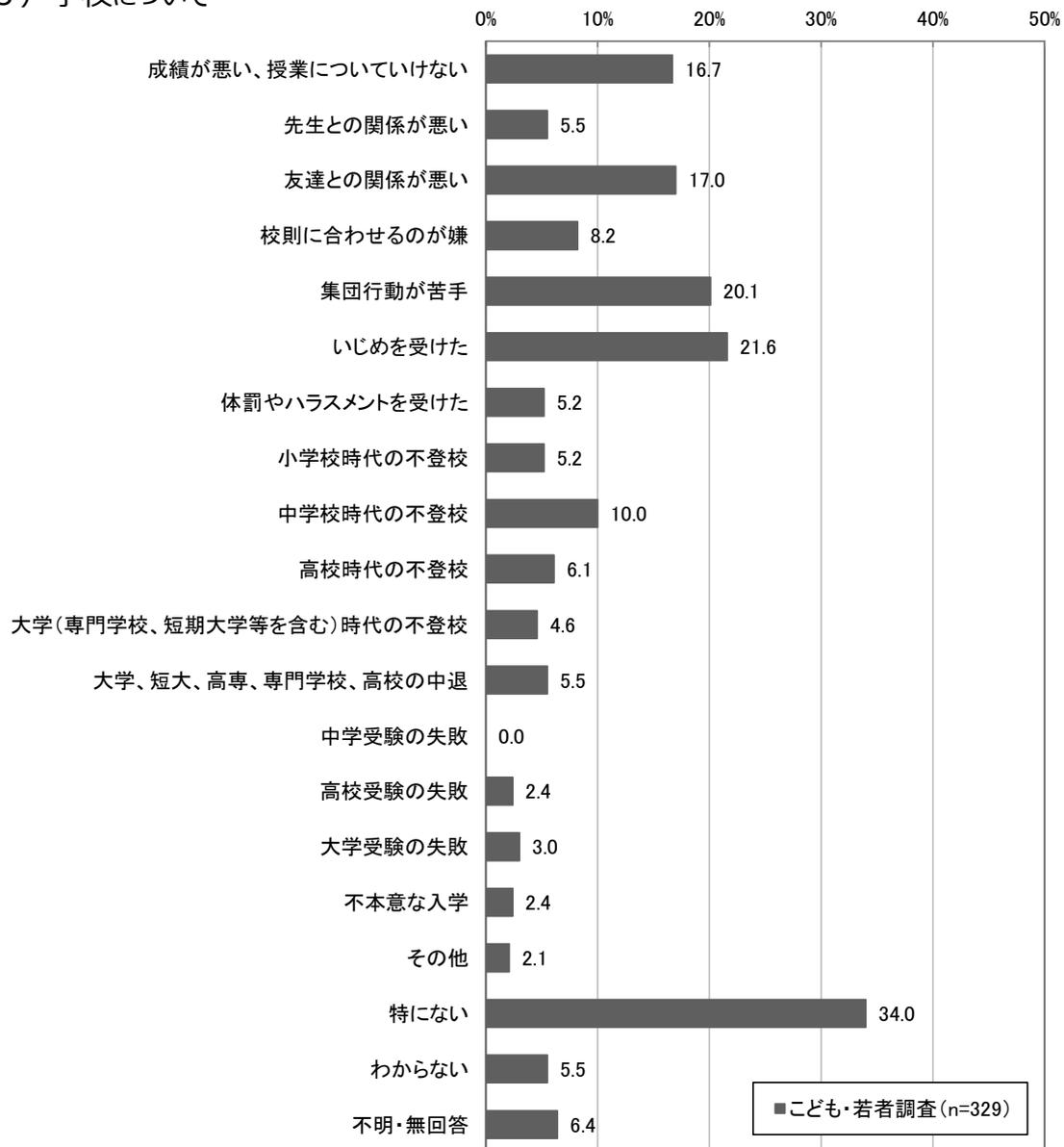
(2) 家族・家庭については、「特にない」が41.0%と最も多く、次いで「家庭が貧しい」が14.6%、「家族内の不和や離別（離婚）」が13.7%となっています。

(2) 家族・家庭について



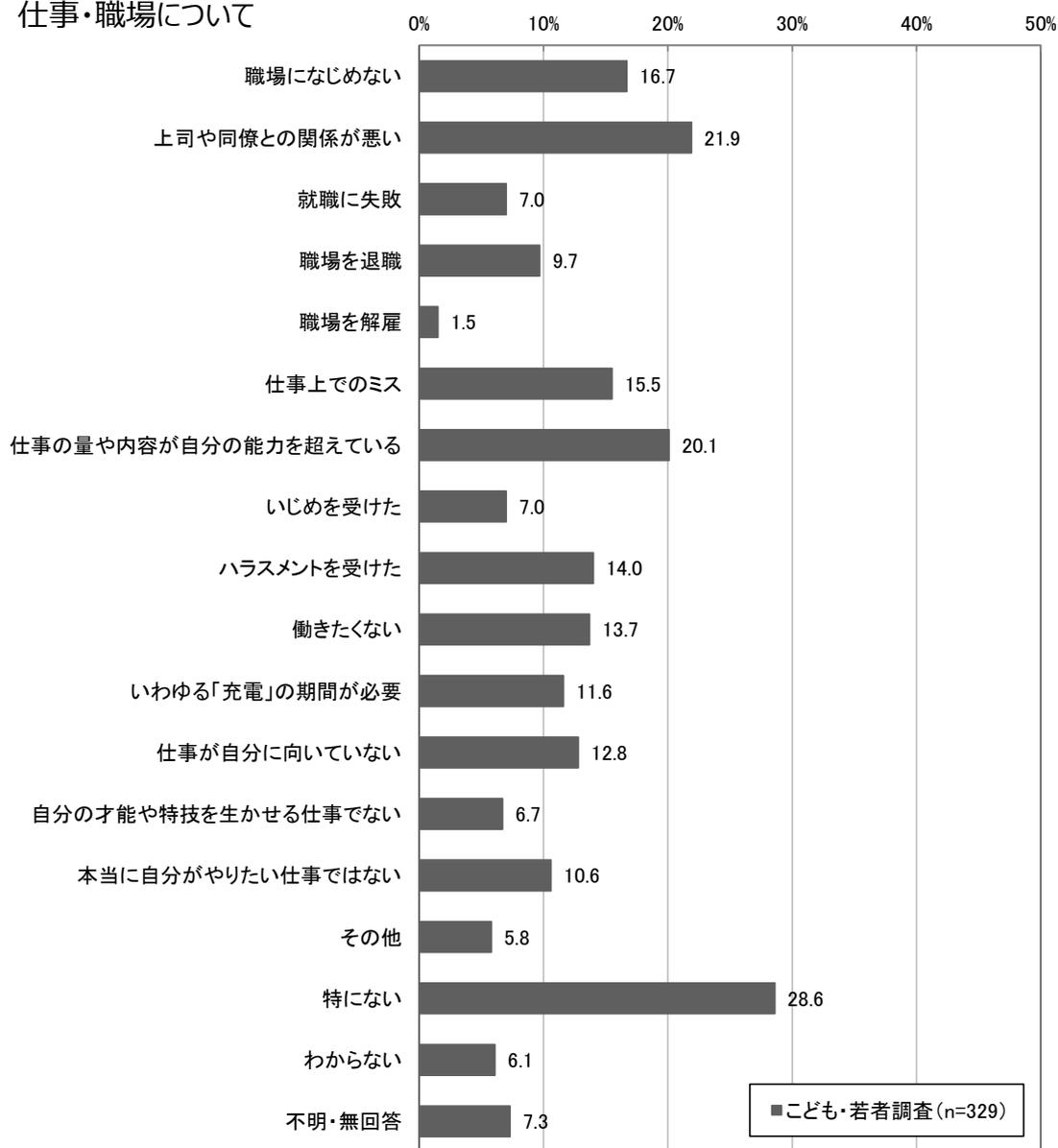
(3) 学校については、「特にない」が34.0%と最も多く、次いで「いじめを受けた」が21.6%、「集団行動が苦手」が20.1%となっています。

(3) 学校について



(4) 仕事・職場については、「特にない」が28.6%と最も多く、次いで「上司や同僚との関係が悪い」が21.9%、「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」が20.1%となっています。

(4) 仕事・職場について



【クロス集計】仕事・職場について、そうした問題を経験した（している）主な原因〔若：問27（4）〕

×年齢別

年齢別にみると、15歳～19歳、20歳～24歳、35歳～39歳では「特にない」、25歳～29歳では「働きたくない」と「特にない」、30歳～34歳では「上司や同僚との関係が悪い」が最も高くなっています。

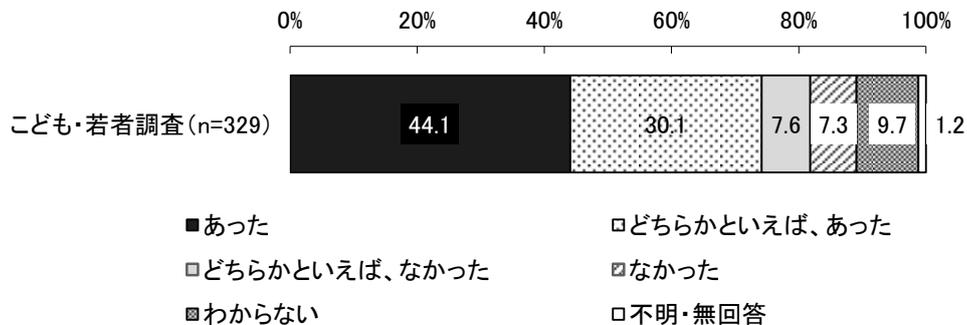
上段:件数 下段:%		問27(4)仕事・職場について、そうした問題を経験した(している)主な原因								
		職場になじめない	上司や同僚との関係が悪い	就職に失敗	職場を退職	職場を解雇	仕事上でのミス	仕事の量や内容が自分の能力を超えている	いじめを受けた	ハラスメントを受けた
全体(n=329)		55 16.7	72 21.9	23 7.0	32 9.7	5 1.5	51 15.5	66 20.1	23 7.0	46 14.0
★年齢区分	15歳～19歳 (n=36)	1 2.8	2 5.6	-	-	-	2 5.6	3 8.3	-	-
	20歳～24歳 (n=45)	4 8.9	2 4.4	2 4.4	3 6.7	-	8 17.8	5 11.1	2 4.4	4 8.9
	25歳～29歳 (n=54)	9 16.7	12 22.2	5 9.3	4 7.4	-	11 20.4	12 22.2	2 3.7	12 22.2
	30歳～34歳 (n=91)	23 25.3	28 30.8	8 8.8	15 16.5	3 3.3	17 18.7	27 29.7	14 15.4	16 17.6
	35歳～39歳 (n=101)	17 16.8	27 26.7	8 7.9	10 9.9	2 2.0	13 12.9	19 18.8	5 5.0	14 13.9

上段:件数 下段:%		問27(4)仕事・職場について、そうした問題を経験した(している)主な原因								
		働きたくない	いわゆる「充電」の期間が必要	仕事が自分に向いていない	自分の才能や特技を生かせる仕事でない	本当に自分がやりたい仕事ではない	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体(n=329)		45 13.7	38 11.6	42 12.8	22 6.7	35 10.6	19 5.8	94 28.6	20 6.1	24 7.3
★年齢区分	15歳～19歳 (n=36)	3 8.3	1 2.8	1 2.8	1 2.8	1 2.8	-	19 52.8	5 13.9	7 19.4
	20歳～24歳 (n=45)	4 8.9	2 4.4	4 8.9	3 6.7	3 6.7	2 4.4	18 40.0	2 4.4	6 13.3
	25歳～29歳 (n=54)	13 24.1	7 13.0	7 13.0	6 11.1	8 14.8	4 7.4	13 24.1	4 7.4	3 5.6
	30歳～34歳 (n=91)	14 15.4	14 15.4	16 17.6	6 6.6	11 12.1	8 8.8	13 14.3	3 3.3	4 4.4
	35歳～39歳 (n=101)	11 10.9	14 13.9	14 13.9	5 5.0	12 11.9	5 5.0	30 29.7	6 5.9	4 4.0

こども・若者

◆今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか [若：問 28] <単数回答>

『あった』（「あった」と「どちらかといえば、あった」の合計）が 74.2%、『なかった』（「なかった」と「どちらかといえば、なかった」の合計）が 14.9%となっています。

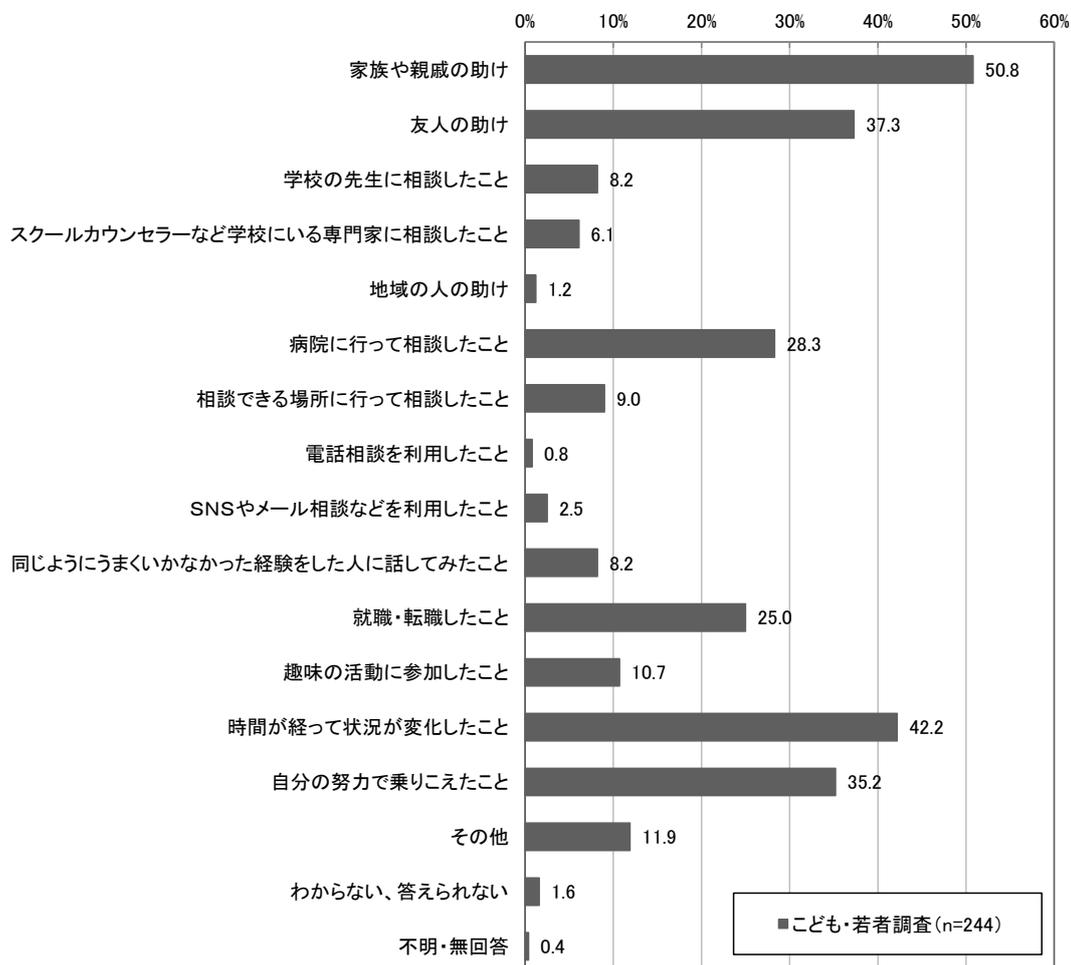


こども・若者

◆（社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験があった方）

状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思えますか [若：問 29] <複数回答>

「家族や親戚の助け」が 50.8%と最も多く、次いで「時間が経って状況が変化したこと」が 42.2%、「友人の助け」が 37.3%となっています。



【クロス集計】状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと[若：問29]×年齢別

年齢別にみると、15歳～19歳では「家族や親戚の助け」と「自分の努力で乗りこえたこと」、他の年齢区分では「家族や親戚の助け」が最も高くなっています。

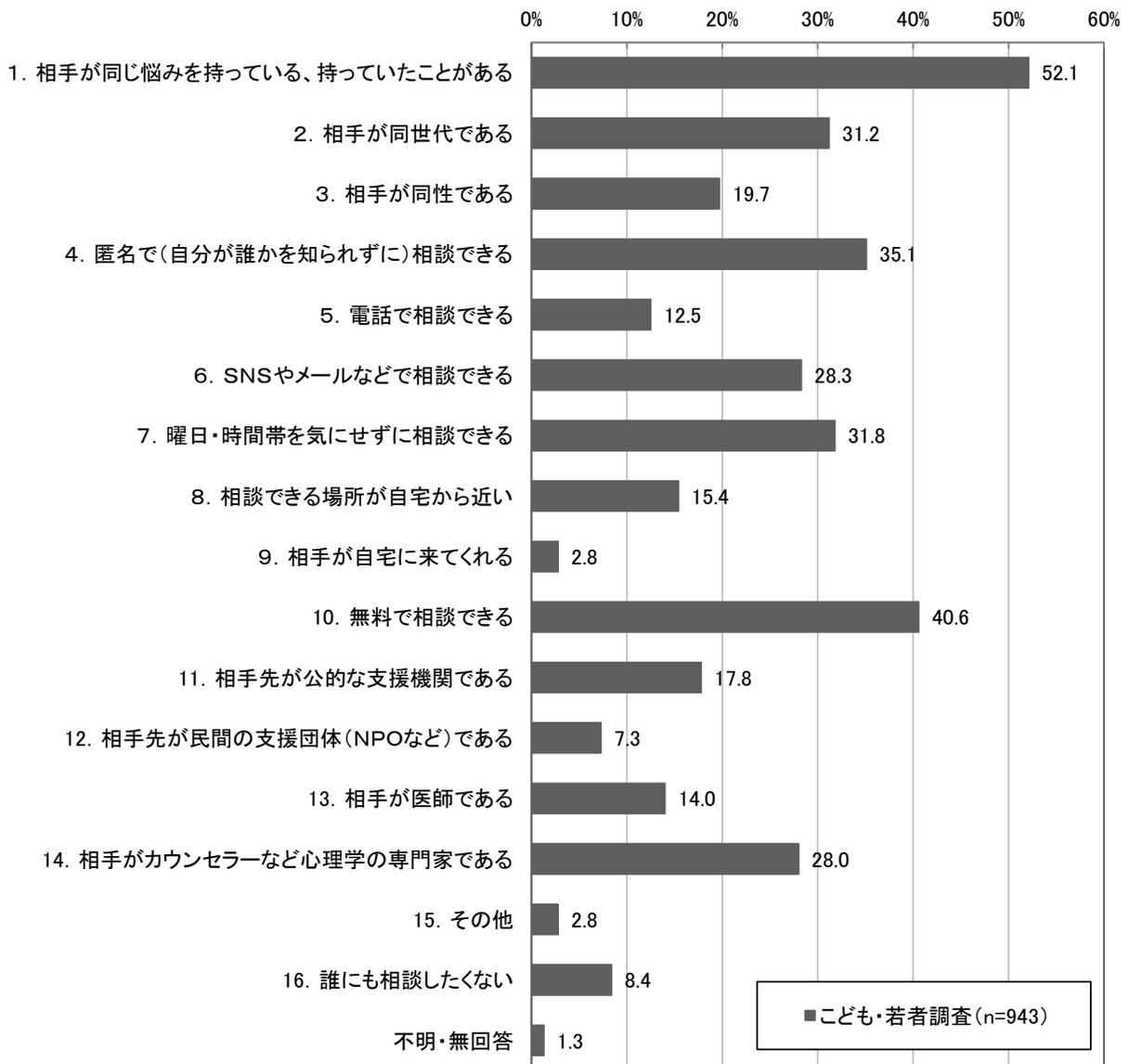
上段:件数 下段:%		問29 状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと								
		家族や親戚の助け	友人の助け	学校の先生に相談したこと	スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと	地域の人の助け	病院に行つて相談したこと	相談できる場所に行つて相談したこと	電話相談を利用したこと	SNSやメール相談などを利用したこと
全体(n=244)		124 50.8	91 37.3	20 8.2	15 6.1	3 1.2	69 28.3	22 9.0	2 0.8	6 2.5
★年齢区分	15歳～19歳 (n=25)	13 52.0	10 40.0	7 28.0	5 20.0	-	6 24.0	3 12.0	-	1 4.0
	20歳～24歳 (n=31)	15 48.4	10 32.3	5 16.1	3 9.7	-	9 29.0	-	-	4 12.9
	25歳～29歳 (n=36)	19 52.8	15 41.7	3 8.3	5 13.9	1 2.8	12 33.3	4 11.1	1 2.8	1 2.8
	30歳～34歳 (n=69)	37 53.6	25 36.2	4 5.8	2 2.9	1 1.4	21 30.4	6 8.7	1 1.4	-
	35歳～39歳 (n=81)	39 48.1	30 37.0	1 1.2	-	1 1.2	20 24.7	9 11.1	-	-

上段:件数 下段:%		問29 状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと							
		同じようにまくいかなかった経験をした人に話してみたこと	就職・転職したこと	趣味の活動に参加したこと	時間が経つて状況が変化したこと	自分の努力で乗りこえたこと	その他	わからない、答えられない	不明・無回答
全体(n=244)		20 8.2	61 25.0	26 10.7	103 42.2	86 35.2	29 11.9	4 1.6	1 0.4
★年齢区分	15歳～19歳 (n=25)	2 8.0	-	5 20.0	12 48.0	13 52.0	1 4.0	1 4.0	-
	20歳～24歳 (n=31)	1 3.2	3 9.7	4 12.9	14 45.2	11 35.5	5 16.1	-	-
	25歳～29歳 (n=36)	4 11.1	9 25.0	4 11.1	11 30.6	11 30.6	8 22.2	1 2.8	-
	30歳～34歳 (n=69)	4 5.8	24 34.8	7 10.1	34 49.3	28 40.6	6 8.7	-	-
	35歳～39歳 (n=81)	9 11.1	25 30.9	6 7.4	31 38.3	22 27.2	9 11.1	2 2.5	1 1.2

こども・若者

◆社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか[若：問30] <複数回答>

「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が52.1%と最も多く、次いで「無料で相談できる」が40.6%、「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」が35.1%となっています。



【クロス集計】社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに相談したい相手〔若：問30〕

×年齢別

年齢別にみると、15歳～19歳では「相手が同世代である」が45.1%と、全体より13.9ポイント高くなっています。

上段:件数 下段:%		問30 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに相談したい相手								
		相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある	相手が同世代である	相手が同性である	匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる	電話で相談できる	SNSやメールなどで相談できる	曜日・時間帯を気にせずに相談できる	相談できる場所が自宅から近い	相手が自宅に来てくれる
全体(n=943)		491 52.1	294 31.2	186 19.7	331 35.1	118 12.5	267 28.3	300 31.8	145 15.4	26 2.8
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	74 52.1	64 45.1	38 26.8	45 31.7	13 9.2	44 31.0	38 26.8	15 10.6	5 3.5
	20歳～24歳 (n=157)	79 50.3	59 37.6	41 26.1	65 41.4	29 18.5	60 38.2	63 40.1	21 13.4	4 2.5
	25歳～29歳 (n=163)	92 56.4	56 34.4	32 19.6	58 35.6	18 11.0	45 27.6	48 29.4	29 17.8	3 1.8
	30歳～34歳 (n=227)	120 52.9	55 24.2	34 15.0	89 39.2	30 13.2	65 28.6	72 31.7	36 15.9	8 3.5
	35歳～39歳 (n=251)	126 50.2	60 23.9	41 16.3	74 29.5	27 10.8	52 20.7	79 31.5	44 17.5	6 2.4

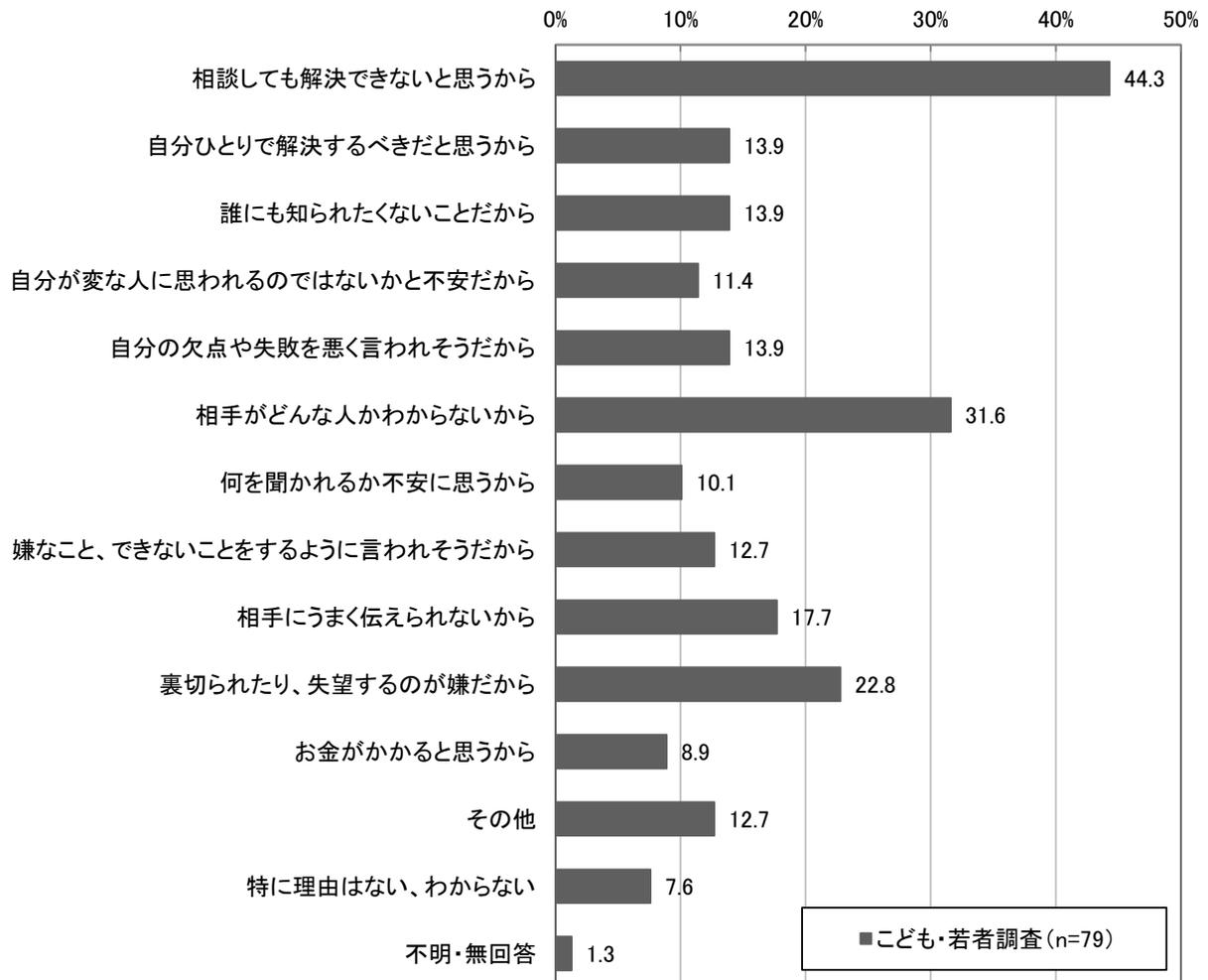
上段:件数 下段:%		問30 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに相談したい人や場所							
		無料で相談できる	相手先が公的な支援機関である	相手先が民間の支援団体(NPOなど)である	相手が医師である	相手がカウンセラーなど心理学の専門家である	その他	誰にも相談したくない	不明・無回答
全体(n=943)		383 40.6	168 17.8	69 7.3	132 14.0	264 28.0	26 2.8	79 8.4	12 1.3
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	59 41.5	19 13.4	11 7.7	13 9.2	24 16.9	3 2.1	12 8.5	2 1.4
	20歳～24歳 (n=157)	68 43.3	30 19.1	9 5.7	21 13.4	42 26.8	5 3.2	14 8.9	4 2.5
	25歳～29歳 (n=163)	73 44.8	24 14.7	11 6.7	23 14.1	48 29.4	4 2.5	15 9.2	-
	30歳～34歳 (n=227)	86 37.9	47 20.7	17 7.5	36 15.9	72 31.7	3 1.3	18 7.9	5 2.2
	35歳～39歳 (n=251)	97 38.6	47 18.7	20 8.0	39 15.5	78 31.1	11 4.4	19 7.6	1 0.4

こども・若者

◆「16. 誰にも相談したくない」を選んだ方

相談したくないと思う理由は何ですか [若：問 31] <複数回答>

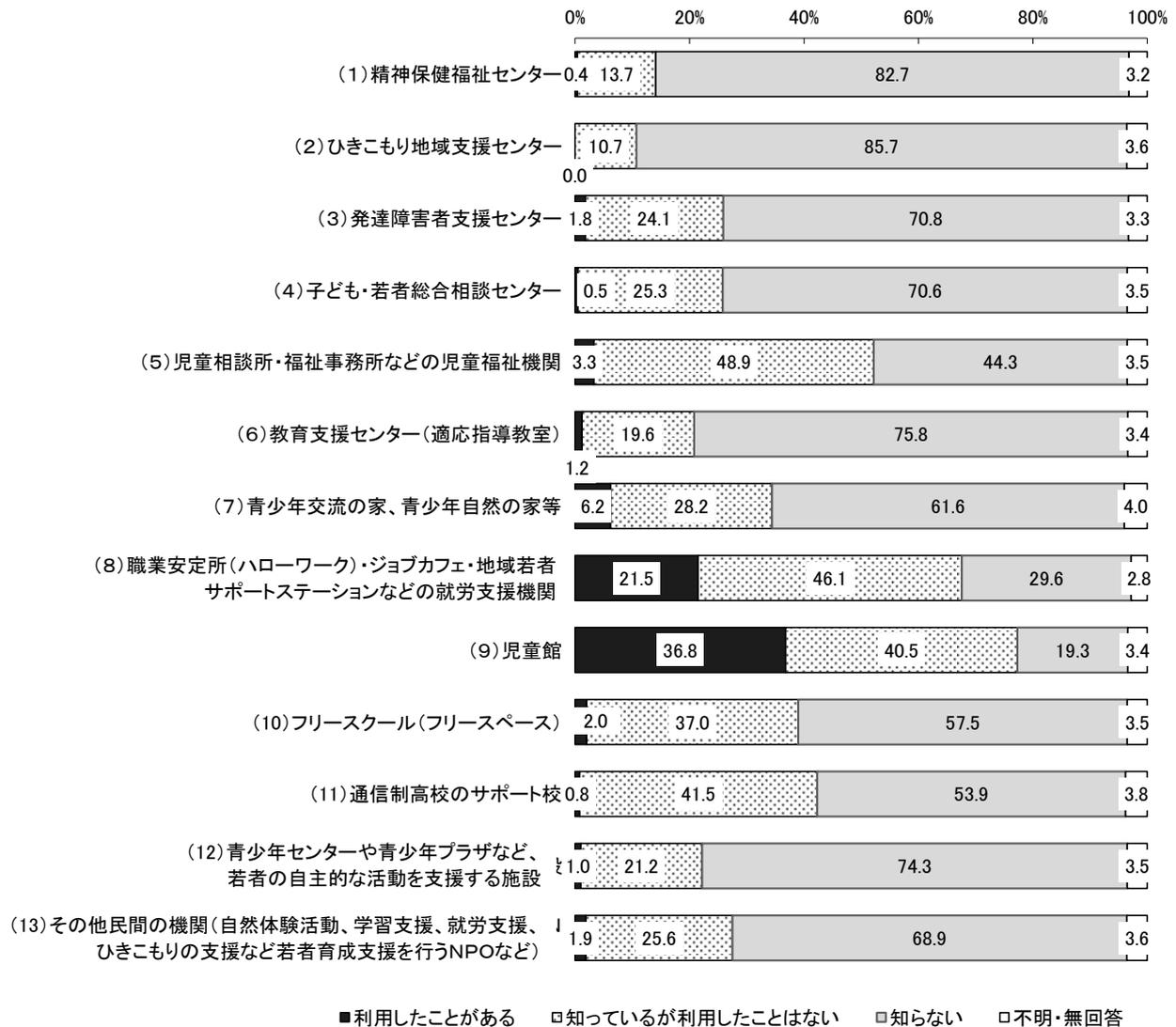
「相談しても解決できないと思うから」が 44.3%と最も多く、次いで「相手がどんな人かわからないから」が 31.6%、「裏切られたり、失望するのが嫌だから」が 22.8%となっています。



こども・若者

◆次のこども・若者を対象とした育成支援機関等を利用したことはありますか〔若：問32〕〈単数回答〉

「利用したことがある」の割合が比較的多い育成支援機関等は、『(9)児童館』(36.8%)、『(8)職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関』(21.5%)となっています。



【クロス集計】職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの
就労支援機関[若：問32（8）]×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「知らない」割合が減っていき、「利用したことがある」が高くなっています。

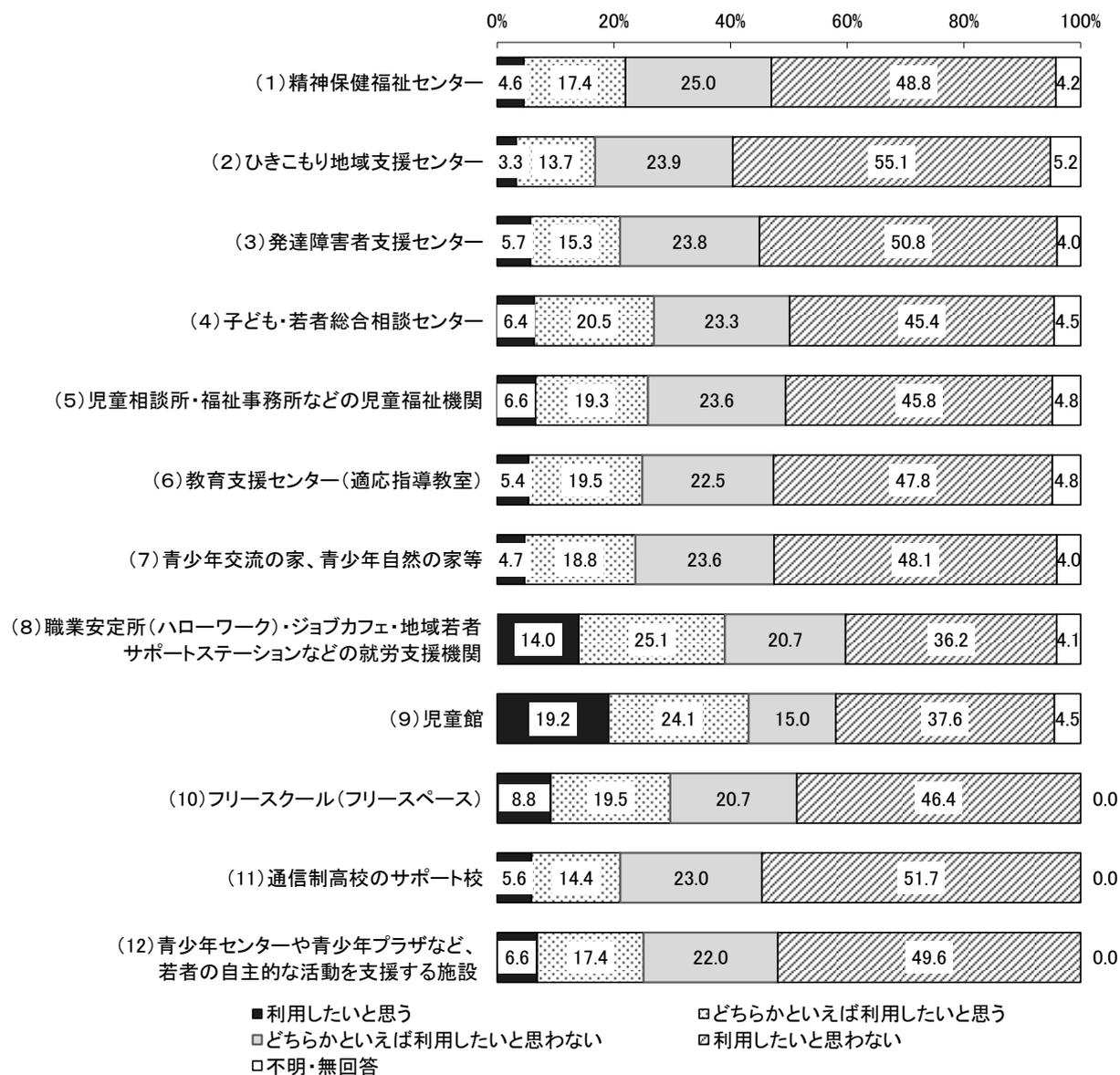
上段:件数 下段:%		問32(8) 職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地 域若者サポートステーションなどの就労支援機関			
		利用したこ とがある	知っているが 利用したこ とはない	知らない	不明・無回答
全体(n=943)		203 21.5	435 46.1	279 29.6	26 2.8
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	1 0.7	54 38.0	82 57.7	5 3.5
	20歳～24歳 (n=157)	13 8.3	79 50.3	59 37.6	6 3.8
	25歳～29歳 (n=163)	33 20.2	70 42.9	58 35.6	2 1.2
	30歳～34歳 (n=227)	67 29.5	111 48.9	42 18.5	7 3.1
	35歳～39歳 (n=251)	87 34.7	121 48.2	38 15.1	5 2.0

こども・若者

◆次のこども・若者を対象とした育成支援機関等を利用したいと思いますか

[若：問 33] <単数回答>

「利用したいと思う」の割合が比較的多い育成支援機関等は、『(9)児童館』(19.2%)、『(8)職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関』(14.0%)となっています。



【クロス集計】職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関の利用意向[若：問33（8）]×年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『利用したい』（「利用したいと思う」と「どちらかといえれば利用したいと思う」の合計）が高くなる傾向にあります。

上段:件数 下段:%		問33(8) 職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関				
		利用したいと思う	どちらかといえば利用したいと思う	どちらかといえば利用したいと思わない	利用したいと思わない	不明・無回答
全体(n=943)		132 14.0	237 25.1	195 20.7	341 36.2	38 4.0
★年齢区分	15歳～19歳 (n=142)	8 5.6	23 16.2	34 23.9	71 50.0	6 4.2
	20歳～24歳 (n=157)	24 15.3	37 23.6	28 17.8	66 42.0	2 1.3
	25歳～29歳 (n=163)	25 15.3	44 27.0	27 16.6	63 38.7	4 2.5
	30歳～34歳 (n=227)	32 14.1	62 27.3	50 22.0	69 30.4	14 6.2
	35歳～39歳 (n=251)	43 17.1	70 27.9	55 21.9	72 28.7	11 4.4

自由回答（とりまとめ）

こども・若者

◆最後に、こどもや若者の育成支援についてご意見がございましたら、自由にご記入ください

	内 容	件数
1	経済的支援について	46 件
2	子育て全般について	39 件
3	相談・情報・交流・イベントについて	32 件
4	行政全般について	26 件
5	アンケートについて	22 件
6	遊び場・公共施設について	18 件
7	いじめ・不登校・ひきこもり・虐待について	17 件
8	学校について	12 件
9	医療・健診・健康・食育について	9 件
10	発達支援・障害児について	7 件
11	放課後の居場所について（児童館、放課後児童クラブ、放課後子ども教室）	3 件
	安心・安全について	
13	地域活動について	2 件
14	その他	23 件
15	なし	8 件